講義科目名称: 心理学 授業コード: 4111 4112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1 • 2	2	総合:選択	
担当教員				
小野田奈穂				
ナンバリング: G14C13	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業内容 授業 1 年 A : サース 2 日 A : サース 3 日 B : サース 4 日 B : サース 5 日 B : サース 5 日 B : サース 7 日 B :	(授業概要) 心理学は、人の心のはたらきを研究する学問であり、学習心理学・発達心理学・性格心理学・社会心理学・臨床心理学等、多様な領域にわたる。多様な領域の中から、学生の関心が高く、また学生と関わりが深いと思われるテーマを選び、そのテーマについての理論や概念を学ぶ。日常生活に関連するような内容も含まれているので、各自考えを深め、生活の中で応用できるように具体的な例を多く出しながら講義をすすめる。(授業目標) ○B:対人関係にまつわる心理学の理論を通じて、人の話を聴き、自分の考えを上手に伝える力を身につけ
力 D:知識・理解 E:技能・表現	る。   ◎ C: 日常生活における様々な物事について新しい視点を知ることで、物事を多面的に深く考えられるように   なる。
授業計画	1 オリエンテーション 心理学とはどのような学問か?
	2 動機付け "やる気"のこころの働きを知る
	3 マインドフルネス マインドフルネスの考え方から心のほぐし方を学ぶ
	4 感覚・知覚・認知 人はどのように環境や情報を捉えているのか
	5 発達 人の発達を学ぶ
	6 青年期の心理 青年期特有の心理発達を学ぶ
	7 性格 「人生の木」から見つめなおす
	8 対人関係と恋愛心理 心理学の視点から対人関係と恋愛について考える
	9 対人関係とコミュニケーション① 自分の気持ちを上手に伝える方法を考える
	10 社会の中の心理 人の態度 (考え・評価) が変わるときとは
	11 集団の心理 集団の力で起こる心理を学ぶ
	12 ストレスの心理学 ストレスの仕組みと対処を考える
	13 心理療法から学ぶ 日常生活での工夫を学ぶ
	14 勉強を頑張るコツ 勉強を頑張るコツを心理学の視点から考える
	対人関係とコミュニケーション②人の話を上手に聴く方法を考える
学習成果・ 到達目標・基準	○B:実際の対人関係の場において、上手なコミュニケーションのための工夫を取り入れて応用できる。 ◎C:日常生活で当たり前として考えることのなかったような物事にも違う視点があるということを知り、視 野を広げて捉えることができる。
事前・事後学習	事前学習:生活の中で生じる疑問や相談したいような気がかりなことについて意識して考えてみる。(90分)事後学習:自身の生活に照らし合わせながら、講義の内容を振り返る。日常生活に取り入れられそうなことを実践してみる。(90分)
指導方法	授業は原則として、プロジェクターを使用し、パワーポイントや図表等を示し、それに沿った講義を行う。また、心理学という学問を体験的に理解できるよう、簡単な心理検査等を体験できるようにする。ワークシートを使って日常生活に応用できるよう練習する。講義終了時に、毎回コメントペーパーを書かせ、疑問の解消や講義のふりかえりと整理を行えるようにするフィードバックの方法:コメントペーパーに書かれた疑問点や質問には次の回で全体に向けて回答、または学生に問いかけて解決していく。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	B: 受講態度 (コメントペーパー含む) とレポート課題を評価する。 C: 受講態度 (コメントペーパー含む) とレポート課題を評価する。
	レポート課題70% 受講態度(コメントペーパー含む)30%
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書	『心理学』 東京大学出版会 『心理学の基礎 改訂版』 培風館
履修上の注意	他者の心理を読み取る術や他者を操作する方法などは心理学の学問ではないことを理解して受講すること (講義内容にもこのような内容は含まれていない)。 心理学は、それぞれが自身の体験に引き付けながら学ぶことにより一層関心が持てる学問であるので、積極的に学ぶ姿勢を持って講義に参加することがのぞましい。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: ビジネス情報処理 (文書) 授業コード: 4231 4232

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	1 • 2	1	総合:選択		
担当教員					
中村公子(契約講師:小倉秀	中村公子(契約講師:小倉秀雄)				
ナンバリング: G17C25	実務家教員によ	る授業			
添付ファイル					

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーコミー B:コン能力 C:思考力・判断	(授業概要) PCを用いた文書作成スキルはあらゆる職業で必要とされている。 また学生生活においてもレポート、課題など文書作成を求められる場面も非常に多い。 本授業ではMicrosoft Office Specialist (MOS) 検定の「Microsoft Office Word 365&2019」のテキストを使用し、文書作成のためのアプリケーションであるWordの機能を学習する。また、試験に合格するコツや、テクニックなどについても学習していく。その他、PC操作についての基本も学ぶ。 (授業目標)
カ D:知識・理解 E:技能・表現	<ul><li>◎E: 文書の作成と管理について、MOS Word 合格相当のPCの操作ができる。</li><li>◎E: 文書内に書式やページレイアウトを設定し、表、グラフィックや参考資料を挿入し管理する方法について、MOS Word 合格相当のPCの操作ができる。</li><li>◎E: 文書の作成・管理に関する共同作業について、MOS Word 合格相当のPCの操作ができる。</li></ul>
授業計画	1 ガイダンス
	授業目標および授業内容の説明 成績評価方法の説明 MOSの概要説明 演習環境に関する説明 2 データの準備 文字・段落・セクションの挿入と書式設定 1 (実習: PCによる演習)
	データの準備 Word スキルチェックシート 文字列や段落を挿入する 文字列や段落の書式を設定する 1
	3       文字・段落・セクションの挿入と書式設定 2 (実習: PCによる演習)         文字列や段落の書式を設定する 2       文書にセクションを作成する、設定する         4       またリストの選択 (実際)
	4 表やリストの管理 1 (実習: PCによる演習) 表を作成する 表を変更する 5 表やリストの管理 2 (実習: PCによる演習)
	1       スペッストの管理 2 (美音・FCによる演音)         リストを作成する、変更する       表やリストの管理         6       参考資料の作成と管理 1 (実習: PCによる演習)
	参写資料の作成と管理 1 (英音: 10による領音) 参照のための要素を作成する、管理する 1
	7 参考資料の作成と管理 2 グラフィック要素の挿入と書式設定 1 (実習: PCによる演習) 参照のための要素を作成する、管理する 2 参照のための一覧を作成する、管理する 図やテキストボックスを挿入する 1
	8 グラフィック要素の挿入と書式設定 2 (実習: PCによる演習) 参照のための要素を作成する、管理する 2 図やテキストボックスを挿入する 2 図やテキストボックスを書式設定する 1
	9 グラフィック要素の挿入と書式設定 3 (実習: PCによる演習) 図やテキストボックスを書式設定する 2 グラフィック要素にテキストを追加する グラフィック要素を変更する
	10       文書の共同作業の管理: (実習: PCによる演習)         コメントを追加する、管理する       変更履歴を管理する         変更の共同作業の管理:確認問題
	11       文書の管理 1 (実習: PCによる演習)         文書内を移動する       文書の書式を設定する
	12     文書の管理 2 (実習: PCによる演習)       文書を保存する、共有する     文書を検査す
	13 第1回試験対策講座 (実習: PCによる演習)   MOS 365&2019の試験形式、画面構成と試験環境の説明   MOS 365&2019攻略ポイントおよび模擬試験プログラムの使い方   第1回模擬試験を実施し、試験結果の課題に対し個別に対策を行う
	14 第2回試験対策講座 (実習: PCによる演習)   第2回模擬試験を実施し、試験結果の課題に対し個別に対策を行う   第2回模擬試験を実施し、試験結果の課題に対し個別に対策を行う   第2回模擬試験を実施し、試験結果の課題に対し個別に対策を行う   第2回模擬試験を実施し、試験結果の課題に対し個別に対策を行う

	15 (DT-4, Y 4 x 10.0 (DT-4) To #F.764_LAR4-CID 676
	15 第3回試験対策講座 (実習: PCによる演習)   第3回模擬試験を実施し、試験結果の課題に対し個別に対策を行う
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎ E:基本的な文書の作成および管理ができる。</li><li>◎ E:文書内に書式やページレイアウトを設定し、表、グラフィックや参考資料を挿入するための基本的な操作ができる。</li><li>◎ E:文書の作成・管理に関し、共同作業ができる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:MOS模擬試験は、出題範囲が事前に明確になっているため、充分な事前学習による高得点の獲得を期
	待する。   事後学習:各講義内容で十分に理解できなかった操作については、事後学習で各自補完すること。また、各出   題範囲の終了後に出題される課題を解答することで、操作方法を確実に習得すること。   (60分)
指導方法	パソコンを操作する実習(講師が、まず、テキストに沿って操作内容を解説・実演し、学生は講師の操作を参考に各自のPCで演習を行う)が中心である。
	各出題範囲の終了後に、知識の習得を確実にする目的で、課題を操作し、結果の提出をしてもらう。
	また授業終盤ではMOSの模擬試験による実践演習を行い、試験結果の課題に対し、個別で取り組み、質疑応答を行う。 フィードバックの仕方:授業後、直接個別対応する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E:PCを利用したMOSの模擬試験で文書の作成および管理に関する操作の評価を行う。 E:PCを利用したMOSの模擬試験で書式、ページレイアウトの設定、表、グラフィック、参考資料の挿入に関する操作の評価を行う。 E:PCを利用したMOSの模擬試験で文書の作成・管理に関し共同作業に関する操作の評価を行う。 また、各課題への提出およびその採点結果を総合して成績評価を行う。 尚、採点の割合は、課題提出:30%、課題点:70% とする。
	MOS Word 365&2019 の合格認定により、成績評価を $1$ ランクアップする。 (本来A評価の者をS評価に、B評価の者はA評価にアップ。元々S評価の者はそのままS評価の成績となる)
	試験は、試験会場のPC (Windows10 Word2019) で行われている。
テキスト	よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Microsoft Word 365&2019 対策テキスト&問題集 FOM出版
参考書	
履修上の注意	受講者は授業に使用する、次の条件を満たすPCを用意する必要がある。
	1. PCのOSは【Windows】 (Windows 10 日本語版 (Windows 10 Sモードでは動作しない)、またはWindows11
	日本語版) ※使用テキストに付属のプログラムが、Windowsのみ対応となっているため。
	2. 演習で使用する ワード (Microsoft Office Word と同一バージョンのアプリ (Microsoft Word 365または 2019) ) が各自のPC上にインストールされていること
	※授業に際し、テキストは必携
	「情報リテラシー」履修済みか、同等以上のコンピュータ操作技能があることが履修の前提。 他のMOS資格 (Excel、PowerPoint) の受験も視野に、計画的な学習をすること。
アクティブ・ラーニング	実習

講義科目名称: 日本語コミュニケーション 授業コード: 4131 4132 4133

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期・後期	1 • 2	1	総合:選択
担当教員			
村木桂子			
ナンバリング:G14C15	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	(授業概要) 国語力の四要素(話す・聞く・書く・読む)のトレーニングを総合的に積みあげることにより複眼的思考、論理的思考といった考えかたの基礎力を養う。ペア・ワーク等で課題に取り組むことによりコミュニケーション力を高め社会で活用できる日本語の力を身につける。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標) ○B:受信した情報について考え、意見をまとめ、根拠を提示しながら発信することができる。 ◎D:授業で学んだ日本語の知識について理解し、使用することができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ガイダンス(ペア・ワーク) 言葉をめぐるワーク、授業内容、授業の進めかた、評価方法に関する説明
	ICT: パソコン、スマートフォン(自主学習に活用) 2 敬語(ペア・ワーク)
	社会人基礎力を身につけるために ICT:パソコン、スマートフォン(自主学習に活用)
	3 感じのいい話しかた (ペア・ワーク) コミュニケーションの基礎、日本語の音声 ICT: パソコン、スマートフォン (自主学習に活用)
	4 母語の大切さ (ペア・ワーク) 外国語から見た日本語の特徴
	ICT: パソコン、スマートフォン(自主学習に活用) 5 オノマトペ(ペア・ワーク) 豊かな言語生活
	ICT:パソコン、スマートフォン (自主学習に活用) 6 辞書のいろいろ (1) (ペア・ワーク)
	辞書の特色について ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
	7 辞書のいろいろ(2) (ペア・ワーク) 図書館での辞書比較 ICT: パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
	8 説明のしかた (ペア・ワーク) 情報提示の順序を学ぶ論理的文章の書きかた (中級) ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用)
	9 絵の分析 (ペア・ワーク) 根拠ある意見の述べかた
	ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 10 テクスト分析 (1) (ペア・ワーク)
	論理的文章の書きかた(初級) ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用、自主学習に活用)
	11
	12 話し言葉と書き言葉 (ペア・ワーク) 社会人としての言語運用能力
	ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用、自主学習に活用) 13 対義語 (ペア・ワーク)
	ニュアンスの感得、注意深い言葉の選択 ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用、自主学習に活用) 日本語の文字(ペア・ワーク)
	私たちが使用する文字の由来 ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用、自主学習に活用)
	15   言葉遊び
学習成果・ 到達目標・基準	ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用、自主学習に活用) ○B:他者の言葉に耳を傾け、自分の意見を人に伝えることができる。 ○D:授業で学んだ日本語の知識について理解することができる。
事前・事後学習	<b>************************************</b>
	事後学習:授業で学んだ日本語の知識について要点をおさえ、ノートや資料を整理し理解を深める。(60分程

	度) 授業中に紹介された本や資料を読み、日本語について興味・関心の幅を広げる。 (60分程度)
指導方法	ペア・ワーク (対話)を中心として、正解よりも考えることを重視した授業を行う。テーマごとに口頭演習した内容を文章で再確認することにより、日本語コミュニケーション力を「話す・聞く・書く・読む」の観点から総合的に養う。講義は主にパワーポイントで進め、視聴覚教材も適宜利用する。フィードバックのしかた:課題の成果を授業中に共有し、講評する。質問には個別に対応する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	B:ペア・ワークにおける聞く態度や、授業中の積極的な発言、提出物を評価する。 D:試験によって評価する。 定期試験:60%、授業中の課題提出30%、授業参加態度10%(総合的に評価する)
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書	授業中に紹介する。
履修上の注意	ペア・ワークや個人で取り組む課題があるが、いずれも積極的な参加を期待する。授業中の演習参加と課題提出が重要である。
アクティブ・ラー ニング	ペア・ワーク

講義科目名称: 文学と芸術 授業コード: 4121 4122

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期・後期	2	2	総合:選択
担当教員		·	
村木桂子			
ナンバリング:G14C14	実務家教員	こよる授業	
添付ファイル			

接業自標。 A: + 体件・チームワーク - 責任必		
<ul> <li>C: 思考が、判断</li></ul>	ムワーク・責任感 B:コミュニケー	この授業では文学を単に読解するのではなく芸術として全体を鑑賞する。芸術によって呼び起こされた"未だ知り得ない自分"を感じとり、それを表出することによって「自分にとってかけがえのないものとは何か」をさぐる楽しさを味わう。芸術に触発されてものごとの本質に触れることの奥深さ、喜びを味わい、心ふるえる経験を積み重ねることにより、生涯を通じて形成される教養・価値観・感性などの基盤づくりを目指す。
E: 技能・表現	C:思考力・判断 力	B:自分の意見を持ち、相手の意見も受け入れながらお互いを尊重し合うことができる。 ◎D:授業で得た知識を理解し、興味を持ったことがらについて主体的に情報を得、学びを深めることができ
接案内容、授業の進めかた、評価方法に関する説明 教材を踏まえたグループティスカッション ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) ま	D:知識・埋解 E:技能・表現	る。  ○E:自分なりの言葉を用い、授業で得たことについて表現することができる。
2つで1つのもの ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用)  影剣: 能越保流、神谷美恵子 『生きがいについて』 (グループディスカッション) 美しさとは何か、生きがいとは何か ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用)  4 夏目漱石『夢子を入 (グループディスカッション)	授業計画	授業内容、授業の進めかた、評価方法に関する説明 教材を踏まえたグループディスカッション ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
#して:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 4 夏日漱石『夢中夜』 (グループディスカッション) 色と香りを楽しめる文学 ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 5 絵本『てぶくろを買いに』『泣いたあかおに』『おにたのぼうし』 (グループディスカッション) 異文化理解・相互理解 ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 6 中原中也『在りし日の思い出』 (グループディスカッション) 他と比べられない世界 ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 7 東山魁東とこちらの世界をつかぐもの ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 8 シェイクスピア『ロミオとジュリエット』 人と何かを共有することの豊かさ ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 9 丸鬼周澄 『よっの構造』 行為のなかの美しき ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 10 サンテグジュペリ『泉の王子さま』 経験からてしか学べないこと ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 11 宮沢質治 野刺政道の夜』 IA とうの幸い ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 12 ミとエル・エンデ『モモ』 あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 12 ミと日本の美意識 (1) 絵画で工芸を申れて、おなたらしくなる「星の時間」 ICT:バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 13 世界と日本の美意識 (2) 絵と文字の交わり 15 世界と日本の美意識 (3) ・ 世界と日本の美意識 (1) ・ 世界と日本の美意識 (3) ・ 日・授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。		2つで1つのもの ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
佐と香りを楽しめる文学		美しさとは何か、生きがいとは何か ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
ン)  異文化理解・相互理解 ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 6 中原中也『作り日の思い出』 (グループディスカッション) 他と比べられない世界 ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 7 東山魁夷という文学 (グループディスカッション) あちらとこちらの世界をつなぐもの ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 8 シェイタスピア『ロミオとジュリエット』 人と何かを共有することの豊かさ ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 9 九鬼周彦『いきの構造』 行為のなかの美しさ ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 10 サンテグジュペリ『星の王子さま』 経験からでしか学べないこと ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 11 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』 ほんとうの幸い ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 12 ミヒャエル・エンデ『モモ』 あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 13 世界と日本の美意識 (1) 絵画や工芸を中心に 14 世界と日本の美意識 (2) 絵と文字の交わり 15 世界と日本の美意識 (3) 今の我々の生活とどうつながっているのか  学習成果・ 到達目標・基準  B: 他者の言葉に耳を傾けながら、自分の意見も人に伝えることができる。 ②D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ②D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ③D: 授業で得に知を理解し、人に伝えることができる。 ③E: 授業で学び得たことについて味わい感じたことを、表現することができる。 事前・事後学習 事前学習:日ごろから美術、音楽、文学などジャンルを問わずさまざまな芸術と出会う機会を持つ。(60分程		色と香りを楽しめる文学 ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
他と比べられない世界 ICT:パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用)		ン) 異文化理解・相互理解
7 東山魁夷という文学 (グループディスカッション) あちらとこちらの世界をつなぐもの ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 8 シェイクスピア『ロミオとジュリエット』 人と何かを共有することの豊かさ ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 9 九鬼周造『いきの構造』 行為のなかの美しさ ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 10 サンテグジュペリ『星の王子さま』 経験からでしか学べないこと ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 11 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』 ほんとうの幸い ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 12 ミヒャエル・エンデ『モモ』 あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT: バソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 13 世界と日本の美意識 (1) 絵画や工芸を中心に 14 世界と日本の美意識 (2) 絵と文字の交わり 15 世界と日本の美意識 (3) 今の我々の生活とどうつながっているのか  学習成果・ 到達目標・基準  ②D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ③D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ⑤D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 事前・事後学習 事前学習: 日ごろから美術、音楽、文学などジャンルを問わずさまざまな芸術と出会う機会を持つ。(60分程		他と比べられない世界
人と何かを共有することの豊かさ   ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)   9		あちらとこちらの世界をつなぐもの
行為のなかの美しさ ICT:パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 10 サンテグジュペリ『星の王子さま』 経験からでしか学べないこと ICT:パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 11 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』 ほんとうの幸い ICT:パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 12 ミヒャエル・エンデ『モモ』 あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT:パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 13 世界と日本の美意識 (1) 絵画や工芸を中心に 14 世界と日本の美意識 (2) 絵と文字の交わり 15 世界と日本の美意識 (3) 今の我々の生活とどうつながっているのか 学習成果・ 到達目標・基準  B:他者の言葉に耳を傾けながら、自分の意見も人に伝えることができる。 ○ E:授業で学び得たことについて味わい感じたことを、表現することができる。 事前・事後学習 事前学習:日ごろから美術、音楽、文学などジャンルを問わずさまざまな芸術と出会う機会を持つ。 (60分程		人と何かを共有することの豊かさ
経験からでしか学べないこと		行為のなかの美しさ
ほんとうの幸い ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 12 ミヒャエル・エンデ『モモ』 あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT: パソコン、スマートフォン (双方向型授業に活用) 13 世界と日本の美意識 (1) 絵画や工芸を中心に 14 世界と日本の美意識 (2) 絵と文字の交わり 15 世界と日本の美意識 (3) 今の我々の生活とどうつながっているのか 学習成果・ 到達目標・基準  B: 他者の言葉に耳を傾けながら、自分の意見も人に伝えることができる。 ③D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ③D: 授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ③E: 授業で学び得たことについて味わい感じたことを、表現することができる。 事前・事後学習 事前学習: 日ごろから美術、音楽、文学などジャンルを問わずさまざまな芸術と出会う機会を持つ。(60分程		経験からでしか学べないこと
あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)  世界と日本の美意識(1) 絵画や工芸を中心に  14 世界と日本の美意識(2) 絵と文字の交わり  15 世界と日本の美意識(3) 今の我々の生活とどうつながっているのか  学習成果・ 到達目標・基準  B:他者の言葉に耳を傾けながら、自分の意見も人に伝えることができる。 ③D:授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。 ③ E:授業で学び得たことについて味わい感じたことを、表現することができる。 ③ E:授業で学び得たことについて味わい感じたことを、表現することができる。  事前・事後学習  事前学習:日ごろから美術、音楽、文学などジャンルを問わずさまざまな芸術と出会う機会を持つ。(60分程		ほんとうの幸い ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
<ul> <li>絵画や工芸を中心に</li> <li>14 世界と日本の美意識(2)</li> <li>絵と文字の交わり</li> <li>15 世界と日本の美意識(3)</li> <li>今の我々の生活とどうつながっているのか</li> <li>学習成果・</li> <li>到達目標・基準</li> <li>B:他者の言葉に耳を傾けながら、自分の意見も人に伝えることができる。</li> <li>○D:授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。</li> <li>○E:授業で学び得たことについて味わい感じたことを、表現することができる。</li> <li>事前・事後学習</li> <li>事前学習:日ごろから美術、音楽、文学などジャンルを問わずさまざまな芸術と出会う機会を持つ。(60分程)</li> </ul>		あなたが、あなたらしくなる「星の時間」 ICT:パソコン、スマートフォン(双方向型授業に活用)
総と文字の交わり  15 世界と日本の美意識(3)  今の我々の生活とどうつながっているのか  学習成果・ 到達目標・基準		絵画や工芸を中心に
今の我々の生活とどうつながっているのか  学習成果・ 到達目標・基準		絵と文字の交わり
到達目標・基準		
	学習成果・ 到達目標・基準	◎D:授業で得た知識を理解し、人に伝えることができる。
	事前・事後学習	

	事後学習:授業で学んだことがらの要点をおさえ、ノートや資料を整理し理解を深める。 (60分程度) 授業中に紹介された本や資料を読み、芸術一般についての興味・関心を広げる。 (60分程度)
指導方法	すぐれた芸術作品に触れ、演習(グループディスカッション、ペア・ワーク)を踏まえたリアクションを毎回書くことにより、自分が感得したものと丁寧に向き合う。正解よりも思考を深めることを重視する。パワーポイントを中心に講義をおこない、必要に応じて視聴覚教材も使用する。 フィードバックのしかた:課題の成果を授業中に共有し、講評する。質問には個別に対応する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	B:相手の意見を受け入れつつ、自分の意見も持つ積極的な姿勢を評価する。 D:提出物、試験によって評価する。 E:提出物、試験によって評価する。 定期試験:60%、授業後の提出物:30%、授業参加態度:10%(総合的に評価する)
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書	授業中に紹介する。
履修上の注意	個人で取り組む課題や意見を交換しながらの演習があるが、いずれも積極的な参加を期待する。授業中の演習 参加と課題提出が重要であるため、課題は必ず提出すること。受講者の興味・関心等に応じて授業計画が一部 変更される場合がある。
アクティブ・ラー ニング	グループディスカッション、ペア・ワーク

講義科目名称: 世界の遺産 授業コード: 4161

	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1 • 2	2	総合:選択	
担当教員				
中村公子(契約講師:鈴木かの子)				
ナンバリング: G14C18	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

松米中公	(校类中央)
授業内容 授業目標 A:サール カリニュン 日の カリール リール リール リール リール リール リール リール リール リール	(授業内容) 世界の有名な遺産100件と日本の遺産全25件の中から、テキスト・スライド画像・動画を用いて講義します。古代遺跡やヨーロッパの建築、大自然の絶景や神話的な地域など、世界旅行の気分を味わいながら、世界遺産検定3級合格のためのポイントを学習します。 (授業目標) 「社会人に必要な知識や教養」の獲得を目指し、「知的関心」をもって学修する心構え、「異なる考え方や異なる文化を持つ人々」を理解する能力を身に付けます。 ○C:「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	○ C:世界の動きに対する関心を高め、批判の目で自分の意見を発表できる。 ◎ D:7月2日(日)の世界遺産検定を受験し、3級合格する。
授業計画	1 イントロダクション なぜ世界遺産を学ぶのか
	2 世界遺産の基礎知識1 ユネスコと世界遺産条約、世界遺産誕生のきっかけ
	3 世界遺産の基礎知識2 登録までの流れ、世界遺産の種類と数、危機遺産と負の遺産
	4 日本の世界遺産1 知床、北海道・北東北の縄文遺跡群、白神山地、平泉、日光の社寺、富岡製糸場と絹産業遺産群、小笠原諸島、ル・コルビジェの建築作品、富士山
	5 日本の世界遺産2 白川郷・五箇山の合掌造り集落、古都京都の文化財、古都奈良の文化財、法隆寺地域の仏教建造物群、紀伊山地の霊場と参詣道、姫路城、石見銀山遺跡とその文化的景観、厳島神社
	日本の世界遺産3 原爆ドーム、明治日本の産業革命遺産、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群、長崎と天草地 方の潜伏キリシタン関連遺産、屋久島、琉球王国のグスク及び関連遺産群、奄美大島・徳之島・ 沖縄島北部及び西表島
	7 世界の文化遺産1 人類誕生とヨーロッパ古代文明、アジア世界の形成と宗教
	8 世界の文化遺産2 ヨーロッパ中世、アメリカ、アフリカ、オセアニア
	9 世界の文化遺産3 近代国家の成立と世界の近代化、危機遺産、時事問題
	10 世界の自然遺産 世界の自然遺産
	11 検定直前確認テスト 第52回世界遺産検定に向けた直前の確認テスト
	12 検定問題の解説 第52回世界遺産検定の3級問題の解説
	13 最新動向の解説 世界遺産の新規登録に関する状況など
	14 グループワーク 世界遺産についてのグループワーク
	15 グループワーク 世界遺産についてのグループワーク
学習成果・ 到達目標・基準	○C:世界遺産を通して、「地球上の多様な価値観」を理解する。 ○C:世界の動きに対する関心を深め、批判の目と自分の意見を持てるようになる。 ◎D:世界遺産検定3級レベル試験で60%以上の得点を取得することができる。
事前・事後学習	事前学習:講義テーマに対する、教科書の該当箇所を事前に読んでおく。 (90分) 事後学習:授業後には当日実施した内容を振り返り、知識を深める。 (90分)
指導方法	指導方法: テキトとスライド画像、講義資料 (プリント) を用いて、講義を進めます。 内容を理解しやすいよう、世界旅行をしているような気分を味わいながら、授業を進めます。
	フィードバックの方法: リアクションペーパーを返却の際に総括のコメント、また質疑応答にてフィードバックをします。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:「地球上の多様な価値観」を理解し、環境保全や国際平和の重要性を認識できているかを検定試験で評価する。 C:世界の動きに関する自分の意見を発表し、それを評価する。 D:検定試験直前確認テストの結果を評価する。
	検定試験:60% 授業貢献度(自分の意見):20% 検定試験直前確認テスト:20% ※検定合格で成績評価1ランクアップ(例B評価の場合→A評価に)
テキスト	きほんを学ぶ世界遺産100<第4版> 世界遺産検定3級公式テキスト 世界遺産検定公式過去問題集 3・4級 <2023年度版>
参考書	特になし
履修上の注意	世界遺産検定の申込方法は別途、授業で案内します。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク

講義科目名称: フランス語 1 授業コード: 4361

添付ファイル				
ナンバリング: G19C35	実務家教員による	る授業		
中村公子(契約講師:東祥子)	)			
担当教員				
後期	1 • 2	1	総合:選択	
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	

12 11/2 1	(	$\neg$
授業 特 要 要 要 要 要 要 要 を を を を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	(授業概要) 基礎フランス語の授業です。語学と同時に文化・国民性にも触れて、フランス語は勉強ではなく文化の一部であり、生きている・使うものという事を念頭において、楽しく学びます。常に<参加型>の授業です。講義ではなく、[話そう、聞き取ろう、答えよう]という形式で、簡単な会話の授業を行います。教室に入ったら、フランスの世界!を実感。旅行、日本における国際機関、ホテル業、飲食業(調理場)で実際役立つやり取りが出来るようなロールプレイを繰り返します。一年間で基礎フランス語をしっかりマスターし、話すと聞く・読む・書くと言った4技能をしっかり学習・理解して「参加しよう、話そう、コミュニケーションをとろう!」が指導目標です。楽しく基礎会話力をつけていきます。	
D:知識・理解 E:技能・表現	(授業目標) ○B:フランス語を使ってコミュニケーションをする意欲を深める。 D:フランスの文化や社会を知り、日本との違いを確認して、視野を広げることができる。 ◎E:挨拶、願望、意思を伝えるフランス語の基本表現を操作できる。	
松光利而		$\dashv$
授業計画	1 オリエンテーション 授業の概要 フランスってどんな国? 挨拶 1	
	2 Lecon 1 アルファベ	
	アルファベット、読み方のルール 発音の仕方 挨拶 2	
	<ul> <li>Lecon 1 敬称・自己紹介         自己紹介「私は~です」         数字(1~10)         自分の名前をアルファベットで一文字ずつフランス語で言う</li> </ul>	
	4 Lecon 2 表現	
	色々な表現 「ありがとう」 「どういたしまして」 「どうぞ」 「お願いいたします」等 数字(11~20)	
	5 Lecon 2 冠詞・名詞 女性名詞、男性名詞、リエゾンの仕組み 曜日 数字復習 (1~20)	
	6 Lecon 3 主語人称代名詞と動詞 動詞の活用 文章を作る je/tu/il/elle/nous/vous/ils/elles 数字(21~30)	
	7 Lecon 3 動詞 etre 不規則動詞の活用 自己紹介 (国籍・職業) 数字(31~40)	
	8 Lecon 4 動詞 avoir avoirの様々な表現場所を表す前置詞数字復習(1~40)	
	9 Lecon 4 部分冠詞 表現「~がある」 語彙 数字(41~50)	
	10 Lecon 5 er 動詞 動詞: 好む・住む・食べる・働く・買う・勉強する・探す・歩く 数字(51~60)	
	11 Lecon 5 疑問文・否定文 「~ですか?」疑問文 「~ではありません」否定文 数字復習(1~60)	
	12 Lecon 5 ir 動詞	
	動詞:選ぶ・終わる	

	数字(61~70)
	13 Lecon 6 形容詞の性と数
	男性形、女性形、複数形の作り方 数字(71~80)
	14 Lecon 6 命令文
	「~しなさい」命令文
	数字復習(1~80)
	15 Revisions 復習回
	今まで学んだフランス語をつかってロールプレイ
学習成果・	学年末には実用フランス語検定5級を習得するレベルまで達する。5級受験用練習問題も扱う。
到達目標・基準	○B:フランス語圏の人と臆せず基本的なコミュニケーションができる。
	D:フランスだけでなく外国に関心を持ち、日本を今までと違う角度から見ることができる。
	◎ E:基本的なフランス語の表現ができる。
事前・事後学習	毎日学習:前回学んだ講義内容を参考に、発音を意識してテキストを音読し、文章を覚える。(毎日15分程  度)
	事後学習:今回学んだ文法を理解して練習問題を解く(30分程度)
指導方法	教科書の内容に沿って、文法を分かり易く説明して理解させる。文字の読み方をしっかり確認しながらフラン
	ス語を声に出して発音させる。実際にロールプレイで全員が参加してコミュニケーションを取りながら会話の 練習をする。目や頭ではなく、口と耳をフル回転して楽しくフランス語身に付けていく。
	フィードバックの方法:練習問題を皆で確認する。フランス語での質疑応答で理解度を確認する。
アセスメント・	B:間違いを恐れずに相手に伝えるという意欲を評価する。
成績評価の方法・	D:授業での課題・筆記試験を評価する。
基準	E:授業での口頭の受け答えを評価する。
	授業での課題20%、定期試験60%、授業態度20%
テキスト	「Nouveau Ken et Julie」(駿河台出版社) 講師参考資料よりプリントの配布
参考書	講師参考資料
参与音	Bescherelle la conjugaison
	C'est la vie 早美出版社
	Mon premier vol Tokyo-Paris 駿河台出版社
	Une aventure 早美出版社  パターンで話せるフランス語 ナツメ社
履修上の注意	
復修上の任息	フランス語の授業を受けに来るのではなく、フランス語を話にくる事を意識しましょう。 また毎日の音読で、必ず近い将来、旅行先で、社会人になって仕事場で、街中で、習得したフランス語を活か
	世るように、自分なりの目標・目的を持って授業に臨みましょう。1回でも欠席するとそれをきっかけに分か
	らなくなるので欠席は極力しないようにしましょう。
	フランス語は日本において日常触れている身近な言葉です。 英語が外国語として主流の日本で、実はフランス語も毎日触れている言葉です。
	安語が外国語として主流の日本で、美はノブンス語も毎日触れている言葉です。   多様性が求められ、様々な文化・文明への探求が益々求められる日本社会において、フランス語は教養語では
	なく、日常語であり、よく耳にする、見る言葉です。意外にもフランス語は私達の日々の生活に溢れていま
	す。レストラン、ファッションアイコン、オリンピック・パラリンピックの公用語、多数のアフリカ諸国の公
	用語、国際機関においてもフランス語は必須です。この機会に1年間でしっかりとした基礎フランス語を身に   付けましょう。
	また学年末には実用フランス語検定5級にもトライしましょう。
アクティブ・ラー	ロールプレイ
ニング	

講義科目名称: フランス語 2 授業コード: 4391

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	総合:選択	
担当教員				
中村公子(契約講師:東祥子	)			
ナンバリング: G29C36	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				
	_			

12 11/2 1	(1~ )  (  m-m )	
授業 特 要 要 要 要 要 要 を を を を を を を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	あり、生きている・使はなく、[話そう、聞きなく、[話そう、聞き ランスの世界!を実感 り取りが出来るような 聞く・読む・書くと言	です。語学と同時に文化・国民性にも触れて、フランス語は勉強ではなく文化の一部でうものという事を念頭において、楽しく学びます。常に〈参加型〉の授業です。講義でき取ろう、答えよう]という形式で、簡単な会話の授業を行います。教室に入ったら、フ。旅行、日本における国際機関、ホテル業、観光業、飲食業(調理場)で実際役立つやロールプレイを繰り返します。一年間で基礎フランス語をしっかりマスターし、話す・った4技能をしっかり学習・理解して「参加しよう、話そう、コミュニケーションをとす。楽しく基礎会話力をつけていきます。
D:知識・理解 E:技能・表現	D:フランスの文化	ってコミュニケーションをする意欲を深める。 や社会を知り、日本との違いを確認して、視野を広げることができる。 思を伝えるフランス語の基本表現を操作できる。
授業計画		6 色々な動詞 : 好む・住む・食べる・働く・買う・勉強する・探す・歩く ~30)
	vouloir pouvoir prendre	7 不規則動詞・指示形容詞 「〜したい」 「〜できる」 「とる、食べる、乗る」 e「待つ」 〜40)
	aller	8 不規則動詞・前置詞+冠詞の縮約 ~へ行く」 ~から来る」 ~50)
		9 疑問副詞 「いつ」「どこで」「どのように」「いくら」「なぜ」? ~60)
	aller+	
	faire「 partir 数字(70	「出発する」 ~80)
	「何時?	2 時刻や天候など日常表現 ?」「…時」お天気は? 「~しなければならない」 ~90)
	「どの〜 devoir lire「言	re「知っている」
	9 Lecon 2 「…をつ	4 目的語代名詞 ~~」
	10 Lecon 2 voir「身 savoir	
	11 Lecon 2 「~をし	6 過去形 avoir した」
	「~をし	
	料理・カ	8 復習回 revisions+supplement メニューを読み取ろう ス料理の特殊な言い回し

	Lecon 29 復習回 Revisions+supplement カフェ・レストランでの注文 お店での買い物
	15 Lecon 30 復習回 Revisions + supplement 実用フランス語検定 5 級練習問題 仏検に挑戦しよう!
学習成果・ 到達目標・基準	学年末には実用フランス語検定5級を習得するレベルまで達する。5級受験用練習問題も扱う。 〇B:フランス語圏の人と臆せず基本的なコミュニケーションができる。 D:フランスだけでなく外国に関心を持ち、日本を今までと違う角度から見ることができる。 〇E:基本的なフランス語の表現ができる。
事前・事後学習	毎日学習:前回学んだ講義内容を参考に、発音を意識してテキストを音読し、文章を覚える。(毎日15分程度) 事後学習:今回学んだ文法を理解して練習問題を解く(30分程度)
指導方法	教科書の内容に沿って、文法を分かり易く説明して理解させる。文字の読み方をしっかり確認しながらフランス語を声に出して発音させる。実際にロールプレイで全員が参加してコミュニケーションを取りながら会話の練習をする。目や頭ではなく、口と耳をフル回転して楽しくフランス語身に付けていく。フィードバックの方法:練習問題を皆で確認する。フランス語での質疑応答で理解度を確認する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	B:間違いを恐れずに相手に伝えるという意欲を評価する。 D:授業での課題・筆記試験を評価する。 E:授業での口頭の受け答えを評価する。 授業での課題20%、定期試験60%、授業態度20%
テキスト	「Ken et Julie1」(駿河台出版社) 講師参考資料よりプリントの配布
参考書	講師参考資料 Bescherelle la conjugaison C'est la vie 早美出版社 Mon premier vol Tokyo-Paris 駿河台出版社 Une aventure 早美出版社 パターンで話せるフランス語 ナツメ社
履修上の注意	フランス語の授業を受けに来るのではなく、フランス語を話にくる事を意識しましょう。また毎日の音読で、必ず近い将来、旅行先で、社会人になって仕事場で、街中で、習得したフランス語を活かせるように、自分なりの目標・目的を持って授業に臨みましょう。1回でも欠席するとそれをきっかけに分からなくなるので欠席は極力しないようにしましょう。フランス語は日本において日常触れている身近な言葉です。英語が外国語として主流の日本で、実はフランス語も毎日触れている言葉です。多様性が求められ、様々な文化・文明への探求が益々求められる日本社会において、フランス語は教養語ではなく、日常語であり、よく耳にする、見る言葉です。意外にもフランス語は私達の日々の生活に溢れています。レストラン、ファッションアイコン、オリンピック・パラリンピックの公用語、多数のアフリカ諸国の公用語、国際機関においてもフランス語は必須です。この機会に1年間でしっかりとした基礎フランス語を身に付けましょう。
	また学年末には実用フランス語検定5級にもトライしましょう。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 行動経済学 授業コード: 4181 4182

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	総合:選択
担当教員			
橋本之克			
ナンバリング: G13C10	実務家教員による	る授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムリース リース リース リース リース リース リース リース リース リース	【授業内容】 「行動経済学」は心理学の要素を取り入れた新しい経済学の分野であり、人間が無意識に行う不合理な判断や行動を解明するものだ。人間心理を把握すれば、自分自身や周囲の人の行動をより良い方向に導くことができる。既に現実社会において、社会問題やビジネス課題の解決に活用されている。本講座では行動経済学の基本である、不合理な判断や行動のパターンをについて理解する。その知識をふまえて現実の課題解決における活用方法を考えていく。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	【授業目標】 ○C:不合理な行動を避けて、より良い行動を促す方法を考えられる。  ◎D:行動経済学とは何か、不合理な行動の基本的なパターンを理解できる。
授業計画	1 全体概要の解説/行動経済学とは何か 行動経済学の歴史、経済学との違い、人間のとらえ方、行動経済学を学ぶメリットについて理解 する。
	2 ナッジ ナッジの提唱者と基本的な考え方、環境問題、健康問題など現実社会での活用事例を理解する。
	3 ヒューリスティック① 短時間で手近な結論で判断を下す「ヒューリスティック」および関連する主な理論、これらを証明した実験や研究について理解する。 主な理論:「利用可能性ヒューリスティック」「代表性ヒューリスティック」等
	4 ヒューリスティック② ヒューリスティック①で解説した法則に関わる、現実社会の事例について理解する。
	5 プロスペクト理論① 価値の変化と人の反応に関する「プロスペクト理論」および関連する主な理論、これらを証明した実験や研究について理解する。 主な理論:「損失回避、保有効果」「現状維持バイアス」 等
	6 プロスペクト理論② プロスペクト理論①で解説した法則に関わる、現実社会の事例について理解する。
	7 フレーミング① 対象の見せ方で見る人の判断や選択が変わる「フレーミング」および関連する主な理論、これらを証明した実験や研究について理解する。 主な理論:「サンクコスト効果」「決定麻痺」等
	8 フレーミング② フレーミング①で解説した法則に関わる、現実社会の事例について理解する。
	9 時間割引 手に入れるタイミングで価値が変わる「時間割引」および関連する主な理論、これらを証明した 実験や研究、現実社会の事例について理解する。 主な理論:「現在志向バイアス」「上昇選好」等
	10 その他の行動経済学の法則① その他の理論と、これらを証明した実験や研究について理解する。   主な理論:自分を高く評価してしまう「認知的不協和」 等
	11 その他の行動経済学の法則② その他の行動経済学の法則①で解説した法則に関わる、現実社会の事例について理解する。
	12 その他の行動経済学の法則③ その他の理論と、これらを証明した実験や研究について理解する。   主な理論:社会や周囲に合わせてしまう「同調効果」 等
	13 その他の行動経済学の法則④ その他の行動経済学の法則③で解説した法則に関わる、現実社会の事例について理解する。
	14   行動経済学によるマーケティング現象の解釈①   ビジネスの成否を左右する心理的バイアスの事例と、成功や失敗の要因を理解する。   事例:ソーシャルゲーム、サブスク、ポイ活 等
	15 行動経済学によるマーケティング現象の解釈② 買い物における不合理な行動の事例と、その要因を理解する。 事例:ネットオークション、ついで買い 等
学習成果・ 到達目標・基準	○C:不合理な行動の原因を把握し、将来における不合理な行動を予測するなどにより、より良い行動を促す 方法を考えられる。 ◎D:不合理な判断や行動のパターン、これらによって引き起こされる結果を説明できる。
事前・事後学習	主に事後学習を行う。講義内容をふまえて、実生活で見聞きし触れた不合理な判断や行動に対する、自らの意見を整理する。課題が出た際は期限に合わせて作成や提出を行う。(事前2時間、事後2時間)

指導方法	講義によるインプットを中心に行う。新たに学んだ理論に関して理解度を測る小テストや個人ワークを適宜行う。理論の活用に関する個人ワークやグループワークによるアウトプットの機会も設ける。成果物に対するフィードバックは、直後から事後までさまざまなタイミングで、ロ頭から文章コメントまで複数の方法により行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○C:個人ワークやグループワークで提出された成果物、行動経済学の活用アイディアのユニークさや実現性をもとに、個人単位での評価を行う。グループワークへの参加状況なども加味する。 ◎D:小テストの結果、個人ワークやグループワークで提出された成果物の評価を中心に、個人単位で理解度を評価する。 提出課題物(個人およびグループ)40%、小テストの結果 40%、授業における取り組みの積極性 20%
テキスト	基本的に毎回の講義において、文章や図、静止画や動画などを配布する。マイクロソフトのパワーポイント、またはPDFのデータを閲覧および保存できるパソコンが必要。
参考書	特になし。適宜、Web閲覧を求める
履修上の注意	人間心理に対する好奇心や関心をもっていることが必要。 パソコン必携。
アクティブ・ラー ニング	グループワークによる議論、個人ワークやグループワークのプレゼンテーション、Google Workspace上での ワークなど様々な形で行う。

講義科目名称: セールスマネジメント 授業コード: 4251

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	総合:選択	
担当教員	•			
橋本之克				
ナンバリング: G23C09	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

拉来中亞	【校类中央】
授業内容 授業目標 A:主体性・責任感 - ション能力 - ション思考力・判断	【授業内容】 セールスマネジメントの学習テーマは、セールス戦略の構築と遂行である。将来の就職後に行う商品販売から、自分を売る就職活動までセールスは多様だ。あらゆるセールスはターゲットの心理や意思決定プロセスを理解することが重要である。またチームで行うセールス活動はメンバー同士の関係作りも大切だ。これらセールス全般に関わる多様な要素を戦略的に組み立てる「セールスマネジメント」を学習する。ビジネス現場におけるプランディングや広告の事例、人間心理を解明する行動経済学などを交えて幅広く学ぶ。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	【授業目標】 ◎ C:セールスする対象物を分析し、戦略的なアピールの方法を考えられる。 ○ D:セールスの戦略に必要な知識の内容や活用方法を理解できる。
授業計画	1 セールスマネジメント全体概要 セールスマネジメントの要素を把握する。顧客やターゲットとのコミュニケーションを理解す る。
	2 セールスの戦略 戦略的思考と、その重要性を理解する。戦略構築と実行のフレームやセオリーを知り、相手の意 識や行動を変えるコミュニケーション活動を理解する。
	3 情報収集やリサーチ 情報収集や分析の手法を理解する。情報分析の失敗や成功の事例とその要因を把握する。
	4 インサイト (深層心理) とは何か ターゲットのインサイト (深層心理) について、事例をもとに理解する。関連する行動経済学に ついても知る。
	5 さまざまなインサイト(深層心理)と、深層心理を突く方法 ターゲットのインサイト(深層心理)をコントロールする「ポジショニング戦略」や、メディア を活用する戦術を理解する。
	6 セールスの核となるコンセプト コンセプトとは何か、コンセプトの役割、コンセプトの作り方と事例、コンセプト評価手法を理 解する。
	7 セールスに用いるメディア マスメディアやデジタルメディアの活用方法、ターゲットを動かす技法を知る。
	8 ブランド戦略 ブランドとは何か、企業のブランドスローガンが伝える意味、ブランド浸透方法などブランドの 基本を理解する。
	9 ブランドの活用方法 アイキャッチ、視覚や聴覚への訴求など、ターゲットへのアピールに必要なブランド構成要素を 理解する。
	10 チームで行うセールス戦略の留意点 関係者間の意識共有や情報交換におけるミスを回避し、対外的な折衝や交渉を有利に進めるため の必要な心理を理解する。
	対人営業の話法   説得に用いる応酬話法について、さらに行動経済学によって話法を強化する方法を理解する。
	12 自分を売る「就活」におけるアピール   自己や企業を分析する際のミスを回避する、アピール材料を正しい解釈する、面接の準備をス   ムーズに進めるなど、さまざまな活動における留意点を理解する。
	13 セールスのためのプレゼンテーション 事前に得るべき情報、伝え方と残し方などプレゼンテーションの基本を知る。さらに「暗記」に よるプレゼンテーション準備法を理解、実践する。
	14 セールスの戦略構築と実施① グループワークによるセールス戦略の構築:課題のオリエンテーションを受け、グループ討議と 資料作成を行う。
	15 セールスの戦略構築と実施② グループワークによるセールス戦略の構築:戦略の資料作成とプレゼンテーション実施。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎C:セールスする対象物の差別点や優位点、ターゲットの特性を分析し、アピール方法を組み立てられる。</li><li>○D:セールスの戦略に必要なさまざまな知識の特性、用いるべき場面や使い方を理解できる</li></ul>
事前・事後学習	主に事後学習を行う。講義内容をふまえて実生活で見聞きし触れた商品のセールス方法に対して、自らの意見を整理する。課題が出た際は期限に合わせて作成、提出する。(事前30分、事後30分)
指導方法	講義によるインプットを中心に、個人ワークやグループワークによるアウトプットを随時行う。アウトプットされた成果物に対するフィードバックは、直後から事後までさまざまなタイミングで、ロ頭から文章コメントまで複数の方法により行う。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	◎C:個人ワークやグループワークで提出された成果物の評価を中心にグループワークへの参加状況も加味して、戦略の完成度やアイディアのユニークさをもとに個人単位の評価を行う。 ○D:個人ワークやグループワークで提出された成果物の評価を中心にグループワークへの参加状況も加味して、個人単位で理解度を評価する。
	提出課題物 (個人およびグループ) 60%、授業における取り組みの積極性 40%
テキスト	基本的に毎回の講義において、文章や図、静止画や動画などを配布する。マイクロソフトのパワーポイント、またはPDFのデータを閲覧および保存できるパソコンが必要。
参考書	特になし。適宜、Web閲覧を求める
履修上の注意	セールス全般に対する好奇心、特にブランディングや広告に対する関心をもっていることが必要。 パソコン必携。
アクティブ・ラー ニング	グループワークによる議論、個人ワークやグループワークのプレゼンテーション、Google Workspace上での ワークなどさまざまな形で行う。

講義科目名称: プレゼンテーション実践 授業コード: 4101 4102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	総合:選択
担当教員	·		
森田翔、村木桂子			
ナンバリング: G14C12	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	(授業内容) プレゼンテーションの3大要素である「プレゼンス(人間力:誰が伝えるか)」「シナリオ(構成力:何を伝えるか)」「デリバリー(伝達力:どのように伝えるか)」の基礎を学び、社会人として身に付けるべき人間関係の原則について実体験を伴って理解する。
B:コミューク ション能力 C:思考力・判断 力 D:知識・理解	(授業目標) 誰にでも再現可能な型として体系的にスキルを習得することで、自信が身に付き、人前で話すことが好きになり、社会人として即戦力の人材を育成する。 ◎E 人の心を動かし、具体的な行動を促し、周囲に影響力を発揮することができる
E:技能・表現	□□D 習得したスキルを単なる知識に留めるのでなく、状況に応じて的確に活用することができる
授業計画	1 ガイダンス 現状の課題と理想の状態を明確にする ・授業内容と進め方の説明 ・講師の自己紹介
	・自己分析
	2 プレゼンテーションの基礎
	プレゼンテーションの目的を正しく理解する <ul><li>・論理と感情の違い</li><li>・人間の行動心理</li><li>・主導権の所在</li></ul>
	3 選ばれる自己紹介の作り方 1分間自己紹介の型を習得する ・共通点の創出 ・関係性の構築 ・コール&レスポンス
	4 興味を惹きつける伝え方 興味喚起の型を習得する ・ 当事者意識 ・ 問題意識 ・ 理想意識
	<ul> <li>・プロセス意識</li> <li>5 説得力を持たせる伝え方</li> <li>ロジカルプレゼンテーションの型を習得する</li> <li>・PREP法</li> <li>・ホールパート法</li> </ul>
	<ul> <li>・ダイヤモンドモデル</li> <li>信頼を獲得する伝え方</li> <li>信頼獲得の型を習得する</li> <li>・対比</li> <li>・具体例</li> <li>・社会的証明</li> </ul>
	7 人を動かす伝え方 エモーショナルプレゼンテーションの型を習得する ・ゴールデンサークル理論
	・ストーリーテリング 8 資料の作り方と原稿の覚え方 スライドのルールを理解する ・作成の手順 ・アイデアの創出 ・ショートカットキー
	・ショートルットヤー
	10 成果が上がる事前準備の仕方 事前に確認しておくべき必須情報を理解する ・情報の優先順位 ・返報性の法則 ・想定質問
	・恐た質問 11 最終発表会の準備 最終発表会の資料と原稿を推敲する

	12 予選会第1グループ 参加人数が10名以上の場合は予選会を実施し、最終発表会の登壇者を決定する
	13 予選会第2グループ 参加人数が10名以上の場合は予選会を実施し、最終発表会の登壇者を決定する
	14 最終発表会のリハーサル 最終発表会の登壇者とサポートメンバーのチームを作成しリハーサルを行う
	15 最終発表会 (ホール) 学習成果を発表する ・総評
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎E プレゼンテーションの目的を理解し、情報をわかりやすく伝えて、思いを表現することができる</li><li>○D 目的を達成するための手段を理解し、適切な手順で資料を作成して、発表することができる</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:前回の授業内容を授業スライドを見て復習する(30分) 事後学習:毎回の授業課題に取り組む(30分)
指導方法	授業の進行は基本的にパワーポイントを使用し、形式は一方的な講義でなく積極的な実践を多く取り入れる。 インプット→アウトプット→フィードバックを繰り返すことで、スキルを「知っている」状態から「できる」 状態にする。 質疑応答の時間を十分にとり、可能な限り不明な点や不安な気持ちを解消する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E 授業での個人発表、グループ発表、および授業課題の撮影動画から総合的に評価する。 D 授業課題の発表原稿、発表スライド、およびレポートから総合的に評価する。 授業での発表および授業課題40%、期末試験に代替する発表会40%、授業態度および貢献度20%
テキスト	なし。適宜プリントを配布する。
参考書	なし。
履修上の注意	一般的にプレゼンテーションスキルは個人差が大きいとされるが、自分と他人を比較して落ち込む必要はまったくない。自分の特徴を理解してそれを磨くことで、誰もが聞き手に強力な印象を与える唯一無二の話し手になることができる。各自が現状の課題と理想の状態を明確にして、主体的に目標達成を目指してほしい。また、ビジネス現場において圧倒的に結果を出し続けている人は、インプットよりアウトプットを重視している。失敗を前向きに捉えて、発表を恥ずかしがらず、積極的に挑戦してほしい。楽ができる単位ではないが、プレゼンが得意な人も苦手な人も大きく成長することができる。真剣に受講すれば、一生役に立つ実力が手に入ることを約束する。この授業は、経営者や事業家などのプロフェッショナルを対象にプレゼンテーションの指導を行っている日本つかみ協会の講師陣により行われる。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク・ディスカッション・プレゼンテーション

講義科目名称: マーケティング マネジメント論 授業コード: 1801

添付ファイル			
ナンバリング: F23C37	実務家教員に	よる授業	
井上近子			
担当教員			
前期	2	2	服専:選択
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分

授授AムBシCカDE: 大田	現代の企業経営では、"マーケティングなくして経営なし"と言われるように、マーケティングは不可欠な位置づけにある。企業のマネジメントを遂行するためには、マーケティング機能をいかに統合的に組み合わせて展開するかが課題である。本講義では、企業経営におけるマーケティングの役割やポイントについて理解を深める。 (授業目標)企業経営や組織運営に不可欠なマーケティングの役割を理解し、自分の見解や主張をまとめることができる。 ⑤D:理論にもとづいて、企業や組織が取り組むマーケティング戦略の事例について考察し、現状と課題を述べることができる。			
授業計画	1 マーケティングとは マーケティングの歴史的変遷、現代企業におけるマーケティングの役割について			
	2 顧客価値と顧客満足 顧客が得られるベネフィットとコストとの関係、コストパフォーマンスについて			
	3 リレーションシップ・マーケティング パレートの法則、CRM(カスタマーリレーションシップマーケティング)について			
	4 サービス・マーケティング サービスの特性(無形性、同時性、消滅性など)、優れたサービスの定義(SERVQUAL)について			
	5 マーケティング環境の分析 SWOT分析とポーターの5つの競争要因について			
	6 マーケティング・ミックスの重要性 STP (セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング) 戦略、ペルソナ分析について			
	7 価格戦略 内的参照価格、消費者心理を考慮した価格政策について			
	8 流通戦略 直接流通と間接流通チャネルの特徴、店舗とネットの融合について			
	9 販売促進戦略 プッシュ戦略とプル戦略の違い、値引きのネガティブ効果、景品表示法について			
	10 マーケティング・コミュニケーション   広告の変遷、消費者反応プロセス、コミュニケーションのノイズについて			
	11 売上動向の把握 商品回転率と交差比率を活用した利益貢献度分析の方法について			
	12   経験価値マーケティング   SENSE (感覚)、FEEL (喜怒哀楽)、THINK (思考)、ACT (行動)、RELATE (交流) について			
	13   ブランド戦略   ブランド要素、ブランド拡張、ブランド・エクイティ(資産価値)について			
	14   ラグジュアリーブランド戦略   ラグジュアリーとは何か、ラグジュアリーが持つ特性、4つの希少性について			
	15 ソーシャル・マーケティング 企業の社会的責任 (CSR) 、コーズ・リレーテッド・マーケティングについて			
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:マーケティングの基礎理論および用語を説明できる。			
事前・事後学習	事前学習:日々のニュースから企業が取り組むマーケティング戦略について確認しておくこと (90分)。 事後学習:興味ある新聞記事やニュース内容をまとめておくこと (90分)。			
指導方法	プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答			
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験、理解力を確認するため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献度を評価する。 定期試験60%、小テスト課題20%、受講態度・貢献度20%			
テキスト	なし。 必要に応じてプリントを配布する。			

参考書	「基礎コース マーケティング」小原 博著、新世社出版
履修上の注意	日頃からニュースなどで企業が取り組むマーケティング戦略を確認しておくことで、マーケティングの基本的 な発想法を単なる知識としてではなく、感覚として身につけることを望む。
アクティブ・ラー ニング	なし

講義科目名称: ファッション販売論 授業コード: 1421

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	服専:選択
担当教員			
井上近子			
ナンバリング:F13C34	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

提案目標・チームアータ・資化感 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
□: 日本のニュース、店舗調査などからファッション小売業の環状と課題をあげ、解決方法を途べることが できる。  「できる。 ファッションが学来の知識	授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・ュニケー B:コン能力 ション能力 C:思考力・判断	化の条件とはいえなくなってきている。そのため、お客様に豊かな衣料サービスを提供できる販売スタッフが   求められている。本講義では、ファッション販売に必要な接客技術や事務管理、商品知識、売場づくりの方法   について解説する。また、ファッション小売業の現状と課題、進展についても取り上げて講義を行う。7月、12   月に実施される「ファッション販売能力検定3級」の受験に対応し、授業の中で傾向と対策の時間を設けている。   (授業目標)
ファッションの主変を分替。 (高品計画の流れについて ファッションハ売業の構造と特徴 ファッションハ売業の機能、百貨店、専門店の特徴について 3 SPAとセレクトショップ 企画から販売方法、組織が態の違いについて 4 ファッション小売業のマーケティング戦略 セグメンテーション・ルーグティング・ボジショニングの設定について 5 コンセブトの策定 トレンド情報の収集、シーズンコンセプト、スタイリングテーマについて 6 営業計画の策定 書業期、品揃え計画、販売促進計画、売場レイアウトについて ア場構成、商品権利の基本知義 VIDICおける3つの手法、空間情報の種類、商品権列の基本技術について 関方から関店までの基本的な業務内容、被客用語、電話応対、クレーム対応と処理について 関方の通ので取情 販売の流れと販売員の基本動作、コンサルティングセールスについて 10 顧客管理の基本知識 画客管理経管の重要性、固定客づくりについて 11 売場における計数管理 子弊比、前年に、客単価、値入高と相利益、商品回転率について ファッションの高品の知識 アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエットをラインについて 13 素材の知識 素材の短額、その長所と短所、柄について 14 サイズ・品質表示 サイズの認み方、組成表示、取検表示、原産国表示、品質マーク表示について 店舗調査の項目と方法 素材の短額、その長所と短所、柄について 14 サイズ・品質表示 サイズの認み方、組成表示、取検表示、原産国表示、品質マーク表示について 店舗調査の項目と方法 素材の空間、その長所と短所、構について 第一年後学者・基準・基準 フィッション販売の場合と、一次・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・シー・エースや店舗調査などからアバレル・小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて 主を分割に対していることが大かけである。 本のように対していることが大がしている。 第一年後学者:興味のある記事・ニュース、店舗調金内容をまとめる(90分)。 指導方法 アセスメント・ 成確評価の方法 基準 アセスメント・ 成確評価の方法 基準 アセスメント・ 成確評価の方法 基準	刀   D:知識・理解   E:技能・表現	◎D:日々のニュース、店舗調査などからファッション小売業の現状と課題をあげ、解決方法を述べることが
ファッション小売業の業態、百貨店、専門店の特徴について 名	授業計画	
3 SPAとセレクトショップ		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
4 ファッション・売業のマーケティング戦略 セグメンテーション・ターゲティング・ボジショニングの設定について 5 コンセプトの策定 トレンド情報の収集、シーズンコンセプト、スタイリングテーマについて 6 営業別、品揃え計画、販売促進計画、売場レイアウトについて 7 売場構成、商品限列の基本知識 WMDにおける3つの手法、空間構成の種類、商品陳列の基本技術について 8 販売員の業務内容と基本ウナー 関店から関方までの基本的な業務内容、接客用語、電話応対、クレーム対応と処理について 9 購買心理の7段階 販売の流れと販売員の基本的作、コンサルティングセールスについて 10 顧客費也を基本的識 顧客満足経営の重要性、固定客づくりについて 11 売場における計数管理 子算比、前年比、客単値、値入高と粗利益、商品回転率について 12 ファッション商品の知識 アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエット&ラインについて 13 素材の知識 素材の種類 素材の種類 素材の種類 素材の種類 素材の種類 をの長所と短所、柄について 14 サイズ・品質表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について 15 店舗置をの項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 16 店舗置をの項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 17 実場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくりの方法について 18 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて まとめておくこと(90分) 事後学習、興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 16 第方法 フリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早で書きることを心がけることが大切である。フィードバックの方法:①小テスト実施。②小テスト実施後における登録応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準		3 SPAとセレクトショップ
トレンド情報の収集、シーズンコンセプト、スタイリングテーマについて 営業計画の策定 営業別、品揃え計画、販売促進計画、売場レイアウトについて 7 売場構成、商品陳列の基本知識 VMDにおける3つの手法、空間構成の種類、商品陳列の基本技術について 期店から閉店までの基本的な業務内容、接客用語、電話応対、クレーム対応と処理について 関連での活れと販売員の基本動策 顧客衛理の五本知識 配置を満足経営の重要性、固定各づくりについて 10 顧客管理の基本知識 配置を満足経営の重要性、固定各づくりについて 11 売場における計数管理 予算比、前年比、客単価、値入高と粗利益、商品回転率について 12 ファッション商品の知識 アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエットをラインについて 13 素材の種類、その長所と短所、柄について 14 サイズ・品質表示、取扱表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について 15 店舗調査の項目と方法 売場報略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 16 店舗調査の項目と方法 売場報略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 17 少イズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について 18 禁材の種類、その長所と短所、柄について 19 世界・基準 事前学習、日本のニュースや店舗調査などからアパレル・売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べてまとめておくことと(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 事後学習:現味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 アセスメント・ 成績評価の方法・基準 アイアスメント・ の成績評価の方法・連邦大阪の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度を評価する。 定別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度を評価方法・ 定別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度と評価方法・ 定別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施をのサストスト課題、受講態度および授業への貢献 度と評価方法・ 定別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度と評価表し、定別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施でもハテスト課題、受講態度および授業への貢献 度と評価表し、定別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施をしまりましましましましましましましましましましましましましましましましましまし		4 ファッション小売業のマーケティング戦略
営業期、品揃え計画、販売促進計画、売場レイアウトについて		1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -
WMにおける3つの手法、空間構成の種類、商品陳列の基本技術について  「販売員の業務内容と基本マナー開店から閉店までの基本的な業務内容、接客用語、電話応対、クレーム対応と処理について  「関係で国の基本知識		The state of the s
開店から閉店までの基本的な業務内容、接客用語、電話応対、クレーム対応と処理について		
販売の流れと販売員の基本動作、コンサルティングセールスについて  10 顧客管理の基本知識 顧客満足経営の重要性、固定客づくりについて  11 売場における計数管理 予算比、前年比、客単価、値入高と粗利益、商品回転率について  12 ファッション商品の知識 アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエット&ラインについて  13 素材の知識 素材の知識 素材の種類、その長所と短所、柄について  14 サイズ・品質表示 サイズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について  15 店舗調査の項目と方法 売場帳略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて  学習成果・ 到達目標・基準 事前・事後学習 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアバレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べてまとめておくこと(90分)。 事後学習:男味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 事後学習:奥味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 オリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなるため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。フィードバックの方法: ①小テスト実施(②小テスト実施(②小テスト実施(②・カーストま実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施)では、カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・実施)で、カースト・実施(②・カースト・ディースト・カースト・ディースト・カースト・カースト・カースト・カースト・カースト・カースト・カースト・カ		7
顧客満足経営の重要性、固定客づくりについて  11 売場における計数管理 予算比、前年比、客単価、値入高と粗利益、商品回転率について  12 ファッション商品の知識 アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエット&ラインについて  13 素材の和識 素材の和識 素材の種類、その長所と短所、柄について  14 サイズ・品質表示 サイズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について  15 店舗調査の項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて  学習成果・ 到達目標・基準 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて まとめておくこと(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。  指導方法 ブリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答  アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準 テキスト  なし。  「実別試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度を評価する。 定期試験60%、小テスト課題20%、受講態度・貢献度20%		71.27 - 27 - 124
予算比、前年比、客単価、値入高と粗利益、商品回転率について 12 ファッション商品の知識 アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエット&ラインについて 13 素材の知識 素材の種類、その長所と短所、柄について 14 サイズ・品質表示 サイズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について 15 店舗調査の項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 学習成果・ 到達目標・基準 事前・事後学習 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて まとめておくこと(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 指導方法 プリント、パワーポイント・および授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準 テキスト なし。		
アイテム・デザインによる分類、ディテール、シルエット&ラインについて 13 素材の知識 素材の種類、その長所と短所、柄について 14 サイズ・品質表示 サイズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について 15 店舗調査の項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて  学習成果・ 到達目標・基準 事前・事後学習 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて まとめておくこと(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。  指導方法  ブリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答  D:定期試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度を評価する。 定期試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度を評価する。 定期試験の%、小テスト課題20%、受講態度・貢献度20%  なし。		7= //·· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
素材の種類、その長所と短所、柄について  14 サイズ・品質表示 サイズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について  15 店舗調査の項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて  学習成果・ 到達目標・基準 事前・事後学習 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて まとめておくこと (90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる (90分)。  指導方法  プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答  D:定期試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献 度を評価する。 定期試験60%、小テスト課題20%、受講態度・貢献度20%  なし。		
サイズの読み方、組成表示、取扱表示、原産国表示、品質マーク表示について 店舗調査の項目と方法 売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 学習成果・ 到達目標・基準 事前・事後学習 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べてまとめておくこと(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。  指導方法 プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなるため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答 アセスメント・成績評価の方法・基準 アセスメント・ 成績評価の方法・基準 テキスト なし。		
売場概略、商品特性、商品構成、価格帯、売場づくり、客層、接客サービスについて 学習成果・ 到達目標・基準 事前・事後学習 事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べて まとめておくこと (90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる (90分)。  指導方法 プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなる ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準 アキスト  ひし。  の		
到達目標・基準 る。     事前・事後学習    事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べてまとめておくこと(90分)。    事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。		7,
事前・事後学習         事前学習:日々のニュースや店舗調査などからアパレル小売業の現状に触れる。分からない専門用語を調べてまとめておくこと(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュース、店舗調査内容をまとめる(90分)。           指導方法         プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で授業を行う。板書が多くなるため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答           アセスメント・成績評価の方法・基準         D:定期試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献度を評価する。定期試験60%、小テスト課題20%、受講態度・貢献度20%           本し。	学習成果・ 到達目標・基準	
ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	事前・事後学習	まとめておくこと(90分)。
成績評価の方法・ 度を評価する。 基準	指導方法	ため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。
テキスト なし。	アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	度を評価する。
	テキスト	

参考書	「ファッション販売3 ファッション販売能力検定3級公式テキスト」大沼淳著、一般財団法人 日本ファッション教育振興協会発行
	ション教育振興協会発1]  「ファッション販売3 ファッション販売能力検定試験3級公式問題集」一般財団法人 日本ファッション教育    振興協会発行
履修上の注意	日頃から店舗調査を行い、アパレル小売業の現状に触れることで、授業で学んだを知識を感覚として身につけ ることを望む。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: 店舗運営 授業コード: 1381

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	服専:選択
担当教員			
井上近子			
ナンバリング:F13C35	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業 大田 で標 大田 で標 大田 で標 大田 ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	揃えなど満足のいく のな要性や店舗形 のな要性やる。 (授業界にも を り で き り で き り き り に き り に き に き に き に き に き に き に	巻く環境は厳しい状況にあり、小売業者による生活者ニーズに合った店づくり、商品の品対応が求められている。本講義は、流通における小売業の基本的役割を理解し、流通経路別小売業の特徴、計数管理や売場陳列の基本を明らかにしながら、店舗運営の重要性につテールマーケティング(販売士)検定3級」の取得を目指し、授業の中で傾向と対策の時間イヤーや店長となる人材として「リテールマーケティング(販売士)検定3級」程度の知識を理解し、店舗形態別小売業の現状と課題を述べることができる。	
E:技能·表現			
授業計画		とは何か のしくみ、小売業の機能と役割について	
		形態別小売業の基本的役割(1)百貨店と専門店 店の課題と取り組み、専門店の種類について	
	,	形態別小売業の基本的役割 (2) 量販店 ーンストア展開によるスケールメリットについて	
		形態別小売業の基本的役割 (3) コンビニエンスストア 方法と運営上の特徴、本部と加盟店の関係について	
	- /1///	形態別小売業の基本 ュラーチェーン、フランチャイズチェーン、ボランタリーチェーンの特徴について	
	- //	浦販売の形態 販売、移動販売、通信販売の特徴、020から0M0の変遷について	
		ッピングセンターの現状と課題 引分類と特徴について	
		業におけるマーケティング戦略 環境と内部資源の把握、標的市場と商圏の設定について	
		ケティング・ミックスの構築 構成、価格設定、流通、販売促進について	
		的な価格政策と心理的価格政策 者心理に基づいた価格政策について	
		管理(1)原価と値入と売価の関係、商品回転率と交差比率 高と値入率、商品回転率および日数の算出方法、交差比率について	
		管理(2)予算比、前年比、客単価、買上率について 表および営業日報に必要な数字管理について	
	104001	東列の基本知識 器具と販売方法における基本陳列の種類について	
	14 VMDの 売場(	基本 こおけるVMDの手法について	
		寅出の技術 照明の種類と役割、ディスプレイ効果を高める色彩の活用について	
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:小売業におけ	る業種と業態の特徴、店舗運営の流れを説明できる。	
事前・事後学習	事前学習:新聞記事や経済誌、テレビ等で新製品や店舗運営に関するニュースを確認し、分からない専門用語 を調べてまとめておく (90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュースを1つ取り上げて、要約する (90分)。		
指導方法	素早く書き取ること	イントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で行う。板書が多くなるため、 を心がけることが大切である。 法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答	
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験、理解 への貢献度を評価す	<b>型力の確認および検定試験対策のため実施する授業内小テスト、課題、受講態度および授業</b>	
テキスト	なし。 必要に応じてプリン		

参考書	「販売士ハンドブック(基礎編)〜リテールマーケティング(販売士)検定試験3級対応〜」日本商工会議所編、株式会社カリアック
	「1回で合格!リテールマーケティング検定3級過去問題集」上岡史郎著、成美堂出版。
履修上の注意	「リテールマーケティング(販売士)検定3級」の資格取得を目指す学生は、本科目と「販売管理」の2科目を同学期に履修し、以下の条件を満たすことで、検定試験5科目のうち1科目が受験免除される。①第1回の授業に出席すること(本学で受験免除希望者名簿を作成するため)。②学期末に学内で実施する予備試験までの出席率が80%以上であること。③予備試験は70点以上であること。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: 販売管理 授業コード: 1391

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	服専:選択
担当教員			
井上近子			
ナンバリング:F13C36	実務家教員に。	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	小売業における販売管理とは、事務管理から人事管理、法規、経営に関する分野まで多岐にわたる。本講義は、販売員の知識として必要な法規から経営に関する計数管理について解説していく。「リテールマーケティング(販売士)検定3級」の取得を目指し、授業の中で傾向と対策の時間を設けている。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	(授業目標)  流通業界における販売員や店長となる人材として「リテールマーケティング(販売士)検定3級」程度の知識を
ション能力 C:思考力・判断 力	身につける。  ◎D:小売業経営に必要な人事管理、販売管理の留意点、財務諸表の見方、販売活動に関する法規の知識を修  得する。
D:知識・理解 E:技能・表現	ਜਿੱਧ 🗸 🗸 🗸
授業計画	1 販売員の目的と役割 販売員と顧客の関係、クレームや返品への対応について
	2 購買心理の8段階 顧客心理と接客販売技術について
	3 顧客管理の基本的役割 顧客満足経営の基本知識、FSP(フリークエントショッパーズプログラム)について
	4 販売員の法令知識(1)小売業に関する法規 事業の許認可に関する法規、小売業の適正確保に関する法規の変遷について
	5 販売員の法令知識 (2) 販売活動に関する法規 割賦販売法、品質表示、景品表示法について
	6 販売員の法令知識 (3) 環境に関する法規 各種リサイクル法と販売店の課題について
	7 包装技術の基本 包装の種類と方法、慶弔進物の基本知識について
	8 ディスプレイ効果を高める色彩の活用、店舗照明の基本 色の持つ特性、照明による演出について
	9 POSシステム POSシステムのしくみ、販売データの活用方法について
	10 在庫管理の意義 過剰在庫の発生原因、金額および数量管理について
	11 小売業における組織の基本原則 企業における組織形態、組織の基本原則について
	12 小売業における従業員管理 職場の人事管理、人材育成とリーダーシップのあり方について
	13 損益計算書の見方 4つの費用と5つの利益、損益分岐点売上高の計算方法について
	14 貸借対照表の見方 流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、自己資本比率の計算方法について
	15小売業におけるリスクマネジメント防犯対策と店舗施設の保守
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:販売員に必要な法規や計数管理について説明できる。
事前・事後学習	事前学習:新聞記事や経済誌、テレビ等で小売経営や販売に関するニュースを確認し、分からない専門用語を調べてまとめておく(90分)。 事後学習:興味のある記事・ニュースを1つ取り上げて、要約する(90分)。
指導方法	プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用い、講義形式で行う。板書が多くなるため、素早く書き取ることを心がけることが大切である。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験、理解力の確認および検定試験対策のため実施する小テスト課題、受講態度および授業への貢献度によって評価する。 定期試験60%、小テスト課題20%、受講態度・貢献度20%
テキスト	なし。 必要に応じてプリントを配布する。
·	

参考書	「販売士ハンドブック(基礎編)〜リテールマーケティング(販売士)検定試験3級対応〜」日本商工会議所編、株式会社カリアック
	「1回で合格!リテールマーケティング検定3級過去問題集」上岡史郎著、成美堂出版。
履修上の注意	「リテールマーケティング(販売士)検定3級」の資格取得を目指す学生は、本科目と「店舗運営」の2科目を同学期に履修し、以下の条件を満たすことで、検定試験5科目のうち1科目が受験免除される。①第1回の授業に出席すること(本学で受験免除希望者名簿を作成するため)。②学期末に学内で実施する予備試験までの出席率が80%以上であること。③予備試験は70点以上であること。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: キャリアゼミ:ファッション ビジネスゼミ 授業コード: (セールス)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	服専:必修
担当教員			
井上近子			
ナンバリング:F37A58	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内標 授業目標 A: ナーク・ カリニン能力 B: コン能力 ショ: ン能力 ショ: 判断 カ	学生の職業意識 講義、グルー は学科担当教 前半は、ファ	ン ビジネスゼミ(セールス)」 識を高め、将来の夢を実現させるため、モデル別に行うゼミナールである。 プワーク、プレゼンテーション形式で行われ、業界の専門知識やスキルを主体的に学ぶ。前半7回 員、後半8回はキャリアセンターが指導を行う。 ッション業界の企業と職種を知り、店舗調査を通して販売に必要な知識を理解する。 活動の開始時期に適切なスタートが切れるように、面接試験や履歴書の書き方などの基本的知識
D:知識・理解 E:技能・表現	とができる。	ション小売業における現状と課題をあげ、解決方法について論理的にプレゼンテーションするこ 業界の求められる人材やスキルを理解し、そのための対策や準備を進めることができる。
授業計画	1	ファッション業界の基礎、ファッション販売員の研究(1)グループワーク(井上) 本ゼミナールの概要、業態別におけるファッション販売員の役割、売れる販売員の条件とは
	2	ファッション販売員の研究 (2) グループワーク (井上) 業態別におけるファッション販売員の役割、売れる販売員の条件とは
	3	ファッション販売員の研究 (3) グループワーク (井上) 「ファッション販売員の研究」のプレゼンテーション、評価と振り返り
	4	2年生内定者体験講話、就活サイトの活用方法(井上) 就職活動の注意点とアドバイス、キャリアNavi、Webの活用方法
	5	店舗運営の研究(1)グループワーク(井上) 販売員から見た店舗運営のあり方、客数および売上を上げる方策とは
	6	店舗運営の研究(2)グループワーク(井上) 販売員から見た店舗運営のあり方、客数および売上を上げる方策とは
	7	店舗運営の研究(3)プレゼンテーション(井上) 「店舗運営の研究」のプレゼンテーション、評価と振り返り
	8	オリエンテーション 、SPI模試(キャリアセンター) 就職活動における筆記試験対策としてSPI模擬試験を行う
	9	就職活動の準備について (キャリアセンター) 求人の探し方や企業研究の方法
	10	履歴書の書き方を知る① (キャリアセンター) 自己分析を通して自分の強みを考える
	11	就職活動、面接でのマナー講座(キャリアセンター) 就職活動で必要なマナー(立居振舞、言葉遣い)などの基本を学ぶ
	12	履歴書の書き方を知る② (キャリアセンター) 志望動機の書き方のポイントについて
	13	就職活動で必要な面接のポイント①(キャリアセンター) 基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	14	就職活動で必要な面接のポイント②(キャリアセンター) 基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	15	振り返り(キャリアセンター) 履歴書や面接ロールプレイングの内容をもとに振り返り
学習成果・ 到達目標・基準		考えを論理的に説明できる。 動のスケジュールや必要な準備を理解している。
事前・事後学習	報を得ておく。指定した資料	アッション誌やビジネス情報誌、あるいはインターネットから最新のファッション・ビジネス情 を用いて自己分析を行い、興味のある業界を調べておく(20分)。 回のテーマを振返り、就職活動に役立てるように資料にまとめておく(25分)。
指導方法	(前半7回) / プレゼンテー 戦略を学ぶ。	ペワーポイントを使用した講義とグループワーク形式で授業を展開する。特に、グループワーク、ションを積極的に実施する。アパレル企業の店舗調査を行い、店舗運営の特徴やマーケティングペワーポイントを使用した講義、履歴書の実作や面接ロープレイングによる実践形式で授業を展開

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:プレゼンテーション、課題を評価する。 D:授業態度(参加度、積極性)を評価する。 プレゼンテーション40%、課題30%、授業態度・貢献度30%
テキスト	適宜プリント資料を配布する。
参考書	参考文献に関してはその都度指示する。
履修上の注意	(前半7回) 日頃から4P(商品、価格、立地、販売促進)の視点で店舗調査を行い、問題点と改善策を考える習慣を身につけること。 (後半8回)業界理解を深め、就職活動の基本的なスキルアップを目的とする。全員が履歴書実作、模擬面接などの実践を行う。
アクティブ・ラー ニング	(前半7回)グループワーク、プレゼンテーション (後半8回)履歴書実作、模擬面接などの実践

講義科目名称: ファッション ビジネスゼミ (販売) 授業コード: 1751

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	服専:選択
担当教員			
井上近子			
ナンバリング:F37C58	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	ファッション業界における販売職の就職を希望する学生を対象にしたゼミであり、講義、グループワーク、プレゼンテーション形式等で行う。1年次キャリアゼミのプレゼンテーション内容「売れる販売員の条件」「売上を上げる方策」を踏まえて、店長や売場責任者にとって必要な店舗運営や販売管理などの経営的視点を養い、「理想のアパレル店舗」を立案することを目的とする。 (授業目標)
ション能力 C:思考力・判断 力	ファッション小売業の店舗運営に必要となる知識を理解し、自分の見解や主張を述べることができる。   ○ A:店舗運営に対して積極的に調査を行い、ファシリテーターとしてグループ内の話し合いを通じて自分の   考えをまとめる力を身につける。
D:知識・理解 E:技能・表現	<ul><li>◎E:自分の見解や主張を状況に相応しい手法を用いて、論理的にプレゼンテーションすることができる。</li></ul>
授業計画	1 ファッション業界の現状 本ゼミナールの概要、ファッション業界の現状について
	2 店舗運営コスト (1) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗運営」の研究
	3 店舗運営コスト (2) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗運営」の研究
	4 店舗運営コスト (3) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗運営」の研究
	5 店舗運営コスト (4) (プレゼンテーション) 「店舗運営コスト」のプレゼンテーションおよび評価と振り返り
	6 店舗出店コスト (1) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗出店」の研究
	7 店舗出店コスト (2) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗出店」の研究
	8 店舗出店コスト (3) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗出店」の研究
	9 店舗出店コスト (4) (グループワーク) 「アパレル小売業における店舗出店」の研究
	10 店舗出店コスト(5)(プレゼンテーション) 「店舗出店コスト」のプレゼンテーションおよび評価と振り返り
	11 理想の店舗(1)(グループワーク) 「理想の店舗」に必要な条件(人、モノ、カネ、ノウハウ)の抽出
	12   理想の店舗(2) (グループワーク)     「理想の店舗」の研究
	13
	14 理想の店舗(4)(グループワーク) 「理想の店舗」の研究
	15 理想の店舗(5)(プレゼンテーション)   「理想の店舗」のプレゼンテーションおよび評価と振り返り
学習成果・ 到達目標・基準	○A:店舗運営に対して興味を持ちながら話し合いを進めることができる。 ◎E:自分の見解を論理的に人前で説明できる。
事前・事後学習	事前学習:ファッション誌やビジネス情報誌、インターネット、店舗調査から最新のファッション・ビジネス情報を得ておく(20分)。 事後学習:情報収集した内容をもとに「売るための戦略」についてまとめる(25分)。
指導方法	パワーポイントを使用した講義とワークショップ形式で授業を展開する。特に、グループワーク、プレゼン テーションを積極的に実施する。ファッション企業の店舗調査を行い、店舗運営の手法やマーケティング戦略 を学ぶ。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:主体性・チームワーク・責任感:ファシリテーター役など授業への貢献度を評価する。 E:プレゼンテーションの取り組みおよび発表を評価する。 プレゼンテーション40%、課題30%、授業態度・貢献度30%
テキスト	適宜プリント資料を配布する。
<u> </u>	-

参考書	参考文献に関してはその都度指示する。
履修上の注意	日頃から4P (商品、価格、立地、販売促進) の視点で店舗調査を行い、問題点と改善策を考える習慣を身につけること。
アクティブ・ラー ニング	・グループワーク ・プレゼンテーション

講義科目名称: カラーコーディネート論 授業コード: 1351

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	1	2	服専:選択		
担当教員					
新井葉子					
ナンバリング:F11C06	実務家教員による授業				
添付ファイル				·	

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	色彩について物理科学的側面、生理・心理的側面、文化的側面から基本知識を修得する。日常生活のなかにある実例をあげながら、色が見えるしくみ、色名、色の心理効果、配色方法、ファッションの色彩、インテリアの色彩などについて順序立てて学ぶ。色彩検定受験者には検定対策の参考となるように問題集も活用する。(授業目標) 色の3属性(色相・明度・彩度)のしくみについて確実に理解する。
ション能力 C:思考力・判断 力	◎D:色相、明度、彩度について理解し、色相環・トーン図の基本を描くことができる。  ○E:慣用色名の例を挙げて詳しく説明することができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 色のはたらき 色と心地よさ、色とイメージ、色とアピール 色と区別、色と見やすさの調節 色と統一感、色と象徴
	2 色はなぜみえるか (Classroom) 光とは何だろう 光の性質と色
	3 眼のしくみ (Classroom) 色を見る眼のしくみ 網膜における光の処理 照明と色の見え方
	4 混色とは何か (Classroom) 加法混色 減法混色 混色を応用した身近な例
	5 色の3属性 (Classroom)
	6 PCCS (Classroom) 色相、明度、彩度 3属性による色の表示 色相環、トーン
	7
	8 色の心理効果 (Classroom) 色の連想と象徴 残し、対比、同化、面積効果
	9       配色イメージ (Classroom)         色相と配色イメージ       明度と配色イメージ         彩度と配色イメージ       トーンと配色イメージ
	10       色彩調和① (Classroom)         色相を手がかりにした配色       トーンを手がかりにした配色         色相とトーンを組み合わせた配色       0
	11
	12 ファッションと色彩Classroom)   流行色のしくみ   色相とトーンを組み合わせたカラーコーディネート   パーソナルカラー診断の基本
	13 インテリアと色彩 (Classroom) インテリアデザイン

	インテリアのカラーコーディネート インテリアにおける色の心理的効果
	14 色と文化Classroom)
	色と時代 色と美術 色と文学 色と食文化 色と音楽
	15 色と世界 (Classroom)
	世界の国の象徴色、国旗フランスの四季の配色
学習成果・ 到達目標・基準	●相、明度、彩度という色の3属性の意味を理解すること。色名を覚え、色彩心理を活かした配色調和を自由に行える基礎知識を身につける。 ◎ D:色相、明度、彩度について理解できる。 ○ E:慣用色名の例を挙げて由来を説明することができる。
事前・事後学習	事前学習: 次回の講義内容に相当するテキストを読み、項目ごとにレポートとしてまとめる (90分)。 事後学習:授業中に行った練習問題を見直し、相当するテキストと並行して理解を深める (90分)。
指導方法	色とはなにかという身近な疑問を明らかにするために、毎回配色カードを使用し視覚的な訓練を大切にする。 順序立てて色のしくみが理解でき、色による心理作用を効果的に活用できる基盤を養うことをめざして指導する。
	色彩検定受験者には検定対策に直結するように、問題集をテキストとして活用する。 パワーポイントを使用し、生活の中での実例を紹介するなどわかりやすい工夫を行う。 classroomで課題を配信し、提出を求める。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験、小テストを評価する。 E:課題を評価する。 課題20%、小テスト50%、授業態度・貢献度30%
テキスト	「文部科学省後援 色彩検定 改訂版公式テキスト3級」 (色彩検定協会) 「文部科学省後援 色彩検定2·3級問題集」A·F·T最新テキスト対応 (新星出版) 「新配色カード199a」(日本色研事業株式会社) 「新配色カード199用演習台紙」(日本色研事業株式会社)
参考書	「文部科学省後援 色彩検定 改訂版公式テキスト2級」 (色彩検定協会)
履修上の注意	毎回、テキスト、新配色カード199a、はさみとのりを各自持参する。 新配色カードを常に持ち歩き、カラーサンプルと色名を対応させる習慣をつける。 身の回りの色彩に興味を持ち、授業で学ぶ知識との関連を心掛ける。 1年後期「カラーコーディネート演習」、2年前期「トータルコーディネート演習」は、本科目を単位修得済であることが履修の条件となる。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: カラーコーディネート演習 授業コード: 1361 1362 1363 1364

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	服専:選択	
担当教員		·		
新井葉子				
ナンバリング: F21C07	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

拉米中亞	[-h-= -	ゴ、み 1 秋、云兴)となる。甘味原熟ともより、 。 ひようよこ   沙峡の甘葉と兴水 四人こ
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	色と似合わな トを通して美	ディネート論」で学んだ色彩の基礎知識を生かし、パーソナルカラー診断の基礎を学び、似合う い色の見分け方を身につける。また、アーティフィシャルフラワーによるフラワーコーディネー しい配色調和の方法を身につける。アロマセラピーのエッセンシャルオイルを用い、色と香りの 感と色彩について理解を深める。
B:コミュニケー	(授業目標)	
ション能力 C:思考力・判断	色彩調和の原 ② E:目的や	「則を理解し、目的や場面に合う魅力的な配色ができるようになる。 ・場面に応じ、主な配色技法を用いてフラワーコーディネート制作ができる。
力   D:知識・理解	OC:パーツ	ナルカラー診断の基本的しくみを理解し、自分自身のベストカラーを導き出せる。
E:技能・表現		
授業計画	1	パーソナルカラー3級 序章、1章
		色彩活用としてのパーソナルカラー パーソナルカラーの基本
	2	パーソナルカラー3級 2章
		色のイメージを豊かにする
		4タイプ別慣用色名 【課題1】
	3	パーソナルカラー3級 3章
		似合う色の基準を知る
		肌、眼、髪の色素の見分け方 【課題2】
	4	パーソナルカラー3級 4章・5章
		似合う色を客観的に探す ドレーピング方法
		診断の準備
	5	パーソナルカラー3級 5章
		パーソナルカラー診断 カラーペーパーによる相互診断
		【課題3】
	6	パーソナルカラー3級 5章
		診断結果まとめ 4つのタイプ
		6つの得意な要素
		【課題4】
	7	パーソナルカラー3級 6章
		似合う色を取り入れるトータルコーディネートのコツ 素材の質感、柄
	8	ライン、ボリューム、光沢 同系色と反対色の確認
	0	色相差による配色
		同系色、反対色
	9	イメージによる配色 同系色のブーケ①花選び
	9	市が色のプークは化選び 花と葉を選ぶ
		色相・トーン表に記入
	10	同系色のブーケ②制作
		ワイヤリング、テーピング
	11	同系色のブーケ③仕上げ、完成、提出
		持ち手のステムの処理 リボン仕上げ
		撮影
		エッセンシャルオイル 【課題5】
	12	「味趣 <sup>3</sup> 」 反対色のブーケ①花選び
		花と葉を選ぶ
		色相・トーン表に記入
	13	反対色のブーケ②制作
		ワイヤリング、テーピング
	14	反対色のブーケ③仕上げ、完成、提出 持ち手のステムの処理
		付り十切へ/みり処理

	リボン仕上げ 撮影 エッセンシャルオイル 【課題6】 15 ブーケ発表 色相差の効果 配色イメージ プレゼンテーション 【課題7】
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎E:基本的な配色技法を用いてフラワーコーディネート制作ができる。</li><li>○C:パーソナルカラー診断の基本的しくみを理解できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:配色技法のトレーニング、課題の準備に取り組む (20分)。 事後学習:理解不足の部分を復習する (25分)。
指導方法	毎回パワーポイントを使用する。 パーソナルカラー診断は、グループで相互診断を行えるよう指導する。 フラワーコーディネート制作は、パワーポイント資料を各自参考にする。 フィードバックの方法:提出された課題に対して教員から項目ごとの評価を伝える。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:パーソナルカラーの基本知識と診断力を課題で評価する。 E:フラワーコーディネート制作課題において、配色調和の完成度とバランスを評価する。 課題70%、授業態度・授業貢献度30%
テキスト	「色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト3級」 「色彩活用パーソナルカラー検定 3級・2級公式問題集」 *「新配色カード199a」(日本色研事業) *は、1年前期に購入したものが使えれば継続使用できる。
参考書	「はじめてのインテリアブーケ」渡辺俊治監修 (株式会社KADOKAWA) 「アーティフィシャルフラワー基本テクニック2 イメージを伝える 花合わせ色合わせのコツ」渡辺俊治 (六 耀舎)
履修上の注意	①前期「カラーコーディネート論」を単位修得済みであることが履修の条件である。 ②授業時にテキスト、問題集、「新配色カード199a」、「新配色カード199用演習台紙」を各自持参する。 ③グルーワークでは、マウスシールドを使用する予定である。
アクティブ・ラー ニング	制作実習 グループワーク

講義科目名称: トータルコーディネート演習 授業コード: 1191 1192 1193 1194

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	服専:選択	
担当教員				
新井葉子				
ナンバリング:F21C08	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業内容	マの ( た ) しょ	装いには、スタイル分析による体型、パーソナルカラー分析による色素、アイデンティティ分析
授業目標	によるイメー	ジ、商品知識やファッショントレンドなど、多くの情報を同時にまとめるための知識と構成力が
A: 主体性・チー また成	必要である。	イメージコラージュ制作を通して、なりたい自分を明確にし、トータルコーディネートの実践的
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	な刀を身につ	ける。多くの要素をまとめる力は、他人へのコーディネート提案に応用ができる。コーディネー 用してアバター「もう一人の自分」を試作する。自分らしさ生かしたビーズブレスレットを制作
ション能力	して個性を表	現し、自分らしいファッションについて各自プレゼンテーションを行う。
C : 思考力・判断   力	(授業目標)ファッション	が自分らしさの自己表現であることを実習を通して学び、個性を生かしたトータルコーディネー
D:知識・理解 E:技能・表現	ト提案ができ	
D. IXE. 45		ナルスタイルとカラーを生かしたブレスレットを制作することができる。
授業計画	1	ファッション用語(1)
		ファッション用語のカテゴリー10分類 カテゴリーごとの用語例
	2	ファッション用語(2)
		コーディネートの説明文を分析
		【課題1】
	3	スタイル診断(1)
		コーディネートのものさし プロポーション測定
		理想と現実のプロポーション
		【課題2】
	4	スタイル診断 (2) 顔型と顔のパーツ分析
		顔空と顔のパーノガ州 メイクアップとヘアスタイルの分類
	5	スタイル診断(3)
		上半身のスタイル分析
		ファッションアイテム:トップスの分類
	6	スタイル診断 (4) 下半身のスタイル分析
		ファッションアイテム:ボトムスの分類
	7	【課題3】 なりたい自分のイメージ(1)
	1	イメージコラージュ制作
		イメージを形にする方法
	8	【課題4】 なりたい自分のイメージ(2)
	0	コーディネートアプリの活用
		もう一人の自分をアバターで作成
		【課題5】
	9	パーソナルカラー(1) 4つのタイプ
		4つのタイプ 6つの得意な要素
	10	パーソナルカラー (2)
		カラーペーパーによる診断
	11	グループワークにおいて、診断を体験 パーソナルカラー (3)
	11	からなった。   診断結果まとめ
		4つのタイプ、6つの得意な要素による自分の色素の特徴
		【課題6】
	12	自分らしさを生かしたファッション
		自分らしさを表現するための色、形、質感 自分らしさを生かしたブレスレット
	13	ブレスレット(1)
		ビーズ選び
		ブレスレット制作
	14	ブレスレット (2)
		ブレスレット完成 PPT「自分らしいファッションとは」作成
	15	発表
	-	4=

	PPT「自分らしいファッションとは」 1人2分間のプレゼンテーション 【課題7】
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎ C:パーソナルカラー診断を的確に行うことができる。</li><li>○ E:色の特徴を生かしたブレスレットを制作することができる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:次回の講義内容を確認し、テキストの予習、課題の準備を行う(20分)。 事後学習:授業終了後、学んだことを振り返り、課題に取り組む(25分)。
指導方法	トータルコーディネートに必要な多様な診断方法を紹介し、分析して構成できる実践力を指導する。 パーソナルカラー診断では、グループワークで相互に判断する体験を指導する。 自分らしさを生かしたブレスレット制作、プレゼンテーションは、自由な発想を歓迎して指導する。 毎回パワーポイントを使用する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:パーソナルカラー診断を評価する。 E:課題の完成度を評価する。 課題提出70%、授業態度・貢献度30%
テキスト	「色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト3級」改訂版(産経新聞出版) 「新配色カード199a」(日本色研事業株式会社) *1年次購入したものがあれば継続使用できる。
参考書	「色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト2級」改訂版 (産経新聞出版)
履修上の注意	①「カラーコーディネート論」および「カラーコーディネート演習」を単位修得済であることがこの科目を履修する条件である。 ②グルーワークの際には、マウスシールドを使用する予定である。
アクティブ・ラーニング	制作実習 グループワーク プレゼンテーション

講義科目名称: ビジネスキャリア論 授業コード: 1711 1712

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	服専:必修
担当教員			
大滝秀一			
ナンバリング:F21A05	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業 目標 A:主体性・責任感 B:コン能力 C:思考力・判断	自身のキャリアビジョンを描くには、企業での生き方や働き方が深く関わってくる。顧客への対応、上司と部下、同僚との関係構築、取引先との折衝など、全ての場面でビジネスにおけるコミュニケーションスキルの必要性は高まっており、企業から必要とされる人材になるには、独自の強みや成果を上げるための力を持たなければならない。本講義は、ビジネスで円滑な人間関係を構築するための手法を知り理解することを目的に、主にファッション業界で働くうえで必要とされるビジネスマナーやビジネス知識、仕事術を修得する。(授業目標) ◎ C:自分自身の現状を分析し、成果を出す方法を知る。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ビジネスキャリアとは 本講義の概要、ステップアップをするキャリアビジョンについて
	2 キャリアプランとは 理想像・自分比較・到達手段・中間目標について
	3 キャリアプラン作成 キャリアや自己の武器を分析し未来に向けたシナリオを作成
	4 企業と組織 ファッション業界の企業と組織
	5 企業研究・キャリアアッププラン ファッション業界でのキャリアップについて、企業研究・IR資料の読み方
	6 ノンバーバルコミュニケーション ノンバーバルコミュニケーションとビジネスコミュニケーションについて
	7 職場でのコミュニケーション 挨拶の効果、依頼・断る・謝罪、好かれる力、反省力、巻き込み力
	8 職場でのプレゼンテーション アイデアと企画・ターゲットについて・企画書作成
	9 ビジネス知識・ビジネスマナー ファッション業界のワード、一般的なビジネスマナー
	10仕事術・PDCAサイクル仕事の方法、手順と優先順位、PDCAサイクル作成
	11 ビジネスフレームワーク PDCA以外のビジネスフレームワーク
	12 情報分析力 仕事に役立つ分析力、顧客分析力
	13 ワークライフバランス ワークライフバランス、女性のキャリア開発、ブラック企業問題、ダイバーシティ経営
	14 ターゲット分析・自己のSWOT分析 コーチングで使用するターゲット別攻略法、SWOT分析
	15 ペルソナ像設定とプロファイリング ペルソナ像設定、プロファイリングについて
学習成果・ 到達目標・基準	◎C:成果を出すために役立つ枠組みについてを説明できる。
事前・事後学習	事前学習:日経MJ、週刊東洋経済、週刊ダイヤモンド、アエラそしてビジネスサイトに目をとおし、最新のビジネス情報を得る。毎回の小レポート対策として、次回授業計画の内容を調べておくこと (60分)。 事後学習:授業で得た知識やスキルを深めるため図書館やインターネット等で調べる (120分)。
指導方法	パワーポイントや映像を使用し講義形式で行う。毎回授業内での授業内課題の提出、およびアンケート提出がある。 授業内PC使用(Word、PowerPoint)
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	技業内PC使用 (Word、PowerPoint)  C:授業内確認課題、期末課題を評価する。 期末課題50%、課題35%、授業態度・貢献度15%
テキスト	なし 適宜資料を配布、また参考文献に関してはその都度指示する。

参考書	授業内で指示する。
履修上の注意	毎日、新聞・テレビ・インターネットなどで最新のビジネスに関する情報を得ておくこと。 パソコン使用
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: ファッション デザイン論 授業コード: 1331

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	服専:選択
担当教員		·	
大滝秀一			
ナンバリング:F12C11	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			
	_	_	

授業内容  授業目標	ファッションデザインの中でも、主にアパレルデザインに重きを置き、ファッションブランドの商品企画の手   法を修得する。
A:主体性・チー	アパレルデザイナーや商品企画職を目指すためのコンセプトワーク、テーマに基づくファブリケーション、そ
ムワーク・責任感	して商品企画の流れを理解及び体験することにより、ポートフォリオ作成手法も並行して修得する。(スタイル アルスの世界課題も り)
B:コミュニケー ション能力	ル画・平絵での描写課題あり)  (授業目標)
C:思考力・判断 力	◎D:アパレル商品企画の手法を修得する。
刀 D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ファッションデザインとは
	本講義の概要説明、デザインの分類と、アパレルデザインについて
	2 ファッション用語
	ファッション基礎用語について (教科書使用)
	3 コレクションブランドの分析
	コレクションブランドのスタイリング・素材イメージ・カラー・柄展開・アイテム分析 それに伴うファッション基礎ワードについて (教科書使用) コレクション分析 (課題)
	4 ファッション素材概要
	ファッション素材の基礎について(教科書使用)
	小テスト
	5 ブランドコンセプト ファッションブランドのコンセプト設定とイメージマップについて
	コンセプトイメージマップ作成(課題)
	6 ターゲット設定 (ワーク)
	ファッションブランドのターゲット設定とイメージマップについて
	ターゲットイメージマップ作成(課題) 7 シーズンテーマ
	シーンイメージマップ作成(課題)
	8 シーンに基づくファブリケーション及びカラー展開
	シーンの中のスタイリングを構成する素材ストーリーとそのカラー展開について ファブリケーションマップ作成(教科書使用)(課題)
	9 スタイル画
	スタイル画の役割と表現手法について スタイル画作成 (課題)
	10 アイテム画
	アイテム画(平絵)の役割と表現手法について 平絵作成(教科書使用)(課題) 11 同素材デザイン展開 1
	同一素材を使用したアパレルデザイン展開について
	確認課題
	12 同素材デザイン展開 2 R
	同一素材を使用したアパレルデザインの展開について 同素材デザイン展開平絵作成(課題)
	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
	商品企画構成上のマーチャンダイジングについて
	確認課題
	14 デザイナーのマーチャンダイジング 2 第日全面構成 トのマーチャンダイジング 2
	商品企画構成上のマーチャンダイジングについて 同素材デザイン展開企画の確認及び修正 (課題)
	15 最終企画構成確認修正
	ブランドコンセプト・ターゲット設定に基づく商品企画
	ポートフォリオ確認及び修正 期末課題として提出
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:アパレル商品企画の手法概要を説明できる。
事前・事後学習	事前学習:本学図書館に於いて指定されている書籍でファッションデザインの知識を得ておくこと。 (90分)
	事後学習:作成した内容を更に授業時に得たヒントやアイデアを基に分析し要約しておくこと。 (90分)

	<del>,</del>
指導方法	講義内容に関連する画像やパワーポイント等を使用して、視覚媒体を多く取り入れながら講義形式で行う。毎 回テーマごとに進めていき、描絵での表現を含むポートフォリオをシナリオ的に作成していく。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:最終課題を評価する。 最終課題50%、授業内課題30%、授業態度・貢献度20%
テキスト	「スタイリングブック」高村是州著、株式会社グラフィック社
参考書	なし
履修上の注意	本学図書館にて定期購読している書籍の中から、ファッション大辞典、PEN、マリークレールビジュー、 VOGUE、BAZAAR、View、Wearを一読すること。 授業内PC使用(主にパワーポイント)、猫絵あり 2年前期「商品企画演習」は、本科目を単位取得済みであることが履修の条件となる。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: ファッション ビジネス論 授業コード: 1412

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	服専:選択
担当教員			
大滝秀一			
ナンバリング: F13B27	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワー・責任感 B:コミュニケー	基礎を振り返りファッションビジネスの変遷に伴うアパレル業界の仕組みの変化を理解する。特にファッショントレンドと商品のライフサイクルの関係をマーケティング面・マーチャンダイジング面にて理解する。またアパレル会社の利益構造も理解しながら今後のファッション産業の展開を予測する。 (授業目標)  ②D:ファッション業界の仕組みを知ることで、ファッション業界のブランドビジネスを理解する。
ション能力  C:思考力・判断 力	OD. 7 ) V IV XM VEILENCE CON 7 ) V IV XM V IV
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ファッション業界研究
	本講義の概要説明、日本のファッション業界の歴史および仕組み、その現状について 2-8回は"ファッションビジネス[ ] "教材を使用しファッションビジネスの基礎を習得する
	2 ファッションビジネス [ I ] 第1章について ファッションビジネスの概要について
	小テスト   3   ファッションビジネス [ I ] 第2章について
	ファッション消費と消費者行動について 小テスト
	4 ファッションビジネス [ I ] 第3章について アパレル産業と小売産業について
	小テスト  5 ファッションビジネス「Ⅰ]第4章について
	ファッションピッペペート」 第4年について ファッションマーケティングについて 小テスト
	6 ファッションビジネス [ I ] 第5章について
	ファッションマーチャンダイジングについて 小テスト
	7
	8 ファッションビジネス [ I ] 第7章について ビジネス基礎知識について 小テスト
	9 アパレルマーチャンダイジングのフロー ファッショントレンドと商品のライフサイクル、商品企画から生産管理の流れについて シーズントレンド商品の売れを検証(課題)
	10
	11 マーチャンダイジングの知識 1
	SPAアパレルの年間52週のMD戦略について 年間型数表作成(課題)
	12 マーチャンダイジングの知識 2   月度のアイテム計画とVMDについて   月度MD表作成(計算課題)
	13 アパレル会社の収益構造 SPAアパレルの特徴及び店舗の収支計画について
	月度収支計画プラン作成(計算課題) 14 ファッショントレンドとマーケットについて
	ファッショントレンドとマーケットの関係について
	オリジナルブランドカセットMD(課題)
	15   今後のファッション業界の展望   今後のSPAビジネス、EC、セカンドハンドウェアビジネス、個人ブランド等について
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:日本のファッション業界の仕組みを説明できる。
事前・事後学習	事前学習;ファッション誌やファッションサイト等で最新のファッショントレンドの知識を深めておくこと。 課題・小テスト対策として、次回授業計画の内容を調べておく(60分)。 事後学習;実店舗やECサイトを企業と顧客、双方の視点から分析すること(120分)
	1

指導方法	パワーポイントや画像を使用し講義形式で行う。毎回授業内での小テストの提出、および課題提出がある。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:課題・定期試験を評価する。 定期試験40%、課題30%、小テスト15%授業、態度・貢献度15%
テキスト	なし 適宜資料を配布、また参考文献に関しては、その都度指示する。
参考書	ファッションビジネス [ I ] 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 前半にて使用 授業内で指示する。
履修上の注意	毎日、新聞・テレビ・インターネット・SNSなどで最新のファッションやビジネスに関する情報を得ておくこと。 また、今後のファッションビジネスの可能性と変化に興味を持つこと。 パソコン使用(パワーポイント・エクセル・ワード)
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: ファッション コミュニケーション論 授業コード: 1071

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	服専:選択
担当教員			
大滝秀一			
ナンバリング: F23C38	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内容	ファッションの「表現」や「買い方」は、この10年間で大きく変容し多様化した。「服」は脇役となり、日本
授業目標 A:主体性・チー	のファッションビジネスはいまや変革の時期を迎えている。本講義は、ファッションスタイル視点からより豊
ムワーク・責任感	ン表現についてあらゆる視点から考察する。さらに、トレンド把握や今後のファッションコミュニケーション
B:コミュニケー ション能力	手法の変化を考察していくとともにそれを自己表現する。   (授業目標)
C:思考力・判断	○D:ファッション業界で必要となる様々なファッション表現を解説できる。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ファッションコミュニケーションとは
及术们四	本講義の概要、ファッションとコミュニケーションの関係、流行のファッションとその主張と表 現の関係について
	2 中世ヨーロッパのファッションコミュニケーションの特徴
	中世ヨーロッパの階級・宗教とファッション表現の関係 テーマ設定によるキーワードとイメージマップ作成(課題)
	3 近世ヨーロッパのファッションコミュニケーションの特徴
	近世ヨーロッパの社会情勢とファッション表現の関係 近世ヨーロッパのファッションのキーワードとイメージマップ作成(課題)
	4
	戦後の消費価値観の変化と10人1色の時代のファッション表現 50年代ファッションのキーワードとイメージマップ作成(課題)
	5 60年代のファッションコミュニケーションの特徴
	60年代ライフスタイルのファッション表現 60年代ファッションのキーワードとイメージマップ作成(課題)
	6 70年代のファッションコミュニケーションの特徴
	70年代ライフスタイルのファッション表現 70年代ファッションのキーワードとイメージマップ作成(課題)
	7 80年代のファッションコミュニケーションの特徴
	ライフスタイル啓蒙による10人10色への変化とファッション表現 80年代日本独自のファッションのキーワードとイメージマップ作成(課題)
	8 90年代のファッションコミュニケーションの特徴
	ストリートファッション台頭による1人10色への変化とファッション表現 90年代ストリートファッションのキーワードとイメージマップ作成(課題)
	9 近未来のファッションコミュニケーション予測
	将来の生活環境変化予測 2050年頃のライフスタイルキーワードと未来考察(課題)
	10 ノンバーバルコミュニケーション
	ノンバーバルコミュニケーションの役割について
	自分スタイルでのコミュニケーション ファッションイメージマップ作成(課題)   11 世代別比較
	マーケティングコミュニケーションの手法、世代別コミュニケーション・ミレニアルとZ世代の比
	較   Z世代のスタイルイメージマップ作成(課題)
	12 ファッションスタイルのPR表現
	ライフスタイルや生き様からくるファッションスタイルについて そのスタイルイメージのPRツール作成(課題)
	13 セグメンテーション
	セグメンテーションによるターゲティング及びポジショニングの関係(STP) 今後のファッション業界の変化予想(課題)
	14 トレンドから来るファッションコミュニケーション
	社会現象に基づくトレンド予測について ファッショントレンド予測シナリオの検証(課題)
	ファッショントレントア側シテリオの検証 (課題)
	B to B, B to C そしてD to C のビジネス形態・コミュニケーション手法および今後の展開と変
	。
学習成果・	○D:ファッション業界に影響を及ぼした様々なファッション表現を理解する。
学育成未・ 到達目標・基準	シロ・フェンマコン未介に影響を及はしに依べなフェッション衣先を理解する。

事前・事後学習	事前学習:日本経済新聞、日経MJ、WWD、アエラそしてビジネスサイトに目をとおし、最新のビジネス情報を得る。授業内課題対策として、次回授業計画の内容を調べておくこと(90分)。 事後学習:授業で得た知識やスキルを深めるため図書館やインターネット等で調べる(90分)。
指導方法	パワーポイントや映像を使用し講義形式で行う。授業内での課題およびアンケート提出がある。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:最終課題・授業内課題を評価する。 最終課題40%、授業内課題40%、授業態度・貢献度20%
テキスト	なし 適宜資料を配布、また参考文献に関してはその都度指示する。
参考書	授業内で指示する。
履修上の注意	毎日、新聞・テレビ・インターネットなどでファッションビジネスに関する記事をチェックすること。 映画、舞台芸術、美術館へ行き感性を養うこと。 授業内・課題作成にてPC使用(主にパワーポイント・ワード)
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: キャリアゼミ:ファッション ビジネスゼミ 授業コード: (プランニング)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	服専:必修
担当教員			
大滝秀一			
ナンバリング:F37A58	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内標 授業目標 A:中ク・責任 B:コン能力 B:コン能力 C:思考力・判断	「ファッションビジネスゼミ(プランニング)」 学生の職業意識を高め、将来の夢を実現させるため、モデル別に行うゼミナールである。 講義、グループワーク、プレゼンテーション形式で行われ、業界の専門知識やスキルを主体的に学ぶ。前半7回 は学科担当教員、後半8回はキャリアセンターが指導を行う。 前半は、ファッション業界の本部(本社)での役割と仕事内容を理解する。 後半は、就職活動の開始時期に適切なスタートが切れるように、面接試験や履歴書の書き方などの基本的知識 を学ぶ。
D:知識・理解 E:技能・表現	(授業目標) ◎ C:自分の考えを論理的にプレゼンテーションすることができる。 ○ D:目指す業界の求められる人材やスキルを理解し、そのための対策や準備を進めることができる。
授業計画	1 ファッション業界の現状(大滝) 本ゼミナールの概要、 ファッション業界のしくみについて
	2 本部の就職研究 (個人ワーク) (大滝) アパレル本部の商品・営業・販売促進系統の職種・役割について
	3 本部の職種研究 (プレゼンテーション) (大滝) 希望職種内容の個別プレゼンテーション及びキャリアアッププランについて
	4 商品企画・MD演習(ワーク)(大滝) アパレルブランドの商品企画とマーチャンダイジング基礎演習
	5 PR/ブランディング演習(ワーク) (大滝) PR視点でのファッションブランドのブランドブック作成演習
	6 PR/ブランディング演習(プレゼンテーション) (大滝) 自己作成したPR用ブランドブックの個別プレゼンテーション
	7 アパレル企業研究(ワーク)(大滝) 就職活動用企業研究・資料の読み方解説
	8 オリエンテーション , SPI模試 (キャリアセンター) 3 月から本格的にスタートする就職活動の流れと必要な準備について SPI模試
	9 就職活動の準備について (キャリアセンター) 求人の探し方や企業研究の方法
	10   履歴書の書き方を知る① (キャリアセンター)   自己分析を通して自分の強みを考える
	11 就職活動、面接でのマナー講座(キャリアセンター) 就職活動で必要なマナー(立居振舞、言葉遣い)などの 基本を学ぶ
	12 履歴書の書き方を知る② (キャリアセンター) 志望動機の書き方のポイントについて
	13 就職活動で必要な面接のポイント①(キャリアセンター) 基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	14 就職活動で必要な面接のポイント②(キャリアセンター) 基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	15 振り返り(キャリアセンター) 履歴書や面接ロールプレイングの内容をもとに振り返り
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎C:自分の考えを論理的に説明できる。</li><li>○D:就職活動のスケジュールや必要な準備を理解している。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:ファッション誌やビジネス情報誌、あるいはインターネットから最新のファッション・ビジネス情報を得ておく(20分)。 事後学習:毎回のテーマを振返り、就職活動に役立てるように資料にまとめておく(25分)。
	指定した資料での自己分析や興味のある業界の事前学習 毎回のテーマを振り返り、就職活動に役立てるように資料をまとめておく
指導方法	(前半7回) パワーポイントを使用した講義とワークショップ形式で授業を展開する。特に、個人ワーク、プレゼンテーションを積極的に実施する。ファッション企業及びブランドの調査を行い、商品特性やプロモーショ

	ン表現を学ぶ。
	(後半8回)パワーポイントを使用した講義、履歴書の実作や面接ロープレイングによる実践形式で授業を展開する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:プレゼンテーション、課題を評価する。 D:授業態度(参加度、積極性)を評価する。 プレゼンテーション40%、課題30%、授業態度・貢献度30%
テキスト	なし 適宜資料を配布する。
参考書	適宜資料を配布する。
履修上の注意	(前半7回)ファッション業界及びファッション関連業界において就職を希望する学生を対象にしたゼミであり、講義、演習、プレゼンテーション形式等で行う。
	(後半8回)業界理解を深め、就職活動の基本的なスキルアップを目的とする。全員が履歴書実作、模擬面接などの実践を行う。
アクティブ・ラー ニング	(前半7回) プレゼンテーション (後半8回) 履歴書実作、模擬面接などの実践

講義科目名称: ブランドプロデュース論 授業コード: 1561

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	服専:選択
担当教員			•
大滝秀一			
ナンバリング: F23C31	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容 授業目標 A:主体性・チームワーク・ュニケー B:コミン能力 C:思考力・判断	の事例を論理 トレンド分析 なポートフォ またブランド	ブランドプロデュースにおいて、アパレル業界の基礎知識を習得した上で特にSPAアパレル業態で的に理解することを目標とする。 によりマーケットの変化を予測し、ブランドプロデュース業務の各段階を理解するために、簡単 リオを作成し方法論を習得する。 運営に必要な視点も養い、時代に合ったファッションブランドを立案することを目的とする。 ションブランドのプロデュース手法を習得する。
D:知識・理解 E:技能・表現		
授業計画	1	ブランドプロデュースとは 本講義の概要説明、アパレルブランドプロデュースについて、アパレル基礎知識及び職種につい て
	2	ファッション業界の現状 ブランドプロデュースケーススタディー、アパレル業界の仕組みについて
	3	既存ブランド分析 ハイブランド・SPAブランド・個人ブランドなどのアパレルビジネスについて
	4	ブランドコンセプト アパレルブランドのコンセプト設定について
	5	ターゲット アパレルブランドのセグメンテーションとターゲティングについて
	6	コレクションブランド分析 トレンドの流れ、コレクションブランドのトレンド分析手法の解説及びトレンドイメージマップ 作成(課題)
	7	商品企画 商品イメージに基づく商品企画の手法解説、コンセプトワークイメージマップ作成(課題)
	8	マーチャンダイジング 主にSPAアパレルのマーチャンダイジングについて
	9	店舗設計とVMD 販売チャネルとショップ内装プラン及びVMDについて、ショップイメージマップ作成(課題)
	10	広告宣伝・販売促進 アパレルブランドのプレス及びプロモーションプラン活動について
	11	ブランドのセグメント及びポジショニング オリジナルブランドでどのマーケットを狙うのかを考察しポジショニングマップ作成
	12	オリジナルブランド企画 1 オリジナルブランドのコンセプトワーク(コンセプト・ターゲット設定)作成
	13	オリジナルブランド企画 2 オリジナルブランドの商品イメージマップ作成
	14	オリジナルブランド企画 3 オリジナルブランドのスタリングプラン作成
	15	オリジナルブランドレビュー 外部現役講師による学生オリジナルブランドの講評及び実際のオリジナルブランド運営業務内容 についての講演
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:ファッ	ションブランドのプロデュース手法概要を説明できる。
事前・事後学習	(90分)	学図書館において指定されている書籍やファッションブランドに関する知識を得ておくこと。 成した内容を更に授業時に得たヒントやアイデアをもとにアップデートすること。 (90分)
指導方法	講義内容に関 テーマ単位で	成した内容を更に反案時に得たビントやテイケテをもとにアップテートすること。 (90分) 連する画像やパワーポイント等を使用して、視覚的媒体を多く取り入れながら講義形式で行う。 理解確認のため小テスト実施や課題制作をする。 講師による講演等を用意しファッション業界の現状理解を促進させる。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験 定期試験40%、	を評価する 課題40%、授業態度・貢献度20%

テキスト	なし 参考文献に関しては、その都度指示する。
参考書	授業内で指示する
履修上の注意	本学図書館にて定期購読している書籍の中から、ファッション大辞典、PEV、マリークレールビジュー、 VOGUE、BAZAAR、View、Wearを一読すること。 授業内PC使用(主にパワーポイント) 1年前期「ファッションビジネス論」の単位取得済みであることが本科目の履修の条件となる。 1年後期「ブランドプロデュース演習」は、本科目を単位取得済みであることが履修の条件となる。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: ファッション ビジネスゼミ (企画) 授業コード: 1741

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	服専:選択
担当教員			
大滝秀一			
ナンバリング:F37C57	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内容 授業 目標 A:主体性・責任感 B:コン能力 ション能力 C: 力	ファッション業界及びファッション関連業界での就職を希望する学生を対象にしたゼミであり、講義、演習、プレゼンテーション形式等で行う。1年次キャリアゼミのプレゼンテーション内容「職種研究」をふまえて、アパレル本部にとって特に必要なブランドのコンセプトワーク、商品企画・MD、プロモーションなどの視点にてアパレルブランドへのプロモーションプラン及び商品企画提案を行う。一部産学授業を含む(外部講師あり)(授業目標)アパレル会社のブランドビジネスに必要となる知識やスキルを理解する。  ② A: ブランド経営に対して積極的に調査を行い、自分の考えをまとめる力を身につける。  ○ E: 自分の考えを状況に相応しい手法を用いて、論理的にプレゼンテーションすることができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ファッション業界の現状 本ゼミナールの概要、ファッション業界の現状解説、グループ分けアンケート。 プロモーショングループと商品企画グループにグループ編成する。 個別面談
	<ul> <li>アパレルブランド(1) リサーチ</li> <li>プロモーショングループと商品企画グループのグループワークにて、アパレルブランド(1) のリサーチをする</li> <li>アパレルブランド(1) リサーチ結果のプレゼンテーション</li> </ul>
	各グループにてリサーチ結果をプレゼンテーションし理解を深める。
	4 アパレルブランド(1)に向けての提案内容の構築(グループワーク1) プロモーショングループ及び商品企画グループ別にてグループごとに提案内容を話し合いパワーポイント資料としてまとめる
	5 アパレルブランド(1)に向けての提案内容の構築(グループワーク 2) ブランドへ向けた提案としてプレゼンテーションができる資料を作成し提出する。
	6 アパレルブランド(1)へのプレゼンテーション(グループプレゼン) 各グループのプレゼンテーション及び講評
	7 アパレルブランド(2) リサーチ アパレルブランドとの産学授業 プロモーショングループと商品企画グループのグループワークにて、 アパレルブランド(2) のリサーチをする
	8 アパレルブランド(2) リサーチ結果のプレゼンテーション 各グループにてリサーチ結果をプレゼンテーションし理解を深める。 及びその講評
	9 アパレルブランド (2) に向けての提案内容の構築 (グループワーク1) アパレルブランド (2) よりプロモーション・商品企画に関してテーマをいただく。 そのテーマに沿い各グループにて提案内容を話し合いパワーポイント資料としてまとめる
	10 アパレルブランド(2)に向けての提案内容の構築(グループワーク2)   そのテーマに沿い各グループにて提案内容を話し合いパワーポイント資料としてまとめる
	11 アパレルブランド (2) に向けての提案内容の構築 (グループワーク3) ブランドへ向けた提案としてプレゼンテーションができる資料を作成し提出する。
	12 アパレルブランド(2)に向けてのグループプレゼンテーション 産学授業のためアパレルブランド(2)の責任者の方にお越し頂き、学生グループの提案に対し て好評をいただく。 また業界のプロとしての視点でアドバイスを頂く。
	13 アパレル会社に対する新規ブランド提案(グループワーク 1) プロモーショングループ及び商品企画グループそれぞれの得意分野を活かし、 アパレル会社に対して新規ブランドもしくはプロジェクトの提案書を作成する。 企業リサーチ及びプレインストーミング
	14 アパレル会社に対する新規ブランド提案 (グループワーク2) グループワークにて新規ブランドのコンセプトワーク及び商品イメージの特定もしくは新規プロジェクトの概要決定
	15 アパレル会社に対する新規ブランド提案 (グループワーク3) 提案書としてパワーポイントにて資料を作成する。 期末課題として提出。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎A:ブランド経営に対して興味を持ちながら課題に取り組むことができる。</li><li>○E:自分の考えを人前で説明できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:ファッション誌やビジネス情報誌、インターネット、店舗調査から最新のファッション・ビジネス情報を得ておく(20分)。

	事後学習:情報収集した内容をもとに「アパレルブランドの運営」についてまとめる(25分)。
指導方法	パワーポイントを使用した講義とワークショップ形式で授業を展開する。特に、ワーク、プレゼンテーション を積極的に実施する。ファッション企業のブランドリサーチを行い、ブランド運営の手法やブランドマーケ ティングを学ぶ。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:課題の取り組みや授業の貢献度を評価する。 E:プレゼンテーションを評価する。 プレゼンテーション40%、課題30%、授業態度・貢献度30%
テキスト	適宜プリント資料を配布する。
参考書	参考文献に関してはその都度指示する。
履修上の注意	映画、舞台芸術、美術館に行き感性を養い、図書館で「日経MJ新聞」や「WWD」等を読んでおくこと。 外部講師がアパレル会社所属のため、講演スケジュールに変更がある場合は授業初回にて告知する。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: 起業論 授業コード: 1551

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	服専:選択
担当教員	·		
安東徳子			
ナンバリング:F13C30	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	_		

I	
ナーという起	就職」という従来の選択肢から「卒業したら起業」という選択肢もある時代に、アントレプレ 業家の視点から起業について学ぶ。学生生活の身近なテーマから商品企画や販売方法などを自ら スモデルを構築する。
構築する事が	
○C : ビジネ る	スを成功させるために、客観的視点を持ち、冷静な分析や明確なヴィジョンを創り出す事ができ
01	アントレプレナーという働き方を知る 起業するとはどういうことか?起業するのに必要な考え方とは?
02	会社を作るためにこれだけは必要 会社設立に最低限必要な物や手続きとは?
03	売るものを考える《ワークショップ 1》 会社の利益を生み出す商品。まずはどんな商品を売るのがよいのかをワークショップを通じて考える。
04	売るものを考える《理論と基本知識》 前回のワークショップを振り返りながら、商品企画、商品製造について学ぶ。
05	売る相手を考える《ワークショップ2》 ビジネスはターゲットを絞り込み、詳細な分析をする事が成功の基になる。自分の商品はどんな 人達に向けて売りたいのかをワークショップを通じて考える。
06	売る相手を考える《理論と基本知識》 前回のワークショップを振り返りながら、ターゲットの絞り込みと特徴について学ぶ。
07	売り方を考える《ワークショップ3》 店舗展開、ECなど商品の売り方はさまざま。資金や経験がない環境でどんな売り方があるのかを ワークショップを通じて考える。
08	売り方を考える《理論と基本知識》 前回のワークショップを振り返りながら、販売戦略、販売方法について学ぶ。
09	広め方を考える《ワークショップ4》 広告やSNS発信など、自分の商品をどのようにして認知してもらうかをワークショップを通じて考える。
10	広め方を考える《理論と基本知識》 前回のワークショップを振り返りながら、広告手法について学ぶ。
11	売り続け方を考える《ワークショップ5》 ビジネス設計の時点からリピーターを想定することはビジネスの必須要素。ワークショップを通じてリピーターをどう創出するかを考える。
12	売り続け方を考える《理論と基本知識》 前回のワークショップを振り返りながら、リピーターが生まれやすいビジネスモデルについて学 ぶ。
13	起業のドレスリハーサル1 個人又はグループで商品企画、ターゲティング、販売戦略、広告戦略、再来のしくみというプロセスに沿って起業の青写真を作成する。
14	起業のドレスリハーサル2 個人又はグループで作成した事業計画のプレゼンテーション
15	起業のドレスリハーサル3 個人又はグループで作成した事業計画のプレゼンテーション
	レプレナーの精神を理解できる どのように誕生するのかのプロセスを理解できる
事前学習(分 事後学習(分	):テキストの指定されたページを読み込み、知らない語句を調べておく(90分) ):毎回出される課題を行う(90分)
身近な出来事 る。ワークシ	をヒントにし、起業という一見難しそうな出来事を具体的事例を交えながらわかりやすく指導す ョップと理論を交互に学ぶ事によってより実践的な学びができる。
○C:課題と	成果物による評価。 成果物による評価 度・積極性:30% 成果物:30% 課題:40%
	大考 (◎構○る)     01       02     03       04     05       06     07       08     09       10     11       12     13       14     15       ○○ 事事 身る     ○○ 下が 分分 事シ とと       トが 分分 事シ とと

テキスト	アントレプレナーとイントラプレナーのためのスタートアップマニュアル 日本ホスピタリエ協会 必要に応じてプリント
参考書	無し
履修上の注意	将来起業やEC(イーコマース)などを考えている学生には役立つ内容です。起業には興味がなくても、起業の 視点を学ぶ事により組織での仕事のレベルが上がります。資料作成やグループワークにおける発表など積極的 に授業に取り組む学生を歓迎します。【関連する科目】経営学入門(1年前期)/ウエディングナヴィゲーショ ン(1年前期)
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: 経営学入門 授業コード: 1541

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	服専:選択
担当教員			
安東徳子			
ナンバリング:F13C28	実務家教員によ	こる授業	
添付ファイル			

授授 (	ど経きネ会株身得 (⑤D を本営融アを 標社 が点すとす、ツ目 (○D のる。	しくみを理解し、組織図を読み解く事ができる。事業計画書や決算書などを読み解く事ができ
	○C:企業情	報から経営状態を分析したり、今後の方向性を示す事ができる。
授業計画	01	この授業で学べる事 経営を学ぶ事により、自分の将来の働き方について軸のある計画を立てられるようになる。 経営学がもたらしてくれる恩恵について学ぶ。 会社って何だろう? (オンデマンド) 会社という概念とその社会的意義。何のために会社は存在するのか?を学ぶ。
	03	企業理念は何故必要なのか? どの企業にもある企業理念。その目的をミッション、ヴィジョン、バリューの三段階に分けて役割と具体事例を学ぶ。
	04	会社を構成する人達1 トップマネジメント、ミドルマネジメント、スタッフという3層に分けて会社に属する役割と立場を学ぶ。
	05	会社を構成する人達2 (オンデマンド) 組織図を見ながらそこで働く人達がどのような役割でどのような仕事をするのか、職種別に学ぶ。
	06	人事異動と人事評価 会社に勤めると必ずしも希望する職種の仕事ができるわけではない。同時に働く場所も異動の事 例が出ることもある。組織を運営するために、何故転勤や異動があるのかを考える。また社員の 評価はどのようにすると平等性やモチベーションがあがるのかを探る。
	07	会社の種類 よくみかける「(株)」という言葉。これが意味することは何か?4つの会社の種類とその違いを 学ぶ。
	08	会社の1年 学校に学年があるように企業にも一年という営業期がある。1年を4つに分割して経営を計画していく企業ならではの1年間の動きを学ぶ。
	09	会社に入るお金、出るお金(オンデマンド) 会社を経営するためには売上利益が必要だが、会社を維持するためには必要な経費もある。 入るお金、出るお金のバランスをどうとっていくか。具体的事例を通じて学ぶ。また経営に必要な事業計画書のしくみを学び、計画的な経営手法を通じて企業経営の哲学を学ぶ。
	10	決算書という答合わせ 経営が健康に営まれているかどうかを見極めるために、決算書のしくみと読み方を学ぶ。 それにより、一般企業の経営状態も読み取れるようになる。
	11	メタバースと暗号資産 デジタル時代に特有なメタバースの世界観とビジネスへの応用、また資産価値としての暗号資産 のしくみと経営への活用方法を学ぶ。
	12	企業経営研究1 著名な企業の経営の歴史を、授業を通じて学んだ視点から分析し、その企業の魅力を探る。
	13	企業経営研究2 著名な企業の経営の歴史を、授業を通じて学んだ視点から分析し、その企業の魅力を探る。 企業経営研究3(オンデマンド)
	15	著名な企業の経営の歴史を、授業を通じて学んだ視点から分析し、その企業の魅力を探る。 経営学から学んだ事
W 25 A 15		14回の授業を通じて学んだ経営的視点が自分の生活にどのような変化を生んだのか、またその経験を今後の就職活動にどのように生かせるかを振り返る。
学習成果・ 到達目標・基準		しくみを理解し、自分の就職活動に役だてる事ができる。 特徴や個性を理解し、自分の適性に照らし合わせる事ができる。

事前・事後学習	事前学習(分): テキストの指定されたページを読み込み、知らない語句について調べておく(90分) 事後学習(分): 前回の授業で出た課題を行う(90分)
指導方法	就職活動で「会社」を選ぶ際に、実は会社という組織そのものについての詳しい知識がない事が多い。多様性 の高い社会で働く将来のためにも、会社についての知識を高めながら、同時に会社の価値や働き方についての 思考力、判断力を磨いていく。 難解に捉えられている経営学を、日常の視点に置き換えてわかりやすく指導する。 理解に欠かせないディスカッションや意見の共有などアクティブ・ラーニングを中心に経営理論が自然に身に 着く手法を取り入れている。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎D:課題の提出率と内容による評価</li><li>○C:課題の提出率と内容による評価</li><li>授業への貢献度・積極性:40% 課題:60%</li></ul>
テキスト	ベーシックマネジメントスタディーズ 日本ホスピタリエ協会
参考書	無し
履修上の注意	対面授業が基本だが、月1回オンデマンドで授業を行う。詳細は授業計画に記載、及び初回授業で説明をする。 資料作成やグループディスカッションなど主体的な姿勢で授業に臨む学生を歓迎します。 自分の価値を最大限発揮できる仕事を目指す人に役立つ内容です。将来、より自由によりアクティブに仕事を 楽しめるようになるための基本となる知識を得ることができます。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: インターンシップ 1 (服飾芸術科) 授業コード: 1451

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期・後期	1 • 2	1	服専:選択		
担当教員					
安東徳子、井上近子(契約講師	師:西村リサ)				
ナンバリング:1年生F36C56	ナンバリング:2	2年生F36C52	実務家教員による授業		
添付ファイル					
参考資料①2022年版説明会. po	df		昨年度のプログラム概要説明	です	
参考資料②2022年版Spring_日	程表.pdf		昨年度費用です 本年度は為 更あります	替、米国の経済状況により変	
参考資料③2022年版アメリカ・グローバルキャリアプログラム紹介. pdf		昨年度の日程です 本年度は	説明会で発表します		

フム紹介.pdI	
授業内標 A: サース (本)	インターンシップ1は、本学が指定する海外インターンシッププログラム「America Global Career Program」(昨年度資料は添付ファイル参照)に参加し所定の成果を出すことで、インターンシップ1及びインターンシップ2の単位合計2単位が取得できるプログラムで、開講期間内ではなく夏期もしくは春期休暇期間中に実施する。インターンシップ研修を通じ、アメリカ文化に触れ、主体性・チームワーク・責任感、コミュニケーション能力などの社会人として必要な能力を身に付けていくことを目的とする。インターンシップ先として、JAL、KDDI、JTB、BOOK OFF等の日本企業のロサンゼルス支社等をはじめ、アパレル、美容、ホテル、広告、エンターテインメント、幼稚園等と多岐に渡る。本人の希望と語学力等によりインターンシップ先を決める。(授業目標)自分らしい「生き方」「働き方」を見出すキッカケを掴め、「自分ひとりでは体験できない機会」を体験する。世界中で挑戦する人・企業と出会い、多様な価値観に触れ、感じる場をつくることで新しい可能性を自覚し、グローバルに活躍できる人材となることを目標とする。  ③ A: 社会にて主体性・チームワーク・責任感を養うことができる。
授業計画	1 説明会(課外時間にて実施予定) 海外インターンシップの意義、目的との意義と目的について、インターンシップの進め方、日程、参加費用、研修先案内等説明する。後日申込受付をする。 2 オンライン個別相談(課外時間にて実施予定) ロサンゼルスのコーディネーターとZOOMで面談し、希望インターンシップ先と英語力を確認する。後日、インターンシップ先企業の決定通知がある。 3 最終説明会(課外時間にて実施予定・渡米の1~3週間前) 渡航や滞在先、研修内容についての説明会を実施し、後日現地滞在先決定の通知がある。 4 合同ビジネス研修(渡航先で4日間実施・滞在はホテル) LAダウンタウンクエスト、グローバルリーダーフォーラム、企業訪問等、他校を含む参加する日本の学生が合同で実施する。 5 実地研修(個別)(渡航先で2~3週間実施・滞在はホームステイ) 受け入れ先企業にて、日々の業務を行う。研修終了後、学びの振り返りと実習先企業へプレゼンテーションを実施する。 6 報告面談(課外時間にて実施予定) 帰国後、担当教員へ報告、面談を行い、総合的な評価のもと単位認定となる。
学習成果・ 到達目標・基準	自分の資質、特性を理解し、自分に合った業界、職種を選び、将来を決めることのできる自主性を養えるようになるなど、社会に出るにあたりA・Bの能力をさらに身に付け、行動していくことを目標とする。 ◎ A:社会にて主体性・チームワーク・責任感の必要性を理解できる。 ○ B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携を理解する。
事前・事後学習	語学力に応じてインターンシップ先が決まるため、事前に語学力を身に着けること。 希望する業界・職種に関して、あらかじめインターネット等で研究・情報収集をし、理解をしておくこと。またインターンシップ研修を通じ、どのような学びや経験を得たいか等の目標を設定することが望ましい。 事後学習:帰国後は研修内容をプレゼンテーションする。その内容は、就職活動の面接等でも活かせるよう準備すること。
指導方法	担当教員の他、ロザンゼルスのコーディネーターの協力の基、実施する。事務関連は教務部が行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	所定の事前・事後研修、実習を修了し、報告会及び面談により総合的に2段階で評価(Passもしくは、Drop)する。 インターンシップ1の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することができる。 なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得となる。また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。 B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携に必要性があることを経験している。
テキスト	研修期間中に配布する。
参考書	特になし。

履修上の注意	「アメリカ・グローバルキャリアプログラムインターンシップ」は、本学が指定する海外インターンシッププログラムで、アメリカロサンゼルスのコーディネート会社であるLighthouse Career Encourage USA Corpの協力のもと、実施する。
	*令和5年度の実施概要は、授業計画1の説明会内で発表する。 *昨年度日程、費用等の概要は添付ファイルを参照のこと。 *研修・実習に係る渡航費、滞在費、食費、保険、プログラム実習費は参加者の負担となる。 *インターンシップは無報酬となる。 *新型コロナウィルスによる影響、インターンシップ先等の都合で変更の場合がある。
アクティブ・ラー ニング	特に無し

講義科目名称: インターンシップ 2 (服飾芸術科) 授業コード: 1452

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期・後期	1 • 2	1	服専:選択		
担当教員					
安東徳子、井上近子(契約講問	師:西村リサ)				
ナンバリング:1年生F36C57	ナンバリング:2	2年生F36C53	実務家教員による授業		
添付ファイル					
参考資料①2022年版説明会.pd	df		昨年度のプログラム概要説明	です	
参考資料②2022年版Spring_F	程表.pdf		昨年度費用です 本年度は為 更あります	替、米国の経済状況により変	
参考資料③2022年版アメリカ・グローバルキャリアプログラム紹介. pdf		昨年度の日程です 本年度は	説明会で発表します		

接業目標 - 3 - 主体性・チームワーク・責任感 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	フム紹介. pdf	
海外インターンシップの意義、目的との意義と目的について、インターンシップの進め方、日程、参加費用、解修生案内等説明する、後日申込受付をする。 2 オンライン側別相談(課外時間にて実施予定) ロサンゼルスのコーディネーターと2000(下面談し、希望インターンシップ先と英語力を確認する。後日、インターンシップ先企業の決定通知がある。 3 最終説明会(課外時間にて実施予定・渡米の1、3週間前) 渡航や滞在先、研修内容についての説明会を実施し、後日現地滞在先決定の通知がある。 4 合同ビジネス研修(滚航先で4日間実施・滞在はホテル) LAダウンタウンクエスト、グローバルリーゲーフォーラム、企業訪問等、他校を含む参加する日本の学生が合同で実施する。 5 実地研修(個別)(滚航先で2、3週間実施・滞在はホテル) 日本の学生が合同で実施する。 6 報告面談(課外時間にて実施予定) 帰国後、担当教員へ報告、面談を行い、総合的な評価のもと単位認定となる。 学習成果・ 到達目標・基準	授業 特 で で で で で で で で で で で で で	(昨年度資料は添付ファイル参照)に参加し所定の成果を出すことで、インターンシップ1及びインターンシップ2の単位合計2単位が取得できるプログラムで、開講期間内ではなく夏期もしくは春期休暇期間中に実施する。 インターンシップ研修を通じ、アメリカ文化に触れ、主体性・チームワーク・責任感、コミュニケーション能力などの社会人として必要な能力を身に付けていくことを目的とする。 インターンシップ先として、JAL、KDDI、JTB、BOOK OFF等の日本企業のロサンゼルス支社等をはじめ、アパレル、美容、ホテル、広告、エンターテインメント、幼稚園等と多岐に渡る。本人の希望と語学力等によりインターンシップ先を決める。  (授業目標)自分らしい「生き方」「働き方」を見出すキッカケを掴め、「自分ひとりでは体験できない機会」を体験する。世界中で挑戦する人・企業と出会い、多様な価値観に触れ、感じる場をつくることで新しい可能性を自覚し、グローバルに活躍できる人材となることを目標とする。  ◎ A: 社会にて主体性・チームワーク・責任感を養うことができる。
到達目標・基準 になるなど、社会に出るにあたり A・Bの能力をさらに身に付け、行動していくことを目標とする。 ○A:社会にて主体性・チームワーク・責任感の必要性を理解できる。 ○B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携を理解する。 事前・事後学習	授業計画	海外インターンシップの意義、目的との意義と目的について、インターンシップの進め方、日程、参加費用、研修先案内等説明する。後日申込受付をする。  2 オンライン個別相談(課外時間にて実施予定) ロサンゼルスのコーディネーターとZOOMで面談し、希望インターンシップ先と英語力を確認する。後日、インターンシップ先企業の決定通知がある。  3 最終説明会(課外時間にて実施予定・渡米の1~3週間前) 渡航や滞在先、研修内容についての説明会を実施し、後日現地滞在先決定の通知がある。  4 合同ビジネス研修(渡航先で4日間実施・滞在はホテル) LAダウンタウンクエスト、グローバルリーダーフォーラム、企業訪問等、他校を含む参加する日本の学生が合同で実施する。  5 実地研修(個別)(渡航先で2~3週間実施・滞在はホームステイ) 受け入れ先企業にて、日々の業務を行う。研修終了後、学びの振り返りと実習先企業へプレゼンテーションを実施する。  6 報告面談(課外時間にて実施予定)
語学力に応じてインターンシップ先が決まるため、事前に語学力を身に着けること。 希望する業界・職種に関して、あらかじめインターネット等で研究・情報収集をし、理解をしておくこと。またインターンシップ研修を通じ、どのような学びや経験を得たいか等の目標を設定することが望ましい。 事後学習:帰国後は研修内容をプレゼンテーションする。その内容は、就職活動の面接等でも活かせるよう準備すること。 担当教員の他、ロザンゼルスのコーディネーターの協力の基、実施する。事務関連は教務部が行う。 アセスメント・ 成績評価の方法・基準  「かっての事前・事後研修、実習を修了し、報告会及び面談により総合的に2段階で評価(Passもしくは、Drop)する。 インターンシップ1の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することができる。 なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得となる。 また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。 B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携に必要性があることを経験している。	学習成果・ 到達目標・基準	になるなど、社会に出るにあたりA・Bの能力をさらに身に付け、行動していくことを目標とする。  ◎A:社会にて主体性・チームワーク・責任感の必要性を理解できる。
アセスメント・成績評価の方法・基準 所定の事前・事後研修、実習を修了し、報告会及び面談により総合的に2段階で評価(Passもしくは、Drop)する。 本ンターンシップ1の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することができる。なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得となる。また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。 B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携に必要性があることを経験している。	事前・事後学習	語学力に応じてインターンシップ先が決まるため、事前に語学力を身に着けること。 希望する業界・職種に関して、あらかじめインターネット等で研究・情報収集をし、理解をしておくこと。またインターンシップ研修を通じ、どのような学びや経験を得たいか等の目標を設定することが望ましい。 事後学習:帰国後は研修内容をプレゼンテーションする。その内容は、就職活動の面接等でも活かせるよう準備すること。
成績評価の方法・ 基準  する。 インターンシップ 1 の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間 を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日 コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することがで きる。 なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得 となる。 また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。 B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携に必要性があることを経験している。	指導方法	担当教員の他、ロザンゼルスのコーディネーターの協力の基、実施する。事務関連は教務部が行う。
テキスト 研修期間中に配布する。	アセスメント・成績評価の方法・基準	する。 インターンシップ1の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することができる。 なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得となる。 また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。
l la companya di managantan	テキスト	研修期間中に配布する。

参考書	特になし。
履修上の注意	「アメリカ・グローバルキャリアプログラムインターンシップ」は、本学が指定する海外インターンシッププログラムで、アメリカロサンゼルスのコーディネート会社であるLighthouse Career Encourage USA Corpの協力のもと、実施する。
	*令和5年度の実施概要は、授業計画1の説明会内で発表する。 *昨年度日程、費用等の概要は添付ファイルを参照のこと。 *研修・実習に係る渡航費、滞在費、食費、保険、プログラム実習費は参加者の負担となる。 *インターンシップは無報酬となる。 *新型コロナウィルスによる影響、インターンシップ先等の都合で変更の場合がある。
アクティブ・ラー ニング	特に無し

講義科目名称: ウエディング ナビゲーション 授業コード: 1251

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	服専:選択
担当教員	·		
安東徳子			
ナンバリング:F14C39	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			

拉张中容	潜放し  たカーゴ・ハグサ目に o いて、深く四切けファしがったフトミにカフ - カーゴ・ハグサ目のよび ビ
授業内容 授業主体性・ チェーク ・チ ・チ ・チ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	漠然としたウエディング業界について、深く理解することができるようになる、ウエディング業界のナビゲーター、案内役としての位置づけの授業。ウエディングの仕事に携わるために必要な仕事の哲学や、ウエディング独特のホスピタリティなどの基本的姿勢、仕事に欠かせない共感力コミュニケーション、および業界のしくみ、業種や職種など、最新の情報を学ぶことができる。リアルな現場で働くプロフェッショナルも講師として迎え、ウエディング業界を将来の就職の選択肢の一つとして捉えるための、客観的な判断ができるようになる。 (授業目標)
D:知識・理解	(対来日保)  ○C:ウエディングの仕事と役割から適性を判断し、自己のキャリアデザインに結びつけられる。  ◎D:ウエディングビジネス業界についての幅広い知識を身に付け、共感力コミュニケーション、ウエディング  ホスピタリティの考え方を理解する。
授業計画	1 ウエディングナビ ウエディングの意味価値編 結婚式とパーティの必要性を儀式文化の本質を通じて理解し、自分の言葉でその価値を表現する 手法を会得する。
	2 ウエディングナビ 歴史編 ウエディングビジネスの歴史を日本の第二次世界大戦後以降に絞って学ぶ。日本の近代史とウエ ディングビジネスの関連性を知る。
	3 ウエディングナビ ウエディングのスタイル編 ウエディングセレモニーとレセプションの代表的なスタイルを学びそれぞれの特徴を知る。
	4 ウエディングナビ ハード編 ホテル、専門式場、ゲストハウス、レストランなど業態別のハード(建物)の特徴や魅力について 学ぶ。
	5 ウエディングナビ マーケティングと集客ビジネス編 特殊な構造を持つウエディングマーケットについて学び、同時にSNS等を駆使した集客手法を知
	る。 6 ウエディングお仕事ナビ ウエディングプランナーとドレススタイリスト ウエディングの二大職業と言われるウエディングプランナーとドレススタイリストの仕事内容と
	その魅力を完全ナビ。   7
	テンや料飲サービスの仕事内容とその魅力を完全ナビ。 8 ゲストによるナビゲーション ウエディングプランナーを知る 現在もフリーウエディングプランナーとして活躍中の恵実樹氏にウエディングプランナーになる
	までの経緯と仕事の魅力をお聴きする 9 ウエディングお仕事ナビ ブライダルビューティ
	ブライダルヘアメイク、エステティシャン、ネイリスト、ジュエリーアドバイザー、フローリストなどブライダルビューティに関わる仕事の内容と特徴を完全ナビ。  10 ゲストによるナビゲーション ドレススタイリストを知る
	現在も現役のドレススタイリストとして活躍中の白井みさと氏にドレススタイリストになるまでの経緯と仕事の魅力をお聴きする。
	11 ウエディングお仕事ナビ フォトグラファーとビデオグラファー 女性の人気が高まりつつある人気職業ウエディングフォトグラファーとビデオグラファーの仕事 の内容と魅力を完全ナビ。
	12
	13
	14 ウエディングナビ 世界のウエディング編 海外ウエディングとリゾートウエディングの現状について学びその仕事の内容と魅力を完全ナ ビ。
	15 ウエディングナビ キャリアデザイン ウエディング業界でしなやかにキャリアをアップしていくためのキャリアデザインの事例を提示 し、自分自身のキャリアデザインを描いてみる
学習成果・ 到達目標・基準	○ C:ウエディングの仕事と役割を理解し、自己のキャリアデザインの参考にすることができる ◎ D:ウエディングビジネスの種別を説明することができる
事前・事後学習	事前学習:授業内で興味を持ったビジネス種別や企業についてWEBなどで調べてみること。 (90分) 事後学習:授業内での未知のワードやウエディングビジネスの種別について、まとめのノートを作成する。 (90分)

指導方法	基本は座学形式。最新の正しい情報を提供しつつ、可能な限り具体的な企業名、商品名、企画名などを紹介し 正確な業界の姿を伝える。なお、ゲスト講師の授業回では、ゲスト講師の所属する企業を事前調査させ、授業 内質問コーナーを設け、エキサイティングな時間とする予定である。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:レポートや発言が授業で知り得た知見に基づいたものであるか評価する。 D:授業内の質問シート、お礼状、テキストのリーディングシート、3種別の提出物等の出来映えで評価する。 定期試験50%、授業への貢献度20%、質問シート10%、お礼状10%、リーディングシート10%
テキスト	ブライダルのお仕事2023ウエディングジョブ
参考書	
履修上の注意	ウエディングの知識をさらに高めるため、1年次の「ウエディングセレモニー」、「ウエディングビューティデザイン」の履修が望ましい。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: ホスピタリティ論 授業コード: 1021

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	服専:必修
担当教員	·		
安東徳子			
ナンバリング:F21A02	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			•
		_	

授業内容 授業目標 A:主体性・責任 ムニースショニカー B:コン能考力・判断 C:カ	卒業後の未来を見据えた服飾芸術科の学びの基本となるホスピタリティの理論と実践を教える授業。今後さらに人とAIの業務の区別は明確になり、人にはホスピタリティ理論に裏付けされた共感力コミュニケーションスキルが求められていく。特に接客業においては、マーケティングオートメーション化できないラグジュアリー、あるいはビョンドラグジュアリーの業界では必須のスキルである。わかりやすい理論に裏付けされているため、高い再現性を期待できる。同時にホスピタリティの持つフラットな考え方をもとに、ユニバーサルな視点を育む事もできる。本学の校訓である「知好楽」の意味を授業を通じて理解し、大学ならではの知識教養を磨く事にもつながる。
D:知識・理解 E:技能・表現	◎D:ホスピタリティ理論を正しく理解し、日常生活に活かす事ができる ○C:個別対応が基本となる事の必要性を理解し、日常生活のシーンで「THEの対応」を考え出す事ができる
授業計画	1 ホスピタリティの必要性 ホスピタリティは何故必要なのか?
	2 共感力とは何か? 共感力の概念の理解と事例紹介
	3 ホスピタリティ理論 (1) ホスピタリティのファーストステップの概念と国際感覚
	4 ホスピタリティ理論 (2) ホスピタリティのセカンドステップの概念と3つの効果
	5 ホスピタリティ理論 (3) ホスピタリティの二つのアビリティ 右脳編
	6 ホスピタリティ理論(4) ホスピタリティの二つのアビリティ 左脳編
	7 ホスピタリティ理論 (5) THEのコミュニケーションの作り方
	8 想定能力と水平思考 かもしれないゲームによる想定能力の磨き方
	9 共感力を高める知識教養とナレッジツリー教養とは何か?知識教養の広げ方と楽しみ方
	10
	11
	12 ファッション業界事例 ファッション業界で活かせるホスピタリティ
	13 ビューティ業界事例 ビューティ業界で活かせるホスピタリティ
	14 ウエディング業界事例 ウエディング業界で活かせるホスピタリティ
	15 これからのホスピタリティ 就職活動や日常生活にどうホスピタリティを活かしていくか
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:ホスピタリティ理論を正しく理解し、自分の言葉で説明する事ができる</li><li>○C:ホスピタリティのセカンドステップの重要性を理解し、自分の言葉で説明する事ができる</li></ul>
事前・事後学習	◎D: リーディングワークシートに沿ってテキストの指定されたページを熟読した上でシート記入をし、内容を整理する。 (90分) ○C: 毎回の課題に取り組む。授業で学んだコミュニケーションシーンを自分の別の日常生活に置き換え記録しておく (90分)
指導方法	プリント、パワーポイントおよび授業内容に即した映像資料を用いた講義形式を中心とし、グループディスカッションを通じて毎回の課題を授業内でまとめる。 フィードバックの方法:①小テスト実施、②小テスト実施後における質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:ホスピタリティ理論を正しく理解しているか C:ホスピタリティ理論を基に具体的な行動に導く事ができるか 課題提出50%、受講の主体的姿勢40%、授業内確認小テスト10%
I .	

テキスト	究極のホスピタリティを実現する「共感力」の鍛え方 安東徳子著 出版元:コスモ21 必要に応じてプリントを配布
参考書	なし
履修上の注意	単位取得者は(一般社団法人)日本ホスピタリエ協会認定資格「ホスピタリエ」の認定講座修了者として認められホスピタリエ認定試験の受験資格が得られる。 服飾芸術の学びの根幹となる考え方であるため、授業内で「考える姿勢」を持つ事。 ホスピタリティの学びの場であるため、教室内のホスピタリティにも気を配る事。 ディスカッションタイムも多いため、積極的に他学生とのコミュニケーションを取り、主体性を持って授業に臨む事。
アクティブ・ラー ニング	授業内でグループに分かれてワークショップをする。毎回クラスルームに提出し、その内容を次回の授業内で 共有する。講師と学生、学生同士の意見交換をする事により、深い思考を促す。

講義科目名称: ウエディング セレモニー 授業コード: 1161

英文科目名称: Wedding Ceremony

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	服専:選択
担当教員		·	
河田淳鼓			
ナンバリング:F24C40	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・手一 ムリークション B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	我が国における結婚式という儀式の意味を正しく理解し、それを通じて広く人生儀礼の重要性について気づきを得る。模擬結婚式の企画と実施を学生チームで行うことから、チーム内のコミュニケーション能力を磨き、結婚式に携わる仕事の楽しみと責任を経験し、ウエディングに求められる実践的な能力を修得する。(授業目標)  ② A:模擬結婚式を主体性と協調性と責任感を持って最後までチームでやり遂げることができる。  ○ E:自由な発想に富んだウエディングセレモニーをプランニングすることができる。
D:知識・理解	
授業計画	1 ウエディングセレモニーに求められるホスピタリティ ウエディングセレモニーに関わる上で必要とされるホスピタリティの理論と姿勢
	2 結婚式の意味と意義 何故結婚式が必要なのか?その大切さを人生儀礼の視点から学ぶ
	3 結婚式の歴史とハード 結婚式のスタイルの変遷と結婚式が行われる舞台の種類と特徴を学ぶ
	4 キリスト教式の結婚式 ウエディングビジネスに必要なキリスト教の知識とセレモニーの進行を学ぶ
	5 神前式の結婚式 ウエディングビジネスに必要な神道の知識とセレモニーの進行を学ぶ
	6 人前式の結婚式 ウエディングビジネスに必要な人前式の知識とセレモニーの進行を学ぶ
	7 人前式の企画手法 人前式を企画する企画理論を学び、事例を通じてより理解を深める 学んだ企画理論をもとにケーススタディとして人前式の進行を考える
	8 コンセプト立案 グループワーク 1 (ゲスト講師:赤星講師・鈴木講師) (グループワーク、実習) (スマートフォン: HPよりアイデア拾い出し) 具体的なカップル像をケーススタディとし、コンセプトを創る
	9 進行の決定 グループワーク 2 (ゲスト講師:赤星講師・鈴木講師) (グループワーク、実習) (スマートフォン: HPより拾い出し) コンセプトに基づいた進行を創る(音楽演出手法を学ぶ)
	10 進行の決定 グループワーク3 (ゲスト講師:赤星講師・鈴木講師) (グループワーク、実習) (スマートフォン: HPよりアイデア拾い出し) コンセプトに基づいた進行を創る
	11
	コンセプトに基づいた花嫁、花婿、その他全員のビューティを企画する 12 進行の確認とリハーサル グループワーク 5 (ゲスト講師:赤星講師・鈴木講師) (グループワーク、実習) (スマートフォン:リハーサル撮影、チーム内検証) 進行を再確認し、『場当たり』をする
	#17を再確認し、『場当たり』をする 進行の確認とリハーサル グループワーク 6 (ゲスト講師・赤星講師・鈴木講師) (グループワーク、実習) (スマートフォン:リハーサル撮影、チーム内検証) 最終進行表に基づいてリハーサルをする
	14
	15 模擬結婚式(夏期休暇中)ゲスト講師:赤星講師・印南講師)(グループワーク、実習、プレゼンテーション)(スマートフォン:リハーサル・本番撮影、チーム内検証) 会場入り→準備→リハーサル→本番→引き上げまでを実施
学習成果・ 到達目標・基準	◎ A:模擬結婚式を責任感を持って実施することができる。 ○ E:ウエディングセレモニーの進行に人前式の3つの柱を正しく組み込むことができる。
事前・事後学習	事前学習:授業毎にアイディアが必要になるため、メモを書き留めておくなどの準備をする。(30分) 事後学習:模擬結婚式の実施に必要な知識を正しく理解し、ノートに図示する。(60分)

指導方法	第1回目から第7回目までは知識の修得が中心で、パワーポイントを使った講義形式。また、毎回穴埋め式のオリジナルプリントを用い、ノートがもう一つの教材になるような仕組みとする。画像、映像などビジュアルツールを豊富に使用し、また具体的な事例も挙げ、興味を持って授業に臨める環境をつくる。第8回目から第12回目までは、グループワークとなるため、毎回の授業のテーマや着地点などが明確になるように、オリジナルワークシートを活用する。フィードバックの方法:ワークシートにより担当教員と双方向コミュニケーションをとることが可能となり、実習に対する不安や悩みの解消につなげる。なお、これにより、授業の最後に目標とした作業が完了しているかどうかが確認可能となり、次回授業までの課題が明確になる。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul> <li>◎ A:模擬結婚式を主体性と協調性と責任感を持って実施しているかの観点</li> <li>○ E:自由な発想に富んだウエディングセレモニーをプランニングできているかの観点</li> <li>A:第2回から第7回までの授業内で行う前回授業についてのミニテスト模擬結婚式準備貢献度</li> <li>模擬結婚式準備貢献度20%模擬結婚式実施貢献度20%模擬結婚式実施貢献度20%振り返りシート20%ミニテスト20%</li> </ul>
テキスト	究極のホスピタリティを実現する『共感力の鍛え方』 安東徳子著 コスモ21 ブライダルコーディネーターテキスト (スタンダード) BIA公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会
参考書	究極のホスピタリティを実現する『共感力の鍛え方』 安東徳子著 コスモ21 ブライダルコーディネーターテキスト (スタンダード) BIA公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会
履修上の注意	夏のオープンキャンパスにて模擬結婚式の実施を予定 ウエディングの知識をさらに高めるため、「ウエディング ナビゲーション」、「ウエディングビューティデザイン」の履修が望ましい。 ブライダルコーディネート技能検定要件科目
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、実習、プレゼンテーション

講義科目名称: ウエディング レセプション 授業コード: 1151 1152

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	服専:選択
担当教員			
河田淳鼓			
ナンバリング:F34C45	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			
	_		

144.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	
授業内容 授業 1年体性・ チェニーク・ ・チ任の ・チーク・ ・サーク・ ・サーク・ ・サーク・ ・サーク・ ・サーク・ ・サーク・ ・カー ・カー・ ・カー・	これまで修得したウエディングの知識と技術を駆使し、模擬挙式に続き、模擬披露宴を計画し、実施する。チームで行うことを通じて授業目標を達成する。 (授業目標) ②A:ウエディングプランナー、ドレススタイリストなどのプロフェッショナルな視点で主体性をもって模擬披露宴を企画し実施することができる。 ○E:プランニングの23-stepに基づき、コンセプトに沿ったウエディングアイテムの制作、台本の執筆ができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 セレモニーとレセプション ウエディングの全体像を理解し、レセプションの役割を明確にする。
	2 パーティのスタイル 時間帯およびフォーマリティの違いによるパーティスタイルについて学ぶ。
	3 ウエディングメニューとビバレッジ ウエディングメニューとビバレッジの概念、条件、および種類について学ぶ。
	4 ウエディングケーキと引き出物・引き菓子 ウエディングケーキの歴史や演出に使う場合の方法やその演出効果、引き出物に関する考えかだ や種類、そして引き菓子やプチギフトの種類を学ぶ。パーティのコンセプトや新郎新婦の特徴に 合わせてのセレクトの仕方を学ぶ
	5 レセプションの進行 レセプションにおける効果的な演出例などを含みその進行とスクリプト作成の復習
	6 サービスコンセプトとオペレーション レセプションにおけるサービスコンセプトの考え方とそのオペレーションの種類について学び、
	模擬披露宴の場合のシュミレーションを行う
	8 23段階の理論 (23-Step) に基づく、コンセプトメイク ウエディングプランニングで学んだ23段階の理論 (23-Step) に基づきコンセプトメイクの実習
	する。 9 レセプション実習① (グループワーク、実習)(スマートフォン) カップルデータ(ペルソナ)に基づき、コンセプトメイクを行う。この段階で花嫁・プランナー・司会・Food&beverage・会場装飾・司会・ブライズメイズなど、担当を決定し、その担当に分かれてグループワークを行う。
	10 レセプション実習② (グループワーク、実習) (スマートフォン) テーマカラー、テーマアイテムなどのコンセプトのアイテムへの落とし込み、自分の担当する 8 割の中でどのようにそれらを表現するかを個人ワークおよび並行してグループワークを行う
	11 レセプション実習③ (グループワーク、実習) (スマートフォン) ウエディングビューティプラン、ウエディングのテーマなどに合わせた衣装やヘアメイクの検討、ひいては新郎の衣装を外部会社に依頼するための資料制作
	12 レセプション実習④ (グループワーク、実習) (スマートフォン) 実施会場の決定とその場所のレイアウトや装飾やテーブルコーディネートを外部装花会社とウコーディングメニューやケーキの相談を外部ケータリング会社と外部の会社担当と打ち合わせを行う
	13 レセプション実習⑤ (グループワーク、実習) (スマートフォン) 進行表とスクリプトの作成および本番の各役割の動き方のオペレーションプランを考える
	14 レセプション実習⑥ (グループワーク、実習) (スマートフォン) オペレーションプランに基づいたシュミレーション (リハーサルを行う)
	15 模擬披露宴(グループワーク、プレゼンテーション)(スマートフォン) 模擬披露宴の準備、本番、片付け
学習成果・ 到達目標・基準	◎A:模擬披露宴における自分の役割を責任もってやり遂げることができる。 ○E: 施行準備を通じて、プランニングの23-stepの必要性が理解できる。
事前・事後学習	事前学習:BIA検定のテキストを読んでおくこと。(30分) 事後学習:講義ごとにワークシートを完成させる。(60分)
指導方法	これまでに修得した知識に加え、この授業における第1回〜第8回の座学で得た知識を総動員し、チーム内で模擬挙式にむけた計画を立案する。また、第9回〜第14回までの講義にて、レセプションの準備をしつつ模擬披露宴を実際に運営することを通じて目標達成まで主体的に学ぶ力を身につける現場力を育成する

	なお、模擬披露宴は学内で行う計画である。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:主体性をもって参加できているか、また、グループメンバーとチームワークをとりながら自分の業務を責任をもって行うことができたかの観点 E:コンセプトに基づいた表現や行動になっているかの観点 模擬披露宴の完成度30%、模擬披露宴実施準備の貢献度30%、模擬披露宴の実施日の貢献度20%、実習ノートの提出20%
テキスト	①ブライダルコーディネーターテキスト (スタンダード) BIA公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会 (1年次に購入した方は不要) ②究極のホスピタリティを実現する『共感力の鍛え方』 安東徳子著 コスモ21 (1年次に購入した方は不要) ③ウエディング演出の23段階 (23-Step) ④セレモニー実習ノート ⑤世界ブライダルの基本 出版社 日本ホテル教育センター
参考書	
履修上の注意	ウエディングの知識をさらに高めるため、2年次の「ウエディングプランニング」、「ウエディングビジュアルプレゼンテーション」、「ウエディングナビゲーション」を履修することが望ましい。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、実習、プレゼンテーション

講義科目名称: ウエディング ビューティデザイン 授業コード: 1601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	服専:選択	
担当教員				
佐野みゆき				
ナンバリング:F14C41	実務家教員による授業			
添付ファイル				

授業内 標本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	学装、和装、ヘアメイク、ネイル、エステティック、ブーケなどウエディングに関するトータルビューティデザインの手法を学ぶ。特に花嫁のインナービューティに関わる視点から学習し、挙式までのさまざまなビューティのプログラムを習得し、花嫁のトータルコーディネイトが企画立案できるように身につける。(授業目標)花嫁心理についても学び、デリケートな花嫁との接客力も身に付ける。 ○D:ウエディングドレス、ヘアメイク、エステティック、ジュエリーなど企業研究を通じてウエディングビューティビジネスに関わる基本的知識を身に付ける。 ○E:マーケットに合致したコンセプトつくりから具体的な花嫁のウェディングをビューティの視点で企画提案ができる。
授業計画	ウエディングビューティについての考え方を学ぶ (意識調査)
DXIII O	ウエディングビューティに関わるスタッフが持つべきホスピタリティの理論と姿勢 および共感力コミュニケーションを駆使した花嫁心理の理解とカウンセリング手法を得る。 婚礼衣装の基礎知識 (意識調査) 国内外の婚礼衣裳の歴史と衣裳の基礎知識を学ぶ。また、コーディネート手法についても触れる。
	る。 招待客の装い (意識調査) ウエディングゲストの衣裳の正しいマナー、知識を得る。また、新郎の衣装についても触れる。
	<ul><li>ブライダルスタイリストという仕事 (意識調査)</li><li>ウェディングドレスのディテールの名称やデザインの種類とパーソナルカラーとパーソナルスタイルに基づいたドレス選びの手法を得る。</li></ul>
	ブライズビューティプログラム①インナービューティ (意識調査) インナービューティの考え方を習得し、花嫁の挙式までのビューティプログラムについて基
	<ul><li>礎知識を得る。</li><li>ブライズビューティプログラム②ブライダルエステのメニュー (意識調査)</li><li>ブライダルエステのメニューについて基礎知識を得る。また、挙式までのプログラムの考案ができるようになる。</li></ul>
	ブライズビューティプログラム③ビューティスケジュール (意識調査) 花嫁のビューティスケジュールについてエステティック、ヘアメイク、ネイルの組み込み方に ついて知識を得る。また、ヘアメイク、ネイルのコーディネイトにも触れる。
	プライズビューティプログラム④ビューティエクササイズ (意識調査) ビューティエクササイズとして運動方法の手法を得る。また、花嫁の悩みに応じたアドバイス が出来るようになる
	ブライズビューティプログラム⑤ボディメイク(補正下着) (意識調査) 花嫁のインナーウェアについての基礎知識を得る。ドレス別に応じた使用事例にも触れる。
	10 ブライズビューティプログラム⑥ニュートリション(栄養) (意識調査) ビューティに関わる食生活についての基礎知識を得る。美容や健康に必要な食品や摂取方 法についても触れる。
	ブライズビューティプログラム⑦モチベーション (意識調査) ブライズビューティを継続するための花嫁心理について基礎知識を得る。環境変化に応じた心理変化や挙式前の花嫁心理に触れ、カウンセリングのための心構えの手法を知る。
	2 ブライズビューティプログラム⑧まとめ (意識調査) ブライズビューティプログラム①回から⑦回までのまとめとして自身のインナービューティ プログラムを作成し、実際に自身で体感できる目標を設定する。また、コンセプト事例に沿っ た花嫁のビューティプログラムを考案する。
	3 体型別ドレス選び (意識調査) 花嫁の体型別ドレス選びについて基礎知識を得る。また、ドレス小物合わせについても触れ、ヘ アメイクやネイルについてもトータルでコーディネイトする手法を知る。
	プライズビューティカンパニー① (グループワーク、プレゼンテーション)(意識調査)ドレス企業研究をした内容をグループごとに発表する。各企業ごとにドレスデザインについて研究し、ヘアメイク、ネイルなどのトータルコーディネイトについてもプレゼンテーションする。見学者は、フォーマットにそってプレゼンテーションについて評価する
	5 ブライズビューティカンパニー② (グループワーク、プレゼンテーション)(意識調査)ドレス企業研究をした内容をグループごとに発表する。各企業ごとにドレスデザインについて研究し、ヘアメイク、ネイルなどのトータルコーディネイトについてもプレゼンテーションする。

	見学者は、フォーマットにそってプレゼンテーションについて評価する
学習成果・ 到達目標・基準	○D:洋装、和装、ヘアメイク、ネイル、エステティック、ブーケなどウエディングに関するトータルビューティについて説明できる。 ウエディング企業をリサーチする視点を持てる。 ◎E:花嫁の希望に沿ったウェディングビューティのトータルコーディネイトを企画提案できる。
事前・事後学習	事前学習:授業で紹介されたブランドや企業について、ウェブや雑誌等で調査する。(30分) 事後学習:授業ノートをまとめ、カウンセリングのロールプレイングの練習をする。(60分)
指導方法	第1回から第13回まではパワーポイントを使った講義形式。クリッカーを使って学生の意識や理解を確認しながらすすめる。ビジュアルが大切な講義なので、画像や映像を豊富に使用。毎回知識についてのミニテストを実施。第14回から第15回は実習形式。トータルビューティの提案のためのブライズカルテを使用する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D: 新郎新婦の衣裳、およびウエディングコスチューム企業についての知識を持っているか。 E: コンセプトに沿ったウエディングビューティをトータルコーディネイトし提案することができるかを評価する。 授業への貢献度30%、プレゼンテーション30%、課題提出30%、ミニテスト10%
テキスト	・究極のホスピタリティを実現する「共感力」の鍛え方 安東徳子著 ・プライダルコーディネーターテキスト(スタンダード) BIA公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会(前期に購入した方は不要) ・プリント配布 ブライズカルテ ・パワーポイントフォーマット配布 プレゼンテーションのプロセス
参考書	
履修上の注意	ウエディングの知識をさらに高めるため、1年次の「ウエディングナビゲーション」「ウエディングセレモニー」を履修することが望ましい。なお、ウエディングの接客についての知識は、アパレルをはじめあらゆる接客業に役立つものである。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: ウエディング プランニング

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	服専:選択	
担当教員				
鈴木はるみ				
ナンバリング: F24C43	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業コード: 1131

授業 将標 A: A: A: A: A: A: A: A: A: A:	ウエディングプランニングに必要な①傾聴、②企画、③提案を基本にした23段階の理論(23-Step)を学び、あらゆるカップルに対し、コンセプチュアルウエディングをプランニングする手法を学ぶ。 (授業目標) コンセプトメイクの手法を修得する。後半のケーススタディを通じて、ウエディングをはじめとするイベントプランニングの具体像を理解する。 ② $\mathbb{C}:\mathbb{O}$ ①傾聴、②立案、③提案の順序に沿ってコンセプトを導き出し、ウエディングのプランニングができる。 ○ $\mathbb{D}:\mathbb{C}$ ウエディングのプランニングの23段階の理論(23-Step)を正しく説明できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1. プランニングとは?(理解の確認:Google Classroom) 演出の基本的概念と演出に使われる用語の意味を理解する。
	2. プランニングの23-stepメソッド (理解の確認: Google Classroom) 演出のための23段階の理論 (23-Step) にわたるメソッドのしくみを理解する。
	3. コンセプトメイク 1 (理解の確認: Google Classroom) コンセプトの概念とコンセプトメイクの手法を学ぶ。
	4. コンセプトメイク 2 (グループワーク、実習) 事例に沿ってコンセプトメイクについての理解を深める。
	5. ログラインとテーマ (グループワーク、実習) ログラインとテーマの概念学び、事例分析をする。
	6. コンセプトストーリーメイク (理解の確認: Google Classroom) コンセプトストーリーの概念を理解し、コンセプトメイクの全体像を把握する。
	7. アイテムへの落とし込み (理解の確認: Google Classroom) (グループワーク、実習) コンセプトを各アイテムに落とし込む手法を学ぶ。
	8. プランニングに必要なアウトプットフォーマット (理解の確認: Google Classroom) (グループワーク、実習) 演出の現場で使われるフォーマットの種類と使い方を学ぶ。
	9. レイアウト手法 (理解の確認: Google Classroom)(実習) レイアウトの基本とフォーマットへの落とし込み手法を学ぶ。
	10. スクリプトの書き方 (理解の確認: Google Classroom)(グループワーク、実習) アイテムの選定、レイアウトの確定に沿ったスクリプトの書き方を学ぶ。
	11. 音楽・照明・映像の演出手法 (理解の確認: Google Classroom) 音楽、照明、映像という時間軸演出の手法を演出機器の知識とともに学ぶ。
	12. ケーススタディ① (グループワーク、実習) ヒアリングデータ1を元に23段階の理論(23-Step)に沿ってプランニングを考えてみる。
	13. ケーススタディ① (グループワーク、実習、プレゼンテーション) ヒアリングデータ1を元に23段階の理論 (23-Step) に沿ってプランニングを発表する。
	14. ケーススタディ② (グループワーク、実習) ヒアリングデータ2を元に23段階の理論(23-Step)に沿ってプランニングを考えてみる。
	15. $f$ ケーススタディ② (グループワーク、実習、プレゼンテーション) ヒアリングデータ 2 を元に23段階の理論(23 $-$ Step)に沿ってプランニングを発表する。
学習成果・ 到達目標・基準	◎C:提示されたコンセプトに沿ってプランニングをすることができる。 ○D:ウエディングのプランニングシート23段階の理論(23-Step)の概要を説明できる。
事前・事後学習	事前学習:授業の内容を復習のうえ、専門用語などをまとめる。(30分程度) 事後学習:配布された課題プリントに取り組む。学んだ用語を用語帳にまとめる。(90分程度) 興味を持った「CM・広告」「商品名・ネーミング」などを選び、興味を持った理由をまとめる。 (60分程度)
指導方法	プランニングの基礎となる23段階の理論(23-Step)についての講義。パワーポイントを使用して、可視化して理論を学ぶ。グループワークや課題に対してのフィードバックを授業内で行い、インタラクティブな授業を行う。 宿題・課題を提示し、理解を深める。 後半はケーススタディを導入し、理解した理論を基にウエディングのプランニングを行う。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	定期試験30%:23-Stepの理論に基づいて、具体的なウエディングプランニングを行う (C:示されたケーススタディにふさわしいコンセプトを選ぶことができているか評価。) レポート40%:提示した宿題・課題についての理解 (D:宿題・課題の意図を理解したうえでレポートを作成しているか評価。) 授業態度・授業への貢献度30%:グループワークなどへの積極性
テキスト	書名:究極のホスピタリティを実現する「共感力」の鍛え方、著者:安東徳子、出版社:コスモ21、出版年:2017年 書名:ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード 発行:BIA公益社団法人日本ブライダル文化振 興協会、出版年:2018年 (1年次に「ブライダルコーディネーターテキストスタンダード」を購入した方は不 要)
参考書	
履修上の注意	ウエディングの知識をさらに高めるため、2年次の「ウエディングビジュアルプレゼンテーション」、「ウエディングレセプション」の履修が望ましい。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、実習、プレゼンテーション

講義科目名称: ファッション デジタルマーケティング 授業コード: 1791 1792

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	服専:選択
担当教員	·		
中村晴菜			
ナンバリング:F13C32	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	デジタル上のビジネスに対応する為、デジタル力を活かしたマーケティング企画作品を制作。人と物やサービスをどの様に繋げるかをWebやアプリを通したプログラミング的な要素で、表現する力をつける。テーマを決めグループワークを実施。共感・問題定義・アイデア創出・プロトタイピング・テストを繰り返し、デザイン思考を鍛えながらブランド力の向上を目指したマーケティングにつなげる。
ション能力 C:思考力・判断 力	「adobe XD」を使用し、webなどを制作しながらリサーチすることで、現状のビジネスを知り、新しいビジネスに繋がるきっかけや発信方法を考察する (授業目標)
D:知識・理解 E:技能・表現	◎E:デジタルの制作技術を活用し、コンセプトに基づく制作ができる ○A:主体性を持ってグループで企画を進める事ができる
授業計画	本講座とAdobeソフトについて 今後の企画内容のガイダンスとAdobeソフトについて
	2 UIとUXデザインについてとグループディスカッション ユーザー視点に立ってサービスや商品の本質的な課題・ニーズを発見しグループでの制作のコン セプトを決める
	3 ワイヤーフレーム製作 リサーチを繰り返し人と物やサービスをどのように繋げればいいかの枠組みを決め、グループで の共通認識を持つ また、作業方針を決めていく
	4 基本操作(色・形・文字) XDの基本操作を習得しワイヤーフレームを元に構造のベースを設定
	5 トップページ制作 サービスやブランドの顔を作ることで全体のデザインの方向性を決めていく
	6 基本的なUIデザインのパターンとデザインの共通概念 企画に合う基本的なデザインパーツを制作しトップページを完成させる
	7
	8 詳細ページ制作 ゴールである詳細のページを各自制作
	試行を繰り返し、ブランドらしさであるデザインの一貫性を持たせる 9 詳細ページ制作
	ゴールである詳細のページを各自制作 試行を繰り返し、ブランドらしさであるデザインの一貫性を持たせる 10 詳細ページ制作
	ゴールである詳細のページを各自制作 試行を繰り返し、ブランドらしさであるデザインの一貫性を持たせる
	11
	12 一覧ページ制作 サービスやブランドの骨格である一覧ページを制作 スタートとゴールの結びつけを表現する
	13
	14 回遊 作品内でユーザーを回遊させる方法を考察し魅了するビジネスに繋げる 様々な切り口で関連する情報を見せ作品を完成させる
	15 学修成果発表 講評 プラン完成後、全員で作品を試行し、評価し合う。これからのビジネスにどのように活かせるかなど考察する
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎E:デジタルの制作技術を活かし、伝えたいことを形にする</li><li>○A:計画性を持ってグループで企画を進める事ができる</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:普段何気なく使用しているアプリやサイトに対して、なぜ使いやすいのか、機能的な表現がどうなっていると伝わりやすいかをリサーチする。XDの使用に慣れる為基本操作動画を見て事前確認をする。(20分)
	事後学習:課題で使用する画像や動画など教室ではできない撮影や素材集め(40分)
指導方法	プロジェクターにて制作の過程を表示し、学生と同時の進行にて指導を行う。

	操作に遅れの出る学生の出ないよう、質問を受け付ける時間を設け、作業を進めていく。 各学生からのデザインに関する質問については応用技術の指導を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E: 課題と成果物による評価 A:課題や授業への貢献度を評価 作品50%、授業態度・貢献度30%、その他課題20%
テキスト	適宜フォーマット配布
参考書	
履修上の注意	Adobeソフト使用 各自PC持参 後期「ビジュアルアート演習」のAdobeソフト使用の科目を履修する事で、よりデジタルスキルの向上を目指せる。
アクティブ・ラー ニング	実習・ディスカッション・グループワーク

講義科目名称: ファッション デジタル演習 A 授業コード: 1041 1042

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	服専:選択
担当教員		·	
中村晴菜			
ナンバリング:F12C14	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			
	_		

12 11/2 1	
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・ュニケー B:コン能力	モノ消費からコト消費へのニーズに合わせた価値創造が出来るようデザイン思考のプロセスを用い建設的なクリエイティブを目指す。人と物やサービスをどの様に繋げるかをWebやアプリを通したプログラミング的な要素で、表現する力をつける。テーマを決めグループワークを実施。共感・問題定義・アイデア創出・プロトタイピング・テストを繰り返し、答えを導く。なぜその答えに至ったのかのプロセスに重きを置き、ビジネスで有効な伝えるデザインを目指す。
C: 思考力・判断 力	「adobe XD」を使用し、webなどを制作しながらリサーチすることで、現状のビジネスを知り、新しいビジネスに繋がるきっかけや発信方法を考察する
D:知識・理解 E:技能・表現	(授業目標) ◎ E:デジタルの制作技術を活用し、コンセプトに基づく制作ができる ○ A:主体性を持ってグループで企画を進める事ができる
授業計画	本講座とAdobeソフトについて 今後の企画内容のガイダンスとAdobeソフトについて
	2 UIとUXデザインについてとグループディスカッション ユーザー視点に立ってサービスや商品の本質的な課題・ニーズを発見しグループでの制作のコン セプトを決める
	3 ワイヤーフレーム製作
	リサーチを繰り返し人と物やサービスをどのように繋げればいいかの枠組みを決め、グループでの共通認識を持つまた、作業方針を決めていく 基本操作(色・形・文字)
	XDの基本操作を習得しワイヤーフレームを元に構造のベースを設定 トップページ制作
	サービスやブランドの顔を作ることで全体のデザインの方向性を決めていく
	6 基本的なUIデザインのパターンとデザインの共通概念 企画に合う基本的なデザインパーツを制作しトップページを完成させる
	7
	8 詳細ページ制作 ゴールである詳細のページを各自制作
	試行を繰り返し、ブランドらしさであるデザインの一貫性を持たせる 9 詳細ページ制作
	ゴールである詳細のページを各自制作 試行を繰り返し、ブランドらしさであるデザインの一貫性を持たせる 10 詳細ページ制作
	ゴールである詳細のページを各自制作 試行を繰り返し、ブランドらしさであるデザインの一貫性を持たせる
	11
	12 一覧ページ制作 サービスやブランドの骨格である一覧ページを制作 スタートとゴールの結びつけを表現する
	13
	14 回遊 作品内でユーザーを回遊させる方法を考察し魅了するビジネスに繋げる
	様々な切り口で関連する情報を見せ作品を完成させる 15 学修成果発表 講評 プラン完成後、全員で作品を試行し、評価し合う。これからのビジネスにどのように活かせるか
27.72 ← H	など考察する
学習成果・到達目標・基準	◎E:デジタルの制作技術を活かし、伝えたいことを形にする ○A:計画性を持ってグループで企画を進める事ができる
事前・事後学習	事前学習:普段何気なく使用しているアプリやサイトに対して、なぜ使いやすいのか、機能的な表現がどうなっていると伝わりやすいかをリサーチする。XDの使用に慣れる為基本操作動画を見て事前確認をする。(20分)
	事後学習:作品で使用する画像や動画など教室ではできない撮影や素材集め(40分)

指導方法	プロジェクターにて制作の過程を表示し、学生と同時の進行にて指導を行う。 操作に遅れの出る学生の出ないよう、質問を受け付ける時間を設け、作業を進めていく。 各学生からのデザインに関する質問については応用技術の指導を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E: 課題と成果物による評価 A:課題や授業への貢献度を評価 作品50%、授業態度・貢献度30%、その他課題20%
テキスト	適宜フォーマット配布
参考書	
履修上の注意	Adobeソフト使用 各自PC持参 「ファッションデジタル演習B」のAdobeソフト使用の科目を履修する事で、よりデジタルスキルの向上を目指 せ、就活やビジネスに活かせるポートフォリオ作りに繋がる。
アクティブ・ラー ニング	実習・ディスカッション・グループワーク

講義科目名称: ファッション デジタル演習 B 授業コード: 1051 1052

添付ファイル			
ナンバリング: F12C15	実務家教員は	よる授業	
中村晴菜			
担当教員			
後期	1	1	服専:選択
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分

	T
授業内容 授業   日本	一つの商品を企画する時に、商品のデザインだけでなく、その商品をどの様に販売していくか、それにまつわるデザインを企画し、活用方法を考察する。ポートフォリオにまとめながら、デジタルスキルを向上させる。本授業では、商品を各自選定し、そこからターゲットなどのコンセプトを決め、そのパッケージ・カタログ・グッズや服などのデザインを企画し、実際に製作する(服の場合は1/4縮尺サイズ)。紙面上ではなく、複数のデザインを実際に目にすることで、一貫したブランディングがなされていたか、適切にお客様に伝わるデザインだったかを考察する。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	「Adobe Illustrator」の使い方に重点を置き、「Adobe Photoshop」と併用しながらグラフィック系ソフトの 使い方を習得する。プランニングすることで、デザイン的思考を養い、プレゼンテーション資料制作や平面的 デザインを行う (授業目標) ②E:デジタルの制作技術を活用し、伝えたいことを形にする。
	〇A: 主体性を持ちデザイン製作を行う。
授業計画	1本講座について 今後の企画内容のガイダンス Photoshop、Illustratorの基本的操作と違いと互換性について2商品に合うグラフィック提案のコンセプトシート計画
	基本的なフォントや文字の配置方法
	3 商品に合うグラフィック提案のコンセプトシート計画 画像のレイアウト・コラージュ方法
	4 ブランド企画とロゴマーク ブランド企画をし、コンセプトに基づいたロゴマーク作成 次回製作の為のイメージ作り
	5 ブランド企画とロゴマーク コンセプトに基づいたロゴマーク作成 次回製作の為のイメージ作り
	6 キービジュアル制作 紙媒体を制作し、デザインを汎用させ、ブランディングに繋がる力をつける
	7
	どのようなパッケージが相応しいか紙媒体を応用させる
	9 ノベルティグッズデザイン企画・制作 今までのデザインを汎用させた物品企画。ブランドらしさのストーリーに基づく ノベルティーグッズ(エコバッグ・Tシャツ・ポーチなどのいずれか)のデザイン制作
	10
	1/4縮尺サイズのファッションアイテム制作   今までのデザインを汎用させたファッションアイテムを企画   布にプリントアウトし、ファブリックデザインを含めたファッション提案をする
	1/4縮尺サイズのファッションアイテム制作   今までのデザインを汎用させたファッションアイテムを企画   布にプリントアウトし、ファブリックデザインを含めたファッション提案をする
	13 作品撮影   今までの作品を振り返り、ポートフォリオに入れる為の撮影。
	14 企画書まとめ 今までのデザイン案をまとめ、製作物を撮影してポートフォリオとしてまとめる
W 777 - IN 197	対象のでは、15   対象のでは、1
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎E:「Adobe Photoshop」「Adobe Illustrator」他グラフィック系のソフトやアプリの基本的な技術を用いてグラフィック制作ができる。</li><li>○A:計画性を持ってプラン制作ができる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:コンセプトに合う各課題のデザイン例を調べ、プラン制作のイメージを固める(20分) 事後学習:授業で学修した知識や技能が、どのようにデザインに応用できるか考えながら、課題を完成させる (40分)
	!

指導方法	プロジェクターにて制作の過程を表示し、学生と同時の進行にて指導を行う。 操作に遅れの出る学生の出ないよう、質問を受け付ける時間を設け、作業を進めていく。 各学生からのデザインに関する質問については応用技術の指導を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E:課題提出物、A:受講態度及び授業への貢献度を評価する。 課題提出物70%、授業態度・貢献度30%
テキスト	適宜、プリントやフォーマットデータを配布
参考書	
履修上の注意	事前学習にしっかり取り組み、授業中は技術取得に努める 製作物により事前準備や購入し持参するものがある
アクティブ・ラー ニング	実習、プレゼンテーション

講義科目名称: ビジュアル アート演習 授業コード: 1231 1232

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	服専:選択
担当教員			
中村晴菜			
ナンバリング: F22C17	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授 授 授 表 : サーフ : サーク : サー : サー : サー : サー : サー : サー : サー : サー	小売業で重要なビジュアルを空間で捉えることで、発想したものをカタチにする力を養い、お客様に伝えるビジュアル企画を目指す。またPCで作ったものを実際に具現化する事で、表現力を養う。本授業では、ショップのターゲット設定しそのお客様の心に訴えるビジュアルを目指す。ショップ全体のイメージ・陳列イメージ・年間のビジュアル販促スケジュール・小物用ショーウィンドウプラン企画・実施することで、販売促進の一環であるお客様に伝えるビジュアルを目指し、ビジネスに活かす。  「Adobe Photoshop」の使い方に重点を置き、「Adobe Illustrator」と併用しながらグラフィック系ソフトの使い方を習得する。プランニングすることで、デザイン的思考を養い、プレゼンテーション資料制作や空間的デザインを行う(授業目標)  ③ E: コンセプトやターゲットを理解し、商品やテーマが伝わるビジュアルデザインを創造することができ			
授業計画	る。 1	店舗におけるビジュアル		
1文未可四		<b>今後の企画内容のガイダンスとターゲット設定</b>		
	2	空間・陳列などのビジュアル		
		什器などコンセプトの店舗空間への活かし方 IllustratorとPhotoshopの操作確認		
	3	コンセプトに基づく店舗空間イメージコラージュ制作		
		商品やブランドコンセプトに合う店舗空間マップ制作		
		Photoshop画像編集を習得しながらマップ制作		
	4	コンセプトに基づく陳列コンセプト制作		
		商品やブランドコンセプトに合う商品陳列のイメージマップ制作 Photoshop画像編集を習得しながらマップ制作		
	5	年間販促計画に基づくディスプレイ計画		
		販促活動に基づくビジュアル提案をリサーチ・計画		
	6	年間販促計画に基づくディスプレイ計画 販促活動に基づくビジュアル提案をリサーチ・計画		
	7	ディスプレイ構成 商業施設のディスプレイを考察・分析し、美しいとされるディスプレイの構成を学ぶ 今後企画の参考になる写真をコラージュ		
	8	ショーウィンドウディスプレイ計画		
		テーマに沿うディスプレイプラン制作 パース製作の基本技術を習得		
	9	ショーウィンドウディスプレイ計画		
		テーマに沿うディスプレイプラン制作 パース製作の基本技術を習得		
	10	ショーウィンドウディスプレイ計画		
		テーマに沿うディスプレイプラン制作 パース製作の基本技術を習得		
	11	ディスプレイ立体製作		
		PCプランをもとに必要装飾品を製作し実際に組み立てる		
	12	ディスプレイ立体製作 PCプランをもとに必要装飾品を製作し実際に組み立てる		
	13	ディスプレイ立体製作・撮影 PCプランをもとに実際に組み立てる 完成後撮影をする		
	14	プランまとめ		
		実施写真を制作プランに入れ込み、コンセプトから実施まで一つのプランにする		
	15	学修成果発表 講評 課題のプレゼンテーションと意見交換		
学習成果・ 到達目標・基準	◎E:販促活	動の一環として、企画し実施することができる。		
事前・事後学習	事前学習:コン 事後学習:授業 (20分)。	ンセプトに合う各課題のデザイン例を調べ、プラン制作のイメージを固める(40分)。 美で学修した知識や技能が、どのようにデザインに応用できるか考えながら、操作の復習を行う		

指導方法	プロジェクターにて制作の過程を表示し、学生と同時の進行にて指導を行う。 操作に遅れの出る学生の出ないよう、質問を受け付ける時間を設け、作業を進めていく。 各学生からのデザインに関する質問については応用技術の指導を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E:課題提出物、受講態度及び授業への貢献度を評価する。 課題提出物80%、授業態度・貢献度20%
テキスト	なし 適宜プリント資料を配布する。
参考書	
履修上の注意	Adobeソフト使用 各自PC持参 事前学習にしっかり取り組み、授業中は技術取得に努める 製作物により事前準備や購入持参するものがある
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: ビジュアル アート論 授業コード: 1221

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	服専:選択
担当教員			
中村晴菜			
ナンバリング:F12C12	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・手一 ムリーラミュン B:コン能力 C:思考力・判断 力	HPなどの平面だなショップの平面ででででいます。 (授業目標) ブランドを商品できるよう創品である。 (図D:商品やタ	品だけで見るのではなく商品に関わる全てのビジュアルによってお客様により良い購入体験がで
D:知識・理解  E:技能・表現		
授業計画	2	ビジュアルの重要性 ビジュアルに左右される行動や心理 VMD導入の意味と意義と仕掛け方 購買行動とビジュアル オンラインとリアル店舗の共通点と相違点を明確にし お客様が目にする全てのビジュアルを考える デザインテイストの規格化と店舗デザイン
	4	ブランドテイストや商品を考慮したショップスタイリング 店舗ツール ビジュアルを左右するマネキンや什器について知る
	5	売り場作り ゾーニングやグルーピングを学び、店内レイアウトを考える
	6	3つのゾーンの役割 VP/PP/IPに空間を分け、お客様を集客し分かりやすい買い場を作る
		IP (陳列の基本) 陳列の種類とわかりやすい・見やすい陳列を探る
		IP(陳列の基本) カラーテクニックやアイテム別の魅せ方
	-	PP(ゾーンのポイント) 効果的な配置場所とディスプレイ構成
		VP(店舗の顔) 構成の種類と効果を実施写真で考察・分析
		VP(店舗の顔) 販促テーマを効果的にビジュアル化する方法を学ぶ
		MP技法・ライティング効果 商品を美しく魅せる技法を学ぶ
	1	年間のお買い場づくり 商品の入れ替えに合わせて効果的にビジュアル化する
		季節の装飾 旬なおもてなしでお客様の心を掴む
		店内再編集とこれからの時代のVMD 商品ライフサイクルを反映する売り場の再編集方法 アフターコロナやオンラインなど変わる時代の店舗像
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:店内のラ ○E:年間の則	ディスプレイや陳列を見極めて構成できる。 反促計画に合わせた商品の見せ方を考えることができる。
事前・事後学習	事前学習:店舗	#ごとにショップ内の自分が好きな箇所と嫌いな箇所をまとめておく(60分)。 &の中でのキーワードをチェックリストにし、実際の店舗をリサーチする。課題やワークを完成
指導方法		<b>車する写真や映像等を使用して、視覚媒体を多く取り入れながら講義形式で行う。</b>
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D、E:レポー 定期試験 40%	- ト課題、定期試験を評価する。 6、課題40%、授業態度・貢献度 20%
テキスト	なし 参考文献に関し	してはその都度指示する。

参考書	
履修上の注意	百貨店や駅ビルなど様々な商業施設に足を運ぶ。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク・ディスカッション

講義科目名称: デザイン アート論 授業コード: 1121 1122

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	1	2	服専:必修		
担当教員					
中村晴菜					
ナンバリング:F11A04	実務家教員に	こよる授業			
添付ファイル					

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	ブランドを経営する上で商品以外にも関わるデザインは多い。平面的なデザインに重点を置き、なぜそれが多くの人の心を動かしたのか、相手にどのように表現すれば、商品が伝わるのかを考えれるビジネス的なデザイン思考を学ぶ。また、多様化の時代に多くの人が美しいと感じる普遍的なものを学び、新しい提案につなげる。また、ポートフォリオなどのレイアウト術に活かせる基本を学ぶ
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標)  広がるファッションの分野で様々に活かせるデザイン思考を学び、実践に活かせる力を身につける。  ◎C:ブランドや商品を研究しコンセプトやターゲットに合うデザインを考えることができる。  ○D:商品をより良く伝えるデザインを論理的に導くことができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 アート思考 デザインとアートの違いを知り、0から1を生み出すアウトプットの重要性を知る
	2 デザイン思考 デザイン思考で生まれた商品などを知る。デザイン思考のプロセスを体感する
	3 デザインの歴史 時代と共に変わるデザインを知る 流行にとらわれず、社会を知ることで、生まれるデザインを考える
	4 デザインの種類
	5 ビジュアルアイデンティティー ブランドとお客様のコミュニケーション ブランディングに関わるデザインを調べる
	6 ロゴデザイン・フォント ロゴの持つ役割とブランドストーリーを知り、表現する力をつける
	7 コーポレートカラー&ブランドカラー・デザインエレメント 色の作用やデザインのパーツによりブランディングを強化する
	8 配色 色の特性を知り言葉からイメーシされる配色を作り表現する 季節やテーマごとに変わる販促に有効に活かす
	9 フォント フォントデザインの基本と印象
	10   文字のジャンプ率   デザインの基本要素である対比を学ぶ   情報の優先順位を文字だけで伝えるデザインを作る
	11 レイアウト (構図) 要素の配置をどうすれば、効果的なデザインができるかを知る 雑誌の表紙や写真などをメインにデザインの考察をする
	12 レイアウト (デザインの4原則)   商品解説やウェブページでも重要なレイアウトの4原則を学ぶ。   写真や文字など全ての情報を整理し、どのように配置すればいいかの法則を知る。
	13 視線誘導   デザインを通してユーザー視線の流れをコントロールし、誘導するテクニックを学ぶ
	14 適材適所のデザイン   POPの種類・場所に合わせた活用方法・コンセプトに応じたレイアウト・制作   商品開発と共に繰り返されるマーケティングと販売促進の為のデザイン
	15 時代と共に変わる企業とデザイン コロナ禍で様々な変化が起こり、ブランドにも変化が起こっている ブランド変化に伴うデザインの変化とこれからを考察する
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎C:コンセプトに沿ったデザインができる。</li><li>○D:身の回りにあるデザインを知り、デザインとブランド経営の関係を知る。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:ファッションに限らず様々なデザインに目を向ける。雑誌・広告・パッケージデザインを見て商品の何を伝えたいのか推測する。課題に備え、ECサイトなどで良いと感じた平面的デザインをスクラップしておく(60分)。
	事後学習:毎回ワークを実施するので、完成させ提出する(120分)
指導方法	パワーポイントなどの視覚媒体を多用し、視覚で感じながら解説を行う。また、ワークを実施することで表現する力を養う。

	授業内での課題提出、およびレポート提出がある。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:課題課題、リアクションペーパー D:定期試験 定期試験30%、課題70%、授業態度および貢献度10%
テキスト	なし 適宜プリント配布。
参考書	
履修上の注意	ブランド発信に関わる様々なデザインに目を向け、感じたことや傾向を記録しておく。 なぜそのような色や型になったのか自分なりに理由付けができるよう心がける。
アクティブ・ラー ニング	ディスカッション・デザイン的自己表現と考察発表など

講義科目名称: キャリアゼミ:デザイン クリエーションゼミ 授業コード: (デジタル)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	服専:必修	
担当教員				
中村晴菜				
ナンバリング:F37A58	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	「デザインクリエーション(デジタル)ゼミ」 学生の職業意識を高め、将来の夢を実現させるため、モデル別に行うゼミナールである。 講義、グループワーク、プレゼンテーション形式で行われ、業界の専門知識やスキルを主体的に学ぶ。 前半7回は学科担当教員、後半8回はキャリアセンターが指導を行う。
ション能力 C:思考力・判断 力	前半は、デジタルリテラシーを養い、クリエイティブな発想を表現する。デザインの背景を考え、企画したものを実際に形にする。デザインを点で考えるのではなく、線で考えてストーリーを考える事で、伝達力を強める。
D:知識・理解 E:技能・表現	Adobeのクリエイティブソフトを使い、企画やデザイン制作を行い、就活で使えるポートフォリオを作成する。 後半は、就職活動の開始時期に適切なスタートが切れるように、面接試験や履歴書の書き方などの基本的知識 を学ぶ。 (授業目標) ②D:目指す業界の求められる人材やスキルを理解し、そのための対策や準備を進めることができる ○E:デジタルクリエイション技能を向上させ、ポートフォリオを使用したプレゼンテーションによって、コン セプトに基づくデザイン説明ができる
授業計画	1 本講座について (中村) 概要説明と業界研究
	2 Adobeについてとワイヤーフレーム(中村) Adobeソフトの説明とポートフォリオ制作に向け、ワイヤーフレームを作成
	3 自己紹介ページ作成(中村) エントリーシートの自由記入欄を想定しデジタルスキルを使い制作する
	4 ポートフォリオ制作(中村) 進みたい業界に合わせ、コンセプトに基づくブランド企画をする。
	5 ポートフォリオ制作(中村) 写真合成を多様し企画を膨らませる。企画に合わせ撮影。
	6 ポートフォリオ制作(中村) 写真合成を多様し企画を膨らませる。企画に合わせ撮影。
	7 作品発表(中村) 制作まとめ・発表
	8 就活の為のオリエンテーションとSPIテスト(キャリアセンター) 3月から本格的にスタートする就職活動の流れと必要な準備について 内定者体験談
	9 就職活動の準備について (キャリアセンター) 求人の探し方や企業研究の方法
	10 履歴書の書き方を知る① (キャリアセンター) 自己分析を通して自分の強みを考える
	11 就職活動、面接でのマナー講座(キャリアセンター) 就職活動で必要なマナー(立居振舞、言葉遣い)などの 基本を学ぶ
	12 履歴書の書き方を知る② (キャリアセンター) 志望動機の書き方のポイントについて
	13 就職活動で必要な面接のポイント①(キャリアセンター) 基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	14 就職活動で必要な面接のポイント①(キャリアセンター) 基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	15 振り返り (キャリアセンター) 履歴書や面接ロールプレイングの内容をもとに振り返り
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:就職活動のスケジュールや必要な準備を理解している</li><li>○E:就活業界に合うポートフォリオを制作することができる</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:次回授業時に必要な素材や写真を集め表現を具体的にする。また、指定した資料での自己分析や興味のある業界の事前学習(15分) 事後学習:デザインパーツなど各回の課題を完成させる。また、毎回のテーマを振り返り、就職活動に役立てるように資料をまとめておく(30分)

指導方法	(前半7回) パワーポイントを使用した講義、学生の主体性と積極性を重視し、思考を深めるよう指導する。 Adobe操作に関しては遅れの出る学生の出ないよう、質問を受け付ける時間を設け、作業を進めていく。 (後半8回) パワーポイントを使用した講義、履歴書の実作や面接ロープレイングによる実践形式で授業を展開する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:授業態度(参加度、積極性)を評価する。 E:作品の完成度を評価 作品50%、履歴書や模擬面談20%、授業態度(参加度、積極性)30%
テキスト	適宜プリント資料を配布する。
参考書	
履修上の注意	(前半7回) Adobeソフト使用 各自PC持参 (後半8回)業界理解を深め、就職活動の基本的なスキルアップを目的とする。全員が履歴書実作、模擬面接な どの実践を行う。 ゼミ形式の授業であるため、自主的な受講態度が求められる。
アクティブ・ラー ニング	(前半7回) ポートフォリオ制作 (後半8回) 履歴書実作、模擬面接などの実践

講義科目名称: ファッション ビジネスゼミ (経営) 授業コード: 1731

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	服専:選択	
担当教員	•			
中村晴菜				
ナンバリング:F37C56	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	どの様にサージュアルデザ	ブランドや企画立ち上げなどに関係した就職を希望する学生を対象にしたゼミである。 ビスや商品を発信していくかのブランドストーリーを作り作品制作する。コンセプトの表現をビインを通して行うことで効果的なブランディングの表現力を養い、今後のビジネスに活かすこと、各自目指す業界に合わせたWeb・アプリ・グッズなど制作課題を設定し、完成までのフローを組
フョン	(授業目標)	tratorやPhotoshopなどのクリエイティブソフトを使い、デジタルの複合スキルを身につける に作業を進め、責任感を持って最後までやり抜くことができる
E:技能・表現		ル技術を向上させ、コンセプトに基づく表現ができる
授業計画	1	ガイダンス・Adobeについて 本ゼミナールの概要 Adobeの基本操作とできることについて学ぶ
	2	業界研究と目標設定 業界研究をし自分の目標を定めて企画書概要を作る 就活の際に使えるポートフォリオや起業に向けた企画書を含むポートフォリオを活かしたマネジ メントについて知る
	3	ブランドコンセプト設定 取扱う商材やサービスの設定を決めレイアウトする
	4	ブランディングデザイン研究 様々なブランディングにまつわるデザインを知り、表現する方法での違いを学ぶ 効果的な表現方法を考察する
	5	ブランドストーリー設定 コンセプトに基づくマーケティング方法やビジュアルアイデンティティーなどブランドの発信方 法を決めて全体のストーリーを設定する
	6	ワイヤーフレーム計画 ワイヤーフレームを作ることでブランディング制作を可視化する
	7	ビジュアルアイデンティティー制作 ストーリー発信に効果的なブランディングの為のデザインパーツを制作し完成させる
	8	作品制作の為の計画 デザインを汎用させ、ブランディングに繋がる力をつける
	9	トーン&マナー設定 デザインルールを決めることでブランドの世界観の統一を図る
	10	企画内容発表 企画内容がコンセプトの伝わるものになっているか発表をし 今後の作品制作に活かす
	11	作品制作 ビジュアルアイデンティティーを活かした作品制作(グッズ・カタログ・ウェブなど企画に合う 制作を実施)
	12	作品制作 ビジュアルアイデンティティーを活かした作品制作(グッズ・カタログ・ウェブなど企画に合う 制作を実施)
	13	作品完成・撮影 作品を完成させ・企画書に入れるための撮影をする
	14	まとめ 作品を全て揃え、企画と制作まとめる。
	15	学修成果発表 講評 各作品を鑑賞し、意見を出し合い今後につなげる。また、自分の特性を客観的に考察する
学習成果・ 到達目標・基準	◎E:デザイン	な態度で作業に取り組み、作品を完成できる ンソフトを使い、制作ができる
事前・事後学習	事後学習:各	ランド発信におけるデザインの背景やコンセプトを考察する(10分) 自スケジュールに従い、到達点に達していない場合は、次回までに作業を行う(35分)
指導方法	操作に遅れの	ーにて基本操作などの講義をし、学生と同時の進行にて指導を行う 出る学生の出ないよう、質問を受け付ける時間を設け、作業を進めていく デザインに関する質問については応用技術の指導を行う

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○A:主体的な態度で作業に取り組み、計画性を持って取り組める ◎E:コンセプトに基づく表現ができた作品になっている 作品60%、プレゼンテーション20%、授業への貢献度20%
テキスト	適宜フォーマット配布
参考書	
履修上の注意	Adobeソフト使用 各自PC持参 作品制作の為自主的な受講態度が求められる 「ファッションデジタルマーケティング」の科目履修をすることでデジタル技術を本科目にも活かすことがで きる
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション・ディスカッション

講義科目名称: ビューティアドバイザー演習 授業コード: 1491 1492 1493 1494

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	1	1	服専:選択		
担当教員					
福島裕司					
ナンバリング:F15C49	実務家教員に	よる授業			
添付ファイル				·	

授業内容	メイクアップの必要性を理解し、人にメイクアップをする技術を身につける。相モデルの実習を繰り返し行う
授業目標 A:主体性・チー	こ  とで、モデルの特徴を捉えたメイクアップをできるようにする。前半はタッチアップするためのポイントメイ
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	ク   オフとポイントメイクをマスターすることを重点的に行う。後半はカウンセリングの手順を学び、メイクアッ
ション能力  C:思考力・判断	プロの提案&フルメイクアップができる技術を身につける。
力	
D:知識・理解 E:技能・表現	◎B 相モデル演習やロープレを行いコミュニケーション能力を高めることができる。  ○E ビューティーカウンセリングを行ったうえで、人にバランスメイクアップを施術できる。
授業計画	1 ガイダンス
	授業目標、授業の進め方の説明、評価の仕方、使用する道具の説明 美容業界、ファッションブランド〜アーチストブランドを学ぶ
	2 ポイントクレンジング~スキンケア
	クレンジング〜スキンケアの種類や手順を学ぶ 相モデルで実習
	3 ベースメイクアップ
	皮膚の知識やベースメイクアの種類を学ぶ スキンケア〜ベースメイクまで相モデルで実習
	4   タッチアップ演習① ポイントメイクオフとポイントメイク
	リップテクニックを学ぶ
	リップの違いを学び実習する アイメイクの上からのタッチアップ方法 5 タッチアップ演習② ポイントメイクオフとポイントメイク
	アイメイク (アイシャドー・アイライン)
	アイシャドーとアイラインのメイク方法を学び実習する 6 タッチアップ演習③ ポイントメイクオフとポイントメイク
	アイメイク (アイライン・ビューラー・マスカラ) アイブロウテクニック
	ビューラーとマスカラのメイク方法を学び実習する
	7 タッチアップ演習④ ポイントメイクオフとポイントメイク アイブロウテクニックを学ぶ
	アイブロウの色と形を理解してモデルに合わせて実習する
	8 ビューティカウンセリング①   接客の心得とは何かを学ぶ
	接谷の心骨とは何かを子ぶ 笑顔~姿勢~挨拶まで学び、繰り返し練習する
	9 ビューティカウンセリング②
	ホスピタルティマインドを学ぶ 接客に必要な知識を学び、演習する
	10 ビューティカウンセリング③
	聴く力 販売ロールプレイングを学び接客力を上げる
	11   ビューティカウンセリング④
	販売ロールプレイングを行い接客力を学ぶ 分析力 ゴールに向けて言語化
	ビューティカウンセリングを行いメイクアップの提案   12   ビューティカウンセリング⑤
	ビューティカウンセリングを行いメイクアップの提案
	一つのポイントメイクをリタッチ 相モデルで実習  13 ビューティカウンセリング&メイクアップ①
	ビューティーカウンセリングを行いスキンケアとメイクアップの提案・カウンセリングシート作
	成 2つのポイントメイクをリタッチ
	14
	ビューティーカウンセリングを行いスキンケアとメイクアップの提案・カウンセリングシート作
	成 2つのポイントメイクをリタッチ
	15 ビューティカウンセリング まとめ
	いままでのフィードバックを行う。 授業の振り返りとこれからの美容について考え、レポートにまとめる
学習成果・	◎B 相モデル演習やロープレを行いコミュニケーション能力を高めることができる。
到達目標・基準	〇E ビューティーカウンセリングを行ったうえで、人にバランスメイクアップを施術できる。

事前・事後学習	事前学習:次回授業のテーマに沿った資料、情報収集をする。(20分) 事後学習:課題となったテーマについて、授業内容を振り返りながら技術を復習しておくこと。(25分)
指導方法	講義は、板書、パワーポイントなどの資料を用いる。 アクティブラーニングやデモンストレーションを行い、実習(相モデルメイク)を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E:接客を想定したコミュニケーソンを実施し、カウンセリングシートがアドバイスも含めて仕上げっているかどうかを評価する。 D:カウンセリングシート通りに、メイクアップが仕上がっているかを評価する。 実技30%、カウンセリングシート20%、課題30%、授業への貢献度20%
テキスト	日本メイクアップ技術検定試験 1級 公式テキスト (一般社団法人JMA)
参考書	なし
履修上の注意	セルフメイク演習、セルフビューティ論を履修していることが望ましい。 実習は学生同士がお互いにモデルとなって行う形式である。 (相モデル) メイクアップ実習に必要な道具類を必ず各自で用意すること。
アクティブ・ラー ニング	実習、ペアワーク、グループワーク

講義科目名称: ファッション イラストレーションA 授業コード: 1341 1342

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	服専:選択	
担当教員				
江頭誠				
ナンバリング:F12C12	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	ファッションデザインに必要なデザイン画、スタイル画の基礎となる基本プロポーションやポーズから人体 ディテールの研究、アイテム図の表現法や着装表現、基本シルエットと着彩表現、各種画材の特性について学 ぶ。
A: 王体性・ケ ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	る。 市場調査を交え、常に広い視野を意識しながら、日々変化するファッション業界に対応できるよう、豊かな感性とその表現力を養うことを目標とする。 【授業目標】
C:思考力・判断力	○C: 描く対象物やディテールに適した技法を判断し表現できる。   ◎ E: デザイン力や色彩感覚を磨き、描く対象物によって適切な画材を選び、描くことができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 講師紹介、ガイダンス 講師の紹介(制作物、メディア情報等の紹介) ファッション イラストレーションAの授業の概要説明
	2 基本プロポーション説明 ファッションイラストにおける人体の基本プロポーションについて(正面、横)
	イラスト制作に便利なツールの紹介 アイテム図の表現
	スカート、パンツ、ジャケットの描き方、画材の使用方法について 諸所の画材を用いて実験
	4 スカートのスタイル画(1) スカートのスタイル画、コーディネート考案
	5 スカートのスタイル画 (2) スカートのスタイル画、線画の完成
	6 スカートのスタイル画 (3) スカートのスタイル画の着彩、仕上げ
	7 イラスト模写 イラストからポージング、アイテムの描き方を参考にし模写
	8 写真模写 ファッション雑誌等のモデル写真からポージング、顔の表情を参考にし模写
	9 パンツスタイルのスタイル画(1) パンツスタイルのスタイル画、コーディネート考案
	10 パンツスタイルのスタイル画(2) パンツスタイルのスタイル画、線画の完成
	11 パンツスタイルのスタイル画 (3) パンツスタイルのスタイル画、着彩、仕上げ
	12 オリジナルテーマのスタイル画 (1) オリジナルテーマのスタイル画、コーディネート考案
	13 オリジナルテーマのスタイル画 (2) オリジナルテーマのスタイル画、線画の完成
	14 オリジナルテーマのスタイル画 (3) オリジナルテーマのスタイル画、着彩、仕上げ
	15 プレゼンテーション オリジナルテーマのスタイル画のプレゼンテーション、講評
学習成果・ 到達目標・基準	○C:指定された課題を仕上げることにより、アイテムのディテールを理解する。 ◎E:人体にフィットする服をディテールを理解しながら描くことができる。
事前・事後学習	事前学習:流行している服や色について市場調査する習慣を身につける(30分)。 事後学習:授業で学んだ技術の復習を行い、分野を問わず、アートやデザインに触れて感性を磨く努力をする (30分)。
指導方法	資料や配布プリント、デモンストレーションなどによって対象物を描くための技法を解説し、各自の個性を伸ばしながらデザイン画が描けるよう指導する。 フィードバックの仕方:作品に加筆したデータ等を使用し、上達のためのアドバイスを行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:授業で説明したプロポーションなどの注意点が提出課題にて意識できているかを、採点の際の基準とする。 E:授業で説明した描く対象物に応じた適切な画材の使用ができているかを、採点の際の基準とする。
	5 。

	作品80%、授業への貢献度20%
テキスト	なし
参考書	必要に応じてプリント配布
履修上の注意	・毎回の課題内容を理解の上、課題作品を仕上げること。 ・課題提出物の期限は厳守すること。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: ファッション イラストレーションB 授業コード: 1821 1822

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	服専:選択
担当教員			
飯田淳			
ナンバリング: F22C13	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・責任感 ムワーコン能力・ B:コン能力・ シンに力 ここ ここ	切り離して考えられない生活とファッション。その関係を意識して、オリジナリティーのあるファッションイラストレーションを制作する。多様化した生活、環境、時間、空間を調査分析して、「着ている人」を視覚化する。基礎的な表現方法を指導して、企画、構成、描写、そしてプレゼンテーションを通してコンセプトを人に伝えるコミュニケーション力も養う。 (授業目標) ○C:様々な生活スタイルから感じ取ったデザインや着こなしを企画提案する。 ◎E:色彩と形のバランス、ボリューム感を考え、着ている人物の生活も感じさせる表現技術を身につける。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ガイダンス イラストレーションの仕事を見ながらファッションとの関係を解説
	2 色彩とシルエット 様々な画材を用いて色面を制作、シルエットに当てはめ、人物と服とのボリュームを考える
	3 色彩とシルエット 色面で出来たシルエット画を発表して講評する
	4 生活スタイルとファッション (1) 同世代の生活スタイルを調査分析してディスカッションを行い企画案を考える
	5 生活スタイルとファッション (2) 企画案からファッションのアイディアスケッチを制作する
	6 生活スタイルとファッション (3) 作品を制作して企画の狙いと共にプレゼンテーション、講評する
	7 色彩とライン 様々な画材を用いて線画を制作、ラインで人物の骨格を表現する
	8
	9 生活スタイルとファッション (1) 自分にとっての理想の生活スタイルを考え、ディスカッションを行い企画案を形にする
	10 生活スタイルとファッション (2) 企画案からファッションのアイディアスケッチを制作する
	11 生活スタイルとファッション (3) 作品を制作して企画の狙いと共にプレゼンテーション、講評する
	12   自由課題   生活スタイル1、2をもとに自由な表現で作品を制作する
	13       自由課題         好きな画材とサイズで制作する       サイズで制作する
	14 自由課題 作品を制作して企画の狙いと共にプレゼンテーション、講評する
	15 全体講評とまとめ 全課題を展示して、自身の感覚と考え方を俯瞰的に捉えて、将来の仕事に生かす為のアドバイス を行う
学習成果・ 到達目標・基準	○ C:生活スタイルとファッションの関係を意識して表現に繋げる事ができる。 ◎ E:ボリュームと色のバランスを構成にいかし表現できる。
事前・事後学習	事前学習:ファストファッションからハイブランドまで、実際に展開されているショップを観察してファッションのトレンドとライフスタイルの切り口を調査し情報を収集する。(30分) 事後学習:雑誌、web等の情報からファッションの流れを予測して、画像等をファイリングして次の課題につなげる。(30分)
指導方法	企画、アイディア出し、ラフスケッチ、制作、完成までを共に考えアドバイスしながら個性を生かした作品に仕上げる。 表現したいイラストレーションの技法に関して、画材の選択等の指導をする。 フィードバックの仕方:発表段階でより完成度の高い作品に仕上げる為のポイントを講評時に行う。ディレクション的な指摘も行う。
•	•

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:生活スタイルが感じられる表現が出来ているか、企画が新鮮かを評価する。 E:伝えたい事が描けていて、オリジナリティーも感じられるかを評価する。 作品80%、授業への貢献度20%
テキスト	なし
参考書	必要に応じてプリントを配布
履修上の注意	・課題を自由な発想と分析で理解し、作品を完成させること。 ・課題提出の期限を厳守すること。 ・多くの画材に触れて特性を体験すること。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: ウエディング ビジュアルプレゼンテーション 授業コード: 1141 論

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	服専:選択	
担当教員				
井上近子(契約講師:越智亮	二)			
ナンバリング:F24C40	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業 特 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	ウエディングビジネスにおいて営業や集客のためのビジュアルデザイン技術や広報する技術は大変重要である。企業のHP、SNS、口コミ等のメディアや情報ツールの比較検討やSWOT分析を通じて広報の重要性とビジュアルデザインの基本を学ぶ。また、実務の専門家による映像、写真、ペーパーアイテム、アーキテクチャー(建築)、コラージュ、Webメディア、グラフィックデザインなどの授業構成からウエディングに係るビジュアルデザインの理論と技術を修得する。(授業目標)  ②D:現代のウエディングビジネスにおける営業活動や集客のためのビジュアルデザイン技術の種類とその効果を理解する。  ○E:ビジュアル表現ツールを活用し、伝えるためのメディアデザインをすることができる。
授業計画	1 ウエディングのビジュアルデザインについて<ガイダンス> 現代のウエディング現場においてビジュアルデザインの必要性を理解し、活用事例で理解を深める。
	2 webメディアデザインの基本① 集客業務に必要なwebメディアの種類とクロスメディア手法を学ぶ。
	3 ウエディングフォト① ウエディングフォトの基本を学ぶ。
	4 ウエディングフォト② データの活用手法を学ぶ(web、アルバム、ペーパーアイテム、パンフレット等)。
	5 webメディアデザインの基本② 最新のHPメディアと今後の流れとSNSメディアの具体的活用法と今後の流れ(色・フォント・デザイン)を学ぶ。
	6 ウエディングムービー① ウエディングムービーの基本を学ぶ。
	7 ウエディングムービー② データの活用手法を学ぶ(web, 披露宴映像演出、PV等)。
	8 ウエディングコラージュの手法と活用 コラージュで表現する手法とその活用方法を学びその価値を理解する。
	9 ウエディングアーキテクチャー (建築) ウエディングにおける建築デザインの手法とプレゼンテーション手法を学ぶ。
	10
	11 ウエディングwebデザインの基本① 多様化してきた顧客と使用するデバイス。そんな現代のウエディングwebデザインの基本を学ぶ。
	12 ウエディングwebデザインの基本② ウエディングデザインにおけるフォントの選択、図表の表現方法を学ぶ。
	13
	14
	15 まとめとデモンストレーション
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:修得したウエディングのビジュアルデザイン専門知識を用いて、自らが学んだ内容を論理的に説明することができる。</li><li>○E:習得したウエディングのビジュアルデザイン専門知識を用い、状況にふさわしい手段で相手に伝わるプレゼンテーション資料を作成できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習: Classroom実習ノート(事前学習)に沿って課題に取り組む(90分) 事後学習: Classroom実習ノート(事後学習)のワークページを必ず完成させておく。(90分)
指導方法	高い専門性をもつゲスト講師を招き、時代にマッチした知識と技術を合わせて学ぶ。 Classroom実習ノートを活用し、ビジュアルプレゼンテーションをトータルに理解できるようにする。 毎授業ごとに課題を定時しClassroom実習ノートに提出 フィードバックの方法① 事前課題を提示 ②レポート提出(学生) ③指摘事項を記入し返却 ④再提出

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:授業内のワークで課題に相応しい表現ができること。 E:ウエディングに相応しいビジュアル表現ツールを活用した資料の作成方法を理解しているか。 定期試験50%、授業内のワークで作成した制作物30%、Classroom実習ノート提出状況と授業への貢献度20%
テキスト	無し
参考書	
履修上の注意	履修者は、パワーポイントの基本操作が出来ることが望ましい。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、実習

講義科目名称: セルフメイクアップ演習 授業コード: 1481 1482 1483 1484

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	服専:選択	
担当教員	•			
久保田カオリ				
ナンバリング:F15C48	実務家教員による授業			
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	メイクアップの目的と効果を理解し、実際に自分の顔にメイクアップすることで体感し技術を身につける。 客観的な視点から顔を分析しメイクプランを立てられるようにする。 前半はメイクアップのそれぞれの基本的な技術を修得し、自分の顔で表現できるようにする。 後半はイメージ理論に沿ったメイクアップの方法を理解し、それぞれのイメージメイクが表現できるようにす
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	る。 (授業目標) ○D:メイクアップに必要な基礎知識を理解できる。 ○E:イメージと現状との違いを的確に把握し、自分の顔にメイクアップで表現することができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ガイダンス(実習:1~15回) 授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明、使用する道具について メイクアップの効果と目的を考える
	2 スキンケアと美しい肌とは 皮膚の基礎知識とスキンタイプ・肌トラブルの原因について理解する
	正しいスキンケア方法を習得する(マッサージで健やかな肌を育てる) 3 ベースメイクのテクニック 肌色知識とトラブルカバーで美しい肌を作る
	コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダーを実習する 4 チーク・ハイライト・シェーディングのテクニック 骨格の把握と立体を理解する
	チーク・ハイライト・シェーディングを実習する 5 アイブロウのテクニック 基本のバランスと形・色を理解する
	ペンシルとパウダーで自然な眉を実習する 6 アイメイクのテクニック
	目元の観察と形・バランスを理解する 基本のアイシャドウ ・アイライン・マスカラを実習する 7 リップのテクニック
	リップバランスと形・色による印象を理解する 基本の塗り方を実習する 8 トータルバランスメイク
	メイクの強弱、バランスを考えたトータルメイクを実習する トレンドを取り入れたベーシックな「フレンチ・シック」を表現する 9 顔のプロポーションと「印象分析」
	10   日象表現メイク「キュート」の理論とテクニック
	キュートメイクの理論を学び実習する
	1 1
	1 2   印象表現メイク「エレガント」の理論とテクニック
	13 印象表現メイク「クール」の理論とテクニック クールメイクの理論を学び実習する
	14 印象分析によるイメージチェンジメイク① 自身の顔分析を行い、現状とは異なるイメージへのチェンジメイクを考え、デザイン画を制作する
	(デザイン画の提出) 15 印象分析によるイメージチェンジ② デザイン画を元に、自身の顔でトータルにチェンジメイクを表現する
学習成果・ 到達目標・基準	○D:メイクアップに必要な基礎知識を説明できる。 ◎E:メイクアップの方法によって顔の印象が変わることを理解できる。
事前・事後学習	事前学習:メイク情報誌や化粧品売場でメイクアップに関する知識を深めておく。(30分) 事後学習: 授業内で実習したことを次の授業までに最低3回は自分の顔で実践することで、確実に技術が身に つけられるようにする。(60分)
指導方法	・技術解説とデモンストレーションを行い、実際にセルフでメイクアップ実習を行う。 ⇒授業内でアドバイスを行う⇒Google Classroom にセルフメイクの写真提出⇒授業後におけるコメントへの

アセスメント・ 成績評価の方法・ <u>基</u> 準 テキスト	質疑対応 ・知識テストと技術テストを実施する。 ⇒知識テスト結果を返却⇒授業後におけるコメントへの質疑対応 ⇒技術テスト結果を返却⇒授業後におけるコメントへの質疑対応 ・メイクアップデザインの課題を実施する。 ⇒授業内でアドバイスを行う⇒Google Classroom に課題結果を返却⇒授業後におけるコメントへの質疑対応 ○D:メイクに必要な基礎知識に関する筆記テストを行い評価する。 ○E:トータルメイクアップの実技試験を行い評価する。 実技50%、課題30%、授業への貢献度20%
参考書	JMAとルノグイク 懐足公式 ノイベトグイク 懐足
履修上の注意	<ul> <li>・「セルフビューティ論」を履修することが望ましい。</li> <li>・実習はご自身の顔で行うので、ノーメイクになることが前提となる。</li> <li>・メイクの技術チェックや情報共有のため、人前でノーメイクもしくはメイクした状態でアドバイスや評価を受けることがあります。</li> <li>・実習のために肌状態を万全にし、授業に臨むこと。</li> <li>・メイクアップ実習で必要な道具類を必ず各自で用意すること。</li> <li>・授業終了時にメイクを落とす必要がある場合も考えられるので、簡易的なメイク落としシートやメイク直しの道具を準備すること。</li> </ul>
アクティブ・ラー ニング	実習

 講義科目名称:
 セルフビューティ論
 授業コード: 1471

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	服専:選択	
担当教員				
井上近子(契約講師:西村リサ)				
ナンバリング:F15C47	実務家教員による授業			
添付ファイル				

受業内容	スキンケア、メイクアップなど一般的な美容に関する基礎知識を学び、自分自身に必要なケアについて考えま
受業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	す。かけがえのない自分を日々慈しみ、心を満たす美容の力を理解し、幅広いビューティー分野での活躍を目指します。「日本化粧品検定2級」の受験に対応し、授業の中で傾向と対策の時間を設けている。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	<ul><li>◎D:知識・理解</li><li>日常的な美容法に関する一般的な知識を身につける</li><li>自分自身にあった美容法について理解する</li></ul>
カ O:知識・理解	日ガ日オにめった天存仏について在所する
E : 技能・表現 受業計画	1 セルフビューティとは(1) 本講義の概要
	2 セルフビューティとは(2) 人の美しさと美容
	3 身近な美容一般知識(1) まちがいがちな美容知識をチェック
	スキンケア、ヘアケア、メイクアップ 4 身近な美容一般知識(2) まちがいがちな美容知識をチェック
	スキンケア、ヘアケア、メイクアップ 化粧品検定3級試験 5 皮膚・肌の基礎知識
	皮膚の構造や機能 6 メイクアップの基本テクニック(1)
	<ul><li>一般的なメイクアップ手順と化粧品の目的</li><li>7 メイクアップの基本テクニック(2)</li><li>一般的なメイクアップ手順と化粧品の目的</li></ul>
	8 メイクアップの基本テクニック(3) 一般的なメイクアップ手順と化粧品の目的
	9 肌の手入れと正しい知識(1) 肌タイプと見分け方 肌悩みの原因とお手入れ
	10 肌の手入れと正しい知識(2) 肌を劣化させるさまざまな要因
	紫外線が肌に与える影響 11 美肌・美ボディ生活を送るには 効果的なマッサージの必要性と方法
	美しい肌を作る生活習慣         12       ヘアケアの基礎知識         髪の構造と状態にあったお手入れ
	13 化粧品の基礎知識 化粧品とは
	成分やルール 14 女性の身体 身体の特徴と変化
	15 自分自身の美しさ 自分の考える美しさと美容法
学習成果・ 訓達目標・基準	◎D:スキンケア、メイクアップなど一般的な美容に関する基礎知識を説明できる。
事前・事後学習	事前学習:次回の講義内容に相当するテキスト参考に課題に取り組む。(90分) 事後学習:講義中に紹介のあった内容を参考に、自分に合った美容法について調べる。(90分)
旨導方法	美容に関する情報を、Webサイト、パワーポイントなどの資料を用い、講義形式で行う。 授業中にスマートフォン、パソコンを用いた課題提出や宿題がある。 フィードバックは授業中、Google classroomにて実施する。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	定期試験30%、課題40%、授業態度・貢献度30% 授業内で課題や小テストを実施する。 課題について調べたり、美容法を実践しレポートをまとめる。
テキスト	「日本化粧品検定協会 2・3級対策テキスト」 著者 小西さやか 発行所 株式会社 主婦の友社 出版年 2017年6月20日第2版第5刷発行
参考書	日本化粧品検定協会1級対策テキスト JMAセルフメイク検定公式テキスト 一般社団法人JMA
履修上の注意	パソコンを毎回持参すること。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: メイクアップ演習 C 授業コード: 1531 1532 1533 1534

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	服専:選択	
担当教員	担当教員			
井上近子(契約講師:西村リサ)				
ナンバリング: F25C46	実務家教員による授業			
添付ファイル				

授業 将標 将標 A: サーラン の の の の の の の の の の の の の	メイクアップを施す対象である「顔」についての理解を深め、社会における「顔」の役割やメイクアップの必要性について見識を深める。多様性の時代において、それらを理解し、自らのフィールドで学んだことを実践できる力を修得する。メイクアップの持つ可能性について自身の見解を述べられるようにする。 ②E:状況に合わせて必要なメイクアップを判断し、表現できる。 ○D:顔の持つ社会的な役割とメイクアップの多様な活用方法を説明できる。
授業計画	1 ガイダンス
7文未訂 回	1 授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明、これまで学んだ事と応用演習について。 メイクアップの役割を幅広く捉え、可能性を考えていく。 2 「顔」「化粧」とは 社会活動における顔の役割、なぜ化粧をするのか考える。課題シートに記入し、シェア、プレゼンテーションを行う。 (シンク・シェア・ペア 質問に対して個人で回答後、ペアで共有と議論し全体にプレゼンテー
	ションを行う)
	3 ファッション業界とメイクアップ ファッション業界では、どのようなメイクアップの役割があるのか考える。具体的にブランドを 設定してメイクアップ実習を行う。 (ブレイン・ダンプ 与えられたトピックについて知っていることをすべて書く)
	4 表現とメイクアップ
	舞台、映像などの世界では、どのようなメイクアップの役割があるのか考える。デモンストレー ションを見て、感じたことを発表する。 (ブレイン・ダンプ 与えられたトピックについて知っていることをすべて書く)
	5 女性の顔、男性の顔 性別における顔の違いについて考える。考察した内容に基づき、実習を行う。 (シンク・シェア・ペア 質問に対して個人で回答後、ペアで共有と議論し全体にプレゼンテー ションを行う)
	6 子どもの顔、老人の顔 年代における顔の違いについて考える。考察した内容に基づき、実習を行う。デモンストレー ションを見て、感じたことを発表する。
	7 世界の「顔」と「化粧」 多様な人種と文化の元、違った顔の特徴や文化としての化粧、風習としての化粧について考え る。
	8 顔と心 顔と心のつながりについて考える。メイクアップセラピーについて。 (シンク・シェア・ペア 質問に対して個人で回答後、ペアで共有と議論し全体にプレゼンテー ションを行う)
	9 自分の顔、他者の顔 自分の顔の特徴を客観的に理解する。自分の理想とするイメージに近づけるためにはどんなメイクアップが必要か考える。 他者の顔を観察し、魅力を見つける。主観的な良し悪しとなる表現は避け、説明することに挑戦する。 (シンク・シェア・ペア 質問に対して個人で回答後、ペアで共有と議論し全体にプレゼンテー
	(シング・ジェア・ベア 質問に対して個人で回合後、ベアで共有と議論し至体にアレセンケーションを行う) 10 人の魅力と美しさ 人の魅力と美しさとは何か、多様な美しさについて考える。
	11 時代と顔 時代と共に移り変わる化粧と、その背景にある社会情勢や精神性について知る。
	12 似合うメイクアップ (1) ペアワーク・課題シート提出。似合うメイクアップについて検討し、提案しあう。相モデル実 習。
	13 似合うメイクアップ (2) ペアワーク・課題シート提出。似合うメイクアップについて検討し、提案しあう。相モデル実 習。
	14 メイクアップの可能性について(1)(プレゼンテーション) 授業を通じ、各々に深めた顔やメイクアップについての見識を交え、メイクアップが持つ可能性 について発表する。

	15 メイクアップの可能性について(2)(プレゼンテーション)
	授業を通じ、各々に深めた顔やメイクアップについての見識を交え、メイクアップが持つ可能性 について発表する。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎E:メイクアップの方法によって顔の印象が変わることを理解している。</li><li>○D:メイクアップの多様な活用方法を理解している。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:次回授業のテーマに沿った資料、情報収集をする。(30分) 事後学習:課題となったテーマに該当する顔について、授業内容を振り返りながら観察する。電車の中、街中、身近な人、web上の画像など、題材となる顔を観て感じたことを課題シートに記入する。(30分)
指導方法	講義は、板書、パワーポイントなどの資料を用いる。アクティブラーニングやデモンストレーションを行い、 実習(セルフメイク)を行う。 授業内でスマートフォンやパソコンを使用し、課題制作や提出がある。
	フィードバック方法: Google classroomを使用した課題、提出物については随時授業内にてレビューする。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎E:試験でシチュエーションに合ったイメージのメイクアップを提案できるかを評価する。</li><li>○D:課題において、メイクアップの方法を具体的に記述できているかを評価する。</li><li>実技30%、プレゼンテーション30%、課題20%、授業への貢献度20%</li></ul>
テキスト	なし 適宜データで資料を共有
参考書	「顔の百科事典」日本顔学会
履修上の注意	一般的な「女性が美しくなるためのメイクアップ」に限らず実習(セルフメイク)を行うため、授業終了時にメイクを落とす場合があり、授業に必要なメイク道具のほか、簡易的なメイク落としシートやメイク直しの道具を準備すること。
アクティブ・ラーニング	プレゼンテーション シンク・シェア・ペア(質問に対して個人で回答後、ペアで共有と議論し全体にプレゼンテーションを行う) ブレイン・ダンプ(与えられたトピックについて知っていることをすべて書かせる)

講義科目名称: キャリアゼミ:ビューティゼミ 授業コード:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	服専:必修	
担当教員	担当教員			
井上近子(契約講師:西村リサ)、新井葉子				
ナンバリング:F37A58	実務家教員による授業			
添付ファイル				

拉米中亞	
授業内容標体 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「ビューティゼミ」 学生の職業意識を高め、将来の夢を実現させるため、モデル別に行うゼミナールである。 講義、演習、グループワーク、プレゼンテーション形式で行われ、ゲスト講師を招くなど、業界の専門知識やスキルを主体的に学ぶ。前半7回は学科担当教員、後半8回はキャリアセンターが指導を行う。前半は、ビューティ業界を目指すための心構え、マナー、業界知識を身に付ける。後半は、就職活動の開始時期に適切なスタートが切れるように、面接試験や履歴書の書き方などの基本的知識を学ぶ。 (授業目標) ◎D:目指す業界の求められる人材やスキルを理解し、そのための対策や準備を進めることができる自己理解を深め、企業や業種の特性と自分と相性について考えられる。
授業計画	ガイダンス (専任教員) 本ゼミナールの概要、ビューティ業界について
	2 就職活動準備(1) (専任教員)   ビューティゼミ2年生内定者による就職活動の流れについて
	3 就職活動準備(2) (専任教員)   ワークライフバランスについて(働く目的と働き方)
	4 職種研究(1) (ゲスト講師) ビューティ業界で働く方のキャリア、仕事内容について(1) 化粧品・ネイル・エステ業界 5 職種研究(2) (ゲスト講師)
	ビューティ業界で働く方のキャリア、仕事内容について (2) 化粧品・ネイル・エステ業界
	6 職種研究(3) (ゲスト講師)   ビューティ業界で働く方のキャリア、仕事内容について(3)   化粧品・ネイル・エステ業界
	7 職種研究(4) (ゲスト講師) ビューティ業界で働く方のキャリア、仕事内容について(4) 化粧品・ネイル・エステ業界
	8 オリエンテーション 、SPI模試(キャリアセンター)   3 月から本格的にスタートする就職活動の流れと必要な準備について
	9 就職活動の準備について (キャリアセンター) 求人の探し方や企業研究の方法
	10   履歴書の書き方を知る(1) (キャリアセンター)   自己分析を通して自分の強みを考える
	11 就職活動、面接でのマナー講座(キャリアセンター)   就職活動で必要なマナー(立居振舞、言葉遣い)などの基本を学ぶ
	12   履歴書の書き方を知る(2) (キャリアセンター)   志望動機の書き方のポイントについて   12   13   14   15   15   16   16   16   16   16   16
	13
	14   就職活動で必要な面接のポイント(2) (キャリアセンター)   基礎的なロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	15 振り返り (キャリアセンター)
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:就職活動のスケジュールや必要な準備を理解している
	志望企業や職種の実務について述べる事ができる   志望企業や職種の採用時期や就労形態を理解している
事前・事後学習	事前学習:美容雑誌、インターネット等美容に関する最新情報を調べる(20分)。 事後学習:ゼミで学んだことを調べ、就職活動に役立てるようまとめておく(25分)。

	指定した資料での自己分析や興味のある業界の事前学習 毎回のテーマを振り返り、就職活動に役立てるように資料をまとめておく
指導方法	(前半7回) 美容業界で活躍したい学生を対象にした就職活動準備のためにゲスト講師を招いて行うゼミナールである。希望職種を明確にし、そのためには何が必要かを考え主体的に学ぶ。各自の興味にもとづいた就職活動準備を行えるよう指導する。 (後半8回) パワーポイントを使用した講義、履歴書の実作や面接ロープレイングによる実践形式で授業を展開する。 フィードバックの仕方:課題については、授業後、直接個別対応する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	◎D:授業態度(参加度、積極性)を評価する。 課題を評価する。 課題70%、授業態度・授業への貢献度30%
テキスト	なし 適宜プリント資料を配布する。
参考書	なし
履修上の注意	(前半7回)受け身ではなく、常に主体的な受講態度で臨むこと。 清潔感、礼儀、思いやり、知性を重視し、美容を志す者として普段から自分自身を磨く努力を惜しまないこと。
	【後半8回)業界理解を深め、就職活動の基本的なスキルアップを目的とする。全員が履歴書実作、模擬面接な どの実践を行う。
アクティブ・ラー ニング	(前半7回) グループワーク (後半8回) 履歴書実作、模擬面接などの実践

講義科目名称: ビューティゼミ 授業コード: 1771

P. C. H. C.	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	服専:選択	
担当教員				
井上近子(契約講師:西村リサ)、新井葉子				
ナンバリング:F37C60	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	ビューティ業界への就職を希望する学生を対象にしたゼミであり、ビューティ業界で働く心構えを学ぶ。広義に美容をとらえ、自信の生涯を通じてどのように美容と関わっていくのか考えを深め、女性の多様なキャリア 形成について実例とともに学ぶ。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標) ◎D:美容への多様な関わり方を理解する。 ○E:自分の考えや思いを的確に表現できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ガイダンス(専任) 本ゼミナールの概要、授業の進め方
	2 女性の多様なキャリアとライフスタイル(1) (ゲスト講師) 求められる知識や技術 言葉1つで全てが変わる!ライティングの基礎知識
	3 女性の多様なキャリアとライフスタイル (2) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	「読まれる」「伝わる」ライティングの基礎知識 4 女性の多様なキャリアとライフスタイル(3)(ゲスト講師) 求められる知識や技術
	「読まれる」「伝わる」ライティングの基礎知識 5 女性の多様なキャリアとライフスタイル (4) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	6 女性の多様なキャリアとライフスタイル (5) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	売り込むためのセールスライティングの基礎知識 7 女性の多様なキャリアとライフスタイル(6)(ゲスト講師) 求められる知識や技術
	自分を売り込む! セールスライティング  8 女性の多様なキャリアとライフスタイル (7) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	女性の健康と食事  9 女性の多様なキャリアとライフスタイル(8)(ゲスト講師) 求められる知識や技術 マクロビオティックについて
	10 女性の多様なキャリアとライフスタイル (9) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	マクロビオティック望診 11 女性の多様なキャリアとライフスタイル(10) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	女性のライフステージと身体 12 女性の多様なキャリアとライフスタイル(11) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	学びとキャリアの広がりについて・フリーランス 13 女性の多様なキャリアとライフスタイル(12) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	自分らしさの創り方 14 女性の多様なキャリアとライフスタイル(14) (ゲスト講師) 求められる知識や技術
	学びとキャリアの広がりについて 15 ガイダンス (専任) 自分らしい生き方を目指して~ワークライフバランスについて
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:前例や美容業界の現状を踏まえ、自身のキャリア形成について考えられる。</li><li>○E:自分の考えを言語化しアウトプットできる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:美容業界のニュースをチェックする(20分)。 事後学習:学修した内容をもとに、美容雑誌、店舗調査、インターネット等から情報収集を行い自分自身の キャリア形成やライフスタイルについて考える(25分)。
指導方法	各自パソコンを使用してノートをとる。

	パワーポイント等を使用する。   フィードバックの仕方:課題については、授業後、直接個別対応する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎D:課題を評価する。</li><li>○E:課題を評価する。</li><li>課題80%、授業態度・授業への貢献度20%</li></ul>
テキスト	なし
参考書	なし
履修上の注意	毎回パソコンを持参すること。 受け身ではなく、常に主体的な受講態度で臨むこと。 清潔感、礼儀、思いやり、知性を重視し、美容を志す者として普段から自分自身を磨く努力を惜しまないこ と。
アクティブ・ラー ニング	ディスカッション 実習

講義科目名称: ファッション ヘアメイク演習 B 授業コード: 1201 1202 1203 1204

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	服専:選択	
担当教員				
井上近子(契約講師:関根教史)				
ナンバリング: F25C50	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

接業内容 接業自標 A ユ 1 体性・チー A フ 1 タ 2 コ 2 ケー
<ul> <li>接業目標 A: 主体性・チームワーク・責任感 B: コミュニケンラン (授業日標)</li> <li>C: 思考カ・判断 C: 思考カ・判断 力 D: 知識・理解 E: 技能・表現</li> <li>授業計画</li> <li>1</li></ul>
Variable
E:技能・表現       ガイダンス、道具の使い方、基礎技術確認(実習:1~6.8.9.11.15回)
ブラシ・コーム・ピン類・ウィッグ・キーパー ・ヘアデンストレーショ ※ウィッグ、キーパー使用 2 ペアアレンジ確認と応用(1) ポイントスタイルアレンジ ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 3 ペアアレンジ確認と応用(2) すき毛を使った応用テクニック ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 4 ペアアレンジ応用(1) ポリュームスタイル ・ヘアアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 5 ペアアレンジ応用(2) ルーズスタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 6 ペアアレンジ応用(3) 飾りの付け方バランス ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 7 ペアアレンジ応用(4) (ペアワーク、グループワーク) 浴衣スタイル ・ヘアデモンストレーション
ポイントスタイルアレンジ ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  3
すき毛を使った応用テクニック ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  4 ヘアアレンジ応用(1) ボリュームスタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  5 ヘアアレンジ応用(2) ルーズスタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  6 ヘアアレンジ応用(3) 飾りの付け方バランス ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  7 ヘアアレンジ応用(4) (ペアワーク、グループワーク) 浴衣スタイル ・ヘアデモンストレーション
ボリュームスタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  5 ヘアアレンジ応用(2) ルーズスタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  6 ヘアアレンジ応用(3) 飾りの付け方バランス ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用  7 ヘアアレンジ応用(4)(ペアワーク、グループワーク) 浴衣スタイル ・ヘアデモンストレーション
ルーズスタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 6 ヘアアレンジ応用(3) 飾りの付け方バランス ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 7 ヘアアレンジ応用(4) (ペアワーク、グループワーク) 浴衣スタイル ・ヘアデモンストレーション
飾りの付け方バランス ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用 7 ペアアレンジ応用(4)(ペアワーク、グループワーク) 浴衣スタイル ・ヘアデモンストレーション
浴衣スタイル ・ヘアデモンストレーション
パーティースタイル ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用
9 カジュアルヘアとショーヘアの違い(1) ・ヘアデモンストレーション ※ウィッグ、キーパー使用
10 カジュアルヘアとショーヘアの違い(2)(ペアワーク) ・ヘアデモンストレーション
11 ブライダルヘア ・ヘアデモンストレーション 実習 ※ウィッグ、キーパー使用
12 トータルで提案するヘアメイク(1)(ペアワーク) ・トータルプランニング説明 ※スマートフォン
13 トータルで提案するヘアメイク (2) (ペアワーク) ※スマートフォン
14 トータルで提案するヘアメイク (3) (ペアワーク) ※スマートフォン
15       スタイル作成         ・技術確認       ・

学習成果・ 到達目標・基準	○B:ペアワーク、グループワークを通し、キレイさと身だしなみを意識したヘアアレンジを身につける。 ◎E:ヘアアレンジの応用(美容器具の扱い方、TPOアレンジスタイル)ができる。
事前・事後学習	事前学習:ファッション誌、ビューティー情報誌、ヘアカタログを読んで流行を捉えておくこと。(45分) 事後学習:授業で学んだ技術を復習しておくこと。(45分)
指導方法	技術デモンストレーションを行い、実際に髪の毛に触れながら、イメージを形にして行く作業をすることでバランス感覚を養いながらヘアアレンジの楽しさを伝える。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	B:ペアワークにおいて積極的な姿勢(話しかけ)を評価する。 E:イメージを形にすることができる。 課題40%、レポート課題30%、授業態度・貢献度30%
テキスト	なし
参考書	
履修上の注意	相モデル(ペア)、グループ実習有り
アクティブ・ラー ニング	ペアワーク、グループワーク

講義科目名称: ハンドメイド アクセサリー 授業コード: 1671 1672 1673 1674

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2	1	服専:選択	
担当教員				
小椋啓司				
ナンバリング: F22C27	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

<ul> <li>授業目標         <ul> <li>名:主体性・チームワーク・責任感</li></ul></li></ul>		
D: 知識・理解       E: 技能・表現         授業概要・各課題の説明、工具の知識、評価方法の説明(実習:2~14回)       授業概要・各課題の説明、工具の知識、評価方法の説明(実習:2~14回)         基礎的な制作方法として、棒状の材料から指輪の制作       基礎的な制作方法として、棒状の材料から指輪の制作         4       ロストワックス技法による金属パーツの原型制作 ロストワックス度法の説明、デザイン、原型制作         ラックス原型制作	授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	セサリー制作を行う。講義全体の前半部分では基礎を学び、後半部分では応用としてオリジナリティある作品  のデザイン、制作を行う。  (授業目標)
授業概要・各課題の説明、工具の知識、評価方法の説明 (実習:2~14回)   2	D:知識・理解	
2 シンプルデザインのリング制作 (実習:2~14回) 基礎的な制作方法として、棒状の材料から指輪の制作 3 シンプルデザインのリング制作 基礎的な制作方法として、棒状の材料から指輪の制作 4 ロストワックス技法による金属パーツの原型制作 ロストワックス技法の説明、デザイン、原型制作 5 ワックス原型制作 デザイン、原型制作 6 刻印を用いたバングル制作 オリジナルのメッセージを刻印したバングルを制作 7 リング制作応用 ワイヤーを用いたオリジナルデザインリングの制作 8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作	授業計画	授業概要・各課題の説明、工具の知識、評価方法の説明
3 シンプルデザインのリング制作 基礎的な制作方法として、棒状の材料から指輪の制作 4 ロストワックス技法による金属パーツの原型制作 ロストワックス技法の説明、デザイン、原型制作 5 ワックス原型制作 デザイン、原型制作 6 刻印を用いたバングル制作 オリジナルのメッセージを刻印したバングルを制作 7 リング制作応用 ワイヤーを用いたオリジナルデザインリングの制作 8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		2 シンプルデザインのリング制作(実習:2~14回)
4 ロストワックス技法による金属パーツの原型制作 ロストワックス技法の説明、デザイン、原型制作 5 ワックス原型制作 6 刻印を用いたバングル制作 オリジナルのメッセージを刻印したバングルを制作 7 リング制作応用 ワイヤーを用いたオリジナルデザインリングの制作 8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		3 シンプルデザインのリング制作
5 ワックス原型制作 デザイン、原型制作 6 刻印を用いたバングル制作 オリジナルのメッセージを刻印したバングルを制作 7 リング制作応用 ワイヤーを用いたオリジナルデザインリングの制作 8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		4 ロストワックス技法による金属パーツの原型制作
6 刻印を用いたバングル制作 オリジナルのメッセージを刻印したバングルを制作 7 リング制作応用 ワイヤーを用いたオリジナルデザインリングの制作 8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		5 ワックス原型制作
7 リング制作応用 ワイヤーを用いたオリジナルデザインリングの制作 8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		6 刻印を用いたバングル制作
8 チャームアクセサリーの制作 ロストワックス技法により鋳造された金属パーツのアクセサリーへの組み立て 9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		7 リング制作応用
9 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		8 チャームアクセサリーの制作
デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作		9 オリジナルセットアクセサリーの制作
		デザインシート作成、素材集めなど 10 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作
デザインシート作成、素材集めなど 11 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 実制作 など		11 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作
12 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 実制作 など		12 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作
13 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 実制作 など		13 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作
14 オリジナルセットアクセサリーの制作 2アイテム以上のアクセサリーの制作 実制作 など		2アイテム以上のアクセサリーの制作
15 作品講評 学生評価を加味した上で選定した優秀作品制作者によるプレゼンテーション。		15 作品講評 学生評価を加味した上で選定した優秀作品制作者によるプレゼンテーション。 展示した作品をビデオでプロジェクターへ投影し、デザインのポイントや作品のコンセプトなど
学習成果・ 到達目標・基準	学習成果・ 到達目標・基準	◎E:課題に沿った内容の基礎的なアクセサリー制作をすることができる。
事前・事後学習 事前学習:アクセサリー専門店や展示会などで実物に触れてみる。(30分) 雑誌やインターネットなどでアクセサリーの多様なデザインを知る(30分) 事後学習:各課題に対する制作方法の手順について参考資料を見直し復習する。(30分)	事前・事後学習	雑誌やインターネットなどでアクセサリーの多様なデザインを知る (30分)
指導方法 各課題の実習の際に、プロジェクターでの動画紹介や配布資料による説明を行う。 各課題終了時に完成した課題作品を提出してもらい評価をする。 フィードバックの仕方:課題制作の詳細については担当講師が制作実演、またサポート、デザインなどのアド	指導方法	各課題の実習の際に、プロジェクターでの動画紹介や配布資料による説明を行う。 各課題終了時に完成した課題作品を提出してもらい評価をする。 フィードバックの仕方:課題制作の詳細については担当講師が制作実演、またサポート、デザインなどのアド

	バイスを行う。 オリジナル作品課題について、講師より作品への評価、アドバイスをコメント記載し、返却する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	E: それぞれの提出課題と、オリジナリティを求めて授業へ取り組む姿勢を評価する。 課題提出80%、授業姿勢20%、
テキスト	なし プリント資料を配布
参考書	各ファッション雑誌、SNSなど
履修上の注意	細やかで地味な作業もある集中力のいる実習であることを理解したうえで受講すること。 積極的な好奇心と自由な発想でもって制作に取り組むこと。 薬品や火器、その他怪我をする可能性のある工具による作業があるので、充分に注意して作業に取り組むこと。
アクティブ・ラー ニング	実習、プレゼンテーション

講義科目名称: ネイルアート演習 1 授業コード: 1501 1502 1503 1504

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	服専:選択	
担当教員				
浜口アヤ				
ナンバリング:F15C53	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	アートまでを	ルに関する基礎理論を学ぶ。爪の名称や用具用材の特徴を知り、シンプルなデザインから繊細な 学ぶ。自分の爪を使って、ネイルケアやジェルネイルを施術する。ネイルデザインはネイルチッ ェルカラーの選び方、デザイン・色彩・パーツのバランスなどの演習を行う。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	<ul><li>○D:ネイル!</li><li>○E:課題に</li></ul>	こ関する用語、デザインの知識を学び、理解する。 なじたネイルアートを作成し、いろいろな技法を修得する。 ベーシックデザインを活かしてネイルチップの上にオリジナルのデザインを表現する。
D:知識・理解 E:技能・表現		
授業計画		ネイルアート演習1について 授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明 学科:爪の形、構造・ジェルの理論
		実技:マニキュア 学科:マニキュアで使用する材料の成分を学習し適切な扱い方を学ぶ。 実技:ポリッシュの塗り方 カラー別4パターン。
	3	実技:マニキュア ラメグラ・フレンチ 実技:ポリッシュで出来る事をさらに深める。正しい落とし方を学ぶ。
		実技:マニキュアアート 学科:ジェル 学科:ジェル理論 正しいジェルの取り扱い方 教材の使い方。次回から始めるジェルの授業に向けての説明。
	5	実技:ジェルネイル Basic ワンカラー・ジェルネイルオフ 教材の確認。ネイルチップ、または自分の手を使用して練習する。 ジェルネイルの正しいオフの仕方。
	6	実技:ジェルネイル プレパレーション グラデーション ジェルネイルをする前のケアを学ぶ。 カラーグラデーションなど、社会に出た時の身だしなみを整える上で必要な手元の美容を学ぶ。
	7	実技:ジェルネイル フレンチネイル ネイルチップを使用して練習する。オフィスネイルの王道から、アレンジまで様々なフレンチを 学ぶ。
		実技:ジェルネイル べっこう・天然石ネイル ネイルチップを使用して練習する。ニュアンスネイル、マーブルネイル。
	9	実技:ジェルネイル ミラーネイル ネイルチップを使用して練習する。氷ネイル・ユニコーンネイル。成人式ネイルの人気アートを 学ぶ。
		実技:ジェルネイル キラキラネイル 学生の要望を聞いて、Vカットのラインストーンなどを埋め込んだり、人気のアートの授業。
		実技:ジェルネイル ドット・アニマル柄 極細の筆を使用し練習。柄の配置など、ネイルスクールでも学べないようなアートのコツを学ぶ。
	12	ネイル以外の事にも活かせるバランスの取り方など、応用し可能性を広げる。 実技:ジェルネイル 立体アート SNSで流行りのアートを取り入れる。オリジナルパーツの作り方など作品制作のクオリティーを上
		げる技術を学ぶ。 成績評価 作品のデザイン画制作 オリジナルのデザインを小さな世界に表現する。
	14	個人制作 作品提出 ※対面授業 テーマ:「自分の為のウェディングネイル」5本~10本セット
	15	※授業後に、デザイン画と共に提出。 個人制作 作品提出 テーマ:「自分の為の成人式ネイル」 5本~10本セット ※授業後に、デザイン画と共に提出。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>○D:ネイル!</li><li>○E:課題に</li></ul>	こ関する用語、デザインの知識を身に付け、デザインの名前、用具の名前を説明できる。 なじたネイルアートを作成できる。個人制作では、自ら考えたデザインを表現できる。
事前・事後学習	の知識を得ては事後学習:授業	アッションや雑貨のデザイン、インターネットなどからネイルアートとして表現できるデザイン おくこと。また、次週のネイルデザインの色決めをしておくこと。(30分) 業で伝えた内容に関してレポートにまとめ、デザインの名前、用具の名前を覚えること。制作物 是出すること。(30分)

指導方法	ネイル概論では、爪の構造・名称・ジェルネイルの成分を学習。 講師によるデモンストレーションを見た後に、練習。 自身の爪を使ってネイルケア実習を行い、内容によりネイルチップを使用。 基礎アート、応用アートを修得し、修得後は個人作品を提出する。制作物で授業への理解度を確認し、評価する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:ネイルに関する用語、デザインの知識を理解し、表現できているのかを評価する。 E:課題に応じたネイルアートの完成度を評価する。 課題70%、授業貢献度30%
テキスト	必要に応じて、プリントを配布
参考書	・NAIL MAX ・NAIL VENUS ・NAIL UP ・その他ファッション雑誌など
履修上の注意	自身の爪を使用する授業の時(6回目を予定)は、ジェルネイルやスカルプチュアネイルなど、実習の妨げになるので外しておくこと。 初心者の方でも安心して受講できるよう、ネイルの基礎デザインから応用デザインまで幅広く学ぶことができる。 授業で制作したアート作品は全て提出し、成績として評価する。 使用教材は個人教材・共通教材のため大切に使うこと。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: ネイルアート演習 2 授業コード: 1181 1182 1183

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	服専:選択
担当教員			
浜口アヤ			
ナンバリング:F25C54	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

拉茶中亞	1 11 2 0 み / リョナ 社外が与学版 0 位 しい コラ / エ かけ 如何 の 3 版 可能 カ パ エ の を 動 ・
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	JNECネイリスト技能検定試験3級とジェルネイル検定初級の受験可能なレベルの知識・技能を修得する。   手指消毒、ポリッシュオフ、ファイリング、キューティクルクリーン、カラーリング、フラットアート「フラロー」の演習を行なう。   ※学生同日本互いにモデル・プラクティスハンド・自分の手を使用。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	(授業目標)  ○D:爪の構造と働き、皮膚科学、爪の病気とトラブルなどJNECネイリスト技能検定試験 3 級とジェルネ  イル検定初級取得レベルの知識を身につける。
カ D:知識・理解 E:技能・表現	◎ E:ネイルケア、カラーリング、ネイルアートなどJNECネイリスト技能検定試験3級とジェルネイル検定初級取得レベルの技能を修得する。
授業計画	1 ネイルアート演習 2 について
汉未可固	授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明。 ネイル検定3級・ジェル検定の内容、モデルについて。
	2 ジェルネイル検定初級 ジェル検定初級課題のアート"ピーコック"を学ぶ。
	3 ジェルネイル検定初級 赤いポリッシュと赤いジェルを塗る。
	4ジェルネイル検定初級ジェル検定試験同様の仮試験を実施。
	5 ジェルネイル検定初級 ネイル検定3級の手指消毒~ネイルケアまでを学ぶ。
	6 ネイル検定3級 教材の説明・プッシャー・ニッパーの使用法 教材の使い方・プッシャーとニッパーの正しい使い方を学ぶ。
	7 ネイル検定3級 教材配布 自分の手、または相モデルにてプッシャーとニッパーの正しい使い方を練習。
	8 ネイル検定 3 級 テーブルセッティング 演習 1 で学んだ、ファイリングを再度確認。 ネイル検定 3 級の手指消毒~ネイルケアまでの通し。
	9 ネイル検定3級の手指信事・ネイルケケよくの通じ。 9 ネイル検定3級 プッシャー・ニッパーの使用方法の復習。
	手指消毒~ネイルケアまでをプレクティスハンド、または相モデルにて練習。 10 ネイル検定 3 級 学科:過去問を使用し学科対策 筆記試験合格に向けて必須項目の指導。
	検定アートの説明       11     ネイル検定 3 級       検定アートも含めて、通し練習。
	12 ネイル検定 3 級
	これまで学んできた事の復習と共に、受験時の採点ポイントを抑える。 実技検定に合格するために必要な事を復習。
	13       ネイル検定 3 級           検定アートも含めて、通し練習。
	14 実技テストについて(60分)・検定学科のテスト(30分)   実技の通し練習と筆記テスト。
	15 演習 2 検定試験の実技テスト 検定を受験する為に必要な知識・理解度の実技テスト。
学習成果・ 到達目標・基準	○D: JNECネイリスト技能検定試験3級とジェルネイル検定初級の受験可能なレベルの知識を修得する。 ◎E: JNECネイリスト技能検定試験3級とジェルネイル検定初級の受験可能なレベルの技能を修得する。
事前・事後学習	事前学習:3級ネイルアート「フラワー」のデザインを考える。 ネイル検定に必要な物の確認・用意をしておく。(20分) 事後学習:ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを行う。 過去問題を繰り返し行い覚える。(40分)
指導方法	JNECネイリスト技能検定試験3級、ジェルネイル検定初級の試験内容を把握する。 講師によるデモンストレーションの後、理解度・疑問点などを指導し、実技の練習がメインとなる。 後半授業では、検定試験同様のタイム入れをプラクティスハンドや相モデルで行う。
<u> </u>	1

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D: JNECネイリスト技能検定試験3級の知識を提出課題で評価する。 E: JNECネイリスト技能検定試験3級の技能を工程、仕上りで評価する。 技術行程・仕上り70%、授業態度・貢献度30%、
テキスト	必要に応じて、プリントを配布
参考書	JNAテクニカルシステムベーシック
履修上の注意	実習の妨げになるため、ジェルネイル・スカルプチュアは禁止。 検定試験に合格するためには、授業外での自宅での復習が重要となる。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: きものと日本文化論 授業コード: 1081

添付ファイル			
ナンバリング: F11C10	実務家教員に	よる授業	
竹田久美子			
担当教員			
後期	2	2	服専:選択
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	日本の民族衣装である「きもの」について、基礎的な知識を学ぶ。現代のスタイルへと変化していった歴史や「きもの」に不可欠な伝統文様、伝統色、家紋、染織技術について解説していく。また、「節目のきもの」や目的に合わせた「きもの」の選び方について理解を深める。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標)   きものに関する一般的な基礎知識を修得する。   ◎ D:普段着から礼装まで、目的にあった「きもの」を理解し説明できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1       日本文化の中におけるきもの         授業概要       きものの知識
	2 きものの歴史(1) 古代~中世:きものの原形が成立する流れ 宮廷文化と武家文化における特徴
	戦国〜近世:きものの確立時代、この時代に生まれ特徴 3 きものの歴史(2) 近代:明治から現代への変遷
	4 染色の知識 (1) 日本の染色技術は、工芸品としても実用品としても高い評価があることを知り、 きものの成り立ちにさらなる理解を深める。
	5 きものの調和 (1)     TPOに応じた装い     ミスの装い     ミヤスの装い     女袴の装い     男物の装い     男性の装い
	6 紋/日本の色 きものと紋について 日本の伝統色について
	7       染織工芸(1)         糸染めからきものが作られる工程       ***
	8       染織工芸(2)         主な「染めのきもの」の産地とその特徴
	9染織工芸 (3)主な「織りのきもの」の産地とその特徴
	10 きものに関する基礎知識 (2) きもの種類と挌について
	11 きものに関する基礎知識 (3) きものと小物の名称 衣替えについて
	12       美しい立ち居振る舞い (1)         和室における立ち居振る舞い (2)       襖の扱い (2)         座布団の扱い       座布団の扱い
	13 きものの管理 きものの洗い方 きものの染め直し きものの仕立て直し
	14美しい立ち居振る舞い(2)訪問時の心得応接の心得風呂敷・袱紗の扱い
	15 美しい立ち居振る舞い (3) 着物姿での立ち居振る舞い
学習成果・	◎D:普段着と礼装の違いまた、主な「節目のきもの」について説明できる。

	,
到達目標・基準	
事前・事後学習	事前学習:日頃から、雑誌やインターネット等で、振袖姿・袴姿など「きもの」について、色・模様・小物に注目しながら数多くの画像や解説を視聴し情報を得る。(90分程度) 事後学習:講義内容について、その都度ノートや配布資料(Classroomに同じ資料をアップ)をまとめ理解を深める。(90分程度)
指導方法	パワーポイントや映像を用い講義形式で進める。 実物を見ながらの講義もある。 Classroomを利用理解度を深めていく。 フィードバックの仕方:振り返りシートの提出。
アセスメント・ 成績評価の方法・	D:定期試験、振り返りシート、受講態度また授業への貢献度を評価する。
基準	定期試験50%、振り返りシート30%、授業への貢献度20%
テキスト	なし 必要に応じて、プリントを配布する。 ciassroomに掲載
参考書	授業内で紹介する。
履修上の注意	欠席した場合、配布プリント(Classroomに同じ資料をアップ)を確認すること。
アクティブ・ラー ニング	特になし

講義科目名称: 食品加工学 授業コード: 3131 3132 3133

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	食専: 栄必修
担当教員		·	
谷口裕信			
ナンバリング: N24C13	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 食品加工学の目標は、食品の加工・製造を通じて食品に関与する関連事項や食品の特性を幅広く理解すること にある。担当教員は、食品会社の実務経験者(商品開発・保存技術・営業支援・消費者教育・業界業務等含む)であり、現場での実例を紹介し多角的に食品を解説し理解を促す。 授業目標 A: 主体性・チー であり、現場での美肉を紹介し多角的に食品を解説し埋解を促す。 授業内容は、総論と各論の2部構成とする。総論としては、食品全体の加工方法、劣化現象、保存方法、包装、 食品の表示について解説する。各論としては、代表的な加工食品の原料及び製造原理、流通商品の製造理論、 メーカーの事情とノウハウ、その他関連事項について解説する。各論では、食品学各論に該当する内容もフォローし、商品開発及び食品開発についても随時触れていく。またClassroomに資料を掲載して、事前・事後学習が有効に行えるようにフォローし、さらに関連事項や関連メーカーについて各自がインターネット等を利用して書きまたとは過せる。 ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C: 思考力・判断 て調べるように指導する。 D:知識·理解 E:技能・表現 (授業の目標) 食品を加工する意義から食品に係る事項も含め幅広く食品について理解する。 基本的な食品の 食品加工学は 加工理論を修得しながら社会情勢の変化を理解し、衛生的で経済的かつ安全な加工食品を選択及び利用する力 ◎C:食品を多角的に理解することで、市販品よりその食品の情報を取集し、同系食品でもその違いや本質が理 解できる ○D: 代表的な加工食品の製造方法・製造原理を理解することで、製造を通じて食品に関与する事項が多角的に 理解できる。 食品について 授業計画 1 食品について ①授業内容・授業の進め方 授業の進め方や諸注意等を確認する。 ②食品についての概要 食品とは何か? 食品とは何か? 事例をあげて解説する。 ③食品を加工する意義・必要性 食品についての概要として時代背景、現状の問題、加工技術等を学ぶ。 食品を加工する意義や必要性について食品について関連事項を含めて解説する。 対面を利用して、食品について考えていることや疑問点をディスカッションする。 食品の加工方法 2 食品の加工方法 ①物理的方法(物理現象の利用) ②化学的方法(化学反応の利用) ③生物的方法(微生物の利用) ④最新技術 食品の各種加工方法について、物理現象・化学反応・微生物の利用について代表的な処理方法 と食品をあ げて解説する 併せて最新技術を紹介する。例えば逆浸透法・高圧処理・ゲル化他も解説する。 対面を利用して興味ある加工食品についてディスカッションする。 食品の劣化現象 3 食品の劣化現象 ①食品の不都合・不具合 ②劣化の原因 ③劣化現象 食品の劣化現象について学び食品を劣化させる犯人を特定する 劣化の原因(微生物・食害・酸素・酵素・光)についての特徴等を解説する。 劣化現象(腐敗・酸化・褐変)について事例をあげて解説する。 対面を利用して、食品の腐敗の経験などディスカッションする。 食品の保存1 4 食品の保存1 ①劣化を防ぐ方法 ②低温貯蔵法 ③乾燥法 食品の保存方法について劣化の原因から保存法について学ぶ。 低温貯蔵(冷蔵庫の話・温度帯の違い・氷温貯蔵他)について解説する。 乾燥の原理から乾燥法(FD・SD・薬剤他)について解説する。 対面を利用して身近な乾燥食品についてディスカッションする。 冷蔵庫の在り方・利用方法・今後の課題についてグループワークを実施する。 5 食品の保存2 食品の保存2 ①酸素対策 ②食品添加物 ③冷殺菌法・その他 食品の保存方法について酸素対策や食品添加物の使用法またその他の保存方法について学ぶ。 食品劣化の原因である酸素対策についてCA貯蔵・MA包装・脱酸素剤を解説する。

食品添加物について種類・表示方法について解説する 展歴法について塩蔵・煙の成分・燻煙の種類を含めて解説する。 加熱しない殺菌法として冷殺菌(薬剤・放射線)について解説する。 機能性水について解説する。 対面を利用して食品添加物の意義についてディスカッションする。 6 食品の包装と包材 食品の包装 ①包装の意義 ②包装素材 ③プラスチック素材 ④包装関係諸問題 食品の包装及び関連事項について学ぶ 包装の意義(歴史事項・必要性他)や包装素材(紙・ガラス・金属・プラスチック)につい て解説する。 プラスチック素材に関しては、各種プラスチックの特徴・複合フイルムを含め解説する。 包装及び包材関係する諸問題、環境問題・エネルギー問題、リサイクル他についても解説す 対面を利用して、リサイクルや環境問題についてディスカッションする。 食品の表示と法規 食品の表示 ①表示とは? ②商品開発と表示 ③食品表示法他、関連法規 ④表示の実際 食品の表示について表示法から関連法規について学ぶ。表示から食品の情報を取集する方法を 学ぶ。 商品開発と表示 法規と表示(食品表示法・食品衛生法・JAS法・健康増進法・景表法・計量法) 表示から情報取集 対面を利用して食品で気になる表示についてディスカッションする。 食品の開発 食品の開発 ①食品開発とは? ②歴史と食品 ③食品開発の実際 ②泉品開発の美原 ④リニューアル 食品開発について、時代の証言からその手法を含めて全般的に学ぶ。 食品開発については、ニーズとシーズを踏まえて開発の手順について解説する。 歴史から開発された食品やメーカーのヒット食品も紹介する。 商品開発の別の柱である商品のリニューアルについても解説する。 対面を利用してヒット食品についてディスカッションする。 穀類と加工食品 9 穀類 ② ①穀類とは? ②米類 ③小麦粉類 ④その他穀類 | 穀類について、その意義や価値及び米類・小麦類について学ぶ。 | 米類については、種類、米の処理(搗精法)、米類加工方法(無精米・備蓄米他について解説 その意義や価値及び米類・小麦類について学ぶ する 小麦については、特長やその加工品、パンの製法(製パンの原理・各種製パン法)及びメー カーの技術紹 介する 対面を利用して、好きなパン及び製パン技術についてディスカッションする。 肉類と加工食品 10 肉類 ①肉類の種類 ②加工食品及び加工法 ③肉類に関連する事件 肉類の種類や肉類の加工品及び関連事件も含めて学ぶ 肉類の種類は、家畜、家禽、家兎を紹介し、肉類加工品(ソーセージ・ハム類)を事例を踏ま えて解説す 肉類関関連事件として、狂牛病、口蹄疫、鳥インフルエンザについても解説する。 対面を利用して、肉類の加工品や調理についてディスカッションする。 魚介類と加工食品 11 魚介類 の ①魚介類の種類 ②加工食品 ③加工法 魚介類について、種類(魚類・甲殻類・頭足類その他)や加工食品及び加工法について学ぶ。 魚介類の特徴や種類及び人気のある魚について解説する 魚介類の伝統的加工品及び加工法や新しい食品についても解説する。 対面を利用して、鮨についてディスカッションする。 12 油脂類と加工食品 油脂類 加油脂とは? ②油脂類の原料と種類 ③油脂類の処理(加工) ④加工食品 ⑤業界の動向 油脂類の種類からその処理法(採油・製油法)及びそれぞれの加工食品について学ぶ。

	油脂原料は、植物油・動物油脂の特徴と処理法と油脂加工食品(マーガリン・ショートニング
	他)につ いて解説する。 また油脂メーカーの動向を業界の動きと合わせて解説する。 対面を利用して、油についてディスカッションする。 野菜・果物類と加工食品 野菜・果物類
	①野菜の種類 ②野菜の加工食品 ③果物の種類 ④果物の種類 ④果物の加工食品 野菜と果物の種類や加工方法及び加工食品について学ぶ。 野菜と果物は喫食する部位にわけて種類を解説する。 加工食品については伝統的加工方法や最新の技術を踏まて解説する。 対面を利用して、好きな野菜・果物についてディスカッションする。
	14
	ついて学ぶ。 ノンアルコール飲料は、炭酸飲料、缶コーヒー、スポーツ飲料・ミネラルウオーターについて解説する。 アルコール飲料は、ワイン・ビール・日本酒・蒸留酒について解説する。
	対面を利用して、各種嗜好飲料についてディスカッションする。 15 乳類・乳製品類・まとめ 乳類・乳製品類
	①牛の一生(牛が牛乳を採取するまで) ②乳類分類 ③殺菌方法 ④乳製品
	⑤加工食品まとめ 乳類及び乳製品について原料から処理及び加工方法、加工食品について学ぶ。 牛から牛乳が出来るまでと牛乳分類・殺菌方法について解説する。 乳製品や関連微生物についても解説する。 今まで学んだ加工食品についてまとめる。
学習成果・ 到達目標・基準	対面を利用して乳製品について利点を含めてディスカッションする。  ③C:食品を広く理解して、加工食品については市販品からその特徴や他社製品ごとに違いが言える。  ○D:代表的な加工食品の製造や加工工程がイメージでき、製造を通じて関係する諸問題も感覚的につかむことができる。
事前・事後学習	事前学習:シラバスに沿って食品及び関連事項を学んでいくので、各回ごとに教科書の内容を良く目を通し、 キーワードや興味ある点・事項などノートに羅列すること。興味ある事項は、新聞・雑誌・参考書・インター ネット等で調べてノートにまとめること (60分程度)
	事後学習:授業を通じて習ったことをノートにまとめその食品の理解を深めること。市場(スーパー・CVS等) にて市販品をみて確認し、情報(表示他)を取集してノートにまとめること。またその食品の業界のホーム ページやメーカーのホームページを調べて内容を確認しノートにまとめる。(120分程度)
指導方法	授業は、基本的に対面にて講義を行う。パワーポイントを使用して関連事項や事例を提示しながら授業を進める(学生はノートを取り、常にキーワードを意識すること)。随時、学生には多角的に質問して理解状況や興味を確認する。毎回、前回のポイントをパワーポイントに提示し、重要点を再確認する。フィードバックの仕方:①授業内での質疑応答及び今回のポイント確認②次回の授業で前回の重要点確認
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:食品全般の基礎知識を質疑や定期試験で評価する。 D:代表的な加工食品の製造方法や原理の理解等を質疑や定期試験で評価する。 定期試験 授業態度等(質問対応・参加状況等) 20%
テキスト	五訂 食品加工学 編者 北尾悟・鍋谷浩志 建帛社
参考書	食品加工貯蔵学 本間精一・村田容常変 東京化学同人
履修上の注意	1. 講義授業は、講義に参加(聞く・質疑に答える・ノートを取る等)することを原則とする。 2. 授業中は他の人に迷惑にならないよう授業態度(マナー)に注意すること。 授業中は次にあげる行為は禁止する。(おしゃべり、居眠り、飲食、スマホ等の操作、化粧、他の教科の課題の作成、無断 で教室外へ出ること・授業を受ける上で好ましくない行為等)
	で教室外へ出ること・反果を受ける上で好ましてない1月 為等) 特に居眠りしている場合は、授業に参加していないと見なす。 3. 授業に必要でないもの(飲食物、スマホ等、授業に使用しない物)は持ち込まないこと。または、鞄等にしまうこと。
アクティブ・ラー ニング	ディスカッション:授業の特記事項や特定のキーワードに関してディスカッションを実施する。

講義科目名称: 食品加工実習 授業コード: 3141 3142 3143 3144

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	食専:栄選択必修	
担当教員				
谷口裕信				
ナンバリング: N24C14	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 食品加工実習の目標は、食品の製造(加工・原理)を通じて食品を幅広く理解することにある。 ヨのロぼし 「食品製造」、「食ロ 「ヴェバ」 「体験」 実習では、「食品製造」、「食品開発(企画)」、「メニュー提案」の構成で実施する。食品製造は、「学び」、「体験」、「総括」をセットとして食品加工の理解を深める。「学び」では、加工原理等及び操作方法・加工方法を理解する。「生物」では、加工原理等及び操作方法・加工方法を理解する。 授業目標 A: 主体性・チー ムワーク・責任感 「字の」では、加工原理等及の操作方法・加工方法を理解する。 「体験」では、実際に加工食品を製造して試食検査を実施する。また市販品と比較する。 「総括」では、学び・体験したことで得たことや感じたことをレポートにまとめる。 食品開発(企画)は、グループ内で課題テーマに応じて、協議・デスカションを行い発表する。 メニュー提案は、製造した食品を基に新たな視点から、グループ内で協議・デスカションを行い発表する。 担当教員は、食品会社(開発研究所所属・工場現場での試作・指導等)の実務経験より現場の実例を示しなが B:コミュニケー ション能力 C: 思考力・判断 D:知識·理解 ら多角的に食品加工及び加工食品を解説する。 E:技能·表現 (授業の目標) 1 食品加工の概要 授業計画 食品加工の概要(講義) ・授業の目的・内容説明 レポートの作成方法 ※Classroom等にてレポートの書き方提示 食品加工概要 食品を加工する意義及び加工方法について解説する。 物理的方法と化学的方法及び生物的方法についてそれぞれの加工方法と食品事例を学ぶ。 ・完成度の高い加工食品紹介(DVD等から) 何故完成度が高いか?その食品の歴史を通して学ぶ。 2.3 食品製造概要・果物の加工(イチゴジャム) ①食品製造概要 (講義) 食品を製造すること(製造環境・作業員の心得他)全般について解説する。 ・食品製造所 食品の製造はどのような環境で行うか現場(工場)の実例をあげて説明する。 授業で使用する実習室(加工環境等)の注意事項を確認する。 ②果物の加工:イチゴジャム(製造作業) ・イチゴジャムの製造 イチゴジャムを製造するに当たり、ジャムの基礎としてジャムの原理や種類及びゼリー化に ついて学 瓶詰について理解として、瓶詰の保存性の意義や加熱殺菌について学ぶ。製造を通じて食品 を加工す る意義を確認する。 食品開発・開発作業 4. 5 ①食品開発 (講義) ・食品開発の考え方(開発・企画) ニーズとシーズの関係 歴史と食品及びヒット食品について解説。 ・加工食品の保存技術 (低温処理・乾燥) 缶詰や瓶詰の保存の原理、脱気・密封・殺菌について解説する。 加工食品の商品開発について事例を踏まえて解説する。 ②食品開発 (開発·企画作業) ・開発の手法等よりグループディスカッション ・テーマ参考資料の視聴 (DVD等) ・テーマについてグループディスカッション 小麦粉の加工(手打ちうどん)・提案作業 6.7 ①小麦粉の加工:手打ちうどん(製造作業) ・手打ちうどんの製造 手打ちうどんを製造するに当たり、製麺の原理や製造上の注意点を学ぶ。 小麦粉の加工特長として、小麦粉の性質やグルテンの加工特性を学び、現場での実例も紹介 する。 製造を通じ職人の技術も確認する。 ②メニュー提案(提案作業) ・うどんの新しい食べ方等検討 グループワークにて新しい食べ方等についてメニュー提案をする。 乳製品の加工 (チーズ)・提案作業 8.9

①乳製品の加工チーズ・乳飲料(製造作業) ・カッテージチーズの製造 ・カッテージチーズの製造 カッテージチーズを基本としてチーズの種類や製造原理を学ぶ。 チーズ製造中に生じる副産物を使用して乳清飲料を製造する。 世界をよりでする。 製造を通じて、乳類の品質や特性を確認する。 ・乳飲料の製造 チーズを製造する工程で生じる乳清品を利用して乳飲料を製造する。 ②提案作業(メニュー提案)
・カッテージチーズ等の新しい食べ方検討 グループワークにて新しい食べ方等についてメニュー提案をする。 10.11 缶詰と瓶詰・野菜の加工 (ピクルス) ①缶詰と瓶詰(講義) ・食品の劣化 食品が劣化する原因と現象を解説する。 長期保存食品の秘密 缶詰・瓶詰の製造の秘密を確認する。 ②野菜の加工 (製造作業) ・ピクルスの製造 野菜の保存方法について学ぶ。 漬物の製造原理と塩の役割について学ぶ。 債物の製造原理と塩の食剤について子ぶ。 酢の種類や特長も学ぶ。 市販品を比較して原料(食品添加物含む)や表示について学ぶ。 製造を通じて、浸透圧の現象や食酢の効果や品質を確認する。 油脂の加工(バター)・グループワーク 12. 13 ①油脂類の加工:バター・乳飲料(製造作業) バターの製造 バターの製造原理や乳化について学ぶ。 バターの製造を通じて、加工手法(遠心力)を体感する。 ・乳飲料の製造 バターの製造中に生じる副産物を利用して乳飲料も製造する 乳類の加工特性の理解として、関連加工品について種類等を学ぶ。 官能検査の手法 試作品を試食・試飲の際の官能検査の手法について解説する。 ②グループワーク 食品開発やメニュー提案のグループワーク 発表準備及び対応作業及びプレゼンテーションの練習等を行う。 加工食品(加糖酸乳)・発表会 14. 15 ①加工食品:加糖酸乳(製造作業) 乳製品の応用 加糖酸乳の製造 発酵法と簡易法について、加糖酸乳の製造原理を 市販品と比較して、発酵乳や乳飲料について学ぶ 加糖酸乳の製造原理を学ぶ。 製造を通じて、酸乳について製法の意義を確認する。 ②発表会 授業で行ったグループワークより、食品開発やメニュー提案を グループ毎に発表する。 A: 班における自分の役割を理解し、チームワーク作りに貢献し、加工実習をやり遂げることができる。 ○D: 代表的な食品の加工法の理解ができ、それに伴う食品の説明ができる。市販品との違いを説明できる。 ◎E: 代表的な加工食品の製造原理が理解でき、それに伴う製造作業ができる。 学習成果・ 到達目標・基準 事前学習:シラバスに沿って次回製造する食品について教科書や参考資料等で調べてノートにまとめる。合わせて関連キーワードをノートに列挙する。(45分) 事後学習:実習で習ったことをレポートにまとめて製造した食品の理解を深める。機会を見つけて市場の市販品(表示含む)を確認し、関連メーカー等のホームページも確認しノートにまとめる。(45分) 事前・事後学習 ・5~6人を1グループに班別にし班単位で、瓶詰、袋詰等は1人1個の割合で製造できる規模で実習し、発表課 指導方法 題についてグループ毎に発表する。 をしていた。 ・最初に製造の原理や操作方法を説明し、その後は各班ごとに巡回しながら指導する。 ・実習(食品製造)ごとにレポートを提出してもらい理解度を確認する。 フィードバックの仕方:①レポート提出 ②レポート評価、コメント ③授業内の質疑応答 ④前回作品の振 り返りや追加事項 A:受講態度・グループ内での授業貢献度を評価する。 D:加工食品の基礎知識について、加工方法や特性の理解などをレポート提出・定期試験で評価する。 F:加工実習貢献度(食品製造の心構えや取り組み姿勢)を評価する アセスメント・ 成績評価の方法・

<del>22</del> T	実習を通して学んでいく教科なので実習態度、レポート、グループ発表及び試験で総合的に評価する。 定期試験40% レポート40% 実習参加状況(実習態度・発表作業・ルール順守等)20%
テキスト	食品加工実習・実験書 吉田企世子編 医歯薬出版
参考書	五訂 食品加工学 北尾悟・鍋谷浩志編 建帛社
履修上の注意	1. 班単位で製造・企画するので班員で協力して実習に参加すること。 2. 食品を製造する意識を常にもって実習に参加すること。 3. 実習の時は食品製造に適する身支度をして衛生管理に留意し、怪我等しないように注意すること。 4. 食品製造の環境下で授業を行うので、飲食物、スマホ他、授業に関係ない物品は持ち込まないこと。
アクティブ・ラー ニング	実習、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: フードビジネス・DXゼミ 授業コード: 3601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	食専:選択	
担当教員				
谷口裕信				
ナンバリング:N39C56	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	後期「食物栄養科ゼミナール」での産学連携に向けて、基礎となるノウハウを学ぶ。第1回はモデル別ゼミの全体ガイダンス、第2~6回は「学外実習準備講座」の全体会で、各特定給食施設の特徴やそこで求められる栄養士の役割などを学ぶ。第7~15回はモデル別の授業で、フードビジネス分野では、フードビジネス(主に外食、中食、一部流通も含む)における最新の事例を解説しながら実務で役に立つデジタルトランスフォーメーション(以下、DX)、デジタルマーケティング、フードテックの基礎知識について、学修する。実際にフードビジ
ション能力 C: 思考力・判断	ネスの領域で活躍のゲスト講師を招き、実践的な学びを深めることを目的とする。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	(授業目標)  実社会で直面する課題について、本講義で学んだDXやデジタルマーケティングを活用して解決するための基礎  知識を身に付ける。
2.00	○A:グループで課題をディスカッションし、実態に基づいた課題解決策や役割を理解する。 ○C:キャリア形成や実社会で役立つ実践的な知識を身につける。
授業計画	1 ガイダンス (他モデルと合同) 学科長挨拶(担当:川嶋)
	各回の授業内容やスケジュールの確認(担当:専任教員全員) 就職活動の進捗状況確認と今やるげきこと(担当:キャリアセンター)
	学外実習の目的、方法、授業を受ける際のルールなど、概要を学ぶ。学外実習担当者より、それ ぞれの担当する分野や授業内容などについて説明を受ける。
	3   〈学外実習準備講座〉特定給食施設の種類と特徴① : 全体会 (担当:井部)   特定給食施設(事業所)(病院)の種類と特徴について学ぶ。   学外実習についての説明・連絡を受ける。
	4 〈学外実習準備講座〉特定給食施設の種類と特徴② : 全体会 (担当:西山) 特定給食施設(保育所)の種類と特徴について学ぶ。
	学外実習についての説明・連絡を受ける。  5 〈学外実習準備講座〉特定給食施設の種類と特徴③ :全体会 (担当:狩野) 特定給食施設(高齢者福祉施設)の種類と特徴について学ぶ。 学外実習についての説明・連絡、準備等を行う。
	タケス音についての説明・連絡、準備等を行う。   6   〈学外実習準備講座〉学外実習ガイダンス :全体会 (担当:狩野・西山・井部・橋詰・谷口)   学外実習についての説明・連絡、準備、注意事項等を行う。
	7
	授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明 DXに至るまでの歩みとなぜ今DXが重要となっているのるかについて学ぶ。
	8 フード業界で求められる人財 (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏) フードビジネスにおいて活躍出来る人財像や身に付けるべき知識について学ぶ。 フードビジネスにおけるデジタルマーケティングの仕事と役割について学ぶ。
	9 DXとフードビジネス① (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏) DXにより社会がどのように変化しているのかについて学ぶ。
	DXによってはフードビジネスがどのように変化するについて学ぶ。 10 DXとフードビジネス② (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏)
	世界と日本のDX、デジタル活用と考えの違いについて学ぶ。 海外のDX事例について学ぶ。
	11 DXとフードビジネス③ (担当:谷口・髙橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏) 日本のDX事例について学ぶ。 日本のフードビジネスの可能性について考察する。
	12 DX前後でのマーケティングの違い (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘氏) 外食、中食、流通における販促、広告手法について学ぶ。
	13 デジタルマーケティング(実務視点)① (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏) デジタル広告、販促、販売について新しい手法について学ぶ。
	14 デジタルマーケティング(実務視点)② (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏) 広告のタイプと運用と効果について学ぶ。 SNS、顧客接触について学ぶ。
	15 フードテックの事例を学ぶ (担当:谷口・高橋、ゲスト講師;渋谷和弘 氏)
	AI、ロボット、代替食、自動運転、データの活用、農業・漁業の最新現状について学ぶ。 (*最新事例を解説するため内容に変更が発生する場合がある。)
学習成果・ 到達目標・基準	○A: 主体的に課題解決策を考え、テーマに基づき知識を深め、実践につなげる力を身に付ける。 ◎C: フード関連企業におけるDXやデジタルマーケティングの取り組みについて自分の言葉で第三者に説明がで

	きる。
事前・事後学習	事前:連続性がある授業のため前回授業で学んだ用語は復習しておくこと(45分程度) 事後:実際に飲食店を利用して、学んだことと照らし合わせて理解を深め、文章で要約して知識を定着させる こと(45分程度)
指導方法	パワーポイント、写真、動画など毎回の授業に適した資料を用いる。内容によってはグループディスカッションも取り入れる。
	フィードバックの仕方:①レポート、課題提出、②評価して返却、③授業後に内容についての質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○A:テーマに基づいた課題に対して、グループで解決策や役割を理解し、レポートにまとめ提出することで評価する。 ◎C:授業内容に関する課題および感想、授業態度、貢献度で評価する。 *DX、デジタルマーケティングに対する理解について、課題レポートや授業後のアンケートで自身の見解 主張を積極的に述べられたかを評価する。
	課題レポート(60%)、授業後のアンケートおよび感想(30%)、授業態度・貢献度(10%)  成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。
テキスト	使用しない。毎回プロジェクターで資料を投影する。
参考書	
履修上の注意	自身が社会に出た時にどのような職業に就きたいか具体的にイメージしながら積極的に授業に臨むこと。 携帯電話を授業中に関係のない目的で使用したり、私語、居眠りは減点対象とする。 毎回の講義は関連性があるため体調に気を付けて欠席をしないように努めてください。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 応用栄養学実習 授業コード: 3201 3202 3203 3204

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	食専: 栄必修
担当教員		•	
井部奈生子			
ナンバリング: N25C20	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			·

授業内容	ライフステージ別に適切な栄養素の摂取、食生活のあり方、食形態を前提とした献立の実際を学び、実習を通
授業目標	して調理上の注意点、献立立案における配慮事項を学ぶ。
A:主体性・チー ムワーク・責任感	また、試食を通して調理法の選択、食感・味覚上の問題に関しても理解を深め、対象者が満足する食事作りを   身に付ける。
B:コミュニケー	(授業目標)
ション能力	ライフステージ別の生理的特徴や変化、食事摂取基準を理解し、栄養マネジメントを行うために必要な基礎
C:思考力・判断   力	的な知識と調理技能を習得する。   A:班での調理を通し、チームワークの重要性と個々の責任について学ぶ。
D:知識・理解	○C:ライフステージ別生理学的特性を理解した上で、それに適した献立展開、調理法選択ができる。
E:技能・表現	○E:ライフステージ別の食事の実際を理解し、献立作成、調理作業を円滑に行うことができる。
授業計画	1 ガイダンス・成人期の栄養
	実習概要、実習の基礎演習、栄養マネジメント、ライフステージごとの食事摂取基準など実習ん 必要な知識を概説する。
	成人期の生理的特性、栄養管理を学ぶ。事例に基づいた食事計画のポイントを確認する。
	2.3 妊娠期・授乳期の栄養-献立作成-・運動と栄養・環境と栄養(実習:試食)
	妊娠期・授乳期の生理的特性、栄養管理を学ぶ。各個人で、妊娠期・授乳期の献立を作成する。
	運動時の特性を学び、身体活動への積極的な取り組みを検討する。特殊環境における栄養の特性を学ぶ。市販されている関連食品の試食を行う。
	4.5 乳児期の栄養-調乳・離乳食- (実習:調理・試食)
	無菌操作法を用いた調乳方法について学ぶ。調製粉乳・フォローアップミルク・治療乳・液体
	ルクを試飲する。 離乳食の進め方を学ぶ。離乳食の調理を学び、離乳の進め方を評価する。離乳の時期による食用
	態の差異を学ぶ。
	6.7 幼児期の栄養-食物アレルギー代替食・間食- (実習:調理・試食)
	乳幼児期の三大アレルゲンを学ぶ。食物アレルギー代替食の調理を学び、調理方法を評価する。 幼児期の生理的特性を学び、間食の重要性を理解する。間食の調理を行い、試食後、評価する。
	別元朔の生産的特性を子の、間段の重要性を理解する。間段の調理を行び、試及後、計画する。 8.9 学童期の栄養(実習:調理・試食)
	学童期生理的特性、栄養管理を学ぶ。学校給食で好評な献立やカルシウム豊富な献立の調理を行
	い、試食後、評価をする。
	10.11 思春期の栄養(実習:調理・試食)
	思春期の生理的特性、栄養管理を学ぶ。思春期に必要な栄養素を豊富に含む献立の調理を学び、 栄養価を評価する。
	12.13   高齢期の栄養-食事介助の配慮・咀嚼機能の低下の配慮- (実習:調理・試食)
	高齢者の生理的特性、栄養管理を学ぶ。食事介助の配慮をした献立の調理を学び、自立支援の高
	齢者の栄養管理を学ぶ。 食事介助の配慮をした献立の調方法を評価する。咀嚼・嚥下機能の低下がある場合の献立の調理
	を行い、試食後、評価をする。
	14.15 妊娠期・授乳期の栄養-献立評価- (プレゼンテーション)・咀嚼や嚥下機能の配慮(実習:試
	食) おさずになることに対しても分割する。 タガマ原系がされるマン 原系が立た代表が仕ました。
	献立評価を行い、作業計画を検討する。各班で優秀献立を選定し、優秀献立作成者が代表として プレゼンテーションを行う。
	咀嚼や嚥下機能の低下に配慮した市販食品(ソフト食、ムース食等)の試食を行なう。
学習成果・	A:班における自分の役割を理解し、調理実習・献立評価を効率よくすすめることができる。
到達目標・基準	○C:食における問題点をライフステージに合わせて評価し、説明することができる  ◎E:調理法や味覚の配慮をした献立立案ができ、対象者に適した調理操作を選択し、調理ができる。
事前・事後学習	事前学習:次回の授業内容に関する項目についてテキストの該当箇所を読み、まとめておく。 (45分)
子的 子及丁目	事後学習:配布プリントの確認を含め、授業内容をまとめたレポートに取り組む。特に、事後学習が大切であ
	る。授業の調理を振り返り自宅で作ってみると、理解も調理技術も上達する。 (45分)
指導方法	・調理実習はデモンストレーションをしながら説明を行い(手元カメラでデモ中の映像を拡大して見ることが  できる)、グループごとに実習する。
	・試食前に各グループの実習内容を評価する。
	・調理実習終了後に点検を受け、グループごとに終了となる。
	・内容に応じてパワーポイントを利用して要点を示しながら説明をする。 ・適宜DVD等の視聴覚資料を利用する。
	フィードバックの仕方:レポート①課題の提示、②課題を提出後評価し、コメント記載のうえ返却する、③授  業後による採点についての質疑応答。
	実習①料理の仕上がり、効率を評価、②評価後に班別、個別にコメントする。
アセスメント・	A: 実習で作った料理及び作業効率の良さ、グループワークの貢献度を評価する。
成績評価の方法・ 基準	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
本毕	◎E:レポートを評価する。  定期試験 40%、レポート提出40%、実習で作った料理および作業効率の良さ、グループワークの貢献度
	TOTAL

	20%  成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。
テキスト	成績計画は上記の配方で行い、それでれのループリックに基づいて配点する。   改訂 応用栄養学実習書 [第2版] - PDCAサイクルによる栄養ケアー2022年
参考書	・「八訂準拠 ビジュアル食品成分表」新しい食生活を考える会編著 大修館書店 ・「調理のためのベーシックデータ」松本仲子編著 女子栄養大学出版部
履修上の注意	応用栄養学講義で終了した内容は、十分に理解していることが望ましい。 提出物の期日を厳守する。 実習中は安全・衛生に注意する。
アクティブ・ラー ニング	実習、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: 応用栄養学 授業コード: 3191 3192 3193

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	食専:栄必修	
担当教員				
井部奈生子				
ナンバリング:N25C19	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

松米中岛	1, 1 0 4,145	
授業内容 授業目標	年期・実年期)	テイフステージ別に、妊娠期・授乳期、離乳期、幼児期、学童期、思春期、成人期(青年期・壮 高齢期に分けられる。それぞれの時期における身体的特性や栄養学的問題点、適切な栄養素の
A:主体性・チー ムワーク・青任感	摂取と食生活の  栄養管理につい	)あり方、栄養ケアとマネジメントについて学ぶ。また、特殊環境下、スポーツ活動時における
B:コミュニケー	(授業目標)	. ( 0 十分。
ション能力 C:思考力・判断	対象者のライ	'フステージに合わせた栄養マネジメント力を身に付け、食のプロフェショナルとして、食を通 増進に関わる力を身に付ける。
し、芯与刀・刊刷   力		増進に関わる力を身に刊ける。 暗記ではなく、新たな事柄に関し判断したり、推測したりする力を身に付ける。
D:知識・理解	◎ D : ライフス <sup>•</sup>	テージごとの身体特性と、それぞれのステージで食事摂取基準が定められている理由が理解でき
E:技能・表現	る。てれを基礎   る。また、特別	をに各ステージでの、食生活における問題点、適切な栄養素の摂取と食生活のあり方が理解でき *環境下やスポーツ活動時の身体状況の変化について理解し、栄養学的対応方法についても理解
	できる。	
授業計画		成長・発達・加齢(老化) (ICT: Classroom)
		応用栄養学の基礎となるヒトにおける生命現象の流れ(ライフサイクル)を学ぶ。成長・発達・ 加齢さらに老化の定義を学び、ライフステージ別栄養学理解のための基礎を学ぶ。
		栄養必要量の科学的根拠 (ICT: Classroom)
		食事摂取基準策定の歴史、概要について学ぶ。2020年版における、各栄養素ごとの策定の根拠に
		ついて学ぶ。
		栄養マネジメント(ICT:Classroom) 栄養スクリーニング、栄養アセスメントの実際とその手順について学ぶ。栄養プログラムの目標
		設定、立案、実施と評価方法と、評価のフィードバックに関しても併せて学ぶ。
	<del>-</del>	妊娠期の栄養(ICT: Classroom)
		妊娠期の母体と胎児の生理学的特徴を学び、妊娠期に起こりやすい栄養学的問題とその評価法・ 解決法について学ぶ。
		授乳期の栄養 (ICT: Classroom)
		授乳期の女性の生理学的特徴、母乳分泌の機序、授乳婦に起こりやすい栄養学的問題に関して学
		ぶ。授乳期の栄養ケアについて併せて学ぶ。 乳児期の栄養(ICT:Classroom)
		乳児期の発育・発達、生理的特徴と、乳児に関する栄養アセスメント法について学ぶ。出生時・
		乳児期に起こりやすい栄養学的問題に関し学ぶ。母乳と人工栄養の特徴、 調乳方法、乳児期の栄
		養補給法に関して学ぶ。乳児期の食事摂取基準を学び、離乳の目的、離乳の進め方について学 ぶ。
	7	幼児期の栄養(ICT:Classroom)
		幼児期の発育・発達とその評価法を学ぶ。幼児期に起こりやすい栄養学的問題として特に発育障 害とアレルギーについて学ぶ。幼児期の食事摂取基準について学ぶ。
		音とアレルイーについて子ぶ。幼児別の良事な収基率について子ぶ。 学竜期の栄養(ICT: Classroom)
		学童期の成長・発達の特徴と、アセスメント法について学ぶ。小児期生活習慣病に関する理解を
		深める。 Bath の
		思春期の栄養(ICT:Classroom) 思春期の成長・発達の特徴と、アセスメント法について学ぶ。スパートの時期の栄養に関して考
		える。
		成人期の栄養(ICT:Classroom)
		成人期(青年期・壮年期・実年期)の身体的特性、食生活の特徴から生活習慣病のリスクに関して学ぶ。
		生活習慣病の現状について学び、その予防・対策に関して考える。
		更年期の栄養(ICT: Classroom)
		更年期の生理学的特徴とそれに伴う栄養学的問題ついて学び、栄養ケアのあり方に関して考え る。
		高齢期の栄養(ICT:Classroom)
		高齢期の加齢・老化に伴う生理学的特徴を学び、アセスメント法、高齢期に多い栄養学的問題に
		関して学ぶ。さらに、食事摂取基準、栄養ケアに関して学ぶ。 障がい者と栄養(ICT:Classroom)
		障がい者の栄養学的特徴、必要な配慮について学び、さらに障がいを持つ人に食事を提供する際の栄養ケアのあり方を学ぶ。
	14	運動・スポーツと栄養 (ICT: Classroom)
		運動時の生体反応について学び、一般人・アスリートにおける運動と栄養との関係について学ど
		ぶ。 環境と栄養(ICT:Classroom)(プレゼンテーション)
		高温・低温、高圧・低圧等、特殊環境下におけるヒトの生理学的状態を学び、栄養学的対応を考
		える。学んできた各ライフステージから1つ選択し、栄養ケアについてまとめたことを発表する。

学習成果・ 到達目標・基準	○C:生体反応と栄養ケアの必要性の関連を理解できる。 ◎D: ライフステージごとの適切な栄養素の摂取と食生活のあり方、特殊環境下やスポーツ活動時の身体変化 を理解できる。
事前・事後学習	事前学習:各回の内容について、教科書を事前に読んでくる。(60分) 事後学習:授業で提示された課題に取り組み、理解を深める。(120分)
指導方法	・教科書を中心とした講義形式で行う。授業ポイントをまとめたプリントを配布したり、パワーポイントを使用して解説する。 ・項目ごとに栄養士実力認定試験の過去問題に沿って小テストを行う。理解度を確認しながら授業を進めていく。 ・フィードバックの仕方:小テスト①小テスト実施、②小テスト採点、③授業後による採点についての質疑応答。 提出物①課題の提示、②評価のうえ返却、③授業後による採点についての質疑応答。 プレゼンテーションの評価①ワークシートを使用して学生間で評価する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:プレゼンテーション・小テスト、定期試験により評価する。 D:小テスト、定期試験により評価する。 定期試験 70%、小テスト 20%、提出物・プレゼンテーション10% 成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。
テキスト	Nブックス 応用栄養学概論 [第2版] 渡邉早苗・松田早苗・真野由紀子編 建帛社 2021年
参考書	栄養士実力認定試験過去問題集:全国栄養士養成施設協会編、建帛社
履修上の注意	項目ごとに「栄養士実力認定試験」を意識した小テストを行います。テストを行う授業日は前もって連絡をします。何らかの事情で欠席する場合は事前に連絡してください。配布プリント、授業中に行う小テストの内容は定期試験の範囲に含まれます。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: 給食管理実習 (学内) 授業コード: 3311 3312 3313

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	食専:栄必修	
担当教員	•			
井部奈生子、狩野恭子				
ナンバリング: N27C31	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業 将 標 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	栄養士の業務内容(予定献立の作成、食材発注、検収、大量調理、食事サービス、栄養事務、栄養指導)を学内において実践する。給食管理実習(学内)では、すでに学んだ食事計画、給食管理の理論などの知識を生かして実務を行う。給食の運営のテーマは「学生の健康管理のための給食」とし、給食における栄養教育の実際と効果も含めて観察や調査も行い、実社会同様に実施する。この実習を通じて、給食の運営に携わる栄養士のあり方を学ぶ。(授業目標)特定給食施設における給食管理の実際を体得するとともに、特定給食における給食管理のあり方を理解する。〇A:グループにおける自分の役割と大量調理の特性を理解し、予定献立の作成、調理実習ができる。⑥D:大量調理施設衛生管理マニュアルの衛生管理に基づいた給食業務を身に付ける。
授業計画	1 栄養計画
汉未刊画	給食管理実習(学内)について概要を把握し、給与栄養目標量、大量調理における衛生管理について確認をする。 料理様式別の特徴を比較し、それぞれの特徴を確認する。 利用者に対応した給与栄養目標量をもとに献立作成を行う。
	2 大量調理施設設備の把握・献立作成手順(調理実習:調理・試食)   実習室(厨房)内の施設・設備及び器具類の把握、大量調理機器を使用して簡単な調理を行う。   献立作成手順を確認しながら、知識を定着させる。
	3 作業計画①(グループワーク: 給食を提供するためのサービスをまとめる。) 単一定食の献立指示表の確認、提供サービス打合せを行う。 大量調理における重要管理点の設定を行う。 献立より発注量の計算、作業計画の作成をする。
	4 供食実習① (調理実習:調理・試食) 実習室での大量調理、喫食者のアンケート集計をする。
	5 給食の評価① (グループワーク) 給食業務の総合評価、帳票整理において見つかった問題点をアンケートをもとに検討して対策を 立案する。
	献立から栄養比率を求め、栄養評価をする。 栄養指導教材の評価をする。 6 作業計画② (グループワーク:給食を提供するためのサービスをまとめる。)
	単一定食の献立指示表の確認、提供サービス打合せを行う。 大量調理における重要管理点の設定を行う。 献立より発注量の計算、作業計画の作成をする。
	7 栄養指導教材の作成   献立内容に沿った栄養指導教材の作成をする。
	8 供食実習②(実習:調理・試食) 実習室での大量調理、喫食者のアンケート集計をする。
	9 給食の評価②(グループワーク) 給食業務の総合評価、帳票整理において見つかった問題点をアンケートをもとに検討して対策を 立案する。 栄養指導教材の評価をする。
	10   帳票整理   大量調理実習における重要管理点をまとめる。   実施献立表の作成、栄養日報の作成する。   調味と数値が一致しているか確認し、知識を定着させる。
	11 作業計画③   単一定食の献立指示表の確認、提供サービス打合せを行う。   大量調理における重要管理点の設定を行う。   献立より発注量の計算、作業計画の作成をする。
	12 供食実習③ (調理実習:調理・試食) 実習室での大量調理、喫食者のアンケート集計をする。
	13 給食の評価③ (グループワーク) 給食業務の総合評価、帳票整理において見つかった問題点をアンケートをもとに検討して対策を 立案する。 栄養指導教材の評価をする。
	14 食事計画の評価・まとめ(グループワーク)   献立表の役割を理解し、対象者に合った献立であったかの確認をする。   作成献立の発表を行い評価をする。   見つかった問題点を検討し、修正を行う。

	15   全体報告会(グループワーク・プレゼンテーション)
	グループ討議による実習内容の評価、反省会で個人発表をする。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>○A:グループにおける自分の役割と大量調理の特性を理解し、調理実習をやり遂げることができる。</li><li>◎D:大量調理施設衛生管理マニュアルの衛生管理に基づいたポイントを説明できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:授業の準備として、1年次に修得した「給食の運営」と「食品と衛生」分野の復習をする。 試作した献立を大量調理実習前に自宅で作ってみると理解も調理技術も上達する。(30分程度) 事後学習:実習ノートの整理、レポート等の課題を含め、各回の授業のまとめをすること。 特に、事後学習が大切である。(60分程度)
指導方法	1クラスをグループに分け、それぞれの日程で実習が進行する。献立の決定、作業管理、試作による献立の検討、実習準備、実習実施の各段階で随時アドバイスをしながら実習を進めていく。実習献立のまとめには、PCを用いて、栄養価計算ソフトを使用する。フィードバックの仕方:①実習、②レポート提出、③評価して返却、④授業後による採点についての質疑応答。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:個人の授業態度・グループのチームワークを評価する。 D:レポート、定期試験を評価する。 定期試験 50%、レポート提出 40%、個人の授業態度・グループの評価(積極性、協調性、責任感)10% 成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。
テキスト	・「改訂給食のための基礎からの献立作成大量調理の基本から評価まで」上地加容子・片山直美編著 株式会社 建帛社 2021年
参考書	・「八訂準拠ビジュアル 食品成分表」 新しい食生活を考える会編著 大修館書店 2021年 ・「調理のためのベーシックデータ 第6版」 女子栄養大学出版部 2022年
履修上の注意	<ol> <li>グループで作業を行うことから協力が必須となる。グループが一丸となって実習に臨むこと。</li> <li>事前に細菌検査を実施する。食中毒菌陰性の証明のない学生は実習室への入室を禁止となるためきちんと期限を守って検体を提出すること。</li> <li>大量調理を行う際には体調管理が重要となる。自分自身の体調管理を十分すること。実習当日に体調不良の場合は、必ず申し出てください。</li> <li>給食の運営・管理についての定期試験を行います。余裕をもって準備をしてください。</li> </ol>
アクティブ・ラーニング	実習、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: 給食経営管理演習 授業コード: 3301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	食専:選択
担当教員			
狩野恭子			
ナンバリング: N27C29	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	給食の運営(経営管理、栄養管理、衛生管理、大量調理、評価方法)全般の流れに沿って、計画書や帳票類、 評価票を作成する。献立計画から調理までの給食サービス提供を適切に運営することによって、衛生的で栄養 的な食事を喫食者の嗜好性を考慮しながら、経済的に提供するための方法を学ぶ。衛生管理では、大量調理施 設衛生管理マニュアルに基づいた具体的な内容を学ぶ。 (授業目標)
ション能力 C: 思考力・判断 力 D: 知識・理解	大量調理施設の衛生管理について熟知し、安全な給食を提供するための方法と心構えを理解する。給食関連業務で必要な書類の作成方法を演習し、栄養士業務を理解する。 ○C:大量調理の特性を理解し、安全な給食を提供するための方法を説明することができる。 ○D:給食運営における献立計画の流れを理解し、使用する帳票とあわせて説明することができる。
E:技能・表現	
授業計画	1 大量調理の衛生管理(演習:学内給食実習室見取り図の作成) 学内給食実習室内の作業区域について見取り図を作成しながら学ぶ。 大量調理における具体的な衛生管理を学ぶ。
	2 予定献立表の作成条件(演習:作業工程表の作成)   給食施設内における大量調理業務の流れを知る。
	3 大量調理の基本知識 (演習:発注と調味パーセントの計算) 発注計画の流れを知る。 調味パーセントの計算を学ぶ。
	家庭などにおける少量の調理と異なる各種調理に関する知識を学ぶ。 4 給食の基本計画(演習:荷重平均栄養成分表の作成)
	食品構成表の作成手順を学び、荷重平均栄養成分表を作成をする。 予定献立表の作成方法を知る。
	5 大量調理に使用する調理機器と器具類について(実習:調理、試食) 大量調理に使用する調理機器と器具類の特徴を学ぶ。 調理工程に沿った調理機器の活用方法を知る。
	6 給食の施設別実践について①病院 病院給食の種類と役割を知る。 病院での献立作成要件を確認し、食品構成と献立を知る。
	7 給食の施設別実践について②高齢者介護福祉施設 高齢者介護福祉施設給食の種類と役割を知る。 高齢者介護福祉施設での献立作成要件を確認し、食品構成と献立を知る。
	8 給食の施設別実践について③児童福祉施設 児童福祉施設給食給食の種類と役割を知る。 児童福祉施設での献立作成要件を確認し、食品構成と献立を知る。
	9 給食の施設別実践について④学校 学校給食の種類と役割を知る。 学校での献立作成要件を確認し、食品構成と献立を知る。
	10 給食の施設別実践について⑤事業所(実習:調理、試食) 事業所給食の種類と役割を知る。 事業所での献立作成要件を確認し、献立を知る。 事業所給食で利用される食材の扱い方を学ぶ。
	11 献立の栄養評価①(演習:栄養比率の計算) 栄養バランスの適正を判断するため、栄養比率を用いて評価する方法を学ぶ。 栄養比率はPFC比率、穀類エネルギー比、動物性たんぱく質比等を計算する。
	12   献立の栄養評価②(演習:栄養出納表の作成)   給食の評価に用いる栄養出納表について学び、実際に作成をする。
	13 レシピの作成(演習:作業指示書の作成) 予定献立表に基づいた作業指示書を知り、実際に作成をする。
	14 給食運営における栄養士の役割について(グループワーク) 授業で学んだ献立計画から提供までの流れを総合し、給食提供の場で必要となる技術や知識についてグループ討議を行う。
	15 栄養教育(プレゼンテーション) 給食業務における栄養教育の役割、またその種類について学ぶ。 予定献立表を栄養教育教材とし、グループ討議で選ばれたグループの代表者がプレゼンテーションを行う。
学習成果・ 到達目標・基準	○C: 大量調理の基礎的な衛生管理について知り、施設・設備に配慮した作業の方法を説明することができる。
一	<ul><li>○ D:給食運営における献立計画作成の手順と使用する帳票を関連付けることができる。</li></ul>

事前・事後学習	事前学習:次回の授業内容に関する項目についてテキストの該当箇所を読み、これまでに修得した専門基礎分野の復習とあわせてまとめておくこと。(15分程度) 事後学習:レポート等の課題を含め、各回の授業のまとめを作成しファイルに綴じておくこと。特に、事後学習が大切である。(30分程度)
指導方法	内容を説明した後、実際に献立を作成したり、帳票を作成したりする。内容に応じて、グループワークを行い、プロジェクター、配布資料等を利用して重要な点を示しながら説明をする。内容により、給食経営管理実習室、実習食堂で作業もおこなう。 フィードバックの仕方:①課題提出、②評価し採点後返却、③授業後に課題内容についての質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:レポー課題、グループワークの貢献度を評価する。 D:小テストを評価する。 レポート課題50%、小テスト30%、グループワークの貢献度(授業への貢献度、積極性を含む)20% 成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する
テキスト	・「改訂給食のための基礎からの献立作成大量調理の基本から評価まで」上地加容子・片山直美編著 株式会社 建帛社 2021年
参考書	・「八訂準拠ビジュアル 食品成分表」 新しい食生活を考える会編著 大修館書店 2021年 ・「調理のためのベーシックデータ 第6版」女子栄養大学出版部 2022年 その他は授業内で適宜紹介する。
履修上の注意	全ての書類は流れがあり、関連性があります。欠席をすると内容や帳票類の書き方がわからなくなり、それ以降の書類作成や実習の進行に影響します。体調管理をしっかりして下さい。 栄養士として欠かせない技術を身に付けます。事前・事後学習も力を入れ、積極的に授業で発言してください。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: ビューティ&ウェルネスゼミ 授業コード:3621

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	食専:選択
担当教員		·	
井部奈生子			
ナンバリング:N39C58	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コンニケー	15回の授業を3分割し、ブロックごとに授業方法・内容を変え、実践的・具体的に理解を深める。初回はモデル別ゼミの全体ガイダンス、2~6回は〈学外実習準備講座〉として全体会で、各特定給食施設の特徴やそこで求められる栄養士の役割などを学ぶ。7~15回はビューティ・ウェルネス業界で活躍するゲスト講師を招いての講演や、それぞれの分野で必要な知識や技術を演習も含めて学ぶ。(授業目標)
ション能力 C:思考力・判断 力 D:知識・理解	栄養や食品についての専門知識を活かせる職場は多岐にわたり、その仕事内容も業種により異なる特徴がみられる。この科目では身につけた専門知識や技術を社会に還元する方策を見出すために、ビューティ・ウェルネスモデルの業界や栄養士業務などについて、多角的、実践的、具体的に学び、自己の将来像へとつなげる。○A:積極的にワークに取り組み、自分の意見を述べることができる。
E:技能・表現	◎C:ビューティ・ウェルネス業界や特定給食施設の特徴を学ぶことで、自己の将来像や果たすべき役割・目的などを見極め、現状と課題を挙げることができる。 D:ビューティ&ウェルネスモデルに即した基礎知識を学び、主体的に演習や課題に取り組むことで技術の向
	上を図り、実践に移すことができる。
授業計画	<ul> <li>ガイダンス(他モデルと合同)</li> <li>学科長挨拶(担当:川嶋)</li> <li>各回の授業内容やスケジュールの確認(担当:専任教員全員)</li> <li>就職活動の進捗状況確認と今やるべきこと(担当:キャリアセンター)</li> <li>2 〈学外実習準備講座①〉学外実習ガイダンス :全体会</li> </ul>
	学外実習の目的、方法、授業を受ける際のルールなど、概要を学ぶ。学外実習担当者より、それ ぞれの担当する分野や授業内容などについて説明を受ける。 (担当:西山・井部・狩野・橋 詰・谷口)
	3 〈学外実習準備講座②〉特定給食施設の種類と特徴① :全体会 特定給食施設(事業所) (病院)の種類と特徴について学ぶ。(担当:井部) 学外実習についての説明・連絡を受ける。
	4 〈学外実習準備講座③〉特定給食施設の種類と特徴② : 全体会 特定給食施設(保育所)の種類と特徴について学ぶ。(担当:西山) 学外実習についての説明・連絡を受ける。
	5 〈学外実習準備講座④〉特定給食施設の種類と特徴③ :全体会 特定給食施設(高齢者福祉施設)の種類と特徴について学ぶ。(担当:狩野) 学外実習についての説明・連絡、準備等を行う。
	6 〈学外実習準備講座⑤〉学外実習ガイダンス : 全体会 学外実習についての説明・連絡、準備、注意事項等を行う。(担当:狩野・西山・井部・橋詰・ 谷口)
	7 履修モデル別講座①(ゲスト講師が講演 担当井部) 伊達友美式プラス栄養メソッド®を研修方式で伊達友美先生から学ぶ。相手に合わせて提案する方法と付加価値をつけて顧客にアピールする技術を学ぶ。 ①プラス栄養メソッドの基本
	8 履修モデル別講座②(ゲスト講師が講演 担当井部) 伊達友美式プラス栄養メソッド®を研修方式で伊達友美先生から学ぶ。相手に合わせて提案する方法と付加価値をつけて顧客にアピールする技術を学ぶ。 ②プラス栄養メソッド実践:脳リセット
	9 履修モデル別講座③(ゲスト講師が講演 担当井部) 伊達友美式プラス栄養メソッド®を研修方式で伊達友美先生から学ぶ。相手に合わせて提案する方 法と付加価値をつけて顧客にアピールする技術を学ぶ。 ③プラス栄養メソッド実践:デトックス
	10 履修モデル別講座④(ゲスト講師が講演 担当井部) 伊達友美式プラス栄養メソッド®を研修方式で伊達友美先生から学ぶ。相手に合わせて提案する方 法と付加価値をつけて顧客にアピールする技術を学ぶ。 ④プラス栄養メソッド実践:代謝アップ
	11 履修モデル別講座⑤(ICT:Classroom、グループワーク)(担当井部) ビューティ&ウェルネス分野の情報収集を行い、興味のある商品を検討する。プレゼンテーショ ン用にPowerPointを作成する。
	12 履修モデル別講座⑥(ゲスト講師が講演 担当井部) 内面の美しさをサポートするため、相手に合わせた運動の方法を学ぶ。
	13 履修モデル別講座⑦プレゼンテーション(ICT:Classroom)(担当井部) ビューティ&ウェルネス分野で興味のある商品をプレゼンテーションする。
	14 履修モデル別講座⑧(ゲスト講師が講演 担当井部) 内面の美しさをサポートするため、相手に合わせた運動の方法に加え、付加価値をつけて顧客に アピールする技術を学ぶ。

	15   履修モデル別講座⑨(ゲスト講師が講演 担当井部)
	伊達友美式プラス栄養メソッド®を研修方式で伊達友美先生から学ぶ。相手に合わせて提案する方法と付加価値をつけて顧客にアピールする技術を学ぶ。 ⑤実践のまとめとアフターケアについて
学習成果・ 到達目標・基準	○A:ワークに取り組み、自分の意見を書くことができる。 ◎C:それぞれの業種や分野において現状と課題を明確にできる。 D:ビューティ&ウェルネスモデルに必要な基礎知識を学び、課題をまとめることができる。
事前・事後学習	事前学習:事前に配布されたプリント、資料等を熟読し、専門基礎分野の予習を十分に行っておくこと。また 日頃からゼミに関連する栄養や食品についての情報に興味、関心を持ち、積極的に調べ記録しておくこと。 (30分)
	事後学習:各自、レポート課題の作成を行うことで理解を深め、ビューティ&ウェルネスモデルや特定給食施設等の特徴をまとめること。(30分)
指導方法	・全体会(1回):全体ガイダンス ・分科会(実習分野別、5回):分野別担当教員により、特定給食施設の特徴、栄養士の役割、基礎知識を学 ぶ。
	・分科会(モデル別、9回):外部講師の特別講演や、実際の社会現場に即した知識・技術を学べるよう演習も含めて実施する。
	・パソコン、プロジェクターなどを利用した演習や、栄養教材などを活用することにより、実践的かつ円滑な 指導を行う。
	フィードバックの仕方:①レポート、課題提出、②評価して返却、③授業後に内容についての質疑応答フィードバックの仕方:①演習、②課題提出、③採点(評価)返却、④授業後の質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:授業中の積極性と貢献度を評価する。 C:履修モデルの課題、提出物を評価する。 D:履修モデルの課題、提出物を評価する。
	研究課題 50% 提出物 40% 授業貢献度 10% 成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。
テキスト	なし(必要に応じて適宜プリント配布)
参考書	授業内で適宜紹介する。
履修上の注意	この授業は、学外から特別講師を招いて講義も行う。また、給食管理実習(学外)につなげる授業内容もある。学生としてそぐわない行動は避け、主体的で積極的な授業態度が必要である。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: 給食経営管理論 授業コード: 3291 3292 3293

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	食専: 栄必修
担当教員			
狩野恭子			
ナンバリング:N17C28	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			

授業 特 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	特定給食施設(特定多数の人に対し、断続的に食事を提供する施設)では、対象の目的に応じた栄養管理が必要になる。本科目では、給食の意義、目的、特性を学び、給食における栄養士の役割を理解し、給食を運営する上で必要な各管理の目的、方法、評価などについて講義する。 栄養士としての実践の場に役立つよう、栄養面、安全面、経済面全般を配慮した給食のあり方について学ぶ。 (授業目標) 2年次給食管理実習(学内・学外)に向け、給食の運営を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サービスの知識を身に付ける。 ②D:給食施設ごとの利用者の特徴、給食の目的、根拠法令を把握し、概要と実際について理解している。
	1
授業計画	1 給食の概念・給食の目的 給食の意義と役割、特定給食施設の概要を知る。 料理を失敗せず、おいしく仕上げるデータを知る。 2 給食における栄養・食事管理の概要 日本人の食事摂取基準を知り、指標の種類を理解する。 対象者の把握をし、給与栄養目標量の設定方法を知る。
	献立作成基準を知る。
	3 献立計画 各種給食における献立を知り、おいしく仕上げるためのデータを理解する。 食品群の分類を知り、食品構成表や食品群別荷重平均成分表を理解する。 自らの食事を知り、正しい食生活について考える。
	4 給食における安全・衛生管理①    特定給食施設における関連法規を理解する。
	5 給食における安全・衛生管理② (ICT:Classroom) HACCPシステム、事故・災害時対策を理解する。
	6 食材料管理 (ICT:Classroom) 給食における購入計画、方法、評価を理解する。
	7 品質管理 (ICT:Classroom) 大量調理の特徴と品質を理解する。 新調理システムを知る。
	8 調理作業管理 (ICT:Classroom) 大量調理と少量調理の違いを確認し、作業の標準化を理解する。
	9 施設・設備管理 施設・設備の特性、計画、日常の保守管理を知る。
	10 給食の組織・原価管理(ICT:Classroom) 組織の原則を知り、給食組織と関連分野との連携を理解する。 給食原価の構成、計画的な原価管理を理解する。
	11 給食経営の実際①(グループワーク) 給食の業務委託について知る。 学校給食の特徴を理解する。 給食の現状についてグループ討議を行い、代表者が発表する。
	12 給食経営の実際② (ICT:Classroom) 病院給食の特徴を理解する。
	13 給食経営の実際③ 社会福祉施設給食を理解する。
	14 給食経営の実際④ 事業所給食を理解する。
	15 特定給食施設における栄養士の役割(グループワーク、プレゼンテーション) 給食管理におけるこれからの課題、給食サービスの提供についてグループ討議を行い、代表者が 発表する。
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:給食施設ごとの利用者の特徴、給食の目的、根拠法令を把握し、栄養士が働いている現場について説明できる。
事前・事後学習	事前学習:授業内容のポイントをまとめ、事前にプリントを配布する。受講前に配布したプリントの内容については、Classroomを確認して事前学習を進めること。(60分程度) 事後学習:重要単語や重要事項をまとめること。配布プリントの見直しをすること。(120分程度)
指導方法	・教科書を中心とした講義形式で行う。授業ポイントをまとめたプリントを配布したり、パワーポイントを使

	用して解説する。 ・項目ごとに栄養士実力認定試験の過去問題に沿って小テストを行う。理解度を確認しながら授業を進めていく。 ・事前学習用の授業資料は、Classroomで配信する。フィードバックの仕方:小テスト①小テスト実施、②小テスト採点、③授業後による採点についての質疑応答。 提出物①課題の提示、②評価のうえ返却、③授業後による採点についての質疑応答。 プレゼンテーションの評価①ワークシートを使用して学生間で評価する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験、小テスト、提出物、プレゼンテーションを評価する。 定期試験70%、小テスト20%、提出物・プレゼンテーション 10% 成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。
テキスト	・「Nブックス 改訂給食の運営-栄養管理・経営管理-」 逸見幾代,平林眞弓編著 建帛社 2020年 ・「調理のためのベーシックデータ 第6版」女子栄養大学出版部 2022年
参考書	・「八訂準拠ビジュアル 食品成分表」 新しい食生活を考える会編著 大修館書店 2021年・その他、授業内で適宜紹介する。
履修上の注意	項目ごとに「栄養士実力認定試験」を意識した小テストを行います。テストを行う授業日は前もって連絡をします。何らかの事情で欠席する場合は事前に連絡してください。配布プリント、授業中に行う小テストの内容は定期試験の範囲に含まれます。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: フードシステム 授業コード:3471

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	食専:選択	
担当教員				
川嶋比野(契約講師:齋藤訓	川嶋比野(契約講師:齋藤訓之)			
ナンバリング: N17C43	実務家教員に。	こる授業		
添付ファイル				

<u> </u>		
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	で、初めてそ リスト)、と は、これを実	なとき、必要な場所に、必要な物を、必要な量と状態でそろえ、適切な価格で提供されることのおいしさなり栄養なり喜びなりを生活者に手渡すことができる。食の専門家(フードスペシャくに食品メーカー、事業所給食を含む外食産業、小売業等で商品開発や購買の仕事に携わる人に現するためのトータルな知識・情報・手腕が求められる。本講座では、その実務にスムーズに着ていく際に役立つ知識と考え方を身につける。
C: 思考力・判断 D: 知識・理解 E: 技能・表現	○C:現代の ◎D:現代の	食品産業にある課題に気づき、その改善案・解決策を独自に考えることができる。 食品の需要と供給の全体像を、生活者だけでなく供給者の立場に立って理解し、食ビジネスの専 者に説明できる。
授業計画	1	食市場の変化(1)社会と食産業(ICT:Classroom、アクティブ・ラーニング:意見交換のミニ
		セッション) 食品産業の発達プロセスと今日の活動、食の外部化の進展を中心に現代の食産業の役割と構成を 理解する。
	2	食市場の変化(2)現代の食生活の特徴(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
		食情報の多様化、健康志向への対応を中心に現代の生活者の食生活を理解する。
	3	食市場の変化(3)消費者の生活と価格政策 新しい家族のあり方、少子高齢社会を中心に現代の生活者の食生活を理解する。
	4	食品の流通(1)食品流通の役割(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) 食品流通の全体像をつかむ。
	5	食品の流通(2) 卸売の概観と卸売市場(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換の
	3	度品の加速(2) 即先の機械と即先用物(ICI : Classioom、アッティン・アーニング : 急先交換のミニセッション) 流通業のうち、卸売市場の役割と活動を理解する。
	6	食品の流通(3) その他の卸売とグローバル市場(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) 流通業のうち、卸売市場以外の食品問屋、商社等と、グローバルな食品流通を理解する。
	7	食品の流通(4)小売(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) 食品小売業の業種・業態を押さえ、それらの役割と活動を理解する。
	8	外食・中食産業(ICT:Classroom、アクティブ・ラーニング:意見交換のミニセッション) 外食産業の業種・業態を押さえ、それらの役割と活動を理解する。
	9	食品の分類と物流(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング:意見交換のミニセッション) 食品の各種の分類を理解する。また各種の物流の仕組みを理解する。
	10	主要食品の流通( $1$ )農林水産物(ICT : Classroom、アクティブ・ラーニング:意見交換のミニセッション)
		食品の流通について、主に穀物、野菜・果実等、畜産・酪農ならびに水産の現状と課題を理解する。
	11	主要食品の流通(2)加工食品・中食等(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
		食品の流通について、調味料・飲料・菓子等の各種の加工食品ならびに中食の製造・流通の現状と課題を理解する。
	12	マーケティング(1)古典的考え方(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) 食品産業で行われるマーケティングについて、古典的考え方から基礎理論までを理解する。
	13	マーケティング(2)比較的新しい考え方(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交
	13	換のミニセッション) 食品産業で行われるマーケティングについて、近現代および今日行われている新しい方法を理解
	14	する。 消費・流通の課題(1)環境対応と安全(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
		食品産業に求められる安全確保、環境への対応、その他の社会的責任を理解する。
	15	消費・流通の課題(2)企業の責任と持続可能性(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
		食品の生産、製造、物流、そして消費の現場に発生している諸問題でより長期的視点から対応すべき事柄を概観し、解決の道筋を考える。

学習成果・ 到達目標・基準	○C:現代の食品産業が解決すべき課題を複数指摘することができる。 ◎D:教科書が扱う生産・流通・消費に関する主要な用語を説明できる。
事前・事後学習	事前学習:教科書の次回授業予定範囲を読み、予め提供する資料も使いながら、内容を整理しておく。また、 授業内容によって、事前に考察しておくべき事柄を示すので、それに取り組むこと。(70分程度)。
	事後学習:教科書で扱う主要な用語とくに索引にリストアップされている用語とその意味を単語帳やノートを作るなどして覚える。Google Classroomで出題する課題(ドリル、ポイントを整理するためのフォーム等)に遅滞なく取り組む(90分程度)。
	授業で学んだことを机上の話として理解するだけでなく、その事例を実際の生活や他の実習の中にも見出すよ うにすること。気づいた事柄は記録する(日常の行動の中で合計20分以上を目処に能動的に観察を行う)。
指導方法	毎回の授業では教科書の内容を解説し、さらに教科書にある話題や語句についての興味・関心を高める話題を紹介・説明する。実際の商品・業務・消費を実感するための写真や映像も示す。
	また、授業で説明した話題や語句に対する学生の意見や感想を募る場を設け(意見交換のミニセッション)、 教室全体の理解度を確認する一方、学生ごとに多様な考え方や受けとめ方があることを感じ取る機会とし、 個々の考察と視野を広げることを促す。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	以下の各項によって評価を行う。アルファベットはディプロマポリシーの該当項目を指す。 ( ) 内のパーセンテージは配点を示す。 【授業ごとのGoogle Classroom活用と小課題】 C:授業ごとにその授業で学んだポイントを列挙し、自分にとっての重要点と所感を記述し、Google Classroomを使って提出する (45%)。 D:用語の理解のためのドリル課題の取り組み実績 (45%)。 【期末試験】 D:重要語句の理解度を確認する客観テスト (10%)
テキスト	日本フードスペシャリスト協会2000年『四訂 食品の消費と流通』建帛社
参考書	
履修上の注意	Google Classroomで出題する課題等には指定期間内に取り組むこと。
	学生からの質問で有用かつ支障のないものは、授業ないしGoogle Classroom上で匿名の形で紹介し、回答・解説を教室で共有する。一人の質問が全員の理解・考察を深めることになるので、授業および事前・事後学習中に気づいた事柄や不明点は積極的に質問してほしい。
アクティブ・ラー ニング	意見交換のミニセッション

講義科目名称: 食の商品開発 授業コード:3451

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	食専:選択	
担当教員				
川嶋比野(契約講師:齋藤訓	<u> </u>			
ナンバリング: N28C41	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	各種の食品、飲料、菓子、外食産業 (レストラン、ホテル、カフェ、そうざいを含む) の商品など、ビジネスとして扱われる食について、商品開発の基本的なプロセス、市場の捉え方、ターゲティング、各種の情報の集め方と発想法を学ぶ。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	これまでにあった事例を紹介した上で、現在から将来にはどのような商品開発が可能か、また、求められるかを各自が考察することを促す。また、その全体のなかで、食品についての、栄養、衛生、調理、検査等、科学的・技術的な知識と技能が、ビジネスの現場ではどのように活かされているか、また活かし得るのかを理解し、総合的な思考力・判断力を伸ばすことを狙う。
D:知識・理解 E:技能・表現	(授業目標)
	◎D:広く知られている商品、社会に大きな影響を与えた商品について、どのような経緯から開発され、市場に投入され、社会に受け入れられたのかがわかる。それらの技術的な背景や社会との関係も併せて説明できる。 ○C:先人たちが行った活動への理解と、自らが身に付けている食に関する知識と技能を有機的に組み合わせて、独創的な商品の開発や提案ができる。
授業計画	びん詰、缶詰、レトルトが変えた食ビジネスと食生活 (ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
	びん詰、缶詰、レトルト食品は、熱殺菌と密閉・密封という考え方は共通である。そしてそれらは保存方法というだけでなく、新しい調理方式でもあった。それらの登場、発展と現代の商品。 海を越えながら変わり続けたチョコレート(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング:意見交換のミニセッション)
	バンホーテン(オランダ)、ネスレ、リンツ(スイス)、キャドバリー(イギリス)、ハーシー、マース、M&M's(アメリカ)、そして日本の老舗メーカー森永、明治と新興メーカーのロッテ。これらそれぞれが取り組んだ革新的な商品づくりと現代の商品。 冷蔵、冷凍によって開けた新しい食提供(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換
	のミニセッション) 冷蔵・冷凍機器、瞬間凍結の発明によって登場した新しい食品。革新が続く冷凍食品。それらの
	登場、発展と現代の商品を日米市場を比較しながら理解する。 4 アイスクリーム類と氷菓(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
	*
	自然災害と圧政に抗ったワイン、ブランデー、ウイスキー。欧米、そして日本の多様な水とその 商品化。そして他の食・飲料への影響。
	6 茶ビジネス、コーヒービジネス (ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
	世界と日本の、茶・コーヒー類の扱われ方、楽しまれ方の違い。コーヒービジネスの魅力。
	7
	ロガ・コープのビッグビジネス化の過程。日本国内の飲料産業の誕生・発達と、コガ・コープ上   陸後の変容。
	8 スナック菓子ヒットと信頼確保の取り組み(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
	スナック菓子が作られたきっかけ、売れ始めた理由、売れ続けるための秘密。
	9 外食の商品開発1(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) エスコフィエが始めたレストランビジネスの科学的管理。ヌーベルキュイジーヌが示した小規模 店経営の要論。
	10 外食の商品開発2 (ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) マクドナルドによる外食の工業化。KFCのライセンス戦略。日本のファミリーレストランのヒット商品。
	11 マーチャンダイジングと5right (ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
	売れる商品を的確に品揃えするマーチャンダイジングの考え方を、実際のコンビニエンスストア、ファストフードでの商品開発事例から学び取る。
	12 クリエイティビティと標準化 (ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)
	食産業に必要な独創的な開発力と、一定のものを生産し続ける標準化という、相異なるものを統合する考え方。
	ICTとロボティクスの向こうにある食(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション)   ICTとロボティクスの発達によって、ライフスタイル、序簿、帝兄がどら恋わるか、何が求められ
	ICTとロボティクスの発達によって、ライフスタイル、店舗、商品がどう変わるか。何が求められ

	7
	るか。  14 メディア戦略の今昔 (ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) クチコミ、紙メディア、音声・映像メディアの時代を経て、現代・将来のメディアと食ビジネス の変化。事例: ティラミス、クレーム・ブリュレ、ナタデココが人気商品になったプロセス。
	15 ブランドの創造、評価、管理(ICT: Classroom、アクティブ・ラーニング: 意見交換のミニセッション) 食ビジネスのブランド戦略の実際と考え方。品質と価格だけでは売れる商品も愛される会社も完
	成しない。「個々の消費者の人生」に、いかにかかわっていくかが重要。
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:授業で扱う身近なヒット商品について、開発経緯や、その商品の優れた点などの特徴を説明できる。 ○C:食について生活者のみならずビジネスパーソンとしての視点を持ち、現在話題の新商品について商業上の 長所・短所等を一つ以上見つけて指摘できる。
事前・事後学習	事前学習:予め提供する資料も使いながら、内容を整理しておく。また、授業内容によって、事前に考察しておくべき事柄を示すので、それに取り組むこと。(60分程度)。
	事後学習:授業で紹介した話題を整理する。Google Classroomで出題する課題(ドリル、ポイントを整理する ためのフォーム等)に遅滞なく取り組む(60分程度)。
	授業を自分で整理した結果と、授業で取り上げた商品・サービスの新しい動きをWebや各種のメディア、そして 実際の商業の現場での見聞を付き合わせて、理解を深める一方、不明点を洗い出す(40分程度)。
指導方法	毎回の授業では、小売・外食に供される各種の商品開発について、事例を中心に実際の商品・業務・消費を実感するための写真・映像・現物も示しながら説明する。事例をつかんだ上で、そのような開発が行われた背景や狙いを理解するための情報を提示する。
	さらに、それらに対する学生の意見や感想を募る場を設け(意見交換のミニセッション)、教室全体の理解度 を確認する一方、学生ごとに多様な考え方や受けとめ方があることを感じ取る機会とし、個々の考察と視野を 広げることを促す。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	以下の各項によって評価を行う。アルファベットはディプロマポリシーの該当項目を指す。()内のパーセンテージは配点を示す。 【授業ごとのGoogle Classroom活用と小課題】 D:重要ポイントを確認するためのドリル課題の取り組み実績(45%)。 C:授業ごとにその授業で学んだポイントを列挙し、自分にとっての重要点と所感を記述し、Google Classroomを使って提出する(45%)。
	【レポート課題】 DC:授業で学んだことを踏まえて、食の商品開発で重要なポイントを簡潔に説明するレポート (10%)
テキスト	この授業のための資料を独自に作成して配布する (PDFファイル/Google Classroom)。
参考書	
履修上の注意	Google Classroomで出題する課題等には指定期間内に取り組むこと。
	学生からの質問で有用かつ支障のないものは、授業ないしGoogle Classroom上で匿名の形で紹介し、回答・解説を教室で共有する。一人の質問が全員の理解・考察を深めることになるので、授業および事前・事後学習中に気づいた事柄や不明点は積極的に質問してほしい。
アクティブ・ラー ニング	意見交換のミニセッション

講義科目名称: 調理学実験 授業コード:3401 3402 3403 3404

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	食専: 栄必修
担当教員			
大野治美、張替泰子			
ナンバリング:N17C35	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学		
□調車の台蓋・目的、乗物の心得、レボートの書き方など ②食食の製物を開発している。 ②食素の回数組を験、電子レンジの実験 の単なの配理・ロックの製物・電子レンジの調理 4.5 小支粉の実験 の単常な液の加熱変化と性状、砂糖衣、フォングン 8.9 野菜の実験 生野菜の変水と放水、野菜の色と叫 10.11 果物の実験 グッヤーの性状に及ぼす材料配合の影響 12.13 肉の実験 イルイ剤の調理特性、たんぱく質分解酵素による影響 12.13 肉の実験 イルイ剤の調理特性、たんぱく質分解酵素による影響 14.15 即の実験 インバーグステーキに加える副材料の影響 14.15 即の実験 のメルビセとマヨネーズの調製 学習成果・ 到達目標・基準 ○B: 班島と協力しながら、実験を的確に実行できる。 F: 調理の媒々な現象を科学的に提え、原理・原則が理解できる。 F: 前理のコツを理解し、自らの表現で、相手に分かりやすいブレゼンテーションができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	授業目標 A:中 4:中 5:中 5:中 5:中 7:中 7:中 8:中 7:中 8:中 7:中 7:中 8:中 7:中 8:中 7:中 8:中 8:中 8:中 9:中 8:中 9:中 9:中 9:中 9:中 9:中 9:中 9:中 9:中 9:中 9	数量化し、調理のコツや再現性を確認する。また、調理学実習との関連性を考えつつ、実践に役立つ理論、考察力を養うことができる。実験や調理の基礎的な技術が修得出来る様な授業内容である。 (授業目標) 調理を行う際に必要となる調理操作、調理工程、衛生面や安全性を遵守することも栄養士にとって大切な技術である。毎回の実験を通して確認する。 (③ B:実験を通して、協調性・コミュニケーション力を養うことができる。 (① D:実験で学んだ知識を、その他の調理へ応用展開できる。
到達目標・基準 ○D:調理の様々な現象を科学的に捉え、原理・原則が理解できる。 E:調理のコツを理解し、自らの表現で、相手に分かりやすいプレゼンテーションができる。 事前・事後学習 事前学習:あらかじめ授業計画を確認し、調理学や食品学等の教科書に目を通しておくこと。また、実験手順を確認しておくこと(30分)。 事後学習:実験レポート作成において、図書館などで資料を調べた上で、参考文献を明記すること(60分)。 インターネットなどの引用は認めない。  *基本的な調理方法や実験器具の取り扱い方、濃度の求め方など、その都度確認しながら授業を進める。 ・Classroomに予習動画を配信する場合がある。事前に予習し、実験手順を確認しておくこと。・授業の目的に沿ってグループごとに実験・実習を行う。・実験結果に基づいて、各自考察を加えた実験レポートを提出し、理解度を確認する。・授業内で行う確認テストによりクラス全体の理解度を確認しながら指導をする。 フィードバックの仕方:①レポート提出②レポート評価およびコメント③授業内および授業外での質疑応答  アセスメント・成績評価の方法・ 基準 B:受講態度やグループ内での授業貢献度を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 *実験レポート70%、授業への貢献度・積極性 10%、確認テスト20%をループリックに沿って総合的に評価する。  アキスト NEW 調理と理論 第二版/山崎清子,島田キミエ,渋川祥子 他,同文書院, ISBN978-4-8103-1507-3	授業計画	<ul> <li>①調理の意義・目的、実験の心得、レポートの書き方など</li> <li>②食品の目安量の把握、目ばかり・手ばかり</li> <li>2,3 五感を鍛える実験、電子レンジの実験</li> <li>①味覚の識別体験、官能評価について</li> <li>②電子レンジの特徴・電子レンジの調理</li> <li>4,5 小麦粉の実験         <ul> <li>クッキーの性状に及ぼす材料配合の影響</li> </ul> </li> <li>6,7 砂糖の実験                 砂糖溶液の加熱変化と性状、砂糖衣、フォンダン</li> <li>8,9 野菜の実験                 生野菜の吸水と放水、野菜の色とpH</li> <li>10,11 果物の実験</li></ul>
事前・事後学習 事前学習:あらかじめ授業計画を確認し、調理学や食品学等の教科書に目を通しておくこと。また、実験手順を確認しておくこと(30分)。 事後学習:実験レポート作成において、図書館などで資料を調べた上で、参考文献を明記すること(60分)。 インターネットなどの引用は認めない。  *基本的な調理方法や実験器具の取り扱い方、濃度の求め方など、その都度確認しながら授業を進める。 ・Classroomに予習動画を配信する場合がある。事前に予習し、実験手順を確認しておくこと。・授業の目的に沿ってグループごとに実験・実習を行う。・実験結果に基づいて、各自考察を加えた実験レポートを提出し、理解度を確認する。・授業内で行う確認テストによりクラス全体の理解度を確認しながら指導をする。 フィードバックの仕方:①レポート提出②レポート評価およびコメント③授業内および授業外での質疑応答 アセスメント・成績評価の方法・基準  B:受講態度やグループ内での授業貢献度を評価する。 D:レポートや小テスト、発表内容から理解度を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 *実験レポート70%、授業への貢献度・積極性 10%、確認テスト20%をルーブリックに沿って総合的に評価する。 *実験レポート70%、授業への貢献度・積極性 10%、確認テスト20%をルーブリックに沿って総合的に評価する。 第1889年4年8103-1507-3		○D:調理の様々な現象を科学的に捉え、原理・原則が理解できる。
・Classroomに予習動画を配信する場合がある。事前に予習し、実験手順を確認しておくこと。 ・授業の目的に沿ってグループごとに実験・実習を行う。 ・実験結果に基づいて、各自考察を加えた実験レポートを提出し、理解度を確認する。 ・授業内で行う確認テストによりクラス全体の理解度を確認しながら指導をする。 フィードバックの仕方:①レポート提出②レポート評価およびコメント③授業内および授業外での質疑応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準  B:受講態度やグループ内での授業貢献度を評価する。 D:レポートや小テスト、発表内容から理解度を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 *実験レポート70%、授業への貢献度・積極性 10%、確認テスト20%をルーブリックに沿って総合的に評価する。 NEW 調理と理論 第二版/山崎清子,島田キミエ,渋川祥子 他,同文書院, ISBN978-4-8103-1507-3	事前・事後学習	事前学習:あらかじめ授業計画を確認し、調理学や食品学等の教科書に目を通しておくこと。また、実験手順を確認しておくこと(30分)。 事後学習:実験レポート作成において、図書館などで資料を調べた上で、参考文献を明記すること(60分)。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準  B:受講態度やグループ内での授業貢献度を評価する。 D:レポートや小テスト、発表内容から理解度を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 *実験レポート70%、授業への貢献度・積極性 10%、確認テスト20%をルーブリックに沿って総合的に評価する。 * * ***	指導方法	・Classroomに予習動画を配信する場合がある。事前に予習し、実験手順を確認しておくこと。 ・授業の目的に沿ってグループごとに実験・実習を行う。 ・実験結果に基づいて、各自考察を加えた実験レポートを提出し、理解度を確認する。 ・授業内で行う確認テストによりクラス全体の理解度を確認しながら指導をする。
	成績評価の方法・	B:受講態度やグループ内での授業貢献度を評価する。 D:レポートや小テスト、発表内容から理解度を評価する。 E:グループワーク・発表での発言等、積極性を評価する。 *実験レポート70%、授業への貢献度・積極性 10%、確認テスト20%をルーブリックに沿って総合的に評価す
参考書 調理学の教科書、食品成分表、調理のためのベーシックデータ等	テキスト	NEW 調理と理論 第二版/山崎清子,島田キミエ,渋川祥子 他,同文書院, ISBN978-4-8103-1507-3
	参考書	調理学の教科書、食品成分表、調理のためのベーシックデータ等

履修上の注意	・計算作業を行うので、電卓を用意すること。携帯電話は使用禁止。 ・授業中は、携帯電話の使用は禁止する。ただし、実験結果の写真を撮りたい場合は、教員に申し出ること。 必要に応じて、携帯の使用を認める。
	・コロナ感染予防のマニュアルを遵守し、実験・試食をすること。原則マスクを着用し、手指消毒などの衛生管理を徹底する。 ・実験・実習中は指定された身なりを整え、爪は短く切り、マニキュアはしない。 ピアス、ネックレス、指輪、つけまつげ等はすべて外すこと。
	・包丁などの刃物や火の取り扱いには十分に気をつけ、担当者の指示に従い安全に留意すること。 ・包丁が必要な回には包丁を持参する。 ・食物アレルギーの有無については、授業前の調査に基づき対応する。アレルギーの程度によって調理担当変 更、見学、試食を避けるなど、各自で判断する。欠席などの対応については、事前に教員に申し出ること。
アクティブ・ラー ニング	実験、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: 調理学 授業コード: 3371 3372 3373

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	2	食専:卒業必修、栄必修	
担当教員				
張替泰子				
ナンバリング:N17A32	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	調理学は、食べ物の栄養性、嗜好性、安全性を基礎として、食事設計、食べ物とおいしさ、調理操作と調理機器、調理科学および食文化論までを総合的に学ぶ学問である。食べ物の嗜好的要素、食品の調理特性、加熱による成分変化などを理解し、食品素材の扱い方を科学的根拠に基づき、実践的に考察できる力を身に付けることを目的とする。
ション ション思 カ カ D: 知識・理解 E: 技能・表現	(授業目標) ○C:調理操作(非加熱・加熱)の本質が理解でき、食品の調理特性に応用できる。 ◎D:食品を構成する成分について説明できる。 E:日常の食生活でも適切な食事ができる応用力を身に付ける。
授業計画	1 食べ物と環境 調理の意義・目的、食べ物の機能、食べ物と環境、食べ物の変遷について学ぶ。
	2
	3 調理操作と調理機器 (グループワーク) 調理操作の基礎、調理操作の種類(非加熱調理・加熱調理)、調理用器具・機器、新調理システ
	ム(低温調理)について具体的に事例から学ぶ。 4 食品素材の調理機能 (1)植物性食品(穀類、いも類) 穀類の種類、栄養機能、調理特性、組織構造の違いなどを学ぶ。
	いも類の種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。 5 食品素材の調理機能 (1)植物性食品(豆類、種実類) 豆類の種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。
	種実類の種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。 6 食品素材の調理機能 (1)植物性食品(野菜類、果物類) 野菜類の種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。 果物類の種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。
	7 食品素材の調理機能 (1)植物性食品(海藻類、きのこ類) 海藻類の特徴や種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。 きのこ類の特徴や種類、栄養機能、調理特性、食材の取り扱い方について学ぶ。
	8 食品素材の調理機能 (2)動物性食品(食肉類、魚介類) 食肉の組織、栄養・機能成分、食肉の熟成、食肉の色、肉の軟化方法、調理特性について学ぶ。 魚介類の構造、栄養・機能成分、魚介類の死後硬直と鮮度、生食調理、調理特性について学ぶ。
	9 食品素材の調理機能 (2)動物性食品(卵類、乳類) 卵類の種類、栄養・機能成分、調理特性(熱凝固性・起泡性・乳化性)、卵の鮮度について学 ぶ。
	乳類の種類、乳製品の調理特性について学ぶ。 10 抽出食品素材(でんぷん、油脂類、ゲル用食品素材) でんぷんの種類と物性、でんぷんの糊化および老化、でんぷんの調理特性、ゲル化について学 ぶ。
	油脂類の種類、融点、調理特性について学ぶ。 ゲル用食品素材(ゼラチン、寒天、カラギーナン、ペクチン)の特徴について学ぶ。 11 嗜好飲料
	茶の種類、抽出温度と時間の関係、うま味成分について学ぶ。 アルコール飲料(アルコール分1%以上)の定義、製造方法、分類について学ぶ。 非アルコール飲料(アルコール分1%未満)の定義、種類、分類について学ぶ。
	12 加熱調理と非加熱調理(授業内での理解度を図るため・・・ICT; classroomを活用する)   加熱調理の種類と実際について学ぶ。   非加熱調理の種類と実際について具体的に最新の調理機器を学ぶ。
	13 様式別料理と食文化①   各国の料理と食文化①   各国の料理と食文化について学ぶ。   様式別調理(日本料理、中国料理、西洋料理)について、主な料理の特徴、食文化、食事構成に ついて学ぶ。   ついて学ぶ。
	14 様式別料理と食文化② (グループワーク、プレゼンテーション) 各国の料理と食文化について学ぶ。 様式別料理(イタリア料理、ドイツ料理、スペイン料理、韓国料理など)について、主な料理の
	特徴、食文化、食事構成について学ぶ。 15 食品成分表の理解と活用 まとめ(授業内での理解度を図るため・・・ICT; classroomを活用する)

食事構成と食事設計について学ぶ。

	食品成分表2020年度版(八訂)の理解と活用方法について学ぶ。 調理学の総括をまとめとして実施する。(小テスト)
学習成果・ 到達目標・基準	○C:調理操作(非加熱・加熱)を理解し、食品の調理特性に具体的に応用できる。 ◎D:食品を構成する成分の特徴を具体的な事例で説明できる。 E:自身の食生活で応用し、実践できる力を身に付ける。
事前・事後学習	事前学習:授業項目に関連する食情報や食材について興味を持って調べる。(90分程度) 事後学習:調理実習や自宅での調理の際は、調理理論と実践について関連付けて理解を深める。(90分程度)
指導方法	・講義では、理解を深めるために双方向型授業も実施し、コミュニケーションを図りながら説明する。 ・適宜プリントを配布し、理解を確認しながら説明する。 ・パワーポイント、Classroom等を活用して実施する。 ・課題、小テスト等で評価する。 フィードバックの方法:事前課題を提示⇒レポート提出(学生)⇒指摘事項を記入し返却⇒再提出 小テスト実施⇒小テスト結果にコメント記載の上、返却⇒授業後におけるコメントへ の質疑対応
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:調理操作(非加熱・加熱)に関連の課題をまとめたレポートの提出で評価する。 D:食材の調理特性について、課題にまとめて提出で評価する。 E:調理学で学んだ項目について、日常の食生活で応用、実践した内容を課題にまとめ提出で評価する。 小テスト(持ち込み不可)70%、課題30%で評価する。 「成績評価は上記の配分で行い、それぞれのルーブリックに基づいて配点する。」
テキスト	①Nブックス「調理学〔第5版〕」森高初枝・佐藤恵美子著 建帛社ISBN:978-4-7679-0664-5 ②『食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表』新しい食生活を考える会 大修館書店 ISBN:978-4-4692-7012-9 (※最新ヴァージョンを発注)
参考書	「NEW 調理と理論 第二版」山崎清子共著 同文書院(2021年)
履修上の注意	卒業必修科目である。 調理学実習1,2と関連する講義科目である。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: 食空間デザイン 授業コード: 3531 3532

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	食専:選択
担当教員			
村上佐恵子			
ナンバリング: N28C49	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	開店計画」を (お皿の上)	学んだ知識や技術を活かして、社会で自立して生きる具体的な方法の一つである「飲食店経営の テーマに、個性を活かした集客力ある飲食店の空間デザインのコツを学びます。食空間をミクロ からマクロ(店舗全体の空間)まで引き伸ばし、共通した強いコンセプトを持ってデザインする
ムリーグ・貝任恩 B:コミュニケー ション能力	ことを学びま  フードコーデ  (授業目標)	9。 ィネーター資格取得の学修にも対応した内容の授業です。
C: 思考力・判断 力 D: 知識・理解	飲食店開店に 〇C:授業を 食店経営の実	向けた具体的な企画能力を、模型作成を通じ総合的に身につける。 通して学んだ食の世界の知識や技術を、自らの言葉に置きかえてまとめることが出来る。また飲 現に際し、飲食店のアドイザーとして活躍するときに役立つ、繁盛する食空間づくりの基本的
E:技能・表現	なピオリーを  ◎E:自分の  ける。	文章で伝えることが出来る。 アイデアを概要図面や模型という具体的な視覚的表現で構成して提案・検討出来る能力を身につ
授業計画	1	自宅兼用飲食店・マイショップ経営の魅力
		自立する生き方を実現できるマイショップの魅力について マイショップで成功した人々から学ぶ開業のコツ あなたの好きなこと、興味あることから発想する
	2	成功する個性的な飲食店づくり(実習)
		イメージボードの作成 経営テーマの決定
		テーマを具体化させる店舗コンセプトづくり イメージの収集
	3	空間計画のコツ① (実習) 空間構成配置を考える
	4	空間計画のコツ②(実習)
		顧客導線と働き手の動線計画
	5	立体で考える①(実習) 図面をトレースして床を作る
	6	立体で考える②(実習)
		壁面デザインを作る 窓を作る
	7	立体で考える③ (実習) 家具のデザイン
		家具を作る
	8	立体で考える④ (実習) 機器類のデザイン
	9	機器類を作る
	9	立体で考える⑤ (実習) 色彩計画 インテリアデコレーション計画の作成
	10	全体の色彩を考える 立体で考える⑥ (実習)
		色彩計画 空間着彩
	11	立体で考える⑦(実習)
		色彩計画 家具・機器着彩
	12	立体で考える⑧(実習)
		外部と看板デザイン 店名を考え看板を作る
	13	模型組立(実習) 壁や家具などを仕上げ、配置し、組み立てる
	14	装飾物のデザイン(実習)
		模型の仕上げ壁面に装飾物を取り付ける 模型の手直し、ブラッシュアップ
	15	発表,講評(プレゼンテーション)
		最終授業日に課題成果物の最終調整と、発表・授業内展示および講評を行い、個性表現の無限の 魅力と効果を確認します。
学習成果・ 到達目標・基準	◎E:自分の	ら学んだことを自分のコンセプトとしてまとめ、正確に伝えることが出来る。 アイデアを実現するために何を、どのように、どんな空間で提供していくのか、発想から開店ま に食空間模型づくりを通して表現することが出来る。

事前・事後学習	事前学習:授業計画や自分の学習進度を確認しながら授業内容に即した情報を、図書やインターネット等で チェックする(45分)。 事後学習:授業で習得した知識や手法を整理してまとめておく(45分)。
指導方法	授業では、サンプル模型や映画や写真などの視覚教材を多用して、発想力を高めます。 各自の個性表現を大切にして、一方的な知識や手法の伝達ではなく、意見や提案を検討し合いながら、発想力 と説得力と具現化力を培う指導を行います。 フィードバックの仕方:①毎回授業の終わりで質疑応答の時間を設ける。②イメージボード、コンセプト文章 を途中段階で提出、まとめる力を段階的に養う。③最終作品を各自に講評する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	学んだ知識や技術を活かして、実際に計画できることを目標にしていますので、試験は行いません。 C:受講態度を評価する。(20%) C:中間の提出物を評価する。(10%) E:最終提出物の模型、プレゼンテーションを評価する。(70%)
テキスト	無し
参考書	
履修上の注意	個人のセンスや技能を活かしたマイショップ経営の計画を体験しながら、自由に生きる力を身につけていきます。 既成概念にとらわれずに頭を柔らかくして、授業を楽しみながら自分の隠れた才能やセンスを発見して自立の 自信をつけましょう。 資格取得へのチャレンジを積極的に応援します。
アクティブ・ラー ニング	実習、プレゼンテーション

講義科目名称: 食空間プロデュース 授業コード: 3521

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	食専:選択
担当教員		·	
村上佐恵子			
ナンバリング: N28C47	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容	人を喜ばせる"おもてなし"。「飲食」のおもてなしを楽しく演出・構成するツールとして見直し、多角的にデ
授業目標	ザインします。
A:主体性・チー ムワーク・責任感	オリジナルの「パーティー」を作り上げることをテーマとし、創作料理と盛り付けデザイン、テーブルコー  ディネーションとテーブル周りの演出、オリジナルのお菓子やデザートの調理、招待状作成等、優れた参考事
B:コミュニケー	例を元に、総合エンターテインメント体験としてのフードデザインを身につけていきます。
ション能力 C:思考力・判断	フードコーディネーター資格取得のための学修にも対応した内容の授業です。  (授業目標)
力	人が集い、飲食を楽しむ「おもてなしのデザイン」について、その発想のコツと具体的で楽しい企画書のまと
D:知識・理解 E:技能・表現	め方を身につける。  ○C:自らテーマを発想してコンセプトをまとめ、それを具現化するための計画を考えることができる。
D. 汉能 农死	│◎E:自分の考えを解り易く視覚的に表現する、訴求効果の高いビジュアルプレゼンテーション出来る能力を
	身につける。
授業計画	1 楽しく美しいフードエンターテインメントの世界 パーティーの実例から学ぶ「おもてなし」の表現。
	ハーティーの美例がら子が「ねもくなし」の表現。   テーマと表現。
	2 パーティー計画① (課題解決型学習)
	イメージボード作りで計画立案。
	イメージおよび資料の収集。  3 パーティー計画② (課題解決型学習)
	イメージボード、コンセプト作り。
	空間からの具体的なイメージ発想を文字で書く。
	4 パーティー計画③(課題解決型学習)   招待状づくり。
	5 パーティー計画④ (課題解決型学習)   メニューづくり。
	具体的な料理のデザイン。
	7 パーティー計画⑥ (課題解決型学習)
	料理の盛り付けデザイン。
	8 パーティー計画⑦ (課題解決型学習)
	デザート現物づくり。
	現物の撮影。   9 パーティー計画® (課題解決型学習)
	テーブルコーディーネーション計画:アイデア。
	10 パーティー計画(9) (課題解決型学習)
	テーブルコーディネーション計画:配置。
	11 パーティー計画⑩(課題解決型学習)
	テーブルコーディネーション計画:描画。
	12 パーティー計画⑪ (課題解決型学習)
	会場デザイン描画。
	13 ビジュアルプレゼンテーションシートづくり① (課題解決型学習)
	ビジュアルシートのレイアウト。
	14
	15 発表,講評(課題解決型学習,プレゼンテーション)   ビジュアルプレゼンテーションシートの最終調整と発表・授業内展示および講評。
  学習成果・	○C:自分のコンセプトをまとめ、正確に伝えることが出来る。
到達目標・基準	<ul><li>○E: 就職活動や社会で働き出してから役に立つ、企画書表現としてのビジュアルプレゼンテーションをまとめ、発表することが出来る。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:他の授業で使用しているフードコーディネーター資格取得対応教科書の中から、この授業に役立つ項目を熟読しておくこと。また、事前に図書やインターネットで資料を良く見ておくこと。(30分) 事後学習:授業で説明した内容、事例を良く反復自習してください。(30分)
指導方法	授業では、映画や写真や現物による視覚教材を多用して、センスと発想力を高めるための基本的な知識を学ぶ 講義と、各自が発想した計画を視覚表現する技術を修得する演習を複合して進めます。 一方的な知識や手法の伝達ではなく、意見や提案を検討し合いながら、発想力と説得力を培う指導を行いま

	す。 フィードバックの仕方:①毎回授業時間内に質疑応答の時間を設ける。②「パーティーの企画書」の作品につ いて講評を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	学んだ知識や技術を活かして、実際に計画できることを目標にしていますので、試験は行いません。 C:受講態度を評価する。(20%) C:授業内容を反映させた、中間提出物を評価する。(10%) E:最終提出物のプレゼンテーションを評価する。(70%)
テキスト	なし
参考書	
履修上の注意	資格とセンスを活かして、組織内でプロジェクトリーダーとして仕事を推進出来る、あるいは、独立して仕事をする女性が増えてきました。社会で自立して自由に生きる力を身につけるために、既成概念にとらわれずに、頭を柔らかくして授業を楽しんでください。 欠席せずに積極的に参加しましょう。
アクティブ・ラー ニング	課題解決型学習、プレゼンテーション

講義科目名称: フードスタイリングレッスン 授業コード: 3541 3542

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	食専:選択
担当教員			
和﨑恵子			
ナンバリング: N28C50	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

松米中公	コードコカノ	リンガナナストでと思わせ、ニュンガの甘土(没魚・和魚) 魚土ル 同中地の場味割も労び
授業内容 授業目標 A:主体性・チー	フートスタイ   実習を通して   (授業目標)	リングをする上で必要なセッティングの基本(洋食・和食)、食文化、国内外の歳時記を学び、 食空間プロデュース、フードスタイリングを身に付ける。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー		の基礎知識、マナー、食文化を理解し食空間プロデュースをする企画力、フードスタイリングの
ション能力 C:思考力・判断 力	◎D:食文化	プワークでのプレゼンテーションで各々の役割を分担、協力する事でより良い発表ができる。 、国内外の歳時記を知り現代の食生活、食のイベントに対して理解を深めることができる。
D:知識・理解 E:技能・表現		考えをまとめ、課題に対して表現する技術を習得し、ビジュアル的にプレゼンテーションでき ジネス(ホテル、レストラン)の商品開発、企画案作成ができる。
授業計画	1	フードスタイリング概論
[X本百四		フードスタイリングについての概要と必要性について学ぶ。
	2	食空間プロデュース概論(実習) 食空間プロデュースとはどの様な事をするのか、またその効果と必要性について学ぶ。
	3	テーブルセッティングの実習。器と料理の関係を知る。 洋の歳時記を学ぶ
		洋の歳時記を知り、企画書を作成する。 代表的な食物を知る。
	4	季節のイベントテーブルを作成(グループワーク、実習テーブルセッティング、プレゼンテー ション)
		ハロウィン、サンクスギビングなど、季節のテーブルの企画書作成、テーブルを作製、発表 写 真撮影、
		テーブルセッティングの実習。 学生評価も加味したうえで学園祭出展作品を選定する。
	5	テーブルウェアーについて
		テーブルウェアーとは何か。洋食器の基本知識。 食卓装飾品について学び、その活用法を知る。 各自スタイリングをする。
	6	センターピースについて(実習)
		センターピースの役割とは。 それぞれが生花を使用して、センターピースアレンジメントを作る。 実際のテーブルに置いて写真撮り。 各自作品をテーブルに配置する。
	7	料理とサービス、プロトコール
		料理メニューの書き方、サービスの仕方。 プロトコールの基本を学ぶ。
		ブッフェサービスについて。
	8	日本の食卓の基本 和食の成り立ちと和食の形態を知る。
	9	本膳形式、懐石、会席料理の違いを知る。 和の歳時記と行事食
		五節句の行事食とコーディネートを学ぶ。 四季の折々の特徴的料理を調べる。
	10	正月祝い膳
		日本人にとっての正月祝い膳の意味を考える。 全国のお雑煮のレポート、お正月、おせち料理のレポート。
	11	クリスマスとパーティプロデュース パーティの基本的考え方と企画の立て方。
	10	クリスマス市場のリサーチ(今年のクリスマスケーキの特徴、売れ筋)レポート提出。
	12	クリスマステーブル作製 (グループワーク、実習、プレゼンテーション) クリスマステーブル作製、発表、写真撮影、企画書提出。
		パーティープラン発表。 テーブルセッティングの実習。
	13	学生評価も加味したうえでクリスマス展示テーブルの選定をする。 ティーテーブルとおもてなしの仕方
		英国紅茶のセッティングとおもてなし方法を実習体験する。
		セッティングされたテーブルの中より各自、スタイリング写真を撮る。 バレンタインデーの意味を知る。
	14	バレンタインのテーブル作製(グループワーク、実習、プレゼンテーション) バレンタインテーブル作製、発表、写真撮り。
		バレンタインの意味を理解したうえで、各自チョコレートのフードスタイリングを考える。

	15 バレンタインの企画書を完成(プレゼンテーション)
	バレンタイン企画の企画力、(チョコレート販売の企画書) プレゼンテーション能力を問う。 各自の発表、最優秀者によるプレゼンテーション発表を行う。 学生評価も加味して最優秀者を選定する。
学習成果・ 到達目標・基準	B:グループワークでの発表により各々が役割、分担を理解して協力、グループでの成果を上げる事ができる。
	◎D:食文化、国内外の歳時記を知ることが出来、現代の食生活を理解できる。  ○E:自分の考えを人前でプレゼンテーションできる。また、基本のテーブルセッティングができるようにな  る。
事前・事後学習	事前学習:実習演習に向けてイメージを形に表す写真などをスクラップしてまとめ、企画書の課題に取り組む (30分)。
	事後学習:授業で関心を持った情報をインターネットや雑誌等で調べる。授業内容をまとめる。撮影した授業写真をレジュメに添付するなど、実践で生かせるように復習する(30分)。指示された課題やレポートに取り組む(30分)。
指導方法	講義と実習 テキスト、レジュメパワーポイントを使用して講義。 講義で理論を理解した上で実習を行い、知識の定着を行う。 レポートを提出を行い、企画力、知識の理解度を確認する。 テーブル展示を行いプレゼンテーション能力を促す フィードバックの仕方:①レポートを確認 ②評価し返却 ③実習ではその場で指導コメントを行い、今後の授業への関心を深め知識の定着を促す。④授業後に質疑応答を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	B:グループワークにおける、発表の役割、協力態度を評価する。 D:提出レポート、企画書を評価する。(課題についてよく学び、調べ考察されているか。) E:実習作品発表での企画書、作品、プレゼンテーションを評価する。 授業態度 20% 制作作品 80% (レポート、企画書 50% 作品 30%)
テキスト	TALK食空間コーディネーター3級 NPO法人食空間コーディネート協会著 株式会社優しい食卓
参考書	料理を美味しく演出する「盛り付け&セッティング」 メイツ出版
履修上の注意	講義と実習と交互に行いますので、欠席が多いと最終作品に大きく影響が出るので欠席しないこと。 グループでの発表に対して、グループの一員としての責任感と協調性をもって臨んでください。 企画書の提出、リサーチレポート提出など3~4回あります。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション、実習(テーブルセッティング・フードスタイリングパーティー演出)

講義科目名称: テーブルコーディネート演習 1 授業コード: 3551 3552 3553 3554

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	食専:選択	
担当教員				
和﨑恵子				
ナンバリング:N18C50	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	食空間をコーディネートする上で必要な知識、技術を身につける。コーディネート、セッティングの基本・食文化・花・色彩・歳時記、マナーなどを学び、実習を交えて技術の習得と共に食空間コーディネターを目指す。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	(授業目標)   食空間コーディネターとしての幅広い知識と技術を習得しキャリアアップにつながるように学びます。   A: 課題に積極的に臨み、チームワークは話し合いを通じて考えをまとめ、責任を持って発表することがで
C:思考力·判断力	きる。   B: グループワークでは、仲間の考えも理解すると共に自分の考えも伝え協力し合ってまとめることができ
D:知識・理解 E:技能・表現	る。 ◎D: 食空間コーディネートに必要な基礎理論、器の知識、和食、世界の料理、卓育を知り理解することがで   きる。
	OE: 学んだ知識で自分の考えをまとめ、テーブルコーディネートが正しく表現できる。
授業計画	1 食空間コーディネートとは 食空間コーディネートの基本理論について学ぶ。
	食空間のありかたについて。 2 テーブルコーディネートの基本
	テーブルコーディネート、テーブルセッティングの違いを理解し、プランニングの基本を学ぶ。
	3   洋のテーブルセッティングについて(実習)
	洋食の基本セッティングを実習で学ぶ。 各自がセッティングした状態を撮影、ファイルする。 4 パーティープランニング
	サンプ・フィーティーティーティーティー 身近な物語などをテーマに、パーティー企画を考え、コーディネートの知識の実践。 セッティングすることを試みる。 楽しいコーディネートの演出を学ぶ。
	# はいコーティネードの演出を子ぶ。 5 センターピース、フラワーアレンジメント (実習) テーブルでのセンターピースの役割を学び、生花を使用してアレンジメントを作成する。
	出来上がった各自の作品をテーブルに置いて撮影する。センターピースの効果、役割を確認する。
	6 外国の行事や歳時 外国の行事、歳時の意味を知り、テーマに合わせたテーブルコーディネートを企画する。 其々の国の文化の歴史、食文化にも触れて考える。
	7 外国の行事のセッティング(実習) 外国の行事を具体的にテーブルの上で表現する。 グループで考え企画書を作成、セッティングしたテーブルをプレゼンテーションする。
	8 食育基本法について 卓育基本法の中の卓育について学ぶ。 ~心を育む食卓のちから~、を理解する。
	9 卓育実習・卓育の役割 卓育とは、子どものお誕生日パーティーを実習。 子どもにとってのお誕生日は、大切な行事であること意識する。
	心に残るお誕生日を企画する。
	10
	11 ティーパーティー (実習) アフタヌーンティーパーティーを実習体験することで、講義で学んだことを理解すると共に、メニュー、マナーについても学ぶ。
	12 洋食器について テーブルウエアーとは何か。 具体的に器を見ながら、基礎知識を学ぶ。
	洋食器の種類、活用法を知る。 13 カトラリー・箸・道具について 食事をする為に使用するカトラリーの基礎知識、日本人にとっての箸とは。
	その他の道具についても学ぶ。 14 日本の行事について 暮らしの中で長く行われている行事、行事食について学び、日本人の食卓を考える。
	15 おもてなし料理
	おもてなしについて、料理、食卓演出、決まりを学ぶ。 テーブル演出から、もてなしの心の演出方法を理解し、もてなし上手を目指す。

	<del>-</del>
学習成果・ 到達目標・基準	A: プレゼンテーションの役割を決め、自身を持って説明できる。 B: グループワークでは、話し合い、協力することでより良い発表ができる。 ◎D: コーディネートの知識を知る事が出来、食での演出が理解ができる。 ○E: 自分の考えをまとめ、テーブルセッティングしてプレゼンテーションすることができる。
事前・事後学習	事前学習:テキストを読み、課題に取り組む。実習演習に向けて調べ、企画書をまとめる(20分)。 事後学習:授業内容をまとめる。撮影した写真は説明を加え、レジュメに添付ファイルする(20分)。また、 関心を持 った事柄をインターネット、雑誌などで調べ知識の幅を広げる。(20分)指示された課題、レポート に取り組 む(30分)。
指導方法	講義と実習 テキスト、レジュメ、パワーポイントを使用して講義。必要に応じて資料を配布する。 講義で理論を説明した上で、実習を行い知識と技術の定着を行う。グループワーク発表、各自の発表を積極的 に行う。発表作品を、直接評価すると共に修正により変化を確認し、違いを理解する。 レポート提出を行い、企画力、知識の理解度を確認する。 フィードバックの仕方:①レポートを確認 ②評価し返却 ③実習ではその場で指導コメントを行い、今後の 授業への関心を深め知識の定着を促す。④授業後に質疑応答を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:課題に積極的に取り組み、チームワークに責任感をもって臨むことを評価する。 B:グループワークにおける、役割分担、協力姿勢を評価する。 D:提出レポート、企画書(課題について学び、調べ考察されているか)・チェックシートの解答を評価する。 E:実習作品の企画書、作品、プレゼンテーションを評価する。 授業態度 20% 制作作品 50%(レポート、企画書 30% 作品 20%)チェックシート 30% *資格認定チェックシートは知識の着床を目指して行う。
テキスト	TALK食空間コーディネーターテキスト3級 NPO法人食空間コーディネート協会著 株式会社優しい食卓
参考書	
履修上の注意	資格取得については、欠席が多いと取得に影響が出るので欠席しないこと。 講義と実習を交互に行いますので、講義をよく理解して実習に臨んで下さい。 グループでの発表に際しては、グループの一員としての責任感と協調性もってを行うこと。 企画書の提出、レポート提出(3~4回)、まとめとしてチェックシートによる復習を行います。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション、実習(テーブルセッティング・パーティーコーディネート)

講義科目名称: テーブルコーディネート演習 2 授業コード: 3561 3562

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	食専:選択
担当教員			
和﨑恵子			
ナンバリング: N18C52	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	食空間をコーディネートする上で必要な知識、技術を身につける。セッティングの基本・食文化・花・色彩・歳時記・マナーなどを学び、実習を交えて技術の習得と共に食空間コーディネーターを目指す。 (授業目標)
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	食空間コーディネーターとしての幅広い知識と技術を習得しキャリアアップにつながるように学びます。 A:課題に積極的に臨み、チームワークは話し合いを通じて考えをまとめ、責任を持って発表することができ
ション能力 C:思考力・判断	る。 B:グループワークでは、仲間の考えも理解すると共に自分の考えも伝え、協力し合ってまとめることができ
力  D:知識・理解	る。 ②D:食空間コーディネートに必要な基礎理論、器の知識、和食、世界の料理、色彩、リネンを知り理解でき
E:技能・表現	る。 ○E:学んだ知識で自分の考えをまとめ、テーブルコーディネートが正しく表現できる。
授業計画	1 洋のテーブルセッティング、食空間のありかたについて
	基本のテーブルセッティング、正餐、ビュッフェ、カジュアルなテーブルセッティング、モーニングのセッティング、それぞれの違いを学び確認する。 各自実習セッティングを行う。
	2 おもてなし料理、西洋料理、マナーについて
	日本の西洋料理の変遷、献立の立て方、正餐の献立、朝食、ブランチ、昼食、それぞれの献立の 特徴を理解して、献立を考えてみる。代表的な国の料理についても理解を深める。 西洋料理を食する時のマナー、席次を実習を交えて学ぶ。
	3   酒類、飲料類について   酒類の分類とサービス方法を学ぶ。
	西洋料理の食前酒、食中酒、食後酒について学び、グラスとの関係も学ぶ。 飲料類〔ソフトドリンク〕の分類を学び、理解する。
	4
	色相、トーンのシステムでテーブルコーディネートアイテムを色により整理して見る。 配色テクニックを学び、色使いによる変化を確認、季節の色表現、行事を表現する色演出などイ メージカラーについても学ぶ。配色実習を行う。
	5 テーブルリネンとは テーブルリネンの種類について。
	素材、色柄、名称、サイズ、用途について具体的に学び、物を直接、触り、リネンを使用して確認をする。ナプキンの意味を理解した上で、基本的なたたみ方、アレンジを実習を交えて体得する。
	6 食卓装飾品、照明、光について
	食卓装飾品〔フィギュアも含め〕に含まれるアイテムについて学ぶ。 ソルト&ペッパー、センターピース、ナプキンリングなど用途を知り、具体的に物を見て認識す
	る。 東西における照明、光の文化の違いを知る。テーブルコーディネートにおけるキャンドルの役目、効果を考える。
	7 野外のテーブルコーディネート、食器について 屋外のテーブルの特徴、使用食器〔プラスチック〕の分類、種類。 アウトドアーのメニュー、楽しみ方。
	実習を交えてアウトドアーのテーブルを体験する。
	8 和陶磁器について、
	9 漆器とは
	漆の歴史、日本での漆について。 漆の成分、漆器の特徴を学び、その加飾技法を知る。 漆器の種類と用途、取り扱い方法を学び、現代生活での活用方法を考える。
	10 日本料理について 日本料理の変遷、その特色。 伝統的形式を理解する、その具体的な献立を学ぶ。
	11 和風の家庭料理について
	家庭料理とは、日々食する家庭料理を考える。 経済性、栄養価、味の取り合わせの工夫をする。 お膳の文化だった食卓に、配膳の形の素晴らしさを見る。 非本料理のマナー、席次を学ぶ。
	12 中国料理について 中国料理の特徴、種類を学ぶ。
	宴席料理の幅広い料理と正式な形式について学び、献立の立て方、調理法を確認する。

	13 パーティーについて   パーティーの始まり、起源、
	パーティーの種類を学ぶ。
	パーティープランニング〔インビテーションカードの作成も含む〕を行う。 パーティー準備(実習に向けて)を行う。
	14 パーティー (実習)
	コンセプトパーティーを企画実行する。
	パーティーマナー(招く側、招かれる側の心得)を学ぶ。
	15 まとめ、テーブルコーディネーター3級取得の知識について   テーブルコーディネーター3級取得に必要な知識の確認、チェックシートによる復習
学習成果・ 到達目標・基準	A:プレゼンテーションの役割を決め、自信を持って説明できる。 B:グループワークでは、話し合い、協力することでより良い発表ができる。 ◎D:コーディネートの知識を知る事が出来、食での炎暑津が理解できる。 ○E:自分の考えをまとめ、テーブルセッティングをしてプレゼンテーションすることができる。
事前・事後学習	事前学習:テキストを読み、課題に取り組む。実習演習に向けて調べ、企画書をまとめる(60分)。 事後学習:授業内容をまとめ復習する。撮影した写真は説明を加え、レジュメに添付、ファイルする(30分)。
	関心を待った事柄をインター手ット、書籍などで調べ知識の幅を広げる(30分)。 指示された課題、レポートに取り組む(30分)。
指導方法	講義と実習 テキスト、レジュメ、パワーポイントを使用して講義。必要に応じて資料を配布する。 講義で理論を説明した上で、実習を行い知識と技術の定着を行う。グループワークでの発表、各自の発表、レポート、確認テストなどで、知識の確認、修正を行う。実物を直接見て、扱い実習する。発表作品を直接評価すると共に修正により変化を確認し、変化を理解する。フィードバックの仕方:①レポートを確認 ②評価し返却 ③実習ではその場で指導コメントを行い、今後の授業への関心を深め知識の定着を促す。④授業後に質疑応答を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:課題に積極的に取り組み、チームワークに責任を持って臨むことを評価する。 B:グループワークにおける役割分担、協力姿勢を評価する。 D:提出レポート、企画書(課題について学び、調べ考察されているか)・チェックシートの解答を評価する。
	©E: 実習作品の企画書、作品、プレゼンテーションを評価する。
テキスト	TALK食空間コーディネーターテキスト3級 NPO法人食空間コーディネート協会 株式会社優しい食卓
参考書	
履修上の注意	資格取得については、欠席が多いと取得に影響が出るので欠席しないこと。 講義の後に実習を行いますので、講義内容を良く理解して臨んで下さい。 毎回の講義内容の積み重ねが、テーブルコーディネーターとして必要な知識となります、予習、復習がより知 識を深めるので行ってください。 企画書の提出、レポート提出、資格取得のまとめとしてチェックシートによる復習を行います。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション、実習(テーブルセッティング・パーティーコーディネート)

講義科目名称: 応用調理 (鮨) 授業コード:3421 3422 3423 3424

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	食専:選択	
担当教員				
武田旭由				
ナンバリング: N28C37	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				
		_		

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	握り寿司以外にも巻き寿司、稲荷寿司、ちらし寿司等、様々な「すし」、「日本料理」の実習を通して、その 由来や歴史、魚の扱い、衛生管理の徹底等を総合的に学ぶ。 (授業目標)
A. J. L.	すしのあらゆる基本技術の修得と共に、飲食業に携わるプロとしての意識を高める。 A:班における自分の役割を理解し適切な調理作業で衛生的にかつ安全に実習をやり遂げることができる。 ◎D:食材、調理器具の扱い方を理解し、正しく安全に調理作業をすることができる。 ○E:デモンストレーションの内容を理解し、食べる人のことを意識した調理作業、盛り付けができる。
刀 D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ガイダンス 実習の心得と注意事項をよく聞き、実行できるようになる。 衛生管理の基本について理解する。 授業の受け方やレポートの提出方法、評価等について理解する。
	2,3 稲荷寿司 (実習) メニュー: 稲荷寿司 すしの歴史について 米の炊飯、すし飯の作り方 和包丁と洋包丁の扱い方の違い 油揚げの炊き方
	器具の扱い方 4,5 無の卸し方① (実習) メニュー: 鯵梅香寿司、鯵のつみれ汁
	鯵の下処理、卸し方 器具の扱い方 6,7 巻き寿司(実習) メニュー: 太巻き寿司、海老真薯椀 厚焼き玉子の焼き方 蒸し器の扱い方
	合わせ出汁の引き方(うま味の相乗効果について) 巻き寿司の巻き方 8,9 握り寿司①(実習) メニュー:握り寿司(鮪・鯛・海老) 鯛の卸し方 ネタの切り付け 海老の下処理
	握り寿司の握り方
	12,13 ちらし寿司(実習) メニュー:飾りちらし寿司、蛤の吸い物 蛤出汁の取り方 盛り付けの工夫について
	14,15 握り寿司②(実習) メニュー:握り寿司(鮪、鯛、サーモン、烏賊、ワラサ、海老、細巻き) ネタの切り付け、握り寿司の握り方 復習 細巻きの巻き方
学習成果・ 到達目標・基準	A:協調性を持って、衛生的にかつ安全に実習をやり遂げることができる。 ◎D:食材、調理器具の扱い方を理解し、安全に調理作業をすることができる。 ○E:デモンストレーションの内容を理解し、調理作業、盛り付けができる。
事前・事後学習	事前学習:予定表で献立を確認し、料理について調査すると良い。(30分程度) 事後学習:実習後は授業内容をレシピとしてノートにまとめ、もう一度調理や練習をし復習をしておくと良い。(60分程度)
指導方法	・デモンストレーション→4人のグループ別に調理→盛りつけ→評価→試食→片付け ・調理の基本である安全面・衛生面の徹底 フィードバックの仕方:①実習、②レポート提出、③評価およびコメントして返却、④授業中および授業後の 質疑対応

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:筆記試験は行わず、授業態度、グループ内での授業貢献度を評価する。 D, E:実習時の調理作品、実技試験で評価する。 受講態度50%、レポート提出25%、実技試験25%の配分でルーブリックに沿って評価する。
テキスト	プリントを配布する。
参考書	
履修上の注意	衛生管理徹底のため、指定された身支度を整え、刃物や火の取り扱いには十分気をつけて行動すること。新型 コロナ感染予防のマニュアルを遵守し、調理・試食すること。 食品アレルギー等がある場合は事前に申告すること。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: 応用調理 (スイーツ) 授業コード:3431 3432

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	食専:選択
担当教員			
大塚公子			
ナンバリング: N28C39	実務家教員に。	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	洋菓子を中心とした製菓の実習を通して菓子の由来、製法と技術、素材の知識、器具の扱い等を総合的に学ぶ。デモンストレーションの後、班で協力して作品を仕上げる。盛り付けは師範台も参照しながら班独自の工夫をし、発想力、応用力を養う。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標) 製菓の基礎的知識と技術を習得し、他の授業とも関連付けながら学びを深め、幅広い「食」と「職」への意識 を高める。
D:知識・理解 E:技能・表現	A:積極的に実習にかかわり、班で協力しながら作品づくりに臨み、チームワークを築くことができる。 ◎D:①製菓の基礎的知識、素材の科学、道具の扱いを理解できる。 ②実習で学んだ事柄や疑問を考察し、理論づけて表記することができる。 ○E:製菓の基本的な技術、ふさわしい盛り付け、応用力を身につける。
授業計画	1 ガイダンス・りんごのクランブル・サラダクレープ 授業の進め方・教室の使い方・成績評価についての説明 クレープの由来と作り方・フライパンの扱いと焼き方・具材と巻き方のアレンジ クランブルの作り方
	2,3 ココアバナナロール・ぶどうのヨーグルトムース 別立て法によるスポンジ生地の作り方とポイント バタークリームの作り方とメレンゲの種類 ムースの特徴と作り方・ゼラチンの種類と扱い方
	4,5 フルーツケーキ・かぼちゃのプリン(ハロウィン仕様) フルーツケーキ (バターケーキ) の由来と作り方・漬け込みフルーツの作り方 バターケーキの種類・焼き型の種類と特徴 基本のプリンとアレンジ・カラメルの作り方
	6,7 シュークリームバリエーション・コーヒーゼリー シュー生地の作り方とポイント・絞り袋の扱いと絞り方・シュー生地の応用(シューサレ・エクレア) カスタードクリームの作り方
	8,9 肉まん・中国風ナッツクッキー・杏仁豆腐 発酵生地の作り方とポイント・肉まんの包み方・中華セイロの扱い方 中華菓子の特徴 バター以外の油脂について 寒天の種類と扱い方
	10,11 苺のショートケーキ,クリスマスクッキー,パートブリゼの仕込み 共立て法によるスポンジの作り方とポイント 生クリームの性質 フードプロセッサー・ハンドミキサーなど機器の扱いと簡便化 パートブリゼ(練りパイ生地)の作り方・パートシュクレとの違い
	12,13 キッシュ,フォンダンショコラ,季節のコンポート キッシュの由来と作り方・パイ生地の扱い方 チョコレートの扱い方 コンポートの作り方と保存法
	14,15 実技課題(スポンジケーキ)・日本の粉もの(おやき・豆腐白玉団子) これまでの学びを活かして一人ずつスポンジケーキを焼く お焼きの作り方・具材のアレンジ 白玉団子の作り方・米を原料とする粉の色々
学習成果・ 到達目標・基準	A:進んで実習にかかわり、協力しながら作品を仕上げ、チームワークに貢献できる。 ◎D:①基本的な生地の作り方、素材や道具の扱い方を知り、どのように作られているかを理解できる。 ②作り方のポイントや疑問を自分の言葉でまとめ、表記することができる。 ○E:製菓の基本的な動作(泡立て、混ぜ、こね、加熱や冷却の加減等)を実践できる。盛り付けを工夫できる。
事前・事後学習	事前学習:シラバスに沿って進めていくので、その日の内容について調べ、質問事項があれば準備しておく。 事後学習:授業で学んだ知識やポイントを記憶が新しいうちにレシピやノートにまとめる。自分がかかわれな かったり、上手くできなかった作品はもちろん、再度作ってみることで技術が身に付き、より理解が深まる。
指導方法	・講義とデモンストレーションの後、班に分かれて実習を行う。 ・作業工程と作品を総合的に評価し、撮影した後、試食と片づけを行う。点検を受けてから班ごとに終了する。
	・毎回評価表を提出(当日~次回の授業開始前まで),理解度を確認して採点する。 フィードバックの方法:①実習中は常に見回りながらアドバイスを行う,②授業中はその都度,授業後でも質 疑に対応する,③作品についての評価,④評価表へのコメント及び採点

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:受講態度・班での貢献度・作業効率を評価する。 D:講義と実習の理解度を提出課題により評価する。 E:作品の仕上がりと盛り付けを評価する。
	提出課題(50%) 実技課題(20%) 作品の評価(20%) 受講態度と貢献度(10%)をルーブリック に沿って総合的に評価する。実習授業の為,筆記試験は行わない。
テキスト	毎回レシピをプリントして配布する。
参考書	
履修上の注意	製菓に興味があり、実習体験を重ねて、より幅広い知識や技術を習得したい人におすすめします。 事前の爪切り、ハンドタオル持参など、身なりの衛生に留意すること。 調理中はケガのないよう注意し、試食中の会話も含め、常に衛生観念を持って臨むこと。 食物アレルギー等は事前に申告すること。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: 応用調理 (フレンチ・中国料理) 授業コード: 3441

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	食専:選択
担当教員	•	·	
狩野恭子			
ナンバリング: N28C40	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	専門店のシェフの食材料に対する知識とこだわり、調理技術、盛り付けのテクニック、食材料や味の組み合わせなどをプロから学び、フランス料理、中国料理の様式別に毎回2~3品を調理する。フランス料理:ゲスト講師 山下 敦司先生 中国料理:ゲスト講師 大城 康雄先生 (授業目標)
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	家庭料理とは違うプロの技と味を体験し、応用的知識と感性に磨きをかけ、一段上の調理技術を修得する。 ② A: 班における自分の役割を理解し適切な調理作業でチームワークを考え効率よく、衛生的にかつ安全に実 習をやり遂げることができる。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	〇D:フランス料理、中国料理の加熱や調味の手法、メニュー作成方法のポイントが説明できる。メニューの名称と意味を理解することができる。見て楽しく、食べて美味しい、身体に優しい料理を自分の料理として表現し美しく盛り付けることができる。
授業計画	1 ガイダンス(担当:狩野) フランス料理、中国料理について説明。 調理技術や方法を理解する。 授業の受け方やレポート提出方法、評価等について理解する。
	2,3 フランス料理1 (実習) (担当:ゲスト講師 山下) メニュー:サーモンのリエット フリカッセド・ボライユ・ア・ランシエンヌ
	内 容:煮込み料理の調理方法を修得する。 4,5 フランス料理2(実習)(担当:ゲスト講師 山下) メニュー:タルト・プロバンサル 鶏もも肉の悪魔風 内 容:肉料理の焼き時間を習得する。
	6,7 中国料理1 (実習) (担当:ゲスト講師 大城) メニュー:蟹レタスチャーハン 彩り旬野菜の炒め マンゴーとタピオカ 内 容:食材の切り方、中華鍋・お玉等で炒める基本的な器具の使い方と調理方法。 香港スイーツはコミュニケーションを図り効率を考える。
	8.9 中国料理2(実習)(担当:ゲスト講師 大城) メニュー:ほうれん草チャーハン淡雪あんかけ 花切りイカの葱生姜蒸し タピオカミルク 内 容:食材の花切りの実習、チャーハンの多種多様の応用を学び時間と手順を考えながら 楽しい調理作業を学ぶ。
	10,11 中国料理3 (実習) (担当:ゲスト講師 大城) メニュー:アスパラとトビコのチャーハン 季節の野菜と海老の翡翠炒め 黒糖蒸しカステラ 内 容:食材の切り方、天然色素の抽出法の実用と盛り付けを学ぶ。 実技試験に向けた手順と分担作業の確認。
	12,13 中国料理4(実習)(担当:ゲスト講師 大城)   メニュー:シラスと青海苔のチャーハン 鶏肉とゴロゴロ野菜のこだわり黒酢 花焼売   内 容:時間割を考えて実技試験に向け調理作業の手順と課題料理の調理作業の分担を   コミュニケーションを図りながら仕上げる。
	14,15 中国料理5 (実習) (担当:ゲスト講師 大城) メニュー:蟹レタスチャーハン 海老のマヨネーズ和え 内 容:作業効率を考え調理手順の確認をし、時間内で課題料理の作成提出、質疑応答、まとめ。
	± ⊂ ω <sub>0</sub>
学習成果・ 到達目標・基準	フランス料理、中国料理の基礎知識や様式を理解し、加熱や調味の手法を知る。グループによる調理実習から チームワークと調理技術を身に付ける。 ② A: 班単位の実習、自分の役割やメニューを理解し、調理実習を通じてチームワークを身につけ作品を作る ことができる。
	○D: 専門的な加熱や調味の手法、料理を学び、フランス料理、中国料理の基礎を身につける。代表的な メニューを作成し調理、盛付けができる。
事前・事後学習	事前学習:事前にテキストでメニュー、作り方等を確認し、料理について調査する(20分程度)。 事後学習:実習後はテキストを再確認し、担当しなかった料理を作ってみること(70分程度)。
指導方法	・デモンストレーション⇒5~6人のグループ別に調理⇒盛りつけ⇒評価⇒試食⇒片付け ・調理の基本である安全面 ・衛生面の徹底
	フィードバックの仕方:①実習、②レポート提出、③評価およびコメントして返却、④授業中および授業後の質疑対応

	<del>,</del>
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:筆記試験は行わず、授業態度、グループ内での授業貢献度を評価する。 D:課題レポートなどで知識や理解度を評価する。実習時の調理作品、実技試験で評価する。
	受講態度50%、 課題レポート25%、 実技試験25%の配分でルーブリックに沿って評価する。
テキスト	レシピを配布する。
参考書	授業中に指示する。
履修上の注意	食関係の仕事に就職を希望する人は、履修することをお勧めします。定員30名とする。 選択科目ですが、実習費を納めた後は返金することができません。 実習内容や順番は食材の状況により変更になる可能性があります。 新型コロナ感染予防のマニュアルを遵守し、調理・試食すること。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: 病院・福祉ゼミ 授業コード: 3581

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	食専:選択
担当教員			
狩野恭子			
ナンバリング:N39C54	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			
	_		

授業 内容標 A: サース B: 東 A: リーコン B: 東 カース B: 東 カース B: 東 カース カース カース カース カース カース カース カース	回の授業を3分割し、ブロックごとに授業方法・内容を変え、実践的・見 ゼミの全体ガイダンス、2~6回は〈学外実習準備講座〉として全体会で られる栄養士の役割などを学ぶ。7~15回はモデル別の授業で、各分野ご演や、それぞれの分野で必要な知識や技術を演習や実習などを通して学 授業目標)栄養や食品についての専門知識を活かせる職場は、多岐にわる特徴がみられる。病院・福祉ゼミでは医療現場や特殊栄養下の現場で 己の将来像へとつなげる。 C:対象者別の食事の特性を理解し、安全な給食を提供するための方法を A:対象者の食事調製を通して、自分の将来像を見つけ出すことができる	、各特定給食施設の特徴やそこで求 ごとに活躍するゲスト講師を招いての ぶ。 たり、その仕事内容も業種により異 活躍するための知識・技能を学び、 ご説明できる。
授業計画	ガイダンス(他モデルと合同)	
	学科長挨拶(担当:川嶋) 各回の授業内容やスケジュールの確認(担当:専任教員全員 就職活動の進捗状況確認と今やるべきこと(担当:キャリア (学外実習準備講座)学外実習ガイダンス :全体会 学外実習の目的、方法、授業を受ける際のルールなど、概要 ぞれの担当する分野や授業内容などについて説明を受ける。 谷口)	"センター) 『を学ぶ。学外実習担当者より、それ
	〈学外実習準備講座〉特定給食施設の種類と特徴① :全体特定給食施設(事業所)(病院)の種類と特徴について学る学外実習についての説明・連絡を受ける。	
	〈学外実習準備講座〉特定給食施設の種類と特徴② :全体 特定給食施設(保育所)の種類と特徴について学ぶ。(担当 学外実習についての説明・連絡を受ける。	
	〈学外実習準備講座〉特定給食施設の種類と特徴③ :全体 特定給食施設(高齢者福祉施設)の種類と特徴について学る 学外実習についての説明・連絡、準備等を行う。	
	〈学外実習準備講座〉学外実習ガイダンス :全体会 学外実習についての説明・連絡、準備、注意事項等を行う。 谷口)	(担当:狩野・西山・井部・橋詰・
	履修モデル別講座① :分科会 病院に勤務する管理栄養士の仕事内容について学ぶ。病態別 管理栄養士の役割について学ぶ。(担当:ゲスト講師)	川の食事について理解を深め、NSTでの
	履修モデル別講座② :分科会 高齢者施設給食の管理栄養士の仕事内容について学ぶ。高齢 特性などについて理解を深める。(担当:ゲスト講師)	命者施設給食の実際、高齢者の身体的
	履修モデル別講座③ :分科会 委託給食会社に勤務し、病院に配属された栄養士の事例と高 を紹介し、委託給食会社栄養士の仕事内容について理解を済 設の職員としての栄養士の仕事内容の違いについて学ぶ。	所齢者施設に配属された栄養士の事例 そめる。また、病院の職員と高齢者施
	履修モデル別講座④ :分科会 給食の基本計画を学ぶ。対象者別の献立表の作成を行い、理	<b>単解を深める。</b>
	履修モデル別講座⑤ : 分科会 給食の基本計画を学ぶ。高齢者を対象とした献立作成を行い	い、理解を深める。
	履修モデル別講座⑥ :分科会 給食の基本計画を学ぶ。病態別の献立作成を行い、理解を済	<b>そめる。</b>
	履修モデル別講座⑦ : 分科会 食形態について学ぶ。咀嚼や嚥下が困難な人のための食事に いて嚥下の状況に合わせた飲み物の調整を行う	こついて理解を深める。とろみ剤を用
	履修モデル別講座⑧ : 分科会 食形態にについて学ぶ。咀嚼・嚥下が困難な人のための食事わらか食の調製を行う。	『について理解を深める。既製品のや
	履修モデル別講座⑨ :分科会 食形態にについて学ぶ。咀嚼・嚥下が困難な人のための食事 の調製を行う。	まについて理解を深める。 やわらか食
学習成果・ 到達目標・基準	対象者別の食事について必要な基礎知識を学び、課題をまとめることが栄養士の役割を理解し、食事の調製をやり遂げることができる。	ぶできる。

事前・事後学習	事前学習:事前に配布されたプリント、資料等を熟読し、専門基礎分野の予習を十分行っておくこと。また日頃から栄養や食品に関わる情報についての興味、関心を持ち、積極的に調べたり記録しておくこと。(15分)事後学習:各自、レポート課題の作成を行うことで理解を深め、それぞれの業種や病院や高齢者施設の特徴をまとめること。(30分)
指導方法	全体会(5回):分野別担当教員により、特定給食施設の特徴、栄養士の役割、基礎知識を学ぶ。 給食管理実習(学外)についての説明・連絡を受ける。 分科会(9回):外部からの特別講師を招いたり、実際の社会現場に即した知識・技術を学べるよう 演習や実習を中心に実施する。 フィードバックの仕方:①レポート、課題提出、②評価して返却、③授業後に内容についての質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C 全体のレポート課題、履修モデル別での課題、提出物で評価する。 A 主体的に取り組んでいるか授業態度で評価する。 配点は提出物50% 授業貢献度30% 授業態度20%の比率で行い、成績はルーブリックの基準に基づいて評価を 行う。
テキスト	適宜プリントを配布する。
参考書	「日本人の食事摂取基準 (2020年度版)」 「新ビジュアル食品成分表 (八訂版)」大修館書店
履修上の注意	この授業は、学外から特別講師を招いて講義を行うため、社会人としてそぐわない行動は避け、主体的で積極的な授業態度が必要である。また、将来就職先で即戦力となるように対象者別の献立作成、食事の調製ができるようになることが目標である。そのために、しっかりと授業に取り組むことが必要である。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: 公衆衛生学 授業コード: 3021 3022 3023

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	食専:卒業必修、栄必修
担当教員			
篠原暁子			
ナンバリング:N12A02	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	が健康であるた	hという言葉を訳して「公衆衛生」となったが、「みんなの健康」を意味している。個々の人々めには、単に病気にならないための対策だけでなく、早期発見や社会復帰も必要であり、それ(Quality of Life:QOL)が大切である。広い視野から栄養士としての役割を認識できるよう、い講義する。
ション ション と : と :	日本およ	学を理解し、将来栄養士として学び続けるための礎を身に付ける。 び世界の人口問題、それぞれのライフステージにおける保健についての知識を身に付ける。 i、保健行政についての知識を身に付ける。
授業計画	1 *	社会と健康
汉术们四	1	公衆衛生学という学問についてを知り、健康の概念、予防医学としての役割を学ぶ。
		建康に関する統計資料 世界および日本の人口静態および人口動態、統計調査、保健指標について学ぶ。
	~	安学(1) 安学で用いられる指標について学ぶ。
	4	を学(2) を学の役割について学ぶ。
	1	惑染症予防 (1) 感染症とは何かを学ぶ。
	1 - /	惑染症予防 (2) 惑染症の種類、感染症の現状について学ぶ。
		環境と健康(1) 生態系、環境汚染・公害の及ぼす健康への影響およびその予防策の取り組みについて学ぶ。
		環境と健康(2) 環境に影響をおよぼす空気と水の健康について学ぶ。
	1 - /	母子保健 妊娠・出産における社会環境、母子保健の現状、母子保健対策について学ぶ。
	1 = -	学校保健 学校保健活動、学齢期の健康状況について学ぶ。
	/-	産業保健 職場環境における健康障害およびその対策について学ぶ。
	1	青神保健 青神障害の特徴、精神保健対策などについて学ぶ。
		R健・医療・福祉の制度と法規 地域の医療・保健・福祉に取り組む行政の仕組みと制度について学ぶ。
		生活習慣と疾病(1) 建康日本21を中心に生活習慣と健康増進について学ぶ。
		生活習慣と疾病 (2) 生活習慣病における予防対策について学ぶ。
学習成果・ 到達目標・基準	康保持・増進を	康に関わる様々な問題点を様々な観点から分析することによって、将来的に疾病を予防し、健 図ることができる。また環境問題や保健行政について説明することができる。
事前・事後学習		の内容について、教科書を事前に読んでくる。(60分)  で提示された課題に取り組み、理解を深める。(120分)
指導方法	<ul><li>・小テストを行</li><li>・演習、まとめ</li></ul>	に、パワーポイント、および資料を配布して授業を行う。 い、理解度を確認する。 ・を通じて理解を深めることができるよう指導する。 の仕方:①資料を配布②小テスト③演習④評価・コメント⑤授業内外での質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験と ・定期試験 ・授業への	

テキスト	『公衆衛生学 一社会・環境と健康ー』(三共出版)
参考書	国民衛生の動向 (廣済堂)
履修上の注意	・授業中は他の人の迷惑にならないよう授業態度に注意すること。 ・携帯電話を授業に関係のない目的で使用した場合、減点対象とする。
アクティブ・ラーニング	

講義科目名称: 公衆栄養学 授業コード: 3281 3282 3283

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	食専: 栄必修
担当教員	·	•	
篠原暁子			
ナンバリング:N16C28	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容 授業目標 A:主体性・チームワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	公衆栄養学は、集団の健康の維持・増進、疾病の予防、そして栄養・食に関わるさまざまな問題を、地域・国レベルの広い視点から捉えなければならない。授業では、わが国の健康・栄養問題の現状と課題から、栄養・食料に関する問題点、栄養疫学評価、そしてわが国の公衆栄養活動に関する行政・地域の取り組みなど、健康増進・疾病予防に関わる栄養学を公衆栄養学的視点から修得できるよう講義する。(授業目標) ◎ C:日本および世界における健康問題・栄養問題を的確に捉え、人々の健康増進について公衆栄養学的なア
C: 思考力・判断 力 D:知識・理解 E:技能・表現	プローチを考察できる。 〇D:公衆栄養活動の理念を理解する。公衆栄養活動に関する健康施策を担当する行政や法規について理解する。 栄養疫学調査の必要性と意義を理解し、栄養疫学的評価ができる知識を身につける。
授業計画	1 公衆栄養学の概念 1 公衆栄養の意義と目的について学ぶ。
	2 公衆栄養学の概念 2 公衆栄養の歴史、公衆栄養活動について学ぶ。
	3 公衆栄養マネジメント1 公衆栄養マネジメントの考え方・重要性、公衆栄養アセスメントの特徴について学ぶ。
	4 公衆栄養マネジメント 2 公衆栄養プログラムの計画の策定、目標の設定、実施と評価について学ぶ。
	5 栄養疫学1 栄養疫学の役割、公衆栄養活動への応用について学ぶ。
	6 栄養疫学 2 食事調査方法の種類と特徴、食事摂取量の測定方法・評価方法について学ぶ。
	7 健康・栄養問題の現状と課題1 (課題解決型学習) わが国の少子高齢化社会と健康・栄養問題の現状および変化について学び、今後どのような公衆 栄養活動を行う必要があるか考える。
	8 健康・栄養問題の現状と課題 2 (課題解決型学習) わが国の食生活の変化、食環境の現状および変化について学び、今後どのような公衆栄養活動を 行う必要があるか考える。
	9 健康・栄養問題の現状と課題3 わが国の食料自給率、食品ロスにおける現状および課題について学ぶ。
	10 栄養政策 1 公衆栄養関連法規、わが国の公衆栄養活動について学ぶ。
	11 栄養政策 2 国民健康・栄養調査、食生活および健康に関連する指針、ツールについて学ぶ。
	12 栄養政策 3 健康日本21 (第二次)、健康増進計画、食育推進基本計画について学ぶ。
	13 地域集団の特性別プログラムの展開 地域特性・ライフステージに対応したプログラムの展開について学ぶ。
	14 食環境整備のためのプログラムの展開 健康・食生活の危機管理と食支援、特別用途食品・保健機能食品について学ぶ。
	15 諸外国の健康・栄養政策 公衆栄養活動に関係する国際的な栄養行政組織、諸外国の栄養状況と施策について学ぶ。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎C:日本および世界における健康問題・栄養問題を的確に捉え問題点を考えることができる。</li><li>○D:公衆栄養活動が社会に果たす役割を説明できる。公衆栄養活動に関する健康施策を担当する行政と法規について関連づけることができる。栄養疫学調査の必要性を説明できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:各回の内容について、教科書を事前に読んでくる。 (60分) 事後学習:授業で提示された課題に取り組み、理解を深める。 (120分)
指導方法	・教科書を中心に、パワーポイント、および資料を配布して授業を行う。 ・小テストを行い、理解度を確認する。 ・演習、課題作成を通じて理解を深めることができるよう指導する。 フィードバックの仕方:①資料を配布②小テスト③課題作成④評価・コメント⑤授業内外での質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:課題提出、定期試験により評価する。 D:課題提出、定期試験により評価する。 定期試験 80%、授業貢献度(課題提出含む) 20%

テキスト	「サクセス管理栄養士・栄養士養成講座 公衆栄養学」 井上浩一、草間かおる、村山信子 著 (第一出版)
参考書	国民健康・栄養の現状(第一出版) 日本人の食事摂取基準(2020年版)(第一出版)
履修上の注意	・授業中は他の人の迷惑にならないよう授業態度に注意すること。 ・携帯電話を授業に関係のない目的で使用した場合、減点対象とする。 ・課題の提出期限を守らない場合、減点対象とする。
アクティブ・ラー ニング	課題解決型学習

講義科目名称: 基礎栄養学1 授業コード: 3171 3172 3173

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	食専:卒業必修、栄必修
担当教員			
坂野史明			
ナンバリング:N15A17	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業 ・ ・ ・ を標体クシミ能考 ・ を標体クシミ能考 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	食物から摂取される栄養素 [炭水化物(糖質)、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラル(無機質)]は、ヒトが身体を維持して生命活動を営むために様々な役割を果たしている。基礎栄養学1では、各栄養素の化学的性質や生理機能に関する理解を深めながら、消化・吸収 、体内代謝(体内での分解や合成)とその調節機構について学習することで、基礎栄養学2の授業につなげる。(授業目標)〇C:栄養の仕組みを総合的に理解するための思考力と知識を身につけ、これらを健康的な食生活に活用しつつ、科学的根拠に基づいて説明できる。 ⑥D:各栄養素の役割や代謝等に関する専門的知識を習得し、その内容を説明できる。
授業計画	1 栄養の概念
	栄養の定義、栄養素の種類と働き、栄養学の歴史、遺伝形質と栄養の相互作用について学ぶ。
	2 食物の摂取   空腹感と食欲、摂食量の調節、食事のリズムとタイミングについて学ぶ。
	3 消化・吸収と栄養素の体内動態1 消化・吸収と栄養、管腔内消化とその調節、膜消化と吸収について学ぶ。
	4 消化・吸収と栄養素の体内動態2 栄養素別の消化・吸収、栄養素の体内動態、消化吸収率について学ぶ。
	5 炭水化物の栄養1 糖質の代謝経路、糖質の体内代謝(血糖調節)について学ぶ。
	6 炭水化物の栄養2 エネルギー源としての作用、他の栄養素との関係、食物繊維と難消化性糖質について学ぶ。
	7 たんぱく質の栄養1 アミノ酸・たんぱく質の構造と機能、たんぱく質・アミノ酸の体内代謝について学ぶ。
	8 たんぱく質の栄養2 アミノ酸の臓器間輸送、たんぱく質栄養状態の評価、たんぱく質の栄養価、他の栄養素との関係について学ぶ。
	9 脂質の栄養1 脂質の種類、脂肪酸の種類、脂肪酸の異化経路、多価不飽和脂肪酸の代謝について学ぶ。
	10 脂質の栄養2 脂質の体内輸送、脂肪細胞の役割、摂取する脂質の量と質、他の栄養素との関係について学ぶ。
	11 ビタミンの栄養1 ビタミンの種類、脂溶性ビタミンの構造と機能、水溶性ビタミンの構造と機能について学ぶ。
	12   ビタミンの栄養2   ビタミンの生体利用率、他の栄養素との関係について学ぶ。
	13 ミネラルの栄養 ミネラルの種類、骨・歯とミネラル、酵素とミネラル、生体機能調節とミネラル、鉄の機能と貯蔵について学ぶ。
	14 水・電解質の栄養的意義 生体内の水、水の出納、脱水と浮腫、電解質と酸塩基平衡の調節について学ぶ。
	15 エネルギー代謝 物理的燃焼値と生理的燃焼値、エネルギー消費量、臓器別エネルギー代謝、エネルギー代謝の測定法について学ぶ。
学習成果・ 到達目標・基準	○C: 身につけた知識を用いて、基本的な栄養現象を科学的に説明できる。 ◎D: 栄養素の消化・吸収や体内代謝についての基本事項を理解し、説明できる。
事前・事後学習	事前学習:学習予定の項目について、事前にテキストの該当箇所を予習しておく (60分程度)。 事後学習:授業時にとったノートや配付資料を整理、復習して知識を定着させる (120分程度)。
指導方法	授業はパワーポイントと配付プリントを用いた講義形式で行う。 ノートをとる時間を設けるので、プリントと共に自分で整理して理解すること。 フィードバックの仕方:授業前後の質疑応答、小テストによる理解度の確認。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○C:授業への参加態度、定期試験の成績から総合的に評価する。 ◎D:授業への参加態度、小テスト、定期試験の成績から総合的に評価する。 評価比率は、授業態度10%、小テスト10%、定期試験80%とする。
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 田地陽一/編 (羊土社)

参考書	
履修上の注意	「消化・吸収と栄養素の体内動態」は解剖生理学(消化器系)、「炭水化物・たんぱく質・脂質の栄養」は生化学1および2(糖質・たんぱく質・脂質の構造と代謝)で学ぶ内容と関連が大きいので、これらと並行して復習することで理解がより深まる。本授業の内容は基礎栄養学2につながるため、よく復習すること。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 基礎栄養学 2 授業コード: 3181 3182 3183

英文科目名称: Basic Nutrition 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	食専:卒業必修、栄必修
担当教員			
大久保剛			
ナンバリング:N15A18	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			

授業内容	前期に履修した基礎栄養学1の内容を受けて食品学や生化学の分野に触れながら更に理解を深めていく。ま
授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	た、市販されている機能性表示食品などを例にとり、三大エネルギー産生栄養素やビタミン、ミネラルの役割について理解を深める。更に、時計栄養学や女性にとって重要なDOHaD研究など新しい栄養学の分野についても概説する。また、栄養士実力認定試験の過去問などにも触れる。
ション能力 C: 思考力・判断 力 D: 知識・理解	(授業目標) ◎C:栄養とは何か、その意義について理解することを目的とする。時に基礎栄養学1で学んだ内容を踏まえて 実際の我々の食生活において「栄養」がどのように活用され健康的な生活を送るために、栄養素の機能、役割 を科学的根拠に基づいて説明することができる。
E:技能・表現	○D:栄養士として活躍できる基礎知識を身に付ける。
授業計画	1ガイダンス「栄養」とは何か。生活習慣病と食事、栄養の関係。科学的根拠の重要性およびデータの読み方。
	2 栄養学史 栄養学に関わる様々な研究の歴史について。
	3 食物の摂取調節 (新しい栄養学) 摂食行動について。 時計栄養学について。
	4 食物の消化と吸収と栄養素の補給 消化と吸収の機構、消化器系の機能と消化吸収率について。
	5 エネルギー代謝 エネルギー代謝の測定方法について。
	スポーツ栄養学における運動とエネルギー代謝について。 6 糖質の栄養
	糖質の栄養学的特徴について。 栄養士実力認定試験の過去問解説
	7
	8 タンパク質の栄養 タンパク質の栄養学的特徴について。 栄養士実力認定試験の過去問解説
	9 栄養素の相互作用 糖質、脂質、タンパク質の相互作用について。
	DOHaD研究 (新しい栄養学) DOHaDとはDevelopmental Origins of Health and Disease の略語です。 特に妊婦、授乳婦に重要な栄養について。
	11 ビタミンの栄養 ビタミンの栄養学的特徴について。 栄養士実力認定試験の過去問解説
	12 ミネラルの栄養 ミネラルの栄養学的特徴について。
	栄養士実力認定試験の過去問解説 13 水分・電解質の代謝 水分・電解質の書要性について。
	体液についての理解と脱水症状について。  14 分子栄養学 (新しい栄養学)  オーダーメイド栄養学の可能性について。
	エピジェネティクス(栄養が遺伝子に影響すること)について。 15 まとめ 食生活と健康について考えるために基礎栄養学で学んだことの重要性を理解する。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>○C:栄養素が果たす身体へ機能、役割を食品の機能性と関連して科学的根拠に基づいて説明することができる。</li><li>また、学術的データ (グラフや表) などが読みとれるようにする。</li><li>○D:三大エネルギー産生栄養素やビタミン、ミネラルの身体への役割が説明できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:テキストの当該講義に対応する箇所を一読して予習する(約60分)。 事後学習:講義中に気になってことを専門書やネットなどで情報を深堀する。その際、ネットの情報の真偽につ

	いて確認する習慣をつける(約90分)
指導方法	授業は、基本パワーポイントを使用した講義形式で行う。また、授業中に疑問に思ったこと、興味を抱いたことはテキストの余白に書き込むように指導する。また、テキストに関連して深堀りすべき内容について別途プリントを配布する。フィードバックの仕方:授業の前後に質疑応答の時間を設ける。また、栄養士実力認定試験の過去問を用いて習熟度を測る。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	◎C:出席回数とレポート、定期テストの成績から総合的に評価する。 ○D:出席回数と定期テストの成績から総合的に評価する。 単位については、出席回数(10%)、レポート(20%)、定期テスト(70%)によって評価を行う。
テキスト	基礎栄養学 第4版 (栄養科学シリーズNEXT) 木戸 康博, 桑波田 雅士, 原田 永勝/編 (講談社)
参考書	基礎栄養学 第4版 (栄養科学イラストレイテッド) 田地 陽一/編 (羊土社)
履修上の注意	他の科目と関連付けて学習するようにして欲しい。特に解剖生理学、生化学、食品学の各分野や生活習慣病の 発症メカニズムやそこに関わる栄養素との関係などを復習したり調べたりすることで理解が深まる。また、機 能性表示食品などと関連付けて科学的な根拠に基づいて他者に説明できるようになることを目指して欲しい。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 臨床栄養学実習 授業コード: 3231 3232 3233 3234

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	2	1	食専:栄必修		
担当教員					
大久朋子					
ナンバリング: N25C23	実務家教員に	よる授業			
添付ファイル					

授業 特 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	治療食をよく理解し、献立作成をし、実際に調理ができるようになることを目標とする。経口摂取による食形態を中心に、治療食献立を個人で作成し、実際に調理実習を行い、試食をする。献立を作成するためには、疾患についての知識が必須であり、調理実習はグループで行なうのでコミュニケーションが必要である。ここでは、この一環の流れや、実際に患者の食事を作り、試食をして治療食の特色を学び取り、さらに何が必要であるかを指導する。 A:治療食の基礎、献立作成、調理方法を理解し、グループによる調理実習からチームワークと調理技術を身に付ける。  〇D:臨床栄養学で習う各疾患に対する食事療法の実際を学び、治療食の基礎を身に付ける。  ⑥E:代表的な疾患の治療食の献立作成、調理ができる。
授業計画	1 食事療法について、手指洗浄の仕方、献立の立て方、患者さんの要求すること 食事療法の必要性 献立の立て方 また、患者さんが病院食についてどのような要望があるかを 理解する。
	2,3 ミニ講義・一般治療食 展開食について 粥食の献立 基礎となる一般治療食(常食)をもとに粥食に展開することを身につけ、粥食の献立を作成す る。
	4,5 一般治療食(粥食) 調理実習 前回作成した一般常食(粥食)の調理実習を行ない、試食することから、粥食と普通食との違い を学ぶ。
	6,7 糖尿病食 献立作成 糖尿病の基本を理解し、糖尿病食品交換表の使い方を学び、糖尿病の献立を作成することを身に つける。
	8,9 腎臓食 献立作成 腎臓病食の基本を理解し、腎臓病食品交換表の使い方を学び、腎臓病の献立を作成することを身 につける。
	10,11 腎臓病食 調理実習 たんぱく質量の異なる治療食の実習を行ない、試食し、腎臓病食の特徴を学ぶ。」
	12,13   膵炎食 調理実習   脂質量の異なる治療食の実習を行ない、試食し、膵炎食の特徴を学ぶ。
	14,15 摂食・嚥下障害食 調理実習 摂食・嚥下障害食の実習を行ない、試食し、摂食・嚥下障害食の特徴を学ぶ。
	15
学習成果・ 到達目標・基準	A:治療食の基礎、献立作成、調理方法を理解し、グループによる調理実習からチームワークと調理技術を身に付けることから、協力し、コミュニケーションの重要性を学ぶ。 〇D:臨床栄養学で習う各疾患に対する食事療法の実際を学び、治療食の基礎を身に付けることから、栄養学の必要性と疾病についての知識を身につける。 ⑥E:代表的な疾患の治療食の献立作成、調理ができることから、実際に具体的な栄養療法を身につける。
事前・事後学習	事前学習:『臨床栄養学』で学んだ知識は必須。どのような手順で行なうべきか考えてくる。配膳するときの 食器具の配置や種類についても考え、絵に描いておくこと(45分)。 事後学習:治療食について献立表を見直したり、試食したときは感想を書いておくこと(45分)
指導方法	特別治療食献立の立て方、調理方法を指導する。また、献立に対し意見交換を行なう。 フィードバックの方法:実習後やメールにて質疑応答

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:治療食の基礎、献立作成、調理方法を理解し、グループによる調理実習からチームワークと調理技術を身に付ける:コミュニケーション性 D:臨床栄養学で習う各疾患に対する食事療法の実際を学び、治療食の基礎を身に付ける:疾病の治療食としての適切か E:代表的な疾患の治療食の献立作成、調理ができる:疾病の治療食としての適切か 実習科目のため筆記試験は行なわない。 授業への積極的な態度(出席・献立の正確性・献立への意見交換)50% 実習中の態度(協力度・できあがった料理への評価)50%
テキスト	・ 食品成分表 他科目で使用しているもの ・「糖尿病食事療法のための食品交換表」日本糖尿病学会編 文光堂 ・「腎臓病食品交換表」黒川清監修 医歯薬出版株式会社 ・ ビュジュアル治療食300 医歯薬出版
参考書	
履修上の注意	1:成分表、電卓を用意すること。携帯電話は使用禁止。 2:実習の時は衛生に注意する(爪を切る、髪の毛を防止から出さないこと)。 3:けがをしないように注意すること。 4:マニキュア、ピアス、イヤリング、指輪、腕時計の装着はしない。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: 臨床栄養学1 授業コード: 3211 3212 3213

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	食専:栄必修	
担当教員	·		•	
石田春代				
ナンバリング: N25C21	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

	T	
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	まっている。 り立ちについ (授業目標)	では、生活習慣病をはじめとする様々な疾病が社会問題となっており、栄養士に対する期待も高本科目では、病院栄養士の実務経験がある教員の講義により、栄養士に必要な各疾病の概要や成ての知識、および栄養・食事療法の基本的な在り方を習得する。 や成り立ちと、その栄養・食事療法の基礎知識を習得する。
ション能力 C: 思考力・判断 力	○A:主体的  ◎D:各疾患	、版が立りと、その不養、良事原法の盆暖が職を自得する。 に授業に参加し、疑問があるときは質問できる。 の特徴を説明できるとともに、栄養アセスメントができる。 の特徴に関連付けながら基本的な食事療法の在り方を説明できるとともに、具体的な方法を提案
D:知識・理解 E:技能・表現	できる。	
授業計画	1	ガイダンス、栄養・代謝・内分泌系疾患 ①肥満、るい痩 肥満、るい痩とはどのような状態か、理解する。
	2	栄養・代謝・内分泌系疾患② 糖尿病 糖尿病の成り立ちおよび合併症とその食事療法について理解する。
	3	栄養・代謝・内分泌系疾患③ 脂質異常症・痛風・高尿酸血症 脂質異常症、痛風、高尿酸血症の成り立ちとその食事療法について理解する。
	4	循環器系疾患(高血圧症、心疾患、脳血管疾患) 高血圧症、心疾患、脳血管疾患の成り立ちとその食事療法について理解する。
	5	栄養補給法、授業内テスト① 1~4回目までの講義を復習しておく。 栄養補給ルートとその適応症について理解する。
	6	消化器系疾患① 胃・腸疾患 胃・腸疾患の成り立ちとその食事療法について理解する。
	7	消化器系疾患② 肝臓病1 肝臓病の成り立ちについて理解する。
	8	消化器系疾患③ 肝臓病 2 肝臓病の食事療法について理解する。
	9	消化器系疾患④ 膵炎・胆石症 膵炎・胆石症の成り立ちとその食事療法について理解する。
	10	腎疾患① 、授業内テスト② 5~9回目までの講義を復習しておく。 腎疾患の成り立ちについて理解する。
	11	腎疾患の成り立らについて理解する。 腎疾患の食事療法について理解する。
	12	血液系疾患 血液系疾患の成り立ちとその食事療法について理解する。
	13	免疫・アレルギー疾患、授業内テスト③ 10~12回目までの講義を復習しておく。 免疫・アレルギー疾患の成り立ちとその食事療法について理解する。
	14	発表・アレルヤー疾患の成り立らとその良事療法について理解する。 骨疾患(ゲスト講師) 骨疾患の成り立ちとその食事療法について理解する。
	15	医療制度 医療制度について理解する。
学習成果・ 到達目標・基準	◎D: 各疾患	に授業に参加する の基本的な特徴を説明できる の特徴に関連付けながら基本的な食事療法の在り方を説明できる
事前・事後学習	事前学習:教事後学習:教	科書を読む(90分)。 科書、配布資料を見直し、課題に取り組む(90分)。
指導方法	講義は基本的 また、小テス フィードバッ	にパワーポイントを用い、適宜、DVD等、視聴覚教材を使用する。 トを実施する。 クの方法:課題や小テストにより理解度を測定し、適宜、対応する。質問については、個別対応
	する。	

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	A:受講態度等を参考にする D:定期考査および小テストにより評価する 定期考査60%、小テスト30%、受講態度(遅刻・欠席をしない、携帯いじり・居眠り・内職などをしない) 10%
テキスト	栄養科学シリーズNEXT 臨床栄養学概論 第2版 友竹博之・塚原丘美編 講談社
参考書	解剖生理学、基礎栄養学などの教科書、食品成分表、日本人の食事摂取基準2020年版、 その他、必要に応じて参考図書を紹介します。
履修上の注意	授業中における友人との雑談、携帯電話をいじることは禁止する。注意しても聞かない場合は、減点する。 解剖生理学や基礎栄養学などの科目で習得した知識をしっかりと整理しておくこと。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 臨床栄養学 2 授業コード: 3221

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2	2	食専:選択	
担当教員				
永井亜矢子				
ナンバリング:N25C22	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	糖尿病などの生活習慣病、心疾患、悪性新生物(がん)などの栄養ケアマネジメントについて、症例をもとに 理解を深める。また、最近のトピックスとなっている疾患をとりあげて解説する。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標) ◎D:臨床栄養学1で学んだことだけでなく、それぞれの疾患の栄養管理についてさらなる知識の拡充を行い、理解を深める。食事内容が発症に影響する疾患や、食事療法が必要な疾患について、その病態と栄養管理について説明できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 栄養管理の考え方 栄養ケアマネジメントの流れ、主観的・客観的指標を用いた栄養スクリーニングや栄養アセスメントについて学ぶ。
	2 代謝疾患の栄養管理① (グループワーク) 糖尿病、脂質異常症の症例について、栄養アセスメントを行い、栄養上の課題を考え、グループ ごとに発表する。
	3 代謝疾患の栄養管理② (グループワーク) 前回の症例について、栄養上の課題を解決する栄養ケア計画を考え、グループごとに発表する。
	4 代謝疾患の栄養管理③ 実際の糖尿病食事療法で取り入れられている血糖コントロール方法について、データに基づき解 説する。
	5 腎疾患の栄養管理① (グループワーク) 慢性腎臓病の症例について、栄養アセスメントを行い、栄養上の課題を考え、グループごとに発表する。
	6 腎疾患の栄養管理② (グループワーク) 前回の症例について、栄養上の課題を解決する栄養ケア計画を考え、グループごとに発表する。
	7 心疾患の栄養管理① (グループワーク) 動脈硬化、虚血性心疾患の症例について、栄養アセスメントを行い、栄養上の課題を考え、グ ループごとに発表する
	8 心疾患の栄養管理② (グループワーク) 前回の症例について、栄養上の課題を解決する栄養ケア計画を考え、グループごとに発表する。
	9 必要栄養量と栄養補給法 必要栄養量の算出方法、経腸栄養・静脈栄養の適応について学ぶ。
	10 高齢者の低栄養と関わる疾患・概念 フレイル、サルコペニア、摂食嚥下障害、認知症、褥瘡等について学ぶ。
	11   摂食嚥下障害の栄養管理① (グループワーク)     摂食嚥下障害の症例について、栄養アセスメントを行い、栄養上の課題を考え、グループごとに   発表する。
	12   摂食嚥下障害の栄養管理②(グループワーク)   前回の症例について、栄養上の課題を解決する栄養ケア計画を考え、グループごとに発表する。
	13 終末期医療、緩和医療   終末期医療、緩和医療について学ぶ。
	14 がんの栄養管理① (グループワーク) がんの症例について、栄養アセスメントを行い、栄養上の課題を考え、グループごとに発表する。
	15 がんの栄養管理② (グループワーク) 前回の症例について、栄養上の課題を解決する栄養ケア計画を考え、グループごとに発表する。
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:臨床栄養学1で学んだ様々な疾患に関して、栄養治療における知識向上を目指し、食事内容が発症に影響する疾患や、食事療法が必要な疾患について、その病態と栄養管理について理解する。
事前・事後学習	事前学習(90分): テキストの該当項目を読んでおくこと。 事前に症例プリントを配布した場合は、症例について調べておくこと。 事後学習(90分): 授業で配布したプリントやテキストなどを使用し、授業の復習をしておくこと。
指導方法	・講義はおもにパワーポイントを利用します。 ・教科書では勉強できない臨床に沿った内容や、社会で話題となっている内容についても勉強します。 ・理解不足等を認識した際には、積極的に質問してください。 ・フィードバックの仕方:①提出物等に対するフィードバックは授業内に行う②質疑には授業後に対応する

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:定期試験と授業態度・貢献度で評価します。 定期試験 80% 授業態度や貢献度 20%
テキスト	臨床栄養学1で使用したテキスト
参考書	
履修上の注意	・授業中に理解するように努め、不明点については積極的に質問してください。 ・各疾患の栄養ケアマネジメントについて、症例をもとに理解を深めます。グループごとに症例について考え、意見をまとめ、1~2分の発表をしてもらいますが、正誤は気にせずに発表してください。何をどう考えたかを大切にしたいと考えています。 ・グループワークの日は、症例について調べるために、各グループに1台パソコンを持参してください。(グループ決めは、初回授業で行います) ・履修者の理解度の程度等により、一部授業内容を変更する場合があります。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク

講義科目名称: 食品学 授業コード: 3111 3112 3113

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	2	食専:卒業必修、栄必修	
担当教員		·		
小島聖子				
ナンバリング:N14A11	実務家教員に	こよる授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	人間と食べ物の関わりという「食」の基礎について広く学びます。 食品の特性(成分組成やその化学構造、テクスチャー(触感)など)および機能(生体への働き)、食品の加工、調理、保存段階の食品成分間反応と、「保健機能食品」や「いわゆる健康食品」等についても学び、食品の扱い方や食品に対する知識を深めます。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	また、食品の歴史的変遷や食物連鎖、環境問題の面からも理解を深めます。 栄養士として必要な知識であり、栄養学や調理学を勉強する上でも基礎となる内容です。 (授業目標)
力 D:知識・理解 E:技能・表現	◎D:①食品中の成分について、その化学構造や機能を理解し、説明出来る。②食品の加工、調理、保存段階の食品成分間反応について理解し、説明出来る。③食品の機能について理解し、「保健機能食品」や「いわゆる健康食品」についての知識も習得する。
授業計画	1 ガイダンス・人間と食物
IXXII E	ガイダンス (講義内容、授業の進め方、成績評価等の説明) 食物連鎖、食料と環境問題、 食品と食物、栄養と栄養素、食品中の成分、食品の機能
	2 食品の分類と食品成分表、 食品中の成分1 水分 水分の機能、自由水と結合水、水分活性
	3 食品中の成分2 炭水化物-1 炭水化物の機能と分類(単糖、オリゴ糖)
	グルコースの構造
	4 食品中の成分2 炭水化物-2 炭水化物の分類(多糖、糖アルコール、食物繊維)   多糖の構造
	5 食品中の成分3 脂質-1
	脂質の機能と分類 脂肪酸の構造と分類
	6 食品中の成分3 脂質-2   必須脂肪酸、必須脂肪酸の代謝   油脂の化学的性質
	7   食品中の成分4 たんぱく質-1
	たんぱく質の機能 アミノ酸の構造と種類、性質 必須アミノ酸
	8 食品中の成分4 たんぱく質-2 たんぱく質の構造と分類、化学的性質(等電点沈殿など) たんぱく質の変性
	9 食品中の成分5 無機質 (ミネラル) 無機質 (ミネラル) の種類と機能 酸性・アルカリ性食品
	10 食品中の成分6 ビタミン ビタミンの分類と機能
	11食品中のし好成分色素・香り・味、 テクスチャー
	12   食品成分の変化1   (1) 酸化 (油脂、ビタミン)   (2) 加熱変化 (でんぷんの糊化、たんぱく質の熱変性など)
	13 食品成分の変化2 (3) 酵素による変化(酵素的褐変、うま味成分の変化など) (4) 成分間反応(アミノカルボニル反応など)
	(5) 微生物による変化(発酵、腐敗)
	14   食品中の生理機能成分   食品の機能   食品の機能   食品が機能の   では、 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	三次機能の評価方法と分類
	15 保健機能食品等について 栄養表示基準(栄養表示、強調表示) 特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品、特別用途食品、栄養機能食品、 健康食品、いわゆる健康食品
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:①食品中の成分について、その化学構造や機能について、教科書やプリントを見ながら説明出来る。② 食品の加工、調理、保存段階の食品成分間反応について、教科書やプリントを見ながら説明出来る。③食品の 機能について理解し、「保健機能食品」と「いわゆる健康食品」の違いを理解する。
	1

事前・事後学習	事前学習: 穴埋めプリントの穴に入る語句を、教科書を見ながら考える (90分程度) 事後学習: 教科書を熟読し、頭を整理しながらプリント内容を確認する (90分程度)
指導方法	1. 理解を深められるよう、各テーマごとに穴埋めプリントを配布し、テキストに従いパワーポイントを使い講義を行います。 プリントは予習出来るように、一週前に配布します。 2. 毎回授業の最初に小テストを行い、小テスト解説をしながら、前回の講義内容も簡単に復習し、新しい内容に入り理解を深めるようにします。 フィードバックの仕方:①小テストの実施・評価 ②小テストの解説 ③授業前後における質疑応答
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:食品中の成分の化学構造や機能、食品の加工、調理、保存段階の食品成分間反応、「保健機能食品」など について、基礎的な理解度を定期試験で評価する。
	定期試験(80%)、授業態度・小テスト(20%)により、総合的に評価する。
テキスト	わかりやすい食物と健康①食品とその成分 吉田勉監修 三共出版
参考書	五訂増補食品成分表
履修上の注意	食品学は広範囲です。予習・復習(事前・事後学習)を心掛けて下さい。 穴埋めプリントに語句を埋めたことだけで、理解出来たと安心せずに、理解が不十分であいまいな所などは、 そのままにしないで積極的に質問しましょう。授業に出席していても、他科目の課題をしていたり、居眠りしていては、理解出来るはずありません。授業に集中しましょう! 授業の中で解らないことや、最近の食に関するニュースや興味のあること等、何でも質問してみて下さい! きっと食品学が楽しくなると思います。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 食文化 授業コード: 3031

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2	2	食専:選択	
担当教員	·	•		
小川聖子				
ナンバリング: N12C03	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

添付ファイル		
	1	
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	さらに、中国  これらが日本	Lの特色を、地理、歴史、気候、社会的・文化的な側面から解説する。 国、韓国などの日本の隣国、フランスやイタリアなどに代表される欧米の食文化の歴史を検討し、 本の食文化へ与えている影響を学ぶ。 主目を集めているユネスコの無形文化遺産である「和食」について、その内容の詳細な解説と問題 る。
C:思考力・判断 力 D:知識・理解	食文化の理角の食について	解を通じて、食という身近なことへの学術的なアプローチの方法を身につける。さらに将来の日本 て思考を深める力を身につける。 関する情報を日々の暮らしの中で積極的に考えることができ、活用することができる。
E:技能・表現	○C:現代の	別する情報を日本の各分との中で積極的に考えることができ、活用することができる。 の食と、歴史上の食とを比較し、食の変遷の様子を述べることができる。 などをはじめとする資料や、具体的な食事の様子から、食文化について知識を深めることができ
授業計画	1	食文化とは何か。その成り立ちと特性について食事は、人間が生物として生命を維持するために必至の物である。そのため長らく、食が文化であるという考え方はなされてこなかった。食文化が学術として確立されたのは、今から50年ほど前に過ぎない。これらのことをふまえて、人間にとっての食文化とは何か、他の動物との違いについて、比較しながら考える。
	2	日本人と米 日本の食文化において、もっとも大きな影響を与えている食品は米である。米が重要視されるようになるまでの歴史的な背景について学び考える。また、食文化の記録や伝承は、ケの日である普段の食よりも、行事などのハレの日においてみられることが多い。米に関しても同様で、ハレの日の代表的な食品として餅がある。餅を用いた料理について日本各地の差を考え、その歴史的な背景を学ぶ。
	3	日本の行事食①一正月・桃の節句(プレゼンテーション) 江戸時代に確立された五節句は、現在の日本においても「行事食」として根付いている。行事食の第一回目として、行事食の成り立ちと、正月料理と春の七草、桃の節句などについて学ぶ。 正月に誰もが経験している「雑煮」について、自己の経験をまとめてレポートにする。 レポートを発表。
	4	日本の行事食② 一端午の節句・七夕・菊の節句一 同様に、端午の節句・七夕・菊の節句について学ぶ。
	5	和食の特徴とその成り立ちと歴史① 現在「和食」というカテゴリーに含まれる食事の特徴について、整理して考え学ぶ。
	6	和食の特徴とその成り立ちと歴史② 和食の元となった「本膳料理」「精進料理」「懐石」について、その特徴を一つずつ順を追って 学ぶ。特に「本膳料理」は、現在の日本料理のご飯とおかずの組み合わせ、一汁三菜の始まりが みえる。日本料理ならではの形の始まりを学ぶことで、現在の自分たちの食のルーツを知る。
	7	江戸の食文化 江戸時代の江戸は、世界一の人口密集地であり、知的レベルの高い都市であった。食に関しても独特の世界感があり、江戸の食文化が東日本全体へ伝播していった。「すし」「そば」「うなぎ」「天ぷら」のように現在の「和食」の代表的な料理が確立されたのもこのころである。江戸っ子の食とその特徴を学ぶ。 また、江戸時代に確立された庶民の食文化「会席」と「料亭」について学ぶ。
	8	日本料理のマナーと食文化 会席料理には、食事のマナーとして着席時の上座下座、器の扱いと箸使い、懐紙の使い方、など がある。それを踏まえて、楽しくおいしく食事をするための心遣いなどを学ぶ。
	9	嗜好品の発達 一和菓子を代表として一 嗜好品は、菓子、酒、茶など、生命の維持のためには不必要なものである。しかしながら、世界 の国々の中でこの嗜好品が存在しない国はないといってもよい。それはすなわち、人間が食に楽 しみを求め、食が人と人とを繋げるコミュニケーションツールであることに他ならない。おも に、和菓子の発達を中心に学んでゆく。
	10	沖縄の食文化 沖縄は歴史的に見ても、独特の経緯を持って日本の食文化に取り入れられていった。栄養学的にも興味深い一面を持つと同時に、近年では食の周辺の様々な問題を抱えている。琉球時代からの沖縄の食を学ぶことで、食文化が外的な要因で変遷する経過をたどる。
	11	韓国の食文化 日本の隣国である韓国の料理について、その特徴と成り立ちを学ぶ。日本は、有史からあらゆる 側面において中国文化の影響を大きく受けてきた。それらの大半は、隣国である韓国を通じてわ が国にもたらされた。現在、韓国と日本の食文化には共通点も相違点もみられる。韓国の食文化 を通じて、隣国の庶民文化の内容と特徴を学ぶ。
	12	中国の食文化 中国の食文化は、世界の食文化の中で最も古いものの一つで、その影響を受けた国はアジア全般

相違点などを学ぶ。 フランス料理とその食材 フランス料理は、ユネスコの無形文化遺産に食の分野では最初に登録された。その「美食文化」は、他国の文化を巧みに取り入れ、自国の食材と歴史的な背景の中で、文化として花開いたもの食をのる。それらにアジアの食文化と大きく異なる点が多い。とくに食材については、アラス国内での地域性が高く「地域の伝承料理」へのこだわりが見られる。これらについて学び、日本の食との相違を考える。 14 フランス料理のマナー 現在フランス料理のマナー現でラシス料理のマナー現でラシス料理のマナーについて、具体的に学び、社会人としてすぐに役立てるスキルとして身につける。 15 ユネスコ無形文化遺産としての「和食」について 「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実に対し盟人があるのかを学ぶ。また、将来に向けて自分たらが今後どのような意識を持ちつつ、食に接してゆく必要があるのか、考えてゆく。の伝統とは何かを示し、現実によりのようながよる。 〇 こ・食事が、文化としてどのように変鑑してきたかについて述べることができる。 ⑥ D: 文献や資料を目ら検索し、食文化について知識を採めることができる。 ② D: 文献や資料を目ら検索し、食文化について知識を採めることができる。 ③ D: 文献や資料を目ら検索し、食文化について知識を採めることができる。 ③ D: 文献や資料を目も検索し、食文化について知識を採めることができる。 ② D: 文本と、次回の講義内容に関する子智課題に取り組む。(90分程度) およった。次回の講義内容に関する子智課題に取り組む。(90分程度) お学習・発明、事物、テレビ、インターネット、地域の近れ報物などに記載されている食の情報をチェックす事後学習・興味のある食に関する子智課題に取り組む。(90分程度) おり、デースイント、DVDなど、毎回の検案内容に適して、資料をファイリングし、要約する。(90分程度) おり、デースイント、DVDなど、毎回の検案内容に適した規定資料をファイリンのし、表別の方は関係ので表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま		
フランス料理は、ユネスコの無形文化書産に食の分野では最初に登録された。その「美食文化」は、他国の文化を巧みに取り入れ、自国の食材と歴史的な背景の中で、文化として花開いたものである。それらはアジアの食文化と大きく異なる点が多い。とくに食材については、フランス国内での地域性が高く「地域の伝承料理」へのこだわりが見られる。これらについて学び、日本の食との相違を考える。  14 フランス料理のマナー 現在フランス料理は、世界的に見ても正式・公式の食事の際に用いられることが最も多い。フランス料理のマナーについて、具体的に学び、社会人としてすぐに役立てるスキルとして身につける。。  15 ユネスコ無形文化遺産としての「和食」について「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実にはどのような問題点があるのかを学ぶ。また、将来に向けて自分を放ったちが含食どのような意識を持ちつつ、食に接してゆく必要があるのか、考えてゆく。  学習成果・ 到達目標・基準 ○ C:食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。 ○ D:文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ○ D:文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ○ D:文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ○ D:文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ○ D:文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ○ できな、次回の議義内容に関して、資料をファイリングし、要約する。(90分程度)  指導方法 「パフーボイント、D V D など、毎回の授業内容に適した視覚資料を用いる。 「クィードバックの仕方:①教員が立業した資料をブリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およびコメント・して養養の質疑に答。 「大学内において発表を行い、レポートを提出する(20%) D:定期試験を行う(50%) D:定期試験を行う(50%) D:定期試験を行う(50%) C 技業内において発表を行い、レポートを提出する(20%) D:定期試験を行う(50%) I 定期試験を行う 「50%」 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		にわたると言える。我が国も例外ではない。中国の現在の食の事情を知り、我が国との共通点、 相違点などを学ぶ。
は、他国の文化を巧みに取り入れ、自国の食材と歴史的な背景の中で、文化として花開いたものである。それらはアジアの食文化と大きく異なる点が多い。とくに食材については、フランス国内での地域性が高く「地域の伝承料理」へのこだわりが見られる。これらについて学び、日本の食との相違を考える。  14 フランス料理のマナー現在フランス料理は、世界的に見ても正式・公式の食事の際に用いられることが最も多い。フランス料理のマナーについて、具体的に学び、社会人としてすぐに役立てるスキルとして身につける。  15 ユネスコ無形文化遺産としての「和食」について「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実にはどのような問題点があるのかを学ぶ。また、将来に向けて自分を訪が今後とのような意識を持ちつつ、会で表し、表でにしてがあるのか、考えてゆく。  本きが今後としてどのように変遷とすることができる。 ② C : 食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。② C : 食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。② D : 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ③ D : 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ② D : 文献や資料を自身を対し、食べについて知識を深めることができる。 ② T ・ ストンの遺養的容に関する情報に関して、資料をファイリングし、要約する。(90分程度)  指導方法  ボワーボイント、D V D など、毎回の授業内容に適した視覚資料を用いる。フィードバックの仕方:①教育が立案した資料をブリントし、配布を行う②レボート提出(学生)③評価およびコメント② 投業物ではいて発表を行い、レボートを提出する (20%) C : 定期試験を行う (50%) 配布資料をファイリングし、授業に健極的に参加する (20%) C : 定期試験を行う (50%) 配布資料をファイリングし、授業に健極的に参加すること。定期試験・レボートの内容との総合評価により判定する。  参考書  『三訂フードコーディネート論』 (公社) 日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社) 2013 『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館 『和食とは何か』 江原納予 熊倉功 思文閣出版 「おから自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分な理対。企中退出・私話・過度の店服りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。アクティブ・ラー ブセジテーション		13 フランス料理とその食材
14		は、他国の文化を巧みに取り入れ、自国の食材と歴史的な背景の中で、文化として花開いたものである。それらはアジアの食文化と大きく異なる点が多い。とくに食材については、フランス国内での地域性が高く「地域の伝承料理」へのこだわりが見られる。これらについて学び、日本の
現在フランス料理は、世界的に見ても正式・公式の食事の際に用いられることが最も多い。フランス料理のマナーについて、具体的に学び、社会人としてすぐに役立てるスキルとして身につける。  15 ユネスコ無形文化遺産としての「和食」について 「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実にはどのような問題点があるのかを学ぶ。また、特来に向けて自分たちが今後どのような意識を持ちつつ、食に接してゆく必要があるのか、考えてゆく。 学習成果・ 到達目標・基準 〇 に、食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。 ② D: 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ③ D: 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ③ D: 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ② D: 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ② D: 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ② D: 文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ② D: 文本や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ② 17 中ボソックの仕方:①教員が立案した資料をファイリングし、要約する。 (90分程度) 指導方法 グワーボイン、DV Dなど、毎回の授業内容に適した視覚資料を用いる。 フィードバックの仕方:①教員が立案した資料をブリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およびメント・例授業後の質疑応答  不とスメント・ 成績評価の方法・ 基準		
		14 フランス料理のマナー
「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実にはどのような問題点があるのかを学ぶ。また、将来に向けて自分をおした。な意識を持ちつつ、食に接してゆく必要があるのか、考えてゆく。 学習成果・ 到達目標・基準 ② C :食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。 ③ D :文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ③ D :文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ④ D :文献やの音を自検索し、食文化について知識を深めることができる。 ⑤ D : 文献やるフィント、D V D など、4 回の授業に関して、資料をファノリングし、要約する。(90分程度) 指導方法  「プローポイント、D V D など、毎回の授業内容に適した視覚資料を用いる。 フィードバックの仕方:①教員が立案した資料をブリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およびコメント・の機能で答の質疑に答 アセスメント・成績評価の方法・基準  「スリーボイント、D V D など、養業態度を評価する(30%)  「と 授業内において発表を行い、レポートを提出する(20%)  「定期試験を行う(50%) 配定対対なで変した資料をファイリングしてデキストとし、予習復習する。 「日本料理の歴史」 熊倉功 吉川弘文館 「日本料理の歴史」 熊倉力 吉川弘文館 「日本料理の歴史」 熊倉力 自力自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 違文・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。		ンス料理のマナーについて、具体的に学び、社会人としてすぐに役立てるスキルとして身につけ
「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実にはどのような問題点があるのかを学ぶ。また、将来に向けて自分をおした。な意識を持ちつつ、食に接してゆく必要があるのか、考えてゆく。 学習成果・ 到達目標・基準 ② C :食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。 ③ D :文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ③ D :文献や資料を自ら検索し、食文化について知識を深めることができる。 ④ D :文献やの音を自検索し、食文化について知識を深めることができる。 ⑤ D : 文献やるフィント、D V D など、4 回の授業に関して、資料をファノリングし、要約する。(90分程度) 指導方法  「プローポイント、D V D など、毎回の授業内容に適した視覚資料を用いる。 フィードバックの仕方:①教員が立案した資料をブリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およびコメント・の機能で答の質疑に答 アセスメント・成績評価の方法・基準  「スリーボイント、D V D など、養業態度を評価する(30%)  「と 授業内において発表を行い、レポートを提出する(20%)  「定期試験を行う(50%) 配定対対なで変した資料をファイリングしてデキストとし、予習復習する。 「日本料理の歴史」 熊倉功 吉川弘文館 「日本料理の歴史」 熊倉力 吉川弘文館 「日本料理の歴史」 熊倉力 自力自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 違文・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。		15 ユネスコ無形文化遺産としての「和食」について
到達目標・基準		「和食」は、2013年12月、ユネスコの世界無形文化遺産に登録された。この内容を検討し、和食の伝統とは何かを示し、現実にはどのような問題点があるのかを学ぶ。また、将来に向けて自分
る。また、次回の講義内容に関する予習課題に取り組む。(90分程度) 事後学習:興味のある食に関する情報に関して、資料をファイリングし、要約する。(90分程度) 指導方法  パワーポイント、DVDなど、毎回の授業内容に適した視覚資料を用いる。 フィードバックの仕方:①教員が立案した資料をプリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およびコメント①授業後の質疑応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準  A:毎回の授業における授業態度を評価する(30%) C:授業内において発表を行い、レポートを提出する(20%) D:定期試験を行う(50%) 配布資料をファイリングし、授業に積極的に参加すること。定期試験・レポートの内容との総合評価により判定する。  テキスト  授業時に、教員が作成したプリントを配布する。これを保存しファイリングしてテキストとし、予習復習する。  『三訂フードコーディネート論』(公社)日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社)2013 『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館『和食とは何か』 江原絢子 熊倉功 思文閣出版  履修上の注意  普段から、自分自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。 本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 遅刻・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。 アクティブ・ラー プレゼンテーション	学習成果・ 到達目標・基準	○C:食事が、文化としてどのように変遷してきたかについて述べることができる。
フィードバックの仕方:①教員が立案した資料をプリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およびコメント④授業後の質疑応答 アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	事前・事後学習	る。また、次回の講義内容に関する予習課題に取り組む。(90分程度)
成績評価の方法・ 基準  C:授業内において発表を行い、レポートを提出する(20%)  D:定期試験を行う(50%) 配布資料をファイリングし、授業に積極的に参加すること。定期試験・レポートの内容との総合評価により判定する。  テキスト  授業時に、教員が作成したプリントを配布する。これを保存しファイリングしてテキストとし、予習復習する。  参考書  『三訂フードコーディネート論』(公社)日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社)2013 『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館 『和食とは何か』 江原絢子 熊倉功 思文閣出版  静段から、自分自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。 本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 遅刻・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。  アクティブ・ラー  プレゼンテーション	指導方法	フィードバックの仕方:①教員が立案した資料をプリントし、配布を行う②レポート提出(学生)③評価およ
定する。  テキスト 授業時に、教員が作成したプリントを配布する。これを保存しファイリングしてテキストとし、予習復習する。  参考書 『三訂フードコーディネート論』(公社)日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社) 2013 『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館 『和食とは何か』 江原絢子 熊倉功 思文閣出版  で移りら、自分自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。 本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 遅刻・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。  アクティブ・ラー プレゼンテーション	アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:授業内において発表を行い、レポートを提出する (20%) D:定期試験を行う (50%)
る。  参考書  『三訂フードコーディネート論』(公社)日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社) 2013 『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館 『和食とは何か』 江原絢子 熊倉功 思文閣出版  普段から、自分自身の食べている食品や料理について、興味や関心を持つように心がける。 本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 遅刻・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。  アクティブ・ラー  プレゼンテーション		
『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館 『和食とは何か』 江原絢子 熊倉功 思文閣出版 履修上の注意	テキスト	
本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。 遅刻・途中退出・私語・過度の居眠りなどは、授業の妨げになるので慎むこと。 アクティブ・ラー プレゼンテーション	参考書	『日本料理の歴史』 熊倉功 吉川弘文館
	履修上の注意	本学図書館にある、単行本・雑誌・辞書などで、食文化の授業中に習得したこと、疑問点などを調べ、自分なりに考察できるようにしておく。
	アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: Freshman English (R/W): Basic (T) 授業コード: 2043

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	国専:必修	
担当教員	•			
山田麻貴子				
ナンバリング: E12A04	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	この授業では、英語運用力、特にリーディングとライティングの基礎を強固なものにすることを目的とする。 英文法および英語構文の重要事項を確認し、様々な問題演習を行うことにより、英語基礎力の向上を目指す。 また、短いエッセイ文の読解を通して、正確に英文を読み取る技能だけでなく実践的なライティングスキルの習得も目指す。
ション能力 C: 思考力・判断 力 D: 知識・理解	(授業目標) ○D: 様々なトピックの英語で書かれた文章を読み、その内容を正確に理解することができる。 ◎E: 授業で学んだ語彙や表現を使って、90語程度の英文で自分の意図を明確に表現することができる。
E:技能・表現	
授業計画	1 オリエンテーション 授業の進め方やテキストについて概説する。英語学習の目標を各自で設定し、目標達成のために 何をすべきかを把握する。
	2 Unit 1 文の要素と基本5文型① 5 文型について理解する。関連例文を通して内容を理解し、問題演習と回答のアウトプットを通して知識の定着を図る。
	3 Unit 1 文の要素と基本 5 文型②(ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめて発表)
	前回に引き続き、5文型に関する問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をする。エッセイ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
	4 Unit 3 動詞の時制①
	5 Unit 3 動詞の時制② (ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめ発表)
	前回に引き続き、動詞の時制に関する問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練を する。エッセイ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
	6 Unit 8 不定詞① 不定詞について理解する。関連例文を通して内容を理解し、問題演習と回答のアウトプットを通して知識の定着を図る。
	7 Unit 8 不定詞② (ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめ発表) 前回に引き続き、不定詞に関する問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をす る。エッセイ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
	8 Unit 9 分詞① 分詞について理解する。関連例文を通して内容を理解し、問題演習と回答のアウトプットを通して知識の定着を図る。
	9 Unit 9 分詞② (ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめ発表) 前回に引き続き、分詞に関する問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をする。 エッセイ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
	10 Unit 11 接続詞① 接続詞① 接続詞について理解する。関連例文を通して内容を理解し、問題演習と回答のアウトプットを通して知識の定着を図る。
	11 Unit 11 接続詞②(ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめ発表)   前回に引き続き、接続詞に関する問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をする。エッセイ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
	12 Unit 12 関係詞①   関係詞①   関係詞について理解する。関連例文を通して内容を理解し、問題演習と回答のアウトプットを通して知識の定着を図る。
	13 Unit 12 関係詞②(ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめ発表) 前回に引き続き、関係詞に関する問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をす る。エッセイ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
	14 Unit 13 前置詞 (ペアまたはグループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表) 前置詞について理解し、問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をする。エッセ
	イ文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。 Unit 14 比較 (ペアまたはグループワーク: エッセイの内容をグループでまとめ発表)
W 77 D 77	比較について理解し、問題演習を行う。短いエッセイ文章を使って精読の訓練をする。エッセイ 文章の中の語彙や表現を使いライティングを行う。
学習成果・ 到達目標・基準	○D: 英語の構造と品詞の概念について理解している。 ◎E: 身近な話題についての文章を55語程度の英語で書くことができる。
事前・事後学習	事前学習: 文法チェックポイントを読み、例文で確認する。英文中の知らない語彙を調べる(45分) 事後学習: 間違えた問題を見直す。知らない語彙をまとめておき、英文の音読をおこなう(45分)

指導方法	例文を確認しながら文法チェックポイントを解説する。様々な問題形式の演習とアウトプットを通して学んだ 知識の定着を図る。また、英語で書かれたエッセイを精読し、英文中の文法や表現を使ってライティングを行 う。 フィードバックの方法:①小テストの実施 ②授業中の質疑応答 ③ライティング課題の添削とコメント
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul> <li>○D: 授業貢献度と統一単語テストの成績で評価する。</li> <li>○E: ライティング課題の完成度、小テストと定期試験の成績で評価する。</li> <li>授業への貢献度 20% 小テスト 15% 統一単語テスト 20% ライティング課題 15% 定期試験 30%</li> </ul>
テキスト	日高正司,三幣友行,Bruce Miller,Steady Steps(『英文法から確かな一歩』),朝日出版社,2018. 公式TOEIC Listening & Reading 500+,国際ビジネスコミュニケーション協会,2022.
参考書	授業中に指示する。
履修上の注意	授業には必ず英和辞書を持参すること。辞書アプリや翻訳アプリをはじめ、携帯電話やスマートフォンの使用 は認めない。ペアやグループでの演習を多く行うので、積極的に授業に参加すること。
アクティブ・ラー ニング	ペアワーク、グループワーク

講義科目名称: Freshman English (R/W): Intermediate (T) 授業コード: 2053

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	国専:必修	
担当教員				
山田麻貴子				
ナンバリング: E12A05	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	この授業では、英語運用力、特にリーディングとライティングの基礎力を養うことを目的とする。文化、社会、科学などの多岐にわたるテーマについて英語で書かれた文章を読み、英語の語彙力および読解力の向上を図る。また、様々な場面で使用される重要表現を学び、実用的かつ実践的なライティングスキルを習得する。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	(授業目標) ○D: 様々なトピックの英語で書かれた文章を読み、その内容を正確に理解することができる。 ◎E: 授業で学んだ語彙や表現を使って、100語程度の英文で自分の意図を明確に表現することができる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 オリエンテーション 授業の進め方とテキストの説明を行う。
	2 Unit 1 A Piece of History in Your Closet (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表)
	英文の重要語彙の確認を行う。主題文について学ぶ。パッセージの概要を理解し、設問に取り組む。
	Unit 1 A Piece of History in Your Closet (ペアワーク:ペアで英文を精読する) 英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。
	Unit 2 Birth Order among Siblings (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表)
	英文の重要語彙の確認を行う。事実と意見について学ぶ。パッセージの英文の概要を理解し、設問に取り組む。  Unit 2 Birth Order among Siblings(ペアワーク:ペアで英文を精読する)
	英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。
	6 Unit 3 The Origin of Basketball (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表) 英文の重要語彙の確認を行う。具体例の示され方について学ぶ。パッセージの英文の概要を理解
	し、設問に取り組む。  Unit 3 The Origin of Basketball (ペアワーク:ペアで英文を精読する)
	英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。 Unit 4 Table Manners (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表)
	英文の重要語彙の確認を行う。Skimmingについて学ぶ。パッセージの英文の概要を理解し、設問に取り組む。
	9 Unit 4 Table Manners (ペアワーク:ペアで英文を精読する) 英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。
	10 Unit 5 Music Beats (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表) 英文の重要語彙の確認を行う。Scanningについて学ぶ。パッセージの英文の概要を理解し、設問 に取り組む。
	Unit 5 Music Beats (ペアワーク:ペアで英文を精読する) 英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。
	Unit 6 Amazing Koalas (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表) 英文の重要語彙の確認を行う。時系列の表現について学ぶ。パッセージの英文の概要を理解し、 設問に取り組む。
	Unit 6 Amazing Koalas(ペアワーク:ペアで英文を精読する) 英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。
	Unit 7 Coffee and Healthy Life (グループワーク: パッセージの内容をグループでまとめ発表) 英文の重要語彙の確認を行う。比較と対比について学ぶ。パッセージの英文の概要を理解し、設 問に取り組む。
	Unit 7 Coffee and Healthy Life (ペアワーク:ペアで英文を精読する) 英文を精読し、文法と語彙の確認を行う。英文のテーマについて自分の意見を英語で書く。
学習成果・ 到達目標・基準	○D:一定のテーマについて書かれた英語の文章の構成(主題文や指示文など)を理解することができる。 ○E:一定のテーマについて60語程度の英語の文章を書くことができる。
事前・事後学習	事前学習: 英文中の知らない語彙を調べ、テキストの設問に取り組む (45分) 事後学習: 文法を復習し、重要語彙をまとめておく。英文の音読を行う (45分)
指導方法	一定のテーマに関して英語で書かれた文章を精読し、文中の重要語彙や表現、文法の確認を行う。また、学ん だ表現や文法を使ってライティングを行う。
	1

	フィードバックの方法:①小テストの実施 ②授業中の質疑応答 ③ライティング課題の添削とコメント
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D: 授業貢献度と統一単語テストの成績で評価する。 ◎E: ライティング課題の完成度、小テストと定期試験の成績で評価する。
	授業への貢献度 20% 小テスト 15% 統一単語テスト 20% ライティング課題 15% 定期試験 30%
テキスト	佐藤明彦, Valerie Tidwell, Reading Success 2, 成美堂, 2017. 公式TOEIC Listening & Reading 500+, 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2022.
参考書	授業中に指示する。
履修上の注意	授業には必ず英和辞書を持参すること。辞書アプリや翻訳アプリをはじめ、携帯電話やスマートフォンの使用 は認めない。ペアやグループでの演習を多く行うので、積極的に授業に参加すること。
アクティブ・ラー ニング	ペアワーク、グループワーク

講義科目名称: Teaching English to Children 3 授業コード: 2831

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	国専:選択必修
担当教員			
松井恵美子			
ナンバリング: E32B16	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	としている。	児童英語講師や英語指導補助員を目指す学生にとって必要な知識や技術を身につけることを目標 実際に小学校の外国語活動で使用されているテキストを用い、教育指導案作成方法や授業運営方 ぶ。また英語の絵本の読み聞かせについても学ぶ。補助員を目指す学生は実地体験を行う。
D : コミューケー ション能力 C : 思考力・判断 力	○C:児童対象 ◎E:自然な英	その授業の有効的な進め方を的確に判断できる思考力を養う。 三語表現、正しい発音、イントネーションで教室英語を使うことができる。
D:知識・理解 E:技能・表現		
授業計画	1	オリエンテーション 授業の進め方について概説する。
	2	世界のいろいろなことばでのあいさつ表現の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表) 世界の挨拶表現やお互いに名前を伝え合うことを指導する方法を学ぶ。
	3	英語の挨拶表現の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し 発表)
		感情やジェスチャーの大切さや状態を尋ねる表現を指導する方法を学ぶ。
	4	数え方の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表) 1から20までの数の言い方や数の尋ね方を指導する方法を学ぶ。
	5	好みを尋ねる表現の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討 し発表)
		好みを表したり、好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現を指導する方法を学ぶ。
	6	自分の好みを答える表現の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表)
		何が好きかを尋ねたり答えたりする表現を指導する方法を学ぶ。
	7	アルファベットの指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表)
		アルファベットとその読み方を指導する方法を学ぶ。
	8	欲しいものを尋ねたり答えたりする表現の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表) 形の言い方や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を指導する方法を学ぶ。
	9	身の回りのものの言い方や何かを尋ねる表現の指導法 (グループワーク、プレゼンテーション:
		グループで指導方法を検討し発表) 身の回りのものの言い方やあるものが何かを尋ねたり答えたりする表現を指導する方法を学ぶ。
	10	絵本を使った指導 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表) 日本語と英語の音声やリズムの違いに気づかせ、誰かと尋ねたり答えたりする表現を指導する方 法を学ぶ。
	11	遊びの表現の指導 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表) さまざまな動作、遊びや天気の言い方、遊びに誘う表現を指導する方法を学ぶ。
	12	曜日の言い方や尋ね方の指導 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表)
		曜日の言い方や、自分の好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現を指導する方法を学ぶ。
	13	時刻や生活時間の表現の指導 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで指導方法を検討し発表) 時刻や生活時間の言い方や尋ね方、自分の好きな時間について伝える表現を指導する方法を学
	14	持ち物を尋ねたり答えたりする表現の指導 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで 指導方法を検討し発表) 文房具などの学校で使うものや、持ち物を尋ねたり答えたりする表現を指導する方法を学ぶ。
	15	
	15	自分の好きな場所の案内や紹介表現の指導 (グループワーク、プレゼンテーション: グループで 指導方法を検討し発表) 教科名や教室名の言い方、自分の気に入っている校内の場所に案内したりその場所について伝え
		る表現を指導する方法を学ぶ。
学習成果・ 到達目標・基準		、児童英語教育の基礎とその具体的な実践方法を学ぶことで、将来子供に英語を教える際に留意 ける点についてきちんと理解し、効果的な授業運営方法を身につける。また、子供に英語を教え

	るためには確実な英語力が要求されるため、自分自身の英語力を磨く必要がある。
	○C:児童英語の授業において、相手の年齢に応じて効果的に授業を進めることができる。 ◎E:簡単な絵本を、正しい発音、イントネーションで読み聞かせができる。
事前・事後学習	事前学習:対象となっている教科書のユニットの予習を行い、分からない語句は事前に辞書で調べておくこと。 (30分) 事後学習:単語の復習ならびに指示された課題に取り組むこと。 (60分)
指導方法	授業の初めに、前回の授業内容に関する復習小テストを実施する。その後、子供に英語を教える際に必要な英語表現を学び、問題演習を通して知識の定着を図る。また、英語のアクティビティ、ゲーム、歌などを体験し、英語教育指導法の基礎を学ぶ。フィードバックの方法: ①小テストの実施と採点評価、②リアクションペーパーにコメントを記載し返却、③採点評価やコメントに関する質疑対応
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○C:授業内の発表の成果および定期試験の成績で評価する。 ◎E:授業内発表の完成度で評価する。 授業貢献度、課題、プレゼンテーション 35% 小テスト 30% 模擬授業 35%
テキスト	New Horizon Elementary 5, New Horizon Elementary 6, New Horizon Elementary Picture Dictionary ,東京書籍 2020年 その他英語の歌や、塗り絵、ゲーム、工作などのアクティビティのプリントを配布する。
参考書	授業の際に指示する。 本学の図書館にもたくさん英語の絵本があるので、積極的に活用することを推奨する。
履修上の注意	テキストや辞書等の忘れ物も授業への取り組みの妨げとなるので、度重なる場合は減点対象とする。小学校英 語指導補助員資格を取得予定の学生は近隣小学校への実地体験も必要となる。(コロナ禍予定変更の可能性あり)
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: Sophomore English (R/W): Basic (S) 授業コード: 2082

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	1	国専:必修	
担当教員				
松井恵美子				
ナンバリング: E22A08	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムリーコン・カー B:コン能力 と:思考力・判断	とで文章に慣 テーマで批判 ティスや単語 (授業目標) 〇D:日常的	語でのコミュニケーション力、特に読むことと書くことの基礎を学ぶ授業です。たくさん読むこれ、書く練習をして行きます。実際に使える英語表現力を身につけられるよう、学生に身近な的思考力を身につけながら読む力、書く力を養って行きます。また毎回のライティングプラクテストで単語力を身につけて行きます。 は場面、身近なテーマで使用する重要な単語やフレーズ、慣用表現を網羅的に習得することがで本人と外国人との国の違いによって生じる意見の相違を学び、異文化理解を深める。一定のテー
力 D:知識・理解 E:技能・表現	マについての	知識を深める。 学んだテーマ、日常的なトピックについて250 words程度の文章を書くことができる。
授業計画	1	オリエンテーション 授業概略説明、ライティングプラクティスについて
	2	Unit 1: The Sentence and the Paragraph (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Stimulating Ideas
	3	Unit 1: The Sentence and the Paragraph(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Developing a Paragraph
	4	Unit 1: The Sentence and the Paragraph(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Unity and Coherence
	5	Unit 1: The Sentence and the Paragraph(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Editing/Timed Writing
	6	Unit 2: Descriptive Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Stimulating Ideas
	7	Unit 2: Descriptive Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Brainstorming and Outlining
	8	Unit 2: Descriptive Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Developing Your Ideas Editing/Stimulating Ideas
	9	Unit 2: Descriptive Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Editing/ Timed Writing
	10	Unit 3: Example Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Stimulating Ideas
	11	Unit 3: Example Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Brainstorming and Outlining
	12	Unit 3: Example Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Developing Your Ideas
	13	Unit 3: Example Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Editing/Timed Writing
	14	Reading and Writing Workshop 1(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Book Report
	15	Reading and Writing Workshop 2(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Book Report
学習成果・ 到達目標・基準	とができる。	な場面、身近なテーマで使用する重要な単語やフレーズ、慣用表現を網羅的に習得し使用するこ 学んだテーマ、日常的なトピックについて150 words程度の文章を書くことができる。
事前・事後学習	内のライティ	業時に出された指示に従い行うこと。授業内で扱う単語や文法の予習をあらかじめ調べる。授業 ングプラクティス用の原稿の準備をする。(45分) 業内で行ったリーディングの復習、単語テストやフレーズの復習を実施するのでその準備を行
指導方法	ますが、時に	と、書くことに慣れるため、たくさん読んでたくさん書くことをします。授業は原則英語で行い 日本語でも指導をします。単語力をつけることが、英語力アップのためにはとても大切なので、 テストをします。また重要文法事項も復習して行きます。ディスカッション、グループワークを

	積極的に行います。  授業課題のフィードバックの方法:①単語テスト ②授業後における質疑対応 ③毎回行う自己評価シートで  の振り返りに個別に対応する。④ライティングの課題
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D:授業への貢献度、統一単語テスト、プレゼンテーションで評価します。 ◎E:ライティング課題、小テスト、定期試験で評価します。
	授業への貢献度 20% 小テスト 15% 統一単語テスト 20% ライティング課題 15% 定期試験 30%
テキスト	Effective Academic Writing. Alice Savage, Masoud Shafiei, Second Edition, Oxford University Press, 2012
参考書	基本を学び構成力を養う英語ライティングルールブック テイエス企画
履修上の注意	毎回の授業で分からないところがあったら、その場ですぐに質問すること。また、分からない単語は事前に辞書で確認しましょう。ミスを恐れずに積極的に英語を使ってください。なお、毎回授業には必ず辞書を持参すること。毎回のライティングプラクティス用の原稿は必ず準備をしましょう。 課題の中にオンライン課題もあります。
アクティブ・ラー ニング	ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション

講義科目名称: Sophomore English (R/W): Intermediate (S) 授業コード: 2092

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2	1	国専:必修	
担当教員				
松井恵美子				
ナンバリング: E22A09	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業 大 で で で で で で で で で で で で で	この授業は英語でのコミュニケーション力、特に読むことと書くことの基礎を学ぶ授業です。たくさん読むことで文章に慣れ、書く練習をして行きます。実際に使える英語表現力を身につけられるよう、学生に身近なテーマで批判的思考力を身につけながら読む力、書く力を養って行きます。いくつかのライティングのテキストスタイルも学びます。また毎回のライティングプラクティスや単語テストで単語力を身につけて行きます。(授業目標) 〇D:日常的な場面、身近なテーマで使用する重要な単語やフレーズ、慣用表現を網羅的に習得することができる。また日本人と外国人との国の違いによって生じる意見の相違を学び、異文化理解を深める。一定のテーマについての知識を深める。
<ul><li>E:技能・表現</li><li>授業計画</li></ul>	1 Unit 4: Process Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション)
[大米川西	Stimulating Ideas
	2 Unit 4: Process Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Brainstorming and Outlining
	Unit 4: Process Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Developing Your Ideas
	4 Unit 4: Process Paragraphs (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Editing/Time Writing
	5 Unit 5: Narrative Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Stimulating Ideas
	Unit 5: Narrative Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Brainstorming and Outlining
	7 Unit 5: Narrative Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Developing Your Ideas
	Unit 5: Narrative Paragraphs(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Editing/Time Writing
	9 Unit 6: Urban Studies(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Stimulating Ideas
	Unit 6: Urban Studies (ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Brainstorming and Outlining
	Unit 6: Urban Studies(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Developing Your Ideas
	12 Unit 6: Urban Studies(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Editing/Time Writing
	Reading and Writing Workship 1(ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション) Writing: Summarizing
	Reading and Writing Workshop 2 (グループワーク、ディスカッション) Writing: Lunch Box Activity
	Reading and Writing Workshop 3 Writing and Sharing: Lunch Box Activity
学習成果・ 到達目標・基準	○D:日常的な場面、身近なテーマで使用する重要な単語やフレーズ、慣用表現を網羅的に習得し使用することができる。 ⑥E:授業で学んだテーマ、日常的なトピックについて 210 words程度の文章を書くことができる。
事前・事後学習	事前学習:授業時に出された指示に従い行うこと。授業内で扱う単語や文法の予習をあらかじめ調べる。授業内のライティングプラクティス用の原稿の準備をする。新聞を読むこと (45分) 事後学習:授業内で行ったリーディングの復習、単語テストやフレーズの復習を実施するのでその準備を行う。 (45分)
指導方法	英語で読むこと、書くことに慣れるため、たくさん読んでたくさん書くことをします。授業は原則英語で行いますが、時に日本語でも指導をします。単語力をつけることが、英語力アップのためにはとても大切なので、 ほぼ毎回単語テストをします。また重要文法事項も復習して行きます。スピーチ、ディスカッション、グルー プワークを積極的に行います。
	授業課題のフィードバックの方法:①単語テスト ②授業後における質疑対応 ③毎回行う自己評価シートでの振り返りに個別に対応する。④ライティングの課題

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D:授業への貢献度、統一単語テスト、プレゼンテーションで評価します。 ◎E:ライティング課題、小テスト、定期試験で評価します。
	授業への貢献度 20%
	小テスト 15%
	TOEICテスト 20%
	ライティング課題 15%
	定期試験 30%
テキスト	Effective Academic Writing. Alice Savage, Masoud Shafiei, Second Edition, Oxford University Press, 2012
参考書	基本を学び構成力を養う英語ライティングルールブック テイエス企画
履修上の注意	毎回の授業で分からないところがあったら、その場ですぐに質問すること。また、分からない単語は事前に辞書で確認しましょう。ミスを恐れずに積極的に英語を使ってください。なお、毎回授業には必ず辞書を持参すること。毎回のライティングプラクティス用の原稿は必ず準備をしましょう。
アクティブ・ラー ニング	ペアワーク、グループワーク、グループディスカッション

講義科目名称: Introduction to English Language 授業コード: 2131

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	国専:選択
担当教員	·	·	
松井恵美子			
ナンバリング: E12C13	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容	利達が善段何多	- 気なく使っていることばは人間の本質に深くかかわっていることから、ことばを学ぶことは人間
授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	の本質を探る 語のしくみを 論理的に思考 (授業目標)	ことになります。この授業では英語ということばをさまざまな側面から考察することにより、英 既観します。また、言語事象の中にある問題を発見しその解決に至る道筋を学ぶことを通して、 する力を養います。
ション能力 C: 思考力・判断 力	○C:英語にお ○D:英語の音	3ける言語事象を考察し、その中に問題を発見して解決方法を提示することができる。 韻的、形態的、統語的特徴について理解し、説明することができる。
D:知識・理解 E:技能・表現		
授業計画	1	英語学とは この授業の概要や進め方について理解する。また英語学とはどのような学問であるかを学ぶ。
	2	音声学 (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の子音と母音の特徴について学ぶ。また私達がどのような身体の部位を使って英語の言語音 を発しているかを理解する。また日本語の言語音との違いを理解する。
	3	音韻論① (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の音と音素について学ぶ。また英語における音の変化(同化や異化、脱落)について理解する。
	4	音韻論② (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の音の単位 (音節) と日本語の音の単位 (モーラ) の違いを理解する。また英語のアクセント (強強勢と弱強勢) やリズムについて学ぶ。
	5	形態論① (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 語の構成要素である形態素や接辞について学ぶ。
	6	形態論② (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 語の構造や派生の条件について学ぶ。
	7	形態論③ (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 複合語や派生語の構造について学ぶ。
	8	統語論① (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 単語から文ができるしくみについて学ぶ。
	9	統語論②(グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の句構造について学ぶ。
	10	統語論③(グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の単文の構造とその派生について学ぶ。
	11	統語論④ (グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の複文とその派生について学ぶ。
	12	意味論①(グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) ことばの意味とことばによって伝えられる意味について理解する。
	13	意味論②(グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の文構造と意味との関係を理解する。また英語の文(章)における情報構造について学ぶ。
	14	言語習得(グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 子どもが母国語をどのように習得するかを理解する。また第二言語習得との共通点や相違点を理解し、第二言語習得研究を活かした英語学習法について学ぶ。
	15	英語における諸問題(グループワーク:ペアまたはグループで与えられたトピックについて話し合う) 英語の歴史やバリエーション、社会とことばのかかわりについて学ぶ。
W 777 D H	0 ~ 11	
学習成果・ 到達目標・基準	○C:英語の語 ◎D:英語と日	や句、文の構造と派生を示すことができる。 本語における音韻的、形態的、統語的な違いをそれぞれ3つ挙げることができる。
事前・事後学習		定されたテキストの箇所を読み、分からない用語を調べる。(90分) 業の中で扱った内容に関して振り返りを行い、理解を深める。(90分)
指導方法	フィードバッ	通して理解を深めていく。理解度を図るために適宜小テストを実施し、課題の提出を求める。 クの方法: ①リアクションペーパーにコメントを記載し返却、②提出した課題にコメントを記載 題や小テストを返却後に採点やコメントに関する質疑対応
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準		や課題で評価する。や課題、定期試験で評価する。

	授業への貢献度・小テスト・課題 40% 定期試験 60%
テキスト	長谷川瑞穂編著,『はじめての英語学』,研究社,2006.
参考書	①高橋勝忠, 『英語学を学ぼう―英語学の知見を英語学習に活かす―』, 開拓社, 2017. ②中島平三, 『ファンダメンタル英語学』, ひつじ書房, 2011.
履修上の注意	高校までに既習の英語に関する知識を有することを前提に授業を進めます。また主体的に問題に取り組む姿勢が必要とされます。
アクティブ・ラー ニング	ペアワーク、グループワーク

講義科目名称: キャリアゼミ:ホテル・ブライダル・ツーリズ 授業コード: ムゼミ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	国専:必修	
担当教員	•			
木内伸樹				
ナンバリング: E19A62	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内 野大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ホテル・ツーリズム業界についての理解を深めるため、専任教員またはゲスト講師が、毎回の計画に沿ってゼミ形式あるいは講義形式で授業を進める。 (授業目標) C:グループディスカッションや自己分析、自己PRの積み重ねを経て、適切に判断し行動することができる。 ⑤D:エントリーシート(ES)の記入方法を学び、希望業界についてより深く理解する。 ○E:ホテル・ツーリズム業界で必要とされる資格等を取得する。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 オリエンテーション・自己紹介(プレゼンテーション:1分間自己紹介) 授業概略説明、自己PRを踏まえて自己紹介を行う。
	2 ホテル・ツーリズム業界研究 1 (ゲスト講師) ホテル・ツーリズム業界の仕事内容について学ぶ。
	3 キャリア講座(キャリアセンター) ホテル・観光業界の就職活動の流れを学ぶ。
	4 ホテル見学1 (ゲスト講師) 日系ホテル見学を通して業界研究を行う。
	5 ホテル見学2 (ゲスト講師) 外資系ホテル見学を通して業界研究を行う。
	6 ホテル・ツーリズム業界研究 2(グループワーク、プレゼンテーション: グループごとにまとめ 全員発表)(ゲスト講師) ホテル見学の振り返りを行う。また、ホテル・ツーリズム業界研究の方法を学ぶ。
	7 ホテル・ツーリズム業界研究 3 (ゲスト講師) ホテル・ツーリズム業界で働いている方の話を聞き、就職活動に備える。
	<ul><li>オリエンテーション (キャリアセンター)</li><li>3月から本格的にスタートする就職活動の流れと必要な準備について 内定者体験談</li></ul>
	9 就職活動の準備について 求人の探し方や企業研究の方法 (キャリアセンター) 就職活動の準備について 求人の探し方や企業研究の方法 (オャリアセンター) 10 履歴書の書き方を知る① (キャリアセンター)
	自己分析を通して自分の強みを考える 11 就職活動、面接でのマナー講座 (キャリアセンター)
	就職活動で必要なマナー(立居振舞、言葉遣い)などの 基本を学ぶ 12 履歴書の書き方を知る②(キャリアセンター) 志望動機の書き方のポイントについて
	13 就職活動で必要な面接のポイント① (キャリアセンター) ロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	14 就職活動で必要な面接のポイント② (キャリアセンター) ロールプレイングを通して面接のポイントを学ぶ
	15 振り返り(キャリアセンター) 履歴書や面接ロールプレイングの内容をもとに振り返り
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>C:グループディスカッションに役割があることを認識して参加することができる。</li><li>◎D:就職活動に必要な知識を修得方法を理解する。</li><li>○E:就職活動に必要な資格の対策を講じることができる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:授業時に出された指示に従い行うこと。業界研究やエントリーシートの準備をすること。(約40分) 事後学習:授業内で学んだ知識をまとめ、今後の就職活動に役立てる準備をすること。(約40分)
指導方法	事後子首: 校業内で子んた知識をまとめ、「今後の就職活動に依立てる準備をすること。 (約40分) 企業研究の方法について指導し、自分が希望する就職先について理解できるよう指導する。 また、グループディスカッションを通して、コミュニケーション力を高められるよう指導する。 フィードバックの方法: ①エントリーシート・履歴書にコメントをつけて返却、②コメントに関する質疑対応

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>C:グループディスカッションでの行動を評価する。</li><li>◎D:課題で評価する。</li><li>○E:資格試験の結果や授業内の提出物で評価する。</li></ul>
	平常点(授業への貢献度・積極性)40% 課題 50% 資格取得 10%
テキスト	なし
参考書	授業内で指示する。
履修上の注意	毎回必ず出席することが大切である。教室が変わることがあるので注意すること。 重要な伝達や情報があるので、学校からのメール、ActivePortal、Google Classroomの情報を毎日確認すること。 と。来校時には学内の掲示板を確認すること。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: ホテル・ツーリズムゼミ 授業コード: 2761

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	国専:選択
担当教員			
木内伸樹			
ナンバリング: E210C67	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容 授業目標	ー年後期に引き続き、ホテル・ツーリズム業界についての知識を深める。また、自己PR力を養うため 員またはゲスト講師がゼミ形式あるいは講義形式で授業を進める。	、専任教
A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	(授業目標) C:グループディスカッションや自己分析、自己PRの積み重ねを経て、適切に判断して行動すること	がった
D . コミューケー ション能力 C : 思考力・判断	- C.グループティスカッションや自己分析、自己FRの積み重ねを雇じ、過勤に刊動して打動すること 5。 ◎D:就職活動に必要な書類の記入方法を学び、ホテル・ツーリズム業界についてより深く理解する。	
力 D:知識・理解	DE:ホテル・ツーリズム業界で必要とされる資格等を取得する。	
E:技能・表現		
授業計画	オリエンテーション・現状報告(プレゼンテーション) グループに分かれて就活状況を報告する。	
	ホテル・ツーリズム業界研究と応募書類の作成 1 (ゲスト・スピーカー) ホテル・ツーリズム業界研究を行い、応募書類の作成方法を学ぶ。	
	ホテル・ツーリズム業界研究と応募書類の作成 2 (ゲスト・スピーカー) ホテル・ツーリズム業界研究を行い、応募書類の作成方法を学ぶ。	
	ホテル・ツーリズム業界へのエントリー用紙作成指導(ゲスト・スピーカー) ホテル・ツーリズム業界就職のためのエントリーシートの作成方法を学ぶ。	
	ホテル・ツーリズム業界志望者のための自己分析・自己PR指導(ゲスト・スピーカー) ホテル・ツーリズム業界就職のための自己分析と自己PRの書き方を学ぶ。	
	ホテル・ツーリズム業界志望者のための面接指導 (グループワーク) ホテル・ツーリズム業界就職に向けてグループ面接・グループディスカッション・個別	川面接対策
	を行う。 ホテル・ツーリズム業界志望者のグループ面接・グループディスカッション対策 1(ク	
	ワーク) ホテル・ツーリズム業界就職のためのグループ面接・グループディスカッションの方法	<b>占を学ぶ。</b>
	ホテル・ツーリズム業界志望者のグループ面接・グループディスカッション対策 2 (クワーク)	ブループ
	ホテル・ツーリズム業界就職のためのグループ面接・グループディスカッションの方法	<b>とを学ぶ。</b>
	ホテル・ツーリズム業界スタディ・就職カウンセリング 1 ホテル・ツーリズム業界研究と就職のための個別指導を行う。	
	0 ホテル・ツーリズム業界スタディ・就職カウンセリング 2 ホテル・ツーリズム業界研究と就職のための個別指導を行う。	
	1 ホテル・ツーリズム業界スタディ・就職カウンセリング 3 ホテル・ツーリズム業界研究と就職のための個別指導を行う。	
	2 ホテル・ツーリズム業界研究 1 (ゲスト・スピーカー) ホテル・ツーリズム業界で働くために身につけておくべき知識を学ぶ。	
	3 ホテル・ツーリズム業界研究 2 (グループワーク) グループに分かれて業界研究を行う。	
	4 ホテル・ツーリズム業界研究 3 (グループワーク) グループに分かれて業界研究を行う。	
	5 プレゼンテーション(プレゼンテーション) グループに分かれて、一人5分程度のプレゼンを行う。	
学習成果・ 到達目標・基準	C:グループディスカッションでの全体像を把握しつつ、自分の役割を意識して参加することができ ②D:ホテル・ツーリズム業界の企業研究を適切に行うことができる。 ○E:ホテル・ツーリズム業界で必要とされる資格の対策を講じることができる。	: る。
事前・事後学習	事前学習として業界研究やエントリーシートの準備をする。(40分) 事後学習として、宿題として出された調査やプレゼンテーションの準備をする。(45分)	
指導方法	企業研究の方法について指導し、自分が希望する就職先について理解できるよう指導する。 また、グループディスカッションを通して、コミュニケーション力を高められるよう指導する。 フィードバックの方法: ①エントリーシート・履歴書にコメントをつけて返却、②コメントに関する	質疑対応
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:グループディスカッションでの役割を理解し、その場に応じて行動しているかどうかを評価する ②D:業界研究ノートで評価する。 ○E:ホテル・ツーリズム業界で必要とされる資格試験の結果で評価する。	٥٠. 
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-

	授業への貢献度: 30% 課題・資格取得: 40% プレゼンテーション: 30%
テキスト	なし
参考書	授業内で指示する。
履修上の注意	毎回必ず出席することが大切である。教室が変わることがあるので注意すること。 重要な伝達や情報があるので、学校からのメール、ActivePortal、Google Classroomの情報を毎日確認すること。 来校時には学内の掲示板を確認すること。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: エアポート スタディーズ 授業コード: 2901

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	2	2	国専:選択	
担当教員				
木内伸樹、有田りな				
ナンバリング: E24C27	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	し、その業務	で特にエアライン業界の顔ともいえるキャビンアテンダント、グランドスタッフの業務を理解 に必要な知識を身に着ける。またホスピタリティ産業の一員として、業務を遂行する上での立ち だしなみ、言葉遣いなど航空業界、空港業務で活躍できる人材となるために必要な接遇を学ぶ。
B:コン能力・判断 C:思考力・判断 D:知能・表現 E:技能・表現	を述べること ◎ C: 企業理	せCA/GSを目指すか、航空業界の中でもなぜその会社を志望するか、複数の視点から論理的な意見ができる分析力を身につけること。 念に合わせた自分の強みをまとめ、自己の強みをいかした職種選択ができる。 務はどうのような職種があるか理解できる。
授業計画	1	エアラインビジネスのCA・GSとは
	2	エアラインビジネスのカスタマーサービス部門の仕事について 空港旅客サービスの基礎知識
	3	グランドスタッフの業務を理解する 客室業務基礎知識
	4	客室乗務員の業務を理解する 企業理念研究(グループワーク:企業理念と業務についてディスカッション) エアラインの企業理念を学び、その理念がCA・GS業務にどう影響しているかを理解する
	5	企業理念と自己理解(プレゼンテーション:企業理念に合わせた自分の強み) 企業理念と自分の強み、志望動機をプレゼンテーションする
	6	表現力を鍛える(グループワーク:どのような表情や声掛けができるか) CA・GSの業務から表現力を学ぶ
	7	航空旅客業務:搭乗手続 旅券・査証・その他出入国書類の確認、航空券記載内容確認、座席指定と搭乗券発行など
	8	航空旅客業務:搭乗手続きに関連して必要な業務知識 出国手続き、予約・発券業務、団体の搭乗手続き
	9	航空旅客業務:空港旅客サービス顧客サポート ラウンジサービス、搭乗案内業務など顧客をサポートし快適さを提供する業務
	10	航空旅客業務:到着時の業務とトラブル対応 到着案内業務、受託手荷物サービス業務、出発時・到着時のトラブル対応
	11	旅客送迎サービス業務の概要 旅客送迎サービス業務についてと旅客送迎サービスの基本的な心構え
	12	旅客送迎サービスの業務内容 出発時の旅客送迎サービス業務の事前準備、空港オフィス出発から業務終了まで
	13	空港における旅客業務のポイント:ホスピタリティ産業の一員としての基本的な心構え (グループワーク:ロールプレイ形式)
	14	空港における旅行業務のポイント、ホスピタリティー産業の一員としての基本的な心 空港における旅客業務のポイント:身だしなみ、基本動作(グループワーク:ロールプレイ形式)
	15	ホスピタリティー産業のプロとしての身だしなみと基本動作 空港における旅客業務のポイント:接客の言葉遣い(グループワーク:ロールプレイ形式)
		挨拶、基本接客用語、敬語、言葉遣い
学習成果・ 到達目標・基準		!念に合わせた自分の強みをまとめて1分のプレゼンテーションができる。 .務はどうのような職種があるかを具体的に説明できる。
事前・事後学習	自分自身を見	空会社の企業研究をおこなう(60分) つめ、自分の強み、航空会社などへの志望動機をまとめる(60分) ・ャビンアテンダント、グランドスタッフ、空港の業務について復習する。(60分)
指導方法	る視聴覚資料 き、指導して フィードバッ	プリント)を配布するので、資料内容を確認し授業内容を理解する。パワーポイントや適宜関係す を利用し授業を行う。エアラインの講師、空港業務に従事する方をゲストスピーカーとして招 もらう予定。 クの方法:グループワーク終了後に、質疑応答、教員からのグループワーク内容の評価とアドバ う。自分の強み、志望動機については、授業内、授業後に個別に対応、指導する。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	◎C:企業理念に合わせた自分の強みをまとめたプレゼンテーションを評価する。 ○D:空港業務の職種と業務を具体的に説明するレポートの内容を評価する。 期末レポート(30%)、グループワーク参加貢献度(50%)、授業内小レポート(20%)
テキスト	特になし。授業資料(プリント等)を適宜配布する。
参考書	授業内で指示する。
履修上の注意	・当科目の履修生同士、お互いに切磋琢磨する姿勢を持つこと。 ・自ら学ぶ意欲と、自己を高めていく意識をもつこと。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイ

講義科目名称: ホテル・ツーリズム スタディーズ 授業コード: 2411 2412

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	2	国専:選択	
担当教員	•			
木内伸樹				
ナンバリング: E15C29	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業 特 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	(授業概要) ホテル、観光に関連する様々な観光産業を取り上げ、それぞれのホテル・ツーリズム産業がどのように形成され、どのようなビジネスモデルで発展してきたかについて具体的にみていくことにより、ホテル・ツーリズム産業の成り立ちを学ぶ。合わせてホテル・ツーリズム産業がおこなっている取り組みを知ることにより、それぞれの業界・産業業務内容を理解する。また世界遺産にも焦点を当て、その基本情報、地理、歴史的背景などの特徴を理解し、認定された経緯、理由などを考察する。(授業目標)ホテル・ツーリズム産業の様々な業種の特徴を理解する。 ○C:ホテル・ツーリズム産業施設見学を実施し、施設の特徴について考察できる。 ◎D:ホテル業界とツーリズム業界の基礎知識を身に付ける。 ◎D:セオぞれのホテル・ツーリズム産業の特徴を理解する。 ○D:世界遺産の基礎知識と、日本の世界遺産についてまとめ、理解する。
授業計画	1 ホテルツーリズムスタディーズ (課題解決型学習:身近な地域のホテル、観光名所の魅力と問題点) 授業全体の概要と、各自の育った地域の魅力、その地域にあるホテル、観光名所について考え
	る。 2 日本における宿泊施設・観光の変遷(古代~太平洋戦争前) 日本の宿泊施設、観光はどのようにして成り立ってきたかを古代から太平洋戦争前までの時代を 振り返る。
	日本における宿泊施設・観光の変遷(戦後の昭和〜現在) 戦後の日本の宿泊施設・観光のホテルブーム、観光ブームと共に振り返る。
	4 欧米における宿泊施設・観光の変遷 欧米の宿泊施設、観光の成り立ちを時代ごとに区分し振り返る。
	世界遺産(ゲスト講師)   世界遺産の基礎知識、日本国内の世界遺産について知識を深める。
	6 ホテル客室のカテゴリーと種類 ホテルの格付け、ルームタイプ、宿泊施設の種類などを理解する。
	7 世界の代表的な料理など   フランスのコースメニュー、西洋料理、中華料理などの知識をつける。また肉料理、魚料理など の調理法についても学ぶ。   日本料理と種類
	日本料理の種類と郷土料理に合わせ調理法について知識をつける。
	9 英国流ホテルのおもてなし (ゲスト講師)   イギリスのホテルを例としたおもてなし術について理解する。
	10 日本の世界遺産   世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産について
	11 日本国内の世界遺産個別発表①(プレゼンテーション)(ICTの活用:スマートフォン あるいは タブレットPC)   学生がそれぞれ調べた世界遺産についてのプレゼンテーション
	12 日本国内の世界遺産個別発表②(プレゼンテーション) (ICTの活用:スマートフォン あるいは タブレットPC)   学生がそれぞれ調べた世界遺産についてのプレゼンテーション
	13 ホテルの組織 ホテルの組織とその特徴について
	14 ホテルの部門別業務内容 ホテルの各部門音役割と業務内容
	15 ホテル・ツーリズム産業:「旅行業者」 旅行業者の営業形態と販売形態、カウンター業務の仕事
学習成果・ 到達目標・基準	○C:ホテル・ツーリズム産業施設見学を実施し、施設の特徴について説明できる。 ◎D:ホテル業界とツーリズム業界の基礎知識を説明できる。 ◎D:それぞれのホテル・ツーリズム産業の特徴を区分できる。 ◎D:世界文化遺産、自然遺産、複合遺産に区分できる。また日本の世界遺産についてまとめ、人前でプレゼンテーションできる
事前・事後学習	事前学習: 世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産それぞれの特徴を調べ、プレゼンテーションできるように準備する(60分)

	ホテル・ツーリズム産業について、どのような産業なのか、どのような業務があるか調べる(60分) 事後学習
	授業で配布したレジメを参照し、授業内で取り上げたホテル・ツーリズム産業の業務についてまとめる(60 分)
指導方法	授業資料(プリント)を配布し、パワーポイントを使用しながら適宜関係するDVD等、視聴覚資料を利用し授業を行う。また毎回数名に担当する日本国内の世界遺産についてプレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションをしてもらう。
	フィードバックの方法:プレゼンテーション終了後に、質疑応答、教員からのプレゼンテーション内容の評価とアドバイスをおこなう。課題解決型学習については、授業内、授業後に個別に対応、指導する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○C:ホテル・ツーリズム産業施設見学を実施し、施設の特徴についての考察レポートを評価する。 ◎D:ホテル業界とツーリズム業界の基礎知識の理解度など小レポート提出・定期試験を評価する。 ◎D:それぞれのホテル・ツーリズム産業の特徴を区分できる。
	◎D:世界文化遺産、自然遺産、複合遺産の区分など定期試験を評価する。また日本の世界遺産についてまとめたプレゼンテーションを評価する。
	 講義中の確認テストの成績 (40%) 、授業への積極性・態度・取組み姿勢 (20%) 、授業内課題(40%)の総合評価
テキスト	授業資料(プリント等)を配布する。 (教科書は特に指定しない)
参考書	JTB総合研究所(2018)『観光学基礎』 世界遺産検定事務局(2016)『はじめて学ぶ世界遺産100』 一般財団法人日本ホテル教育センター(2015)『新ホテル総論』プラザ出版
履修上の注意	「ホテルツーリズムスタディーズ」の受講生は、後期に「ホテルスタディーズA」、「ツーリズムスタディーズA」を受講することが望ましい。 ホテル・ツーリズム産業の現場で働く方を、ゲスト講師として授業に参加してもらうことがある。
アクティブ・ラー ニング	課題解決型学習、プレゼンテーション

講義科目名称: ホテル・ブライダルスタディーズ 授業コード: 2461

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	国専:選択
担当教員	·	·	
木内伸樹			
ナンバリング: E15C34	実務家教員	こよる授業	
添付ファイル			

授業内容	日本の全産業に占める7割はサービス業である。お客様に目に見えない品質の行き届いた気配りや信頼性は、質
授業目標 A:主体性・チー	の高いサービスは日本の文化であり、そのサービスを提供する際に大切な「心」の所作はホテルには欠かすことのできない目に見えない資産となっている。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	そのホテルの部門の一つである「ブライダル」の業務に就くことは、ホテリエでもあると同時に結婚式・披露   宴のみにならず、お客様のニーズを汲み取り、文化や慣習の担い手として各種分業の壁を越えて幅広い関係者
ション能力 C:思考力・判断	をコーディネートし、さらにはお客様にあったブライダルサービス・商品等を提供するエキスパートでなければならない。
力 D:知識・理解	この講義では、ブライダルの仕事の内容を学びながら、ホテルの仕組みと仕事を理解し、自分のイメージを形にするまでのプロセスの方法を身につけ、第三者に表現できることを目指す。
E:技能・表現	│○C:ホテルの仕組みを理解し、ホテルの特性を活かした1日の過ごし方を提案することができる。
	◎D:ホテルの仕組みと特性を理解し、ホテルの生涯顧客を獲得できるブライダル企画・提案をおこなうことが   できる。
授業計画	1 ブライダルとは
	結婚が決まったお客様(カップル)に対し、専門的知識をもとに結婚式・披露宴・アフターパー ティ―の企画・提案・施行を行う※ブライダル・ウエディング・マリッジの定義の違いについて
	2 ブライダルの業種を知る
	ホテル、ゲストハウス、専門式場、レストラン、旅館・料亭、神社・寺院・教会 会場、衣装、装花、ジュエリー、音楽、美容、写真、映像、演出、印刷、引出物 の種類を知る
	3 ブライダルの職業からブライダルアイテムを知る
	プランナー、ドレススタイリスト、ヘアメイク、フォトグラファ、ビデオグラファー、エスコート、フローリスト、キャンプテン、オペレーター、司会、シェフ、ソムリエ、パティシエ、演奏者、牧師
	4 ブライダルマーケティングと集客の方法
	ホテルブライダルについて、エージェント、雑誌などの印刷媒体、WEB上にあるホームページ、ロコミ、SNSや広告を各自調べる
	5 ホテルブライダルとは ホテルブライダルの特性によるスタイルの差別化と顧客特性
	ラグジュアリーホテル、シティホテル、リゾートホテルなどのホテルブライダルとSDGSの取り組 みについて
	6 ホテルブライダルの準備段階と習熟度確認テスト 新規申込みのホテルブライダルの打ち合わせ内容など、結婚式までのプロセスを理解する
	7 ホテルブライダル当日の流れ
	ホテルブライダルにおける新郎新婦の一日の流れを具体的に見ていき、当日のスタッフの役割を 理解する。またアニバーサリー式についても取り上げる
	8 ホテルブライダルのテーマとコラージュコンセプトの設定(グループワーク)
	ホテルでどんな結婚式をしたいかを考え、合わせて自分自身がプランナーとなり、披露宴を組み 立て、打ち合わせスケジュールを作成する
	9 ホテルブライダルのプロセス① 結婚式スタイルと披露宴の進行を考える(グループワーク) 要望に合わせた結婚式スタイルと披露宴進行について考察する
	10 ホテルブライダルのプロセス② 招待状作成と進行・演出(グループワーク) 招待状の作成とホテルブライダルの司会や演出について考察する
	11 ホテルブライダルのプロセス③ 装花、ドレスとメイク(グループワーク) 新郎新婦を華やかに演出するドレスとメイク、合わせて結婚式全体を華やかに演出する装花を想 定することで会場の雰囲気などイメージする
	12 ホテルブライダルのプロセス④ 料理とドリンク(グループワーク)   結婚式の披露宴やパーティーで、ゲストへのおもてなしとしても重要な存在である料理とドリンク類について考察する
	13 コラーシュ作成(グループワーク)
	成する
	14 コラージュ発表①(グループワーク・プレゼンテーション)
	15 コラージュ発表②(グループワーク・プレゼンテーション)
	作成したコラージュについてのプレゼントゲーションとその評価をおこなう。
学習成果・ 到達目標・基準	○C:ホテルの仕組みを理解し、ホテルの特性を活かした提案を1つ以上説明できる。 ◎D:ホテルの仕組みと特性を理解し、ブライダル企画・提案をおこなうことができる。

	事前学習:ホテルブライダルについてのホテルの取組みをWEBページから収集する(90分) 事後学習:授業内容を復習すること。授業で学んだホテルブライダルについての情報を整理する(60分) テーマに沿ったコラージュをプレゼンテーションができるように準備する(30分)
	講義資料(プリント)を配布するので、講義資料内容を確認しながら授業内容を把握していく。パワーポイントを使用し、適宜関係する視聴覚資料を利用し授業を行う。 ホテルブライダルの現場で働く方をゲスト講師として授業に参加してもらう。フィードバックの方法:プレゼンテーション終了後に、質疑応答、教員・ゲスト講師からのプレゼンテーション内容の評価とアドバイスをおこなう。グループワーク、実習課題については、授業内、授業後に個別に対応、指導する。
成績評価の方法・は基準	○C:ホテルの仕組みについての理解を、記述回答で評価する。 ◎D:ホテルの仕組みと特性を活かしたプライダル企画・提案のプレゼンテーションを評価する。 講義中の習熟度確認テストの成績 (30%) 、授業への積極性・態度・取組み姿勢 (30%) 、授業内課題(40%)の総合評価
テキスト	授業資料(プリント等)を毎回配布する。 (教科書は特に指定しない)
参考書	授業内で指示する
	<ul><li>1. 授業中は他の人の迷惑にならないように授業態度に注意すること。</li><li>2. 自分が観光産業でどのようなおもてなしが提供できるか、ホスピタリティ・マインドを常に考えて授業に 臨むこと。</li></ul>
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: ホテル スタディーズA 授業コード: 2421

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	国専:選択
担当教員	·	·	
木内伸樹			
ナンバリング: E15C30	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容 授業主体 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(授業概要) ホテルの基本的な性格、ホテルの構成要素、日本、欧米の歴史的変遷など様々な角度から、ホテルビジネスの概論にアプローチし、ホテルビジネスの特色や特徴とホテルビジネスのベースとなる専門用語ならびに知識を学ぶ。合わせて事業部門ごとにホテル業務概要を把握し、ホテル業務を経営と運営の両面からアプローチし、理解力と実践力を身につける。またホテル運営側と顧客の視点から、ホテル業務に対し理解を深める。 (授業目標) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
授業計画	宿泊施設の区分とホテルの定義 ホテルとは何か、その語源、基本的な性格、法律上の位置づけなど
	ステルの構成要素 ホテルが提供する商品の構成要素
	ホテルの分類 (グループワーク:資本系列、経営形態などにホテルを分類) 立地・機能、資本系列、経営形態など観点からホテルを分類
	日本における宿泊業の歴史 時代ごとの日本の宿泊業の歴史を概観
	数米における宿泊業の歴史 現代のホテル業は、どのように形成されてきたのか
	ホテル客室のカテゴリーと種類 客室の種類、設備やホテルの料金制度の基礎知識
	<ul><li>ホテルのアメニティグッズ(グループワーク:ホテルアメニティについてグループプごとにまとめる)</li><li>ホテルで提供されるアメニティグッズの必要性と、どのようなアメニティであれば顧客に喜ばれるかについて、グループで話し合いまとめる</li></ul>
	ホテル実務の基礎(実習:挨拶、言葉遣いなど) ホテル実務に必要な業務知識
	<ul><li>宿泊部門の業務:フロント・オフィス課</li><li>・ホテルにおける宿泊部門の位置づけ、役割</li><li>・客室予約、レセプション、電話オペレーターの業務</li></ul>
	0 宿泊部門の業務:フロント・サービス課 ・フロント・サービス課の業務 ・ドアマン、ベルマン、クローク、コンシェルジュ、ゲストリレーションズの業務
	1 宿泊部門の業務:客室課
	2 テーブルセッティング① (実習:テーブルセッティング、サービス方法を実践練習) ・テーブルセッティング (イギリス式とフランス式) ・食器・リネン・備品の知識
	3 テーブルセッティング②(実習:テーブルセッティング、サービス方法を実践練習) ・サービスの基本 ・レストランサービス
	4 東京都のホテル調査発表(プレゼンテーション:ホテルの評価、課題について) 都内の外資系ホテルをSWOT分析の観点から調べ、SWOT分析の結果からホテルの評価と課題について発表する
	東京都の外資系ホテル調査発表(プレゼンテーション:ホテルの評価、課題について) 都内の外資系ホテルをSWOT分析の観点から調べ、SWOT分析の結果からホテルの評価と課題について発表する
学習成果・ 到達目標・基準	②C:都内にあるホテルのコンセプト、特徴を具体的に説明できる。 ○D:立地・機能、資本系列、経営形態などの観点からホテルの分類ができる。
事前・事後学習	事前学習 都内のホテルのホームページにアクセスし、ホテルのイベントについて調べる(60分) 世界の料理について、特に日本のレストランで提供されている料理ついて調べる(30分) 事後学習 ホテル実務に必要な業務知識についてまとめる(30分)
	受業で配布したレジメを参照し、ホテルビジネスを経営について理解する(60分)

指導方法	講義資料(プリント)を配布するので、講義資料内容を確認しながら授業内容を把握していく。パワーポイントを使用し、適宜関係する視聴覚資料を利用し授業を行う。ホテルビジネスの取り組みを理解し易いように、ホテルの現場で働く方を、ゲスト講師として授業に参加してもらうことがある。フィードバックの仕方:プレゼンテーション終了後に、質疑応答、教員からのプレゼンテーション内容の評価とアドバイスをおこなう。グループワーク、実習課題については、授業内、授業後に個別に対応、指導する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎C:ホテルのコンセプト、特徴とそのホテル評価と課題についての発表とレポートを評価する。</li><li>○D:ホテル分類、ホテルビジネスの理論などを説明する定期試験の記述回答を評価する。</li><li>定期試験(50%)、受講態度(20%)、講義中の小テストや課題レポート(30%)の総合評価</li></ul>
テキスト	授業資料 (プリント等) を毎回配布する。 (教科書は特に指定しない)
参考書	JTB総合研究所 (2016) 『ホテル概論』 JTB総合研究所 日本ホテル教育センター (2015) 『新ホテル総論』 プラザ出版
履修上の注意	1. 授業中は他の人の迷惑にならないように授業態度に注意すること。 2. ホテル実務でどのようなおもてなしが提供できるか、ホスピタリティ・マインドを常に考えて授業に臨むこと。 3. 「ホテルスタディーズA」の受講生は、前期に「ホテルツーリズムスタディーズA」を受講することが望ましい。
アクティブ・ラー ニング	実習、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: ホテル スタディーズB

英文科目名称:

添付ファイル				
ナンバリング: E25C31	実務家教員に	よる授業		
木内伸樹				
担当教員				
前期	2	2	国専:選択	
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	

授業コード: 2431

授業内容	(授業概要) 宿泊産業のいくつかの経営業態を通して、ホテルビジネスの経営環境を理解する。合わせてホテ
授業目標 A:主体性・チー	(反来破安) 情怕産業のパイラがの経営業態を通じて、ホケルビンネスの経営環境を理解する。 自わせてホケルビジネスを対象として、マーケティングおよびオペレーションの視点からホテルを分析し事象把握をおこな   う。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	ホテルの特徴を活かした宿泊商品プラン作成を通して、そのホテルの特徴を理解し評価、課題、それに対する 対応策を検討提案できる能力を身につける。またホテルビジネスで活躍されている方々をゲスト講師として招き、その企業の取り組みについて知識を深める。 (授業目標)
カ D:知識・理解 E:技能・表現	◎A:宿泊産業の取り組みを理解し、評価、検討、提案する力をつける。 ○D:ホテルビジネスを理論並びに実務の両面から理解する。
授業計画	1 ホテルビジネス ホテルビジネスの全体像を捉え、特色や特徴を理解する
	2 ビジネスホテル市場 ビジネスホテルの位置づけと、ビジネスホテルの取り組み
	3 ホテル業の全体像 ・ホテルの分類(立地、クラス、機能別) ・経営形態による分類 ・資本形態による分類など
	4 宿泊旅行統計調査 日本の観光の現在の傾向や特徴
	5 日本旅館 日本旅館の位置づけと、日本文化を象徴する日本旅館のおもてなし
	6 欧米におけるホテルの系譜 欧米の宿泊業の歴史的系譜
	7 国際儀礼(プロトコール) 国際儀礼の基本とホテル実務者の基礎知識
	8 日本の宿泊産業と独自の宿泊形態 日本の宿泊業の系譜と様々な宿泊形態
	9 ホテリエールとっておきのおもてなし術 (ゲスト講師) ・テーブルコーディネートの基本 ・テーマ、キーオブジェ、コンセプトを決定し、おもてなしテーブルセッティングを実践
	10 ホテル・マーケティング ・ホテル・マーケティングの基本概念 ・マーケティングを構成する4本の柱 ・ホテルに求められるトータル・マーケティング・プラン
	11 宿泊商品プラン作成(グループワーク:宿泊プランの作成とプレゼンテーションの準備) マーケティングの視点からホテルの特徴を活かした宿泊プラン作成
	12 企業研究:リッツ・カールトン リッツ・カールトンの取組みとホスピタリティ
	13 宿泊商品プラン発表①(プレゼンテーション:ホテルの評価、課題について) ホテルの特徴を活かした宿泊プランをグループごとに発表
	14 宿泊商品プラン発表②(プレゼンテーション:ホテルの評価、課題について) ホテルの特徴を活かした宿泊プランをグループごとに発表
	15 企業研究:星野リゾート 星野リゾートの概要と取組みについて
学習成果・ 到達目標・基準	◎A:宿泊商品プランの作成を通し、マーケティングの視点からホテルの特徴を活かした宿泊商品プランの提案できる。 ○D:ホテルビジネスを経営と実務の両面から、その取り組みについて、例を挙げて説明できる。
事前・事後学習	事前学習:都内のホテルのホームページにアクセスし、それぞれのホテルの特徴について調べる(60分) ホテルの職種の仕事内容(フロント・サービス、客室係など)について調べる(60分) 事後学習:授業で配布したレジメを参照し、宿泊施設の取り組みについて理解する(60分)
指導方法	講義資料(プリント)を配布するので、講義資料内容を確認しながら授業内容を把握していく。パワーポイントを使用し、適宜関係する視聴覚資料を利用し授業を行う。ホテルビジネスの現場で働く方々を、企業研究としてゲスト講師に授業に参加してもらう予定。フィードバックの方法:プレゼンテーション終了後に、質疑応答、教員からのプレゼンテーション内容の評価

	とアドバイスをおこなう。グループワークについては、授業内、授業後に個別に対応、指導する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎A:宿泊商品プランの内容と、プレゼンテーションを評価する。</li><li>○D:ホテルビジネスを経営と実務の両面から、その取り組みについて、例を挙げて説明する定期試験の記述回答を評価する。</li><li>定期試験(50%)、受講態度(20%)、講義中の小テストや課題レポート(30%)の総合評価</li></ul>
テキスト	授業資料 (プリント等) を毎回配布する。 (教科書は特に指定しない)
参考書	JTB総合研究所 (2016) 『ホテル概論』 JTB総合研究所 日本ホテル教育センター (2015) 『新ホテル総論』プラザ出版
履修上の注意	1. 授業には積極的に参加し、他の人の迷惑にならないように授業態度に注意すること。 2. ホテル実務でどのようなおもてなしが提供できるか、ホスピタリティ・マインドを常に考えて授業に臨むこと。 3. 「ホテルスタディーズB」の受講生は、「ホテルスタディーズA」を受講することが望ましい。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: ツーリズム スタディーズA

英文科目名称:

添付ファイル				
ナンバリング: E15C32	実務家教員に	よる授業		
木内伸樹				
担当教員				
後期	1	2	国専:選択	
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	

授業コード: 2391

	1	
授業内容標性・ ・ 大田	識、観光の歴 ツーリズムし スティネーシ クを若こない (授業目標) ◎ C:観光の	観光を幅広く学んでいくために、観光学に関する観光関連用語や観光の研究分野などの基礎知 史的変遷と現代社会における観光の意義について理解を深める。またエコツーリズムやグリーン じめ、ニューツーリズムの特徴や取り組みを理解する。さらに観光プランのコース作成を、ディ ョン・マーケティング等の視点から、コンセプト作りから観光プランを作成し、フィールドワー 観光プランの正誤性の検証をおこなう。 基礎知識、国内観光資源を理解し、観光プランの作成方法を身につける。 業で使用されている観光関連用語や英語の通話用語を身につける。
授業計画	1	観光と旅行 観光の語源や関連用語、観光研究の分野について
	2	観光の現代的意義 現代社会における観光の意義と、観光が経済などに及ぼす影響
	3	観光の変遷 日本と欧米の観光の潮流を時代別に区分する。
	4	観光産業の英語(実習:通話用語を使用して、自分の名前のスペルを伝える) パスポートの英語記載、空港コード、エアラインコードと通話英語など
	5	観光地の類型 観光対象、観光資源および観光施設
	6	国内観光資源 国内観光資源をカテゴリー別に考察
	7	観光政策と観光行政 観光政策の基本、その目標と内容と、地方の観光行政の特性
	8	世界遺産 世界遺産の基礎知識、日本の世界遺産について
	9	ニューツーリズム ニューツーリズムの共通の特徴と取り組み
	10	エコツーリズムとグリーンツーリズム ・エコツーリズムの概念と定義、環境と観光をつなげるエコツアーについて ・グリーンツーリズムの概念、定義と日本国内の取り組みと成果
	11	旅行会社の業務(ゲスト講師) 旅行会社のカウンター業務など
	12	国際観光 国際観光の現況と訪日外国人旅行者
	13	インバウンド観光客の特性 様々な国・地域からの外国人旅行者が期待する日本観光とおもてなしの違い
	14	東京都港区芝エリア「街歩き」の観光プランニング(グループワーク:観光プランのコース作成) 東京都港区の観光資源をめぐる、観光プランのコース作成
	15	東京都港区芝エリア「街歩き」観光プランのコース発表(プレゼンテーション:全員が必ず発表する)
		それぞれが作成した観光プランの発表と評価
学習成果・ 到達目標・基準	とができる。 ○D:観光産	地域の観光資源を理解し、観光プラン作成をおこない、プラン内容をプレゼンテーションするこ業で使用されている用語の違いを説明でき、ロールプレイング会話演習で、通話用語を使用し前を表現できる。
事前・事後学習	国内の観光資	ューツーリズムに分類される観光の特徴について調べる(60分) 源を知る上で、観光パンフレットなどの観光資料、情報資料を収集しチェックする(60分) 業で配布したレジメを参照し、観光関連用語を理解する(60分)
指導方法	トを使用し、	リント)を配布するので、講義資料内容を確認しながら授業内容を把握していく。パワーポイン 適宜関係する視聴覚資料を利用し授業を行う。観光産業の取り組みを理解し易いように、観光の を、ゲスト講師として授業に参加してもらう。

	フィードバックの方法:プレゼンテーション終了後に、質疑応答、教員からのプレゼンテーション内容の評価 とアドバイスをおこなう。グループワーク、実習課題については、授業内、授業後に個別に対応、指導する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎C:観光プランのコース作成とプレゼンテーションを評価する。</li><li>○D:観光産業で使用されている観光関連用語について定期試験の記述回答を評価し、ロールプレイイングでの会話演習を評価する。</li></ul>
	講義中の確認テストの成績 (40%) 、授業への積極性・態度・取組み姿勢 (20%) 、授業内課題(40%)の総合評価
テキスト	授業資料 (プリント等) を毎回配布する。 (教科書は特に指定しない)
参考書	JTB総合研究所(2014) 『観光学基礎』 世界遺産検定事務局(2016) 『はじめて学ぶ世界遺産100』 十代田 朗(2014) 「観光まちづくりのマーケティング」学芸出版社
履修上の注意	1. 授業中は他の人の迷惑にならないように授業態度に注意すること。 2. 自分が観光産業でどのようなおもてなしが提供できるか、ホスピタリティ・マインドを常に考えて授業に臨むこと。
アクティブ・ラー ニング	実習、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: ツーリズム スタディーズB

英文科目名称:

添付ファイル				
ナンバリング: E25C36	実務家教員に	よる授業		
木内伸樹				
担当教員				
前期	2	2	国専:選択	
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	

授業コード: 2451

授業内容 授業目標	(授業概要)日本における観光の現状を把握した上で、観光関連産業、観光地形成やサービスなど幅広く知識をつける。
A:主体性・チー A:主体性・手ー ム:中ク・責任感 B:コン能力 ション能力 C:思考力・判断	をつける。 旅行商品が生み出されていく手順を、特定の国内観光地を取り扱いながら、コンセプトづくり、ディスティネーション・マーケティング等の視点からレディメイド型旅行商品の作成される行程と成り立ちを学ぶ。さらに旅行プランを作成して、旅行商品を自分で作成する事で、観光地の観光資源や地方自治体の取り組みを理解する。また近年著しく増加している訪日外国人旅行者に焦点を合わせ、外国人旅行者の観光属性と日本がおこなっている取り組みについて、詳しく学ぶ。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	(授業目標)  ◎ C: 国際航空運賃、海外観光資源の知識を修得し、観光プランのコース作成を身に付ける。 ○ D: インバウンド旅行者の特徴を理解する。
授業計画	1 国内観光の状況 最新の国内観光の状況を観光統計などのデータ分析
	2 日本における観光 国内・海外観光旅行の市場規模、推移と現状
	3 日本遺産 文化庁が認定した、日本遺産の歴史的魅力や特色
	4 旅行商品開発のプランニング 旅行商品を作成するための計画とコンセプトづくり
	5 募集型企画旅行(実習:旅行商品の提案と料金計算) パッケージツアーなどのレディメイド型商品の分析
	6 観光地域づくり法人(DMO)を中心とした観光地域づくり 観光地域づくり法人(DMO)の形成・確立と日本版DMO
	7 観光地の観光プランニング(グループワーク:国内旅行プランのコース作成) ダイナミックパッケージを使用した、国内旅行プランの作成
	8 観光プランのコース発表(プレゼンテーション:全員が必ず発表する) それぞれが作成した国内旅行プランの発表と評価
	9 インバウンド観光(グループワーク: 訪日外国人旅行者へのおもてなしについてのディスカッション) 訪日外国人旅行者の習慣、食事などの基礎知識
	10 インバウンド旅行者増加への取り組みとオーバーツーリズム 訪日外国人旅行者の受け入れ状況と観光地の取り組み、オーバーツーリズムなどで発生する負の 側面から観光需要増減の要因について
	11 海外の観光資源(グループワーク:海外の観光資源を分類する)   旅行パンフレット、ガイドブックなどのメディア媒体に紹介されている観光資源
	12 海外旅行と外国通貨(実習:外国通貨レートの違いによる計算)   旅行パンフレット、ガイドブックなどのメディア媒体に紹介されている海外の観光資源と外国通   貨の種類などについて
	13 観光地の観光プランニング(グループワーク:海外旅行プランのコース作成) 海外の観光資源をめぐる、観光プランのコース作成
	14 出入国手続き(実習:国内外の入国書類、日本の税関書類の記入や税金の料金計算) 日本から出国し、帰国する際の空港での諸手続
	国際航空運賃の基礎知識と日付変更線、時差の計算など   国際航空運賃(実習:2ヶ国間の時差の計算、飛行機で移動した際の到着時間の計算など)
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎C:海外旅行プランのコース作成をおこない、人前でプレゼンテーションできる。</li><li>○D:ムスリム観光客への知識と必要な配慮を説明できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:国内、海外の観光資源を知り、具体的な観光プランニングができるように、観光ガイドブック・観光パンフレットなどを収集する(60分) 増加するインパウンド旅行者について調べる(30分) 事後学習:授業内容を復習すること。授業で学んだ観光資源や観光現象などを国や地域などを地図などでまとめる(60分) 観光関連産業それぞれの特徴や取り組みについてまとめる(30分)
指導方法	講義資料(プリント)を配布するので、講義資料内容を確認しながら授業内容を把握していく。パワーポイントを使用し、適宜関係する視聴覚資料を利用し授業を行う。観光産業の取り組みを理解し易いように、観光の現場で働く方を、ゲスト講師として授業に参加してもらう。フィードバックの方法:プレゼンテーション終了後に、質疑応答、教員からのプレゼンテーション内容の評価

	とアドバイスをおこなう。グループワーク、ディベート、実習課題については、授業内、授業後に個別に対
	応、指導する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	◎C: 国際航空運賃、海外観光資源の知識を定期試験の記述解答を評価する。合せて観光プランのコース作成とプレゼンテーションを評価する。 ○D:インバウンド旅行者への取り組みに関する小レポートを評価する。 講義内の確認テストの成績(40%)、授業への積極性・態度・取組み姿勢(20%)、実習、プレゼンテーションや課題レポート(40%)の総合評価
テキスト	授業資料 (プリント等) を毎回配布する。 (教科書は特に指定しない)
参考書	JTB総合研究所 (2013) 『観光概論』 十代田 朗(2014)『観光まちづくりのマーケティング』 溝尾 良隆 (2009) 観光学の基礎 (観光学全集 第1巻)
履修上の注意	1. 授業中は他の人の迷惑にならないように、授業態度に注意すること。 2. 時差、旅行代金の計算、旅行プランニング作成など、じっくりと授業に取り組む必要がある。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション

講義科目名称: ラグジュアリーホテル・ブライダルスタディー 授業コード: 2471 ズ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	2	国専:選択	
担当教員				
木内伸樹				
ナンバリング: E25C35	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

松米中安	*** タノのよこよの中では、ことい、マル、よこよしいだけらてよこよの出場ではしませばする。
授業内容 授業目標 A:主体性・チー	数多くのホテルの中でも、ラグジュアリーホテルと呼ばれるホテルの位置づけと特徴を知り、 さらに、どんなお客様が何の目的で利用しているのかを多方面から学ぶ。 また、ラグジュアリーホテルならではの結婚式のカップル像を細かく分析し、その対応に必要な
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	幅広い知識と教養の重要性を学ぶ。 どんなお客様の前でも、スマートで最上級のおもてなしができるマインドと自信を身に付ける。 ○C:ラグジュアリーホテルの顧客に適した接客対応、提案に必要な情報を取得し顧客にあった提案ができる。 ◎D:ラグジュアリーホテルの結婚式顧客像の知識を身につけ、また他のセクションとの連携の重要性について 理解できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 オリエンテーション・ホテルの分類 授業の進め方、学習方法など。またホテル業界の全体像を捉え、ラグジュアリーホテルの概要を 把握する
	2 ラグジュアリーホテルとは ホテル業界におけるラグジュアリーホテルの位置づけと特徴を知る
	3 ラグジュアリーホテルを調べてみる① ラグジュアリーホテルを調べ、情報の収集方法を学ぶ
	4 ラグジュアリーホテルを調べてみる② グループで発表し合い、他の人の視点から学ぶ
	5 ラグジュアリーホテルを利用するお客様の目的とは 宿泊、レストラン、スパ、宴会など、結婚式以前のホテルとの接点を知る
	6 ラグジュアリーホテルで結婚式を挙げるカップルの特徴 (新郎/男性編) 新郎の職種、会社名、持ち物、価値観を知る
	7 ラグジュアリーホテルで結婚式を挙げるカップルの特徴 (新婦/女性編) 新婦のファッション、ハイブランド、ジュリー、価値観を知る
	8 ラグジュアリーホテルで結婚式を挙げるカップルの特徴(お育ち編) カップルの育った背景を知ることで、求められる必要な知識を学ぶ
	9 ラグジュアリーホテルのプランナーに必要な知識、教養① 結婚式の知識だけではなく、幅広い知識や教養を身に付ける重要性を発見する
	10 ラグジュアリーホテルのプランナーに必要な知識、教養② お客様を深く知るための傾聴スキルを学ぶ
	11 ラグジュアリーホテルでの結婚式をプランニングしてみる① ペルソナを設定して、自分達で結婚式をプランニングし、企画力と提案力の重要性を学ぶ
	12 ラグジュアリーホテルでの結婚式をプランニングしてみる② ペルソナを設定して、自分達で結婚式をプランニングし、企画力と提案力の重要性を学ぶ
	13 ホテルブライダルのチームビルディング 各専門職が集まったホテルならではの強みを活かしたチーム力、総合力の発揮方法を学ぶ
	14 キャリアデザイン これまでの授業を通じて学んだことが、自分の考えにどのような変化を生んだのか、また今後の 就職活動にどのように活かせるかを振り返る
	15 ラグジュアリーホテルでの取組み 総括としてラグジュアリーホテルに求められる必要な知識を整理し、結婚式のプランニングの企 画力と提案力などの考え方を振り返る
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>○C:ラグジュアリーホテルの顧客に適した接客対応、提案に必要な情報を取得できる。</li><li>◎D:ラグジュアリーホテルの結婚式顧客像の知識を理解し、他のセクションとの連携の重要性についても理解できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:授業内で興味を持ったビジネス種別や企業についてWEBなどで調べてみること。 (90分) 事後学習:授業内での未知のワードやウエディングビジネスの種別について、まとめのノートを作成する。 (90分)
指導方法	基本は講義形式でおこなう。最新の正しい情報を提供しつつ、可能な限り具体的な企業名、商品名、企画名などを紹介し正確な業界の姿を伝える。なお、ゲスト講師の授業回では、ゲスト講師の所属する企業を事前調査

	( . ) [
	させ、授業内質問コーナーを設け、エキサイティングな時間とする予定である。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	C:授業で知り得たラグジュアリーホテルの顧客に適した接客対応、顧客への提案を定期試験と授業内プレゼンテーションで評価する。 D:結婚式顧客像の知識を理解し、他のセクションとの連携の重要性を質問シート、お礼状、テキストのリーディングシート、3種類の提出物を評価する。 授業への貢献度20% 質問シート10% お礼状10% リーディングシート10% 定期試験50%
テキスト	究極のホスピタリティを実現する「共感力」の鍛え方 安東徳子著 コスモ21 テキスト『共感力の鍛え方』を精読するためのリーディングワークシート ウエディング業界基本用語クエスチョンシート 業種特性比較一覧表 3名のゲスト講師へのお礼状
参考書	授業内で適宜案内する。
履修上の注意	1. 授業中は他の人の迷惑にならないように授業態度に注意すること。 2. 自分がラグジュアリーホテルでどのようなおもてなしが提供できるか、ホスピタリティ・マインドを常に 考えて授業に臨むこと。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: Business English: Airline・Airport 授業コード: 2181

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	国専:選択	
担当教員	•			
有田りな				
ナンバリング: E14C28	実務家教員による授業			
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・手一 ムリーニュニケー B:コン能力 ション能力 C:思考力・判断	頻出フレーズ 実際ご業界で会 毎回授業目標 (授業目標)	って機内、空港で役立つ英語表現を習得する。 を用いてロールプレイングの練習を強化し、実践に備える。 社で使用されている機内アナウンスを用いて聞きやすいアナウンスを練習する。 就職に求められるTOEICの語彙・リスニング力を強化する。 ブラリーやフレーズの確認テストを行う。 界で使用される英語から、現場で役立つ英語表現・英会話力を習得する。
D:知識・理解 E:技能・表現	○D:航空業	界で使用される英語がら、現場で反立つ英語表現・英云語力を自得する。 界で使用する単語やフレーズを理解し、場面に応じて活用することができる。 堂々と英語の接客ロールプレイングやアナウンスができる。
授業計画	1	オリエンテーション 授業概略説明 Self-introduction
	2	Unit1 Ticketing for a Domestic Flight
		Vocabulary Test 航空券の手配、必要書類に関する英語表現を学ぶ 機内アナウンス(プレゼンテーション)
	3	Unit2 Domestic Flight Check-in
		Vocabulary Test 国内線チェックインで必要な英語表現を学ぶ
	4	Unit3 International Flight Check-in
		Vocabulary Test 国際線チェックインで必要な英語表現を学ぶ
	5	Unit4 Airport Lounge Service
		Vocabulary Test ラウンジサービスに関する英語表現を学ぶ
	6	リリンシャーと人に関する央部衣児を子ぶ Unit5 Assisting Transit Passengers
		Vocabulary Tes
	7	乗り継ぎ旅客対応で必要な英語表現を学ぶ Unit6 Baggage Issues
	·	Vocabulary Test
	8	手荷物紛失や遺失物対応を行う際に必要な英語表現を学ぶ Unit7 Welcome Aboard
		Vocabulary Test 旅客搭乗案内に必要な英語表現を学ぶ 機内アナウンス
	9	Unit8 Before Takeoff
		Vocabulary Test 離陸前業務で必要な英語表現を学ぶ 機内アナウンス(プレゼンテーション)
	10	Unit9 In-flight Service
		Vocabulary Test ミールサービスに必要な英語表現を学ぶ(ロールプレイング) 機内アナウンス(プレゼンテーション)
	11	Unit10 In-flight Sales
		Vocabulary Test 免税品販売に必要な英語表現を学ぶ 機内アナウンス(プレゼンテーション)
	12	Unit11 Passenger Care
		Vocabulary Test 体調が優れない旅客への対応などの英語表現を学ぶ 機内アナウンス (プレゼンテーション)
	13	Unit12 Before Landing
		Vocabulary Test 到着前業務に必要な英語表現を学ぶ 機内アナウンス(プレゼンテーション)
	14	Crew Coordination
		Vocabulary Test 外国人客室乗務員と協働する際に必要な英語表現を学ぶ 機内アナウンス(プレゼンテーション)
	15	Presentation

	Vocabulary Test 機内アナウンスまとめ(プレゼンテーション)
学習成果・ 到達目標・基準	○D: 航空業界で役立つ英語表現を100程度理解し使用することができる。 ◎E: 英語の接客ロールプレイングやアナウンスを、正確に、感じよく実施することができる。
事前・事後学習	事前の学習:授業時に出された指示に従い行うこと。 翌週の授業で扱う単語・熟語をきちんと辞書で調べること。 (30分) 事前の学習:単語の復習並びに機内アナウンス等の暗記練習を行うこと。 確認テストの勉強とアサインメントをきちんと行うこと。 ロールプレイングで使用するフレーズは暗記をすること。 (60分)
指導方法	ほぼ毎回小テスト(オーラルか筆記)を行う。航空業界で使う特殊な用語もしっかりと身につくよう指導する 小テスト等のフィードバック: 小テスト結果にコメント等を記載し返却、問題がある場合は個別に指導する 授業後、オフィスアワーなどにコメントへの質疑に対応する
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D:毎回の小テスト、最終課題で評価する。 ◎E:授業時における機内アナウンスとロールプレイングで評価する
	授業への貢献度・積極性 30% 小テスト 30% 機内アナウンス最終プレゼンテーション 20% 最終課題 20%
テキスト	『Hospitality English』ANA総合研究所 2020年
参考書	授業内で適宜紹介する
履修上の注意	エアラインモデル希望の学生は必ず履修すること。 毎回の授業が大切です。欠席せずに積極的に参加しましょう。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション ロールプレイング

講義科目名称: エアラインゼミ 授業コード: 2751

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	国専:選択
担当教員			
有田りな			
ナンバリング: E210C66	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	1年後期に引き続き、エアライン業界についての知識を深めると同時に、エアラインで提供されてい や商品企画を理解する。エアラインで提供できるような新らしいサービスの提案と機内販売商品の企 きる知識を養う。 毎回の計画に則り、ゼミ形式あるいは講義形式で授業を進める。	るサービス E画立案で
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 力	(授業目標) ◎D:エアライン業界に関する知識や理解をさらに深め、サービスの提案と商品の企画・立案するこ	とができ
D:知識・理解 E:技能・表現	る。 ○E:エアライン業界に求められる資格等が取得できる。	
授業計画	オリエンテーション・志望理由発表(プレゼンテーション) グループに分かれて、志望エアラインの企業理念と志望理由を結びつけて発表する。	
	2 エアライン業界研究と提供されているサービス (グループワーク) エアライン業界研究とエアラインが顧客向けに提供しているサービスについて調べる。	0
	3 エアライン業界研究と提供されているサービス比較 (プレゼンテーション) (グルーカッション)	プディス
	各自が調べた顧客向けサービスの発表とそれぞれのサービスの相違点を比較する。	
	4 エアライン業界研究と空港で提供されているサービス(グループワーク) エアライン業界研究とエアラインが空港で提供しているサービスについて調べる。	
	5 エアライン業界研究と空港で提供されているサービス比較 (プレゼンテーション) ( ディスカッション)	
	エアラインが空港で提供しているサービスについての発表と空港サービスの相違点を	比較する。
	6 空港関連会社と首都圏の空港のサービス(グループワーク) 羽田空港・成田空港でエアライン、空港を運営する企業がどのようなサービスを展開 調べる。	しているか
	7 空港関連会社と首都圏の空港のサービス比較(プレゼンテーション)(グループディン)	スカッショ
	羽田空港・成田空港でエアライン、空港を運営する企業のサービスの相違点を比較す	る。
	8 エアライン業界研究とメガキャリアが機内提供しているサービス(グループワーク) エアラインが機内で提供している、座席、機内食などをファーストクラス、ビジネス レミアムエコノミー、エコノミークラスに分け、どのようなサービスを提供している。	クラス、プ か調べる
	9 メガキャリアが機内提供しているサービス比較(プレゼンテーション) (グループデ ション)	
	エアラインごとのクラス別座席、機内食などのサービスについて相違点を比較する。	0
	10 メガキャリアとLCCのサービス比較(グループワーク)(グループディスカッション) メガキャリアが提供しているサービスと、LCCが提供していないサービスをは何かを記 要なサービスとは何かについて議論する。	
	11 マーケティングリサーチと機内販売商品企画 エアライン企業から一社選択して、そのエアラインの機内で販売するオリジナル商品 ティングの視点から考案する。	をマーケ
	12 エアライン企業カラーと機内販売商品企画 エアライン企業のテーマカラー、マスコットキャラクターなどを意識してオリジナル 立案する。	商品を企画
	近来する。 13 機内販売商品を具現化 機内販売商品のコンセプト、値段、販売時期などを決定し商品を具現化する。	
	14 機内販売商品発表(プレゼンテーション) 企画立案した機内販売商品を発表する。	
	15 エアラインゼミ総括と個人面談 授業の総括をおこない、就職活動カウンセリング、個人面談をおこなう	
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:エアラインの企業理念を理解し、提供されるサービスや商品を比較できる。 ○E:エアライン業界で必要な資格の対策を講じることができる。	
事前・事後学習	事前学習として業界研究やエントリーシートの準備をする。(40分) 事後学習として、宿題として出された調査やプレゼンテーションの準備をする。(45分)	
指導方法	企業研究の方法について指導し、自分が希望する就職先について企業理解をふかめられるよう指導す また、グループディスカッションを通して、コミュニケーション力を高められるよう指導する。 フィードバックの方法: ①エントリーシート・履歴書にコメントをつけて返却、②コメントに関する	
<u> </u>	The state of the s	- > 1/2</th

	応、③定期的に面談をおこなう。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎D:企画立案した機内販売商品を評価する。</li><li>○E:資格試験の結果や授業内の提出物で評価する。</li></ul>
	授業への貢献度: 40% 課題・最終レポート: 30% プレゼンテーション: 20% 資格取得: 10%
テキスト	特になし。適宜レジュメ、授業参考資料を配布する。
参考書	授業内で指示する。
履修上の注意	毎回必ず出席することが大切である。教室が変わることがあるので注意すること。 重要な伝達や情報があるので、学校からのメール、ActivePortal、Google Classroomの情報を毎日確認すること。 来校時には学内の掲示板を確認すること。 また本授業は4時限開講であるが、5時限まで延長しておこなうこともあることを留意する。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション

講義科目名称: キャリアゼミ:エアラインゼミ 授業コード:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	国専:必修
担当教員			
有田りな			
ナンバリング: E19A62	実務家教員によ	る授業	
添付ファイル			
	_		

授業内容	エアライン業界についての知識をつけ、企業研究、職種研究をおこなうことにより理解を深める。ホスピタリ
授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	ディ産業で提供されるサービス、接遇マナーを客観的に評価することで判断力を身につける。またグループディスカッションや自己分析、自己PRの積み重ねを経て、思考力を養う。ゼミ形式あるいは講義形式で授業を進める。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断 D	(授業目標) ◎D:エアライン業界に関する知識を深め、企業の特色、職種ごとの役割が理解できる。 ○E:エアライン業界での業務に役立つ資格が取得できる。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 オリエンテーション・自己紹介 授業概略説明、自己PRを踏まえた自己紹介(1人1分)
	2 エアライン業界研究 エアライン業界について大枠を把握し、エアライン業界の企業、職種について理解を深める。
	3 エアライン業界に求められる人材とは キャビンアテンダント、グランドスタッフ、グランドハンドリングなどそれぞれの職種に求められる人材と採用状況について。
	4 エアライン業界研究 エアライン企業研究を深め、企業ごとの特徴を分析する。
	5 エアラインの特徴分析 (プレゼンテーション) エアライン企業研究で得た企業の特徴を発表する。
	6 グランドスタッフの基本業務について グランドスタッフの基本業務について理解を深める。
	7 キャビンアテンダントの基本業務について キャビンアテンダントの基本業務について理解を深める。
	8 グランドハンドリングの基本業務について グランドハンドリングの基本業務について理解を深める。
	9 日本のエアライン研究(グループワーク) グループごとに日本のエアラインの企業研究をおこない、就航地、提供されるサービスなど具体 的に理解する。
	10 海外のエアライン研究(グループワーク)   グループごとに海外のエアラインの企業研究をおこない、就航地、文化を反映したユニフォーム、提供されるサービスなど具体的に理解する。
	11 エアライン分析結果発表(プレゼンテーション)(ディスカッション) エアラインの分析結果をグループごとに発表し、エアラインによってどのような特徴があるかる 議論する。
	12 ホスピタリティ産業のサービス・接遇マナーのチェックリスト作成(グループワーク) ホスピタリティ産業のサービス・接客・接遇マナーをチェックするための判断項目を選択し、領 店舗へ出向いた際に比較・検討し数値化できるようにチェックリストを作成する。
	13 ホスピタリティ産業のサービス・接遇マナー評価基準 (グループワーク) 比較・検討し数値化できるようにチェックリストを使用して、評価するための視点、注意点を検 討する。
	14 ホスピタリティ産業のサービス・接遇マナー評価発表(プレゼンテーション) 実際にサービス・接客・接遇マナー評価をした結果をグループごとに発表し、その評価をひとり ひとりが考察する。
	15 ホスピタリティ産業のサービス・接遇マナー評価発表(プレゼンテーション) 実際にサービス・接客・接遇マナー評価をした結果をグループごとに発表し、その評価をひとり ひとりが考察する。
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:エアライン業界の就職活動に必要な知識をエントリーシートに反映できる。</li><li>○E:エアライン業界の就職活動に役立つ資格が取得できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:授業時に出された指示に従い行うこと。業界研究やエントリーシートの準備をすること。(約40分) 事後学習:授業内で学んだ知識をまとめ、今後の就職活動に役立てる準備をすること。(約40分)
指導方法	エアライン業界、企業研究、職種研究の方法について指導し、エアライン業界全体を理解できるよう指導す
11474 14	る。 また、グループディスカッション、プレゼンテーションを通して、コミュニケーション力を高められるよう指導する。
L	14740

	フィードバックの方法: ①エントリーシート・履歴書にコメントをつけて返却、②コメントに関する質疑対応、③定期的に面談をおこなう。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	グループディスカッションでの行動を評価する。 ◎D:職種理解のレポート、課題で評価する。 ○E:自己分析のレポート、課題で評価する。
	平常点 (授業への貢献度・積極性) 40% 最終レポート 20% 小レポート 30% 資格取得 10%
テキスト	無し。必要な教材は適宜Google Classroomに掲載する。
参考書	アートヴィレッジ『後悔しないJAL ANA 外資系CA就職対策決定版』アイザックエアラインスクール編著を参考に自学習することが望ましい。
履修上の注意	毎回必ず出席することが大切である。教室が変わることがあるので注意すること。 重要な伝達や情報があるので、学校からのメール、ActivePortal、Google Classroomの情報を毎日確認すること。来校時には学内の掲示板を確認すること。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、グループディスカッション

講義科目名称: セールス・マーケティングゼミ 授業コード: 2781

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	国専:選択
担当教員			
松井恵美子			
ナンバリング: E210C69	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業主体 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一般企業のマーケティング・営業支援・事務・受付・秘書・販売などを目指す就職活動に必須の、履歴書・エントリーシートの作成法、自分のアピールポイントの掘り起し方、面接の対処法、業界・企業の調査法、などを学習する。また、それらの方法を実践した結果をグループで討議し、コミュニケーション能力など就職活動に必要な能力を養成する。(授業目標) ○C:自分のアピールポイントの発見や企業研究などをとおして、自分の将来の展望について納得のゆく結論を出すことができる。 ⑥E:就職活動に必要な書類などをわかりやすく整理して作成することができ、面接にも冷静に対処できる。
授業計画	1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
[ [ [ [ ] ] ] ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	オリエンテーション(松井、キャリアセンター)(アンケート調査)   授業の進め方に関するオリエンテーションと今後の就職活動の注意点など、および、就活状況   アンケート
	2 就活スキルアップ1(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク)   エントリーシートの書き方1:自分のアピールポイントの見つけ方と表現方法
	3 就活スキルアップ2(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク) エントリーシートの書き方2:効果的なエントリーシートの書き方
	4 就活スキルアップ3(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク) 面接練習1:面接の注意点と練習
	5 就活スキルアップ4(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク) 面接練習2:本番に向けた面接練習
	6 就活スキルアップ5(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク) SPIテスト対策
	7 企業研究と個別面談1(松井) 企業研究の方法説明と実践、並行して、適宜担当教員による個別面談、インターンシップ面談 を実施
	8 企業研究と個別面談2(松井) 企業研究の実践、並行して、適宜担当教員による個別面談、インターンシップ面談を実施
	9 企業説明会(参加企業人事担当者、キャリアセンター、キャリア教育専門講師、松井) 企業の人事担当者のを招いて教室で企業説明会を体験、その前後にキャリア教育専門講師によ り企業説明聴講と聴講後の心構えを説明
	10
	11
	12 仕事に就いて3(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク) 仕事の優先順位の決め方について
	13 仕事に就いて4(キャリア教育専門講師、松井)(グループワーク) 調査・分析の方法(KJ法)
	14
	15 夏休み以降の就職活動について(キャリアセンター、松井)(アンケート調査)   夏休み中の就職活動の注意事項と対策について、および、振り返りアンケート
学習成果・ 到達目標・基準	○C:自分のアピールポイントの発見や企業研究などを実践することができる。 ◎E:就職活動に必要な書類などを作成する方法を理解でき、面接の要領も理解できる。
事前・事後学習	事前学習:次回の授業で取り上げる、就職活動の取り組み方について何を知っているか、何を知る必要があるか整理し、授業中の質疑応答やグループワークに積極的に参加できるよう準備(30分程度)。 事後学習:授業で提示された外部のリクルート関連会社の支援を積極的に活用して、就職活動に取り組む(30分程度)。
指導方法	キャリアセンターやキャリア教育専門講師による授業などを状況に応じて実施する。また、就職に関する個別面談、質疑応答、グループ討議の機会を設けるので、積極的に参加してください。企業見学なども積極的に行います。フィードバックの方法:個別面談により、就活への理解を深める。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○C:企業研究や自己分析などによる、各自の将来展望への取り組みを評価。 ◎E:履歴書・エントリーシートなどの課題への取り組み、および、学習内容の就職活動への反映を評価。 平常点(授業への貢献度・積極性):30% プレゼンテーション:30% 課題:40%
テキスト	授業の要点を資料として配布する。
参考書	授業中に指示する。
履修上の注意	すべての連絡はGoogleClassroomで行うので必ず確認をするようにしてください。 本授業は4時限開講であるが、5時限まで延長して行うこともあることを留意してください。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク

講義科目名称: インターンシップ 1 (国際コミュニケーション 授業コード: 2691 学科)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期・後期	1 • 2	1	国専:選択	
担当教員				
有田りな				
ナンバリング:1年生E28C60	ナンバリング:2	2年生E29C63	実務家教員による授業	
添付ファイル				
参考資料①2022年版説明会. po	lf		昨年度のプログラム概要説明	です
参考資料②2022年版Spring_日程表.pdf		昨年度費用です 本年度は為替、米国の経済状況により変 更あります		
参考資料③2022年版アメリカ・グローバルキャリアプログラム紹介. pdf		昨年度の日程です 本年度は	説明会で発表します	

ラム紹介. pdf	版アメリカ・クローバルキャリアプログ 昨年度の日程です 本年度は説明会で発表します 
授業 ・ ・ ・ ・ ・ を標性・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	インターンシップ 1 は、本学が指定する海外インターンシッププログラム「America Global Career Program」(昨年度資料は添付ファイル参照)に参加し所定の成果を出すことで、インターンシップ 1 及びインターンシップ2の単位合計2単位が取得できるプログラムで、開講期間内ではなく夏期もしくは春期休暇期間中に実施する。インターンシップ研修を通じ、アメリカ文化に触れ、主体性・チームワーク・責任感、コミュニケーション能力などの社会人として必要な能力を身に付けていくことを目的とする。インターンシップ先として、JAL、KDDI、JTB、BOOK OFF等の日本企業のロサンゼルス支社等をはじめ、アパレル、美容、ホテル、広告、エンターテインメント、幼稚園等と多岐に渡る。本人の希望と語学力等によりインターンシップ先を決める。  (授業目標) 自分らしい「生き方」「働き方」を見出すキッカケを掴め、「自分ひとりでは体験できない機会」を体験する。世界中で挑戦する人・企業と出会い、多様な価値観に触れ、感じる場をつくることで新しい可能性を自覚
	し、グローバルに活躍できる人材となることを目標とする。  ◎ A: 社会にて主体性・チームワーク・責任感を養うことができる。  ○ B: 海外の社会に触れ、語学力を含めたコミュニケーション力を養うことができる。
授業計画	1 説明会(課外時間にて実施予定) 海外インターンシップの意義、目的との意義と目的について、インターンシップの進め方、日程、参加費用、研修先案内等説明する。後日申込受付をする。 2 オンライン個別相談(課外時間にて実施予定) ロサンゼルスのコーディネーターとZOOMで面談し、希望インターンシップ先と英語力を確認する。後日、インターンシップ先企業の決定通知がある。 3 最終説明会(課外時間にて実施予定・渡米の1~3週間前)渡航や滞在先、研修内容についての説明会を実施し、後日現地滞在先決定の通知がある。 4 合同ビジネス研修(渡航先で4日間実施・滞在はホテル) LAダウンタウンクエスト、グローバルリーダーフォーラム、企業訪問等、他校を含む参加する日本の学生が合同で実施する。 5 実地研修(個別)(渡航先で2~3週間実施・滞在はホームステイ)受け入れ先企業にて、日々の業務を行う。研修終了後、学びの振り返りと実習先企業へプレゼンテーションを実施する。 6 報告面談(課外時間にて実施予定)帰国後、担当教員へ報告、面談を行い、総合的な評価のもと単位認定となる。
学習成果・ 到達目標・基準	自分の資質、特性を理解し、自分に合った業界、職種を選び、将来を決めることのできる自主性を養えるようになるなど、社会に出るにあたりA・Bの能力をさらに身に付け、行動していくことを目標とする。 ◎ A:社会にて主体性・チームワーク・責任感の必要性を理解できる。 ○ B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携を理解する。
事前・事後学習	事前学習: 語学力に応じてインターンシップ先が決まるため、事前に語学力を身に着けること。 希望する業界・職種に関して、あらかじめインターネット等で研究・情報収集をし、理解をしておくこと。またインターンシップ研修を通じ、どのような学びや経験を得たいか等の目標を設定することが望ましい。 事後学習:帰国後は研修内容をプレゼンテーションする。その内容は、就職活動の面接等でも活かせるよう準備すること。
指導方法	担当教員の他、ロザンゼルスのコーディネーターの協力の基、実施する。事務関連は教務部が行う。
アセスメント・成績評価の方法・基準	所定の事前・事後研修、実習を修了し、報告会及び面談により総合的に2段階で評価(Passもしくは、Drop)する。 インターンシップ1の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することができる。 なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得となる。また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。 B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携に必要性があることを経験している。

テキスト	研修期間中に配布する。
参考書	特になし。
履修上の注意	「アメリカ・グローバルキャリアプログラムインターンシップ」は、本学が指定する海外インターンシッププログラムで、アメリカロサンゼルスのコーディネート会社であるLighthouse Career Encourage USA Corpの協力のもと、実施する。 *令和5年度の実施概要は、授業計画1の説明会内で発表する。 *昨年度日程、費用等の概要は添付ファイルを参照のこと。 *研修・実習に係る渡航費、滞在費、食費、保険、プログラム実習費は参加者の負担となる。
	*インターンシップは無報酬となる。  *新型コロナウィルスによる影響、インターンシップ先等の都合で変更の場合がある。
アクティブ・ラーニング	特に無し

講義科目名称: インターンシップ 2 (国際コミュニケーション 授業コード: 2692 学科)

開講期間	配当年    単位数		科目必選区分		
前期・後期	1 • 2	1	国専:選択		
担当教員					
有田りな					
ナンバリング:1年生E28C61	ナンバリング:2	2年生E29C64	実務家教員による授業		
添付ファイル					
参考資料①2022年版説明会. pd	df		昨年度のプログラム概要説明	です	
参考資料②2022年版Spring_日程表.pdf		昨年度費用です 本年度は為替、米国の経済状況により変 更あります			
参考資料③2022年版アメリカ・グローバルキャリアプログラム紹介. pdf		昨年度の日程です 本年度は	説明会で発表します		

ラム紹介. pdf	W/メリル・クローバルヤヤリナブログ 昨年及の日程です 本年及は説明会で発表します
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・ュニケ B:コン能力 ション能力 C:思考力・判断	インターンシップ 1 は、本学が指定する海外インターンシッププログラム「America Global Career Program」(昨年度資料は添付ファイル参照)に参加し所定の成果を出すことで、インターンシップ 1 及びインターンシップ2の単位合計2単位が取得できるプログラムで、開講期間内ではなく夏期もしくは春期休暇期間中に実施する。 インターンシップ研修を通じ、アメリカ文化に触れ、主体性・チームワーク・責任感、コミュニケーション能力などの社会人として必要な能力を身に付けていくことを目的とする。インターンシップ先として、JAL、KDDI、JTB、BOOK OFF等の日本企業のロサンゼルス支社等をはじめ、アパレ
カ D:知識・理解 E:技能・表現	ル、美容、ホテル、広告、エンターテインメント、幼稚園等と多岐に渡る。本人の希望と語学力等によりインターンシップ先を決める。 (授業目標)
	自分らしい「生き方」「働き方」を見出すキッカケを掴め、「自分ひとりでは体験できない機会」を体験する。世界中で挑戦する人・企業と出会い、多様な価値観に触れ、感じる場をつくることで新しい可能性を自覚し、グローバルに活躍できる人材となることを目標とする。 ◎ A:社会にて主体性・チームワーク・責任感を養うことができる。
	○B:海外の社会に触れ、語学力を含めたコミュニケーション力を養うことができる。
授業計画	1 説明会(課外時間にて実施予定) 海外インターンシップの意義、目的との意義と目的について、インターンシップの進め方、日程、参加費用、研修先案内等説明する。後日申込受付をする。 2 オンライン個別相談(課外時間にて実施予定)
	ロサンゼルスのコーディネーターとZOOMで面談し、希望インターンシップ先と英語力を確認する。後日、インターンシップ先企業の決定通知がある。 最終説明会(課外時間にて実施予定・渡米の1~3週間前) 渡航や滞在先、研修内容についての説明会を実施し、後日現地滞在先決定の通知がある。
	4 合同ビジネス研修 (渡航先で4日間実施・滞在はホテル) LAダウンタウンクエスト、グローバルリーダーフォーラム、企業訪問等、他校を含む参加する日本の学生が合同で実施する。 5 実地研修 (個別) (渡航先で2~3週間実施・滞在はホームステイ)
	受け入れ先企業にて、日々の業務を行う。研修終了後、学びの振り返りと実習先企業へプレゼン テーションを実施する。 6 報告面談(課外時間にて実施予定) 帰国後、担当教員へ報告、面談を行い、総合的な評価のもと単位認定となる。
学習成果・ 到達目標・基準	自分の資質、特性を理解し、自分に合った業界、職種を選び、将来を決めることのできる自主性を養えるようになるなど、社会に出るにあたりA・Bの能力をさらに身に付け、行動していくことを目標とする。   ◎ A:社会にて主体性・チームワーク・責任感の必要性を理解できる。
	〇B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携を理解する。
事前・事後学習	事前学習: 語学力に応じてインターンシップ先が決まるため、事前に語学力を身に着けること。 希望する業界・職種に関して、あらかじめインターネット等で研究・情報収集をし、理解をしておくこと。またインターンシップ研修を通じ、どのような学びや経験を得たいか等の目標を設定することが望ましい。 事後学習:帰国後は研修内容をプレゼンテーションする。その内容は、就職活動の面接等でも活かせるよう準備すること。
指導方法	担当教員の他、ロザンゼルスのコーディネーターの協力の基、実施する。事務関連は教務部が行う。
アセスメント・成績評価の方法・基準	所定の事前・事後研修、実習を修了し、報告会及び面談により総合的に2段階で評価 (Passもしくは、Drop)する。 インターンシップ1の研修・実習時間は、事前・事後学習を含めて45時間、インターンシップ2は、1の45時間を含め、継続して90時間以上の研修・実習をすることで単位が取得できる。従って18泊19日コース、24泊25日コースの修了者ともインターンシップ2の研修・実習時間要件を満たすため1.2合わせて2単位取得することができる。 なお、履修登録はインターンシップ修了後に登録すること。従って夏期は1年後期、春期は2年前期に単位取得となる。また、以下項目を基準に評価する。 A:社会での主体性・チームワーク・責任感の必要性を経験している。
	B:スタッフ間、お客様、上下関係、他部署と連携に必要性があることを経験している。

テキスト	研修期間中に配布する。
参考書	特になし。
履修上の注意	「アメリカ・グローバルキャリアプログラムインターンシップ」は、本学が指定する海外インターンシッププログラムで、アメリカロサンゼルスのコーディネート会社であるLighthouse Career Encourage USA Corpの協力のもと、実施する。 *令和5年度の実施概要は、授業計画1の説明会内で発表する。 *昨年度日程、費用等の概要は添付ファイルを参照のこと。 *研修・実習に係る渡航費、滞在費、食費、保険、プログラム実習費は参加者の負担となる。
	*インターンシップは無報酬となる。  *新型コロナウィルスによる影響、インターンシップ先等の都合で変更の場合がある。
アクティブ・ラーニング	特に無し

講義科目名称: エアライン ホスピタリティ 授業コード: 2341

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
前期	1	2	国専:選択		
担当教員					
有田りな					
ナンバリング:E14C24	実務家教員に	よる授業			
添付ファイル				·	

授業内容	・多種多様な業種が関わりあうエアラインビジネスの仕組みを理解し、その業務内容を学ぶ。
授業目標   A:主体性・チー	・具体的なサービス事例をもとにグループディスカッションを行い、エアライン業界におけるホスピタリティマインドを理解する。
A・王体性・ケームワーク・責任感 B:コミュニケー	・キャビンアテンダント・グランドスタッフに求められる素養を理解し、基礎的な自己分析を実施する。
ション能力	(授業目標) ・キャビンアテンダント・グランドスタッフの業務や仕事のやりがいを理解すること。
C: 思考力・判断 力	<ul><li>○A:授業内の課題・事前学習を主体的に取り組み、紹介する事例を自らに置き換えて捉えることができる。</li><li>◎D:エアライン業界を代表する職種の特性、安全運航と顧客満足への取り組みを理解することができる。</li></ul>
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 ガイダンス
	授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明を行う 毎週実施する企業研究課題について説明を行い、全員で練習する
	2 接客業に従事する者に求められる素養と自己分析
	自己分析を行う方法を説明し、学生時代に取り組むべき事柄を考える
	3 キャビンアテンダントの業務と求められる素養 キャビンアテンダントの業務内容を分析し、求められる素養を理解する
	4 グランドスタッフの業務と求められる素養
	グランドスタッフの業務内容を分析し、求められる素養を理解する
	5 航空産業の黎明期・日本における航空産業の発展
	航空産業が欧米でどのように成立したか 我が国において航空産業がどのように発展してきたか理解する
	6 フルサービスキャリアとローコストキャリア ビジネスモデルの概要
	大手航空会社 (FSC)と格安航空会社 (LCC)の収益構造を比較する
	7 フルサービスキャリアとローコストキャリア サービス比較 大手航空会社 (FSC)と格安航空会社 (LCC)のサービス内容を、具体的事例を用いて比較する
	(アレゼンテーション:全員が発表する)
	サービス要員としてのキャビンアテンダント業務(グループワーク)
	サービス事例から、サービス要員としての役割を理解する (グループワークを実施) 9 保安要員としてのキャビンアテンダント業務 (グループワーク)
	具体的な業務の流れから、保安要員の役割を理解する(グループワークを実施)
	10 キャビンアテンダントゲスト講話 (ディスカッション)
	キャビンアテンダントとして勤務するゲストから、仕事内容ややりがい、サービスの事例について学び、新たな疑問、気づき、学びについて話し合う
	これまでの授業で学んだ内容との関連性を確認し、理解を深める
	11 グランドスタッフの仕事 グランドスタッフの多岐にわたる業務と魅力を学ぶ
	12 グランドスタッフの仕事 事例研究 (ディスカッション)
	グランドハンドリング業務と求められる素養を知り、ディスカッションを通じて理解を深める
	(ディスカッションを実施) 13 グランドスタッフゲスト講話 (ディスカッション)
	グランドスタッフとして勤務するゲストから、仕事内容ややりがい、サービスの事例について学
	び、新たな疑問、気づき、学びについて話し合う これまでの授業で学んだ内容との関連性を確認し、理解を深める
	14
	予約・マイレージに関わる業務など、 一機を飛ばすために様々な職種が関わり合っているエアライン業界の仕組みと各業種を知る
	15 エアラインホスピタリティ(ディスカッション・プレゼンテーション)
	エアライン業界でのサービス実例をもとに、どのようなホスピタリティが実践されているかディ スカッションとプレゼンテーションを行う
学習成果・	○A:グループワークにて、相手の意見を尊重し協働できる。また、学習した知識をもとに自身の意見を自分の
到達目標・基準	言葉で発信することができる。   ◎ D:エアライン業界で働くスタッフに求められる人材像のポイントについて説明することができる。
事前・事後学習	【事前学習】事前に告知したテーマにかかわるニュース報道などの情報収集 (100分) 【事後学習】テーマごとに配布するプリントの読み返しとエアライン業界用語・キーワードの確認 (80分)
指導方法	パワーポイント・資料配布 (クラスルーム) を使って講義形式で行う。 理解を深めるために適宜グループワークを実施し、インプットされた知識の整理とアウトプットを行う。
•	•

	毎週自身が選んだ記事の発表を行い、業界への理解を深める。 エアライン業界従事者を招いて具体的な業務内容を聞き、討論することで、教科書や講義で学んだ内容の理解 を一層深める. 授業の最後に毎回小レポートを記入・提出。 レポートなどの提出物は、Google Classroomを通じ個別コメントでフィードバックをし、授業内での全体講評
アセスメント・成績評価の方法・基準	を行う  授業内レポート・提出物・平常点(授業態度)を総合的に判断する。  ○A:授業での取り組み姿勢と発言を評価する  ③D:試験と知識確認テストを評価する  授業態度 20%  小レポート・課題 40%  最終レポート 40%
テキスト	晃洋書房『エアライン・ビジネス入門 第2版』稲本恵子編著
参考書	適宜資料を配布する。 航空に関する新聞記事なども使用する。
履修上の注意	この時期に業界・企業の情報収集能力を身につけることが将来大いに役立ちます。 地道な事前学習ですが積極的に取り組み、習慣化していきましょう。 授業内で紹介する業種にて、自分がどのようなおもてなしが提供できるのか、また、どのような点にやりがい を見いだせるかを考え、自主的に授業に取り組んでください。 JAL ANA のアニュアルレポート(無料)を各自取り寄せてください。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション

講義科目名称: エアライン スタディーズ: GS・CA 授業コード: 2321 2322

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	国専:選択
担当教員			
木内伸樹、有田りな			
ナンバリング: E14C25	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

極業中容	夕廷夕送り歌	毎にトーマドルカーマルフ峠か入社の中で、商 <b>安</b> 港日もナナイフトもも処割も担こと、バンマニ
授業内容 授業目標 A:主体性・チー	ンダント・グ (国際理解・	種によって成り立っている航空会社の中で、顧客満足を左右する大きな役割を担うキャビンアテランドスタッフの事例を取り上げ、様々な客層に高品質なもてなしを提供するために必要な知識マナー)を学ぶ。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	キャビンアテ て利用し、豊 (授業目標)	ンダント・グランドスタッフの接遇の基本を社会生活におけるコミュニケーションのツールとしかな人間関係の創造と自分への自信に繋げていくことをテーマとする。
C:思考力・判断 力	航空業界に求 ○B:マナー	められるコミュニケーション能力・接客スキル・知識を習得すること。 5原則(表情・挨拶・身だしなみ・話し方・態度)を身につけ、学校生活など日常のコミュニケー
D:知識・理解 E:技能・表現		てることができる 界の概要を知り、仕事の仕組みや航空会社の接遇・顧客とのコミュニケーションスキルについて
授業計画	1	ガイダンス 授業の内容説明とそれぞれの自己紹介を行う (プレゼンテーション)
	2	キャビンアテンダントの業務 キャビンアテンダントの役割とサービス向上の取り組みについて知る
	3	グランドスタッフの基本業務 グランドスタッフの役割とサービス向上の取り組みについて知る
	4	キャビンアテンダントの保安業務
	5	保安要員としての役割を考える グランドスタッフの接客業務
	6	お手伝いが必要となるお客様への接遇に必要な知識とスキルを考える 航空会社の接遇の基礎
	7	キャビンアテンダント・グランドスタッフの接遇スキルの基礎を学ぶ 航空会社の接遇(言葉遣い) 演習(ロールプレイング)
		サービスに適した言葉遣いや言葉の選び方を学ぶ。
	8	航空会社の接遇(言葉と発声) 演習(ロールプレイング) 「笑声」を学ぶ・アナウンス練習を通して,感じの良い話し方を身につける
	9	様々なコミュニケーション 障がいを抱えるお客様とのコミュニケーションの取り方を、手話などを通じて理解を深める
	10	救急処置(ファーストエイド)対応とコミュニケーション 空港・機内で救急処置が必要なお客様への対応やコミュニケーションの取り方について考える
	11	特色あるエアラインサービス (フラッグキャリア) を調べる (グループワーク:グループごとにまとめを発表)
	10	機材・路線に合わせた特色あるフラッグキャリアのエアラインサービスについて調査・討議・発表する
	12	特色あるエアラインサービス (LCC)を調べる (グループワーク:グループごとにまとめを発表) 機材・路線に合わせた特色あるLCCのエアラインサービスについて調査・討議・発表する
	13	キャリアビジョンと実現したいサービスキャビアンアテンダント・グランドスタッフのキャリアを知り、実現したいサービスを考える
	14	各航空会社の社会貢献活動 プレスリリースなどを調べ、各航空会社の社会貢献活動を学ぶ
	15	エアラインスタディ (ロールプレイング) 機内・空港で想定される事例のロールプレイング
), === b ==		
学習成果・ 到達目標・基準	わることがで のD:エアラ	意見を尊重しながら、他者に合わせるべきところと主張すべきところを押さえて、多様な人と関きる イン・サービスを提供する上で必要な構成要素と業務に携わる人々、必要とされる人材・そのホ について説明できる
事前・事後学習	【事前学習】 【事後学習】	事前に告知したテーマに関わるニュース報道などの情報収集・課題レポート(100分) テーマごとに配布するプリントの読み返しと課題レポート 毎回の演習内容のリプレイ(80分)
指導方法	配布資料・パゲストスピー	ワーポイントを使って講義形式で行う。必要に応じ、映像も使いながら進めていく。 カーを招き、キャビンアテンダントやグランドスタッフに必要な素養をディスカッションする 要に応じ、サービスやマナーに関する映像も使用する。
	1	

	事例研究やマナーは実践を取り入れ、体感することで理解を深めるよう進めていく。  毎回Google Classroomでの小レポートを記入、提出。個別フィードバックを加え返却。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○B:成果物作成やグループワークでのチームへの関わり方を評価する ◎D:最終レポートと授業内での質疑応答の内容を評価する
<b>25</b> +	レポート・課題物提出状況、平常点(授業貢献度など)を総合的に判断する。 平常点(授業貢献度など)30% 小レポート・課題提出物30% 最終レポート40%
	レポートなどの提出物は、授業内での全体講評と個別コメントでフィードバックする
テキスト	特になし。 適宜必要な資料をGoogle Classroomに掲載する。
参考書	アートヴィレッジ『後悔しない JAL ANA 外資系CA就職対策決定版』アイザックエアラインスクール編著
履修上の注意	演習を多く取り入れた授業であり、積極的に動く姿勢を強く希望する。サービスをテーマにすることから、常 に他者のことを考えた行動を心がけることが必要。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション、グループワーク、ロールプレイング

講義科目名称: エアラインビジネス スタディーズ 授業コード: 2331

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	2	国専:選択	
担当教員				
有田りな				
ナンバリング:E14C26	実務家教員	こよる授業		
添付ファイル				

14/1/2 / 1/4	
授業 特 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	・空港業務、航空制度、約款、アライアンス、運賃、ダイヤ等、エアラインビジネス特有の知識を習得する・個別発表、グループディスカッション、レポートの書き方を通して、コミュニケーション能力、コーディネーション能力、プレゼン能力、共感力、傾聴力、課題展開力を高める・エアライン業界の就職に備えた筆記試験対策も行う【授業目標】 企業理念、経営戦略、マーケティング戦略などの経営学基礎を習得するとともに、特色のある企業をピックアップしてエアラインビジネスにおける経営の特徴を理解する ◎B:参加型の授業やケースを通して、能動的に考え、意見交換を通して、高いコミュニケーション能力が発揮できる ○D:エアラインビジネスを理解し、業界内の企業が持つ特徴を分析することができる
授業計画	1 オリエンテーション
以未们四	
	3 統合レポートの読み方
	エアライン業界が発表している統合レポートをもとに、読み方を学ぶ
	SPI② 4 統合レポートによるフルサービスキャリアの比較(グループワーク、発表) フルサービスキャリアの統合レポートを比較し、グループワークと発表を行う SPI②の解説
	5 統合レポートによるリージョナルエアラインの比較(ディスカッション) リージョナルエアラインの統合レポートを比較し、ディスカッションを行う SPI③
	6 企業理念:ミッション、ビジョン、バリュー 企業理念、ミッション、ビジョン、バリューの考え方を学ぶ ケースにつき、グループディスカッション JALの経営破綻と新たな企業理念や行動規範(フィロソフィ)策定までの経緯を学ぶ JALフィロソフィについて知り、どの言葉に一番共感するかを考える(宿題→発表) SPI③の解説
	7 JALフィロソフィの中で共感する言葉を選び、何故共感するのか発表する(プレゼンテーション) 自分自身のミッション、ビジョン バリューを考え、その中でも行動規範や価値観である「バ リュー」について実際の経験を元に考えてみる機会とする 就職活動の面接でも生かせるプレゼン能力を高め、コメントを元に更に思考を深める SPI④
	8 ANA's wayの中で共感する取り組みを選び、何故共感するのか発表する(プレゼンテーション) 自分自身のミッション、ビジョン バリューを考え、その中でも行動規範や価値観である「バ リュー」について実際の経験を元に考えてみる機会とする 就職活動の面接でも生かせるプレゼン能力を高め、コメントを元に更に思考を深める SPI④の解説
	9 経営計画 (ディスカッション) ビジョンを実現するためのエアライン業界の経営戦略について学ぶ フルサービスキャリアとローコストキャリアで経営計画の比較を行い、特色についてディスカッ ションする SPI⑤
	10 エアライン業界にみる社会貢献活動 (グループワーク、発表) グループワークにて、エアライン業界内の企業が実施する社会貢献活動を具体的に調べ、成果物を発表する SPI⑤の解説
	11
	12 キャビンアテンダント ゲスト講話 キャビンアテンダントをゲストとして招き、企業の経営計画やビジョン・ミッションをどのよう に実践しているか理解する 企業の社会貢献活動とその内容を具体的に理解する 実際の話を聞いての新たな疑問、気づき、学びにつき話し合う これまでの授業で話した内容との関連性を確認する

#上業務職のキャリアの展望について学び、自身の適性と照らし合わせキャリアビジョンを定める SPI®を解説 14 グランドスタッフ ゲスト講話 グランドスタッフをゲストとして招き、企業の経営計画やビジョン・ミッションをどのように実践しているか理解する 音楽成後、感想を提出 15 エアラインビジネス内での新たな活躍の場 コロナ禍を機に、接客業務以外に活躍の場を広げるキャビンアテンダント・グランドスタッフの新たな活躍の場 コロナ禍を機に、接客業務以外に活躍の場を広げるキャビンアテンダント・グランドスタッフの新たな活躍の場 コロナ禍を機に、接客業務以外に活躍の場を広げるキャビンアテンダント・グランドスタッフの新たな活躍の場を広げるキャビンアテンダント・グランドスタッフの動きを開き目標・基準 ○D:エアラインビジネスを実施的に理解し、実例を用いて企業の特色を説明することができる ○I:エアラインビジネスを実施的に理解し、実例を用いて企業の特色を説明することができる ・ SPIの準備をすること (15分)・航空会社に関するニュースを取り上げ、疑問や考えを纏める (20分)・現歴レボートやブレゼンの理備 (80分) 事後学習・授業時に出された指示、レボートへのコメントや解説を聞いて改善し、完成度を上げること (30分)・3PIの見直し (20分) ・ 表別の見方を養い 表現できるようにする。 ジャントを通して、複眼的ならの見方を養い 表現できるようにする。 シャント・ のの見方を養い 表現できるようにする (30分)・カース・カース・アクト・ (31年)		
14 グランドスタッフ ゲスト講話		
14		
践しているか理解する		
講演後、感想を提出		践しているか理解する 企業の社会貢献活動とその内容を具体的に理解する
コロナ禍を機に、接客業務以外に活躍の場を広げるキャビンアテンダント・グランドスタッフの 新たなキャリアの展望を理解する  ③ B:意見交換を通して他者の考えを傾聴し、自分の考えをより深めてアウトブットすることができる         ① D:エアラインビジネスを実態的に理解し、実例を用いて企業の特色を説明することができる         事前・事後学習  事前・事後学習 ・SPIの準備をすること(15分)・航空会社のホームページで指定した箇所を読んでくること(15分)・航空会社に関するニュースを取り上げ、疑問や考えを纏める(20分)・航空会社に関するニュースを取り上げ、疑問や考えを纏める(20分)・事後学習・授業時に出された指示、レポートへのコメントや解説を聞いて改善し、完成度を上げること(30分)・SPIの見直し(20分)・SPIの見直し(20分)・SPIの見直し(20分)・SPIの見直し(20分)・SPIの見直し(20分)・SPIの見方を養い、表現できるようにする。・フィードバックとして課題レポートは全員にコメントを付けて返却する。授業で課題の捉え方、物の見方、考え方を解説するとともに、学生の中から模範解答を披露する。小テストは回答が自動で返却され、授業で解説するとともに、学生の中から模範解答を披露する。小テストは回答が自動で返却され、授業で解説すると、クスト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする・ゲスト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする・ゲスト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする		
##		15 エアラインビジネス内での新たな活躍の場
<ul> <li>○ D:エアラインビジネスを実態的に理解し、実例を用いて企業の特色を説明することができる事前・事後学習</li> <li>事前学習:         <ul> <li>・SPIの連備をすること (15分)</li> <li>・航空会社のホームページで指定した箇所を読んでくること (15分)</li> <li>・航空会社に関するニュースを取り上げ、疑問や考えを纏める (20分)</li> <li>・譲塵レポートやプレゼンの準備 (80分)</li> <li>・接業時に出された指示、レポートへのコメントや解説を聞いて改善し、完成度を上げること (30分)</li> <li>・PSFIの見直し (20分)</li> <li>・基本的な理論や知識を習得した後、参加型のディスカッションや相互チェックコメントを通して、複眼的なものの見方を養い、表現できるようにする。</li></ul></li></ul>		
・SPIの準備をすること (15分) ・航空会社のホームページで指定した箇所を読んでくること (15分) ・航空会社のホームページで指定した箇所を読んでくること (15分) ・航空会社に関するニュースを取り上げ、疑問や考えを纏める (20分) ・課題レポートやプレゼンの準備 (80分) 事後学習 ・授業時に出された指示、レポートへのコメントや解説を聞いて改善し、完成度を上げること (30分) ・SPIの見直し (20分) ・基本的な理論や知識を習得した後、参加型のディスカッションや相互チェックコメントを通して、複眼的なものの見方を養い、表現できるようにする。 ・フィードバックとして課題レポートは全員にコメントを付けて返却する。授業で課題の捉え方、物の見方、考え方を解説するとともに、学生の中から模範解答を披露する。小テストは回答が自動で返却され、授業で解説する。・ゲスト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準 アキスト 講談社『これが本当のSPI3テストセンターだ!』SPIノートの会 参考書 適宜、授業内で紹介する  ② B:積極的な授業参加、課題取り組み意欲、コメントに対して改善努力が出来たかで評価する 課題提出または発表30%、積極的な授業参加・貢献度30%、最終レポート40%  講談社『これが本当のSPI3テストセンターだ!』SPIノートの会 参考書 適宜、授業内で紹介する  ② B・在極的な姿勢で臨むこと・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・・参加型の授業で、課題を克服するため、授業計画の変更を行う場合もある	学習成果・ 到達目標・基準	◎B:意見交換を通して他者の考えを傾聴し、自分の考えをより深めてアウトプットすることができる ○D:エアラインビジネスを実態的に理解し、実例を用いて企業の特色を説明することができる
・SPIの見直し (20分)  ・基本的な理論や知識を習得した後、参加型のディスカッションや相互チェックコメントを通して、複眼的なものの見方を養い、表現できるようにする。 ・フィードバックとして課題レポートは全員にコメントを付けて返却する。授業で課題の捉え方、物の見方、考え方を解説するとともに、学生の中から模範解答を披露する。小テストは回答が自動で返却され、授業で解説する。ケズト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする  アセスメント・ 成績評価の方法・  図 B:積極的な授業参加、課題取り組み意欲、コメントに対して改善努力が出来たかで評価する ○D:課題提出やグループディスカッション・最終レポートを通して、知識を学ぶ意欲と理解度を評価する 課題提出または発表30%、積極的な授業参加・貢献度30%、最終レポート40%  講談社『これが本当のSPI3テストセンターだ!』SPIノートの会  参考書  適宜、授業内で紹介する  ・エアライン関係への就職を念頭に置いていること・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・授業の進捗や変化するニーズに対応するため、授業計画の変更を行う場合もある  アクティブ・ラー  グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション	事前・事後学習	・SPIの準備をすること (15分) ・航空会社のホームページで指定した箇所を読んでくること (15分) ・航空会社に関するニュースを取り上げ、疑問や考えを纏める (20分) ・課題レポートやプレゼンの準備 (80分) 事後学習
ものの見方を養い、表現できるようにする。 ・フィードバックとして課題レポートは全員にコメントを付けて返却する。授業で課題の捉え方、物の見方、考え方を解説するとともに、学生の中から模範解答を披露する。小テストは回答が自動で返却され、授業で解説する。 ・グスト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする  「アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準 ・グスト講師を招き、現業の実際を肌で感じられるようにする  「OD:課題提出やグループディスカッション・最終レポートを通して、知識を学ぶ意欲と理解度を評価する課題提出または発表30%、積極的な授業参加・貢献度30%、最終レポート40%  「おきない。」 「ない。」 「ないい。」 「ないいい。」 「ないいいい。」 「ないいいいいいい。」 「ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい		
<ul> <li>成績評価の方法・</li> <li>□ D:課題提出やグループディスカッション・最終レポートを通して、知識を学ぶ意欲と理解度を評価する課題提出または発表30%、積極的な授業参加・貢献度30%、最終レポート40%</li> <li>デキスト</li> <li>講談社『これが本当のSPI3テストセンターだ!』SPIノートの会</li> <li>参考書</li> <li>適宜、授業内で紹介する</li> <li>・エアライン関係への就職を念頭に置いていること・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと・授業の進捗や変化するニーズに対応するため、授業計画の変更を行う場合もある</li> <li>アクティブ・ラー</li> <li>グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション</li> </ul>	指導方法	ものの見方を養い、表現できるようにする。 ・フィードバックとして課題レポートは全員にコメントを付けて返却する。授業で課題の捉え方、物の見方、 考え方を解説するとともに、学生の中から模範解答を披露する。小テストは回答が自動で返却され、授業で解 説する
参考書 適宜、授業内で紹介する  では、	アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D:課題提出やグループディスカッション・最終レポートを通して、知識を学ぶ意欲と理解度を評価する
では、	テキスト	講談社『これが本当のSPI3テストセンターだ!』SPIノートの会
・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと ・授業の進捗や変化するニーズに対応するため、授業計画の変更を行う場合もある アクティブ・ラー グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション	参考書	適宜、授業内で紹介する
	履修上の注意	▶・参加型の授業で、課題を克服する努力とその過程を評価対象とするため、積極的な姿勢で臨むこと
	アクティブ・ラー ニング	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション

講義科目名称: ヨーロピアン スタディーズ 授業コード: 2281 2282

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	国専:選択
担当教員			
Rossi Erika			
ナンバリング: E13C18	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

	T
授業内容 授業目標 A:主体性・チー	イタリアの地理・歴史をベースに学びます。また、イタリア人講師による日本では知られていないイタリアの 素顔に迫る話を交え、イタリアで生まれた宗教・芸術・食生活・ファションや国民性など、イタリア文化につ いての知識を深めます。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	<ul><li>◎C:地域別に異なるイタリア人の文化や表現を知ることで、偏見や差別に捕らわれない公正な判断に基づいて、イタリアの「歴史、美術、デザイン、ファッション」の文化について、自分の意見を述べることができ</li></ul>
ション能力 C:思考力・判断 力	る。 〇D:イタリアの建築物、絵画、街並みを見て、背景にある歴史、文化、宗教について理解する。
D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 地理 (グループディスカッション) イタリアの国土・気候の特徴と主な農作物の関係について学ぶ 各グループでグループディスカッションを行う
	2 歴史 古代ローマ帝国からキリスト教の誕生を経て、現在のイタリアが共和国として統一されるまでを 学ぶ
	3 宗教 1 (グループディスカッション) キリスト教の誕生とローマカトリックの歴史。現在の宗教儀式についてを学ぶ 各グループでグループディスカッションを行う
	2   宗教の2   宗教的な年間行事と季節ごとの習慣についてを学ぶ
	5 教育 (グループディスカッション) イタリアの教育 (学校) 制度と日本との相違を学ぶ 各グループでグループディスカッションを行う
	6 食習慣 現在のイタリア料理が確立されるまでの歴史と、その食材について:イタリア人の食生活
	7 芸術 1 (グループディスカッション) イタリア絵画の歴史。ビサンティンからルネッサンスを経てバロックまでの代表作品とその作者: レオナルドダヴィンチ・ミケランジェロ等
	各グループでグループディスカッションを行う
	9 オペラ 世界中の人々を魅了するオペラの誕生と歴史について学ぶ
	10 経済 (グループディスカッション) イタリアの就業状況、伝統的職人技術と現在の生産物の関係、地方格差について学ぶ 各グループでグループディスカッションを行う
	11 国民性   イタリア人の特徴と日本人との比較、人付き合いや家族との関係性について学ぶ
	12 ファッション イタリアの服飾の歴史。エトルリア人からミラノコレクションまで: GUCCI・PRADA・FERRAGAMO・ARMANI等
	13 映画 1 (グループディスカッション) イタリア映画の誕生と歴史。代表的な作品の紹介 各グループでグループディスカッションを行う
	14 映画 2 (グループディスカッション) 映画鑑賞 Life is Beautiful (1) 各グループでグループディスカッションを行う
	15 映画3、復習 (グループワーク) 映画鑑賞 Life is Beautiful (2)、学生をグループに分け、学生同士で復習する
学習成果・ 到達目標・基準	今の日本には身近にイタリアに関する事が数多く見掛けられます。街にはイタリアレストランや有名ブランドのブティックが並び、ルネッサンス絵画の展覧会やオペラの上演と言ったイベントも開催されます。但し、イタリアが実際どのような国かという事は、あまり知られていないのが現状です。この授業を通してイタリア文化の中でもルネッサンスの大事なアーティスト、住まい、ファッション、デザインと食文化に関する知識を身に付けます。
	◎C:地域別に異なるイタリア人の文化や表現を学ぶことで、イタリア人と日本人との比較を自分の言葉で伝えることができる。

	○D:レオナルド、ミケランジェロ、アルマーニ、グッチについて説明することができる。
事前・事後学習	事前学習:授業時に指示されたテキストの該当箇所を読み、分からない単語は調べておく事。(約90分) 事後学習:授業の始めに、前回の授業内容から出題する小テストを行うため、必ず前回の授業の復習を行うこと。(約90分)
指導方法	イタリアに行ったことのない学生にも分かり易くする為、写真等の資料を活用する。 一方的な講義ではなく、気軽に質疑応答が出来る環境をつくり、学生とのコミュニケーションがとれる体制を つくっていく。 毎回授業の始めに、前回の授業内容から出題する小テストを行う。 フィードバックとして、小テストを返却後、学生が間違えた箇所に関しての説明を行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	授業への積極的な参加も評価対象とします。 <ul><li>〇C:グループでのプレゼンテーションで評価する。</li><li>〇D:毎週の小テスト・定期試験で評価する。</li></ul> <li>授業への積極的な参加、授業態度 20% 小テスト(全13回)40% 定期試験 40%</li>
テキスト	テキスト: 『古代ローマ人の24時間よみがえる帝都ローマの民衆生活』アルベルト・アンジェラ 著関口 英子 訳、河出文庫と授業でPPTのスライドや視覚資料を使用します。
参考書	必要に応じて授業内でアナウンスします。
履修上の注意	イタリアという国に興味がある方に受講して頂きたい。初回の授業で受講に必要なテキストを配布し、この授業に関しての重要な説明も行います。必ず初回の授業から参加して下さい。 度重なる欠席・授業中の居眠りやお喋りなどは、成績評価に反映されます。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、グループディスカッション

講義科目名称: 国際関係論 授業コード: 2251 2252

英文科目名称:

添付ファイル			
ナンバリング:E23C22	実務家教員に	よる授業	
中野実			
担当教員			
前期	2	2	国専:選択
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分

授業内容	(極業内容)	国際関係論は国家間を取り巻く様々な事象を多角的に分析する学問です。そこには国家の存在が
授業目標	(技業的谷)  前提としてあ	国际関係論は国家間を取り各く様々な事家を多角的に力析りる子同です。そこには国家の存住があります。近代国家がどのようにして生まれ、どのような歴史を辿ってきたのかを理論を交えて考
A: 主体性・チー	え、いま起き	ている国家間の問題を考察していきます。また国家の枠を超える多様な問題に対して世界がどの
ムワーク・責任感 B:コミュニケー	ように取り組  な考ラスェレ	lんでいるのかに注目します。そして最後に、これらの理解をベースに私たち日本の取り巻く環境 を目的としています。
ション能力	(授業目標)	
C: 思考力・判断	各自が関心を	持つ国際問題を一つ取り上げて、その問題の背景(なぜ起こったか)と現状(どうして解決でき
力 D:知識・理解	ないのか) を	説明し、自らの見解も含めて発表できること。また授業で取り扱ったいくつかの国際的な事象を ・交えて説明でき、取り組むべき課題を提示できるようになること。
E:技能・表現	◎ C : 国際的	」な事象を断片的に見るのではなく、多角的な視点で見られるようになり、理論も取り入れながら
	目身の見方や  ○D・租在 ⊀	・考え方を提示できるようになる。 ディアなどで取り上げられている国際問題を歴史的背景や現状を含めて説明できるようになる。
授業計画	1	イントロダクション:国際関係論とは
1又未可凹		インドログランコン・国际関係論とは 授業計画や評価基準を明確にし、国際関係論とはどういう学問なのかを説明する。 (学生の考え
		方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	2	国民国家と主権:近代国家システムの構築と国家の意味を理解する。
		いま当たり前のように存在している国家はどのようにしてできたのか?そして世界中にある国家 はどのような関係で成り立っているのかを考える。(学生の考え方を可視化するためにZoomの
		はとのよりな関係で成り立つでいるのがを考える。 (子生の考え方を可視化するために200mの チャットや投票機能を活用する)
	3	国家と戦争:戦争の歴史を考察する。
		近代国家成立後、世界は国家間戦争を繰り返してきた。それらの戦争は国家間関係にどのような
		変化をもたらせたのかについて考える。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	4	冷戦:冷戦について理解する。
		第2次世界大戦後、大国は直接戦うことなく対立してきた。それはなぜ始まって、どういう仕組み
		で、なぜ終結したのかについて理解する。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや
	5	投票機能を活用する) 国際関係理論:リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズム
	5	国際関係理論の三大潮流と言われる三つの理論を考察し、国家の行動を理解する。(学生の考え
		方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	6	EUI:欧州統合の歴史
		なぜヨーロッパが統合を目指したのか?その統合の歴史を理解する。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	7	EUI:機構と統合理論
	'	EUはどのような機構で構成されているのかを理解したのち、EUは何を目指しているのかを考察す
		る。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	8	国際連合:国際連合の役割を理解する
		国際連合の創設から仕組み、そして現在の役割に至るまでを理解する。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	9	地域主義と多国間協定:いま日本を含めどういう関係が構築されているのか
		ヨーロッパ以外の地域や二国間・多国間の取り決めについて理解する。(学生の考え方を可視化
		するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	10	グルーバル・ガバナンス:移民・難民、環境、そして疾病問題を考える
		国家間では解決できない諸問題について、どのような取り組みが行われているかを考える。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	11	国家とテロリズム:21世紀に入って増え続けているテロについて考える
		テロはなぜ起こるのか、そして国家とはどのような関係があるのかという視点でテロについて考
		える。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	12	民主主義と権威主義: いまの世界における対立軸を考える
		なぜ世界には民主主義と権威主義の国があるのか?市民側と統治側両方の視点を含めてそれぞれ の特徴を理解する。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
	13	日米関係と安全保障条約: なぜ日本はアメリカと同盟を結び日本国内にアメリカの基地がある
		のか。 (2) (4) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
		黒船来航からの日米関係と戦後安全保障について理解する。(学生の考え方を可視化するために Zoomのチャットや投票機能を活用する)
	14	Z00mのテヤットや投票機能を活用する    日本の戦争:明治以降、日本はなぜ何度も戦争してなぜ最後は負けたのかを考える
		鎖国から第2次世界大戦まで日本のその当時の見方や意識を理解して、なぜ戦争してなぜ最終的に
		無条件降伏したのかについて考える。(学生の考え方を可視化するためにZoomのチャットや投票
	15	機能を活用する)
	10	日本と周辺国の国際関係:日中、日韓、日露など日本を取り巻く国際関係を考える 戦後の領土問題や威情の問題について背景も含めて考察し問題占を理解する (学生の考え方を

戦後の領土問題や感情の問題について背景も含めて考察し問題点を理解する。(学生の考え方を

	可視化するためにZoomのチャットや投票機能を活用する)
学習成果・	◎C:主要な国際関係理論や様々なアプローチを理解し、今暮らしている世界をそれらの理解に基づいて見ら
到達目標・基準	れるようになる。 ○D:これまでの国際関係史を理解し、過去の事象を一つ以上の視点で説明できるようになる。
事前・事後学習	事前学習としては、最新の国際問題をメディアなどから収集し、それらがなぜ起きているのかを調べること。 (60分)
	発表の準備として、国際問題を一つ取り上げ、その背景と問題点を整理し、自らの視点を提示できるようにすること。 (60分)
	発表者以外は、その日に発表で取り上げられた国際問題を授業後に自らも調べて違う視点で見るよう努めてみ
	る。(60分) 全員の事後学習は、授業内容をまとめて自らの言葉で要約すること。(60分)
指導方法	パワーポイントを使用して動画や写真を適宜利用しながら授業を行う。授業用資料(レジメ)を配布し、レジメ内の空欄に要点を記入することによって理解を深めてもらう。レジメはGoogleクラスルームからもアクセス可能で、授業時に各自のPCを利用しレジメに記入することも可能。また毎回数名に国際問題を題材にした発表をしてもらい、その発表内容についてのディスカッションを行う。中間には課題を出題し、Googleクラスルームで提出してもらう。フィードバックの仕方: 発表時の直接評価やアドバイス。Googleクラスルームからの課題の採点とフィードバック。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	受講態度(10%)、発表(20%)、課題(20%)、定期試験(50%) ⑥ C:国際問題に対する見方や考え方を発表、課題、定期試験で判断する。 ○ D:国際問題を理解する上で必要な知識を課題、定期試験で判断する。
テキスト	教科書指定なし。授業資料(レジメ)を毎回配布予定。
参考書	三船恵美(2012)基礎から学ぶ国際関係論、泉文堂 吉川直人・野口和彦編(2017)国際関係理論、勁草書房 他
履修上の注意	各自が関心を持つ国際問題を一つ取り上げて、その問題の背景(なぜ起こったか)と現状(どうして解決できないのか)を説明し、自らの見解も交えて発表してもらう。 これからの時代、国際関係と無縁な社会生活はあり得ません。関心を持って授業に臨むこと。なお最新の国際 問題も取り扱うためその時の国際情勢によっては授業計画が一部変更する場合があります。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション(発表)、ディスカッション

講義科目名称: WEBデザイン演習 授業コード: 2571 2572

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	国専:選択	
担当教員				
松井恵美子(契約講師:小山洋行)				
ナンバリング: E16C43	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コン能力	デザイン分野で必須のソフトウェア「Adobe Illustrator」「Adobe Photoshop」、webページ作成サイト「Wix」を用いて、WEBデザイン&設計を中心としたデザインを学ぶ演習である。 基本的な技術から応用技術まで幅広い範囲を段階的に学習することで、状況に合わせたソフトウェアの活用方法を修得する。 (授業目標) ②D:マーケティングを考慮し、消費者の行動や価値観を分析したのちターゲットを決めて、それに合わせたデ
C: 思考力・判断 力 D: 知識・理解 E:技能・表現	ザインができる。 ○E:各種ソフトウエアやサービスを連携させてデザインができる。
授業計画	1 Wix基礎 (1) WEBデザインサービス「wix」の基本機能を学びます。
	2 Wix基礎 (2) ペッダー フッター セクションなどのWEBデザイン特有の機能や知識を学びます。
	3 Wix応用 文字の扱い方や図形の作成、写真の挿入、グループ化、整列方法など実践します。
	4 構図構成 枠の中にどのように配置すれば、意図した事を伝えられるか学びます。
	5 色彩、色調補正 色の活用の仕方を、デザインを行いながら研究します。
	6 アニメーション WEBサイト表示時のアニメーションを活用し演出を学びます。
	7 ロゴデザイン (1) ギャラリーサイトに使用するロゴを研究します。
	8 ロゴデザイン (2) ギャラリーサイトに使用するロゴをデザインします。
	9 情報設計 伝えるべき優先順位を決めて、どのようにレイアウトすべきか学びます。
	10 ギャラリーサイトデザイン制作課題 (1) ギャラリーサイトの基本的な要素を研究しサイト構成を考え、レイアウトします。
	11 ギャラリーサイトデザイン制作課題 (2) マーケティングを考慮しリアリティのあるデザインにします。
	12 ギャラリーサイトデザイン制作課題 (3) ギャラリーサイトのクオリティを上げるための試行錯誤を行います。
	13 ギャラリーサイトデザイン制作課題 (4) ギャラリーサイトデザインを完成、提出します。
	14 ギャラリーサイトデザイン制作課題 (発表) 完成したデザインを発表します。
	15 ギャラリーサイトデザイン制作課題 (講評) 発表したデザインの講評を行います。
学習成果・ 到達目標・基準	多様なウェブデザインスキルを求められる近年の状況に応える為の演習です。消費者の行動や価値観の多様化に伴い、しっかりとマーケティングを考慮しターゲットを明確にして論理的なデザインが出来るようにする。情報設計をしながら、より分かりやすく見やすいデザインが出来るようにする。色の構成や文字の扱いの基礎力を身につける。
	セレクトショップのWEBデザインが出来るように学ぶ。 ◎D:ターゲットの立場を考えた「思いやりのあるデザイン」ができる。 ○E:IllustratorとPhotoshop双方のデータのやりとりができる。
事前・事後学習	事前学習: 普段の生活の中にあるデザインされたものをより意識して見て、本質を見抜き自分の表現の引き出し作りをする。 (30分) 事後学習:自分のデザインしたものを客観的にとらえ、マーケット的にどの立ち位置にあるかを意識し、更なるクオリティーアップのための考察を行う。 (30分)
指導方法	実習形式の授業です。幾つかの制作課題を与えながら指導する。 課題作品の講評や質疑応答によるフィードバックを行う。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	授業態度、実習結果、および提出課題で評価する。 授業態度 30%、実習結果・提出課題 70% ⑥D:「ユーザビリティを考慮したデザイン」「マーケティングを意識したデザイン」になっているかを評価する。 ○E:デザインする要素に応じて各種ソフトウエアやサービスを効率よく活用できているかを評価する。
テキスト	資料を配布する。
参考書	
履修上の注意	「地味な事でもコツコツ積み上げて行くのが好き」「色の組み合わせを考えるのが好き」「人のためになるデザインが好き」「絵を描くのが好き」といった方に向いている実習である。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: デジタルイラストレーション 授業コード: 2581 2582

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	国専:選択	
担当教員				
松井恵美子(契約講師:小山洋行)				
ナンバリング: E26C44	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	デザイン分野で必須のソフトウェア「Adobe Illustrator」や スマホアプリ「アイビスペイント」を用いて、デジタルイラストレーションを中心としたデザインを学ぶ演習である。基本的な技術から応用技術まで幅広い範囲を段階的に学習することで、状況に合わせたソフトウェアの活用方法を修得する。「Adobe Illustrator」を主とした演習を行い、「アイビスペイント」を補助的に使用する。(授業目標) ○D:多くの人々が利用しやすいようにデザイン(ユニバーサルデザイン)をすることができる。 ◎E:Illustratorでレイアウトができる。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	
授業計画	1 アイビスペイント入門 デジタルイラストアプリ「アイビスペイント」の基本操作を学びます。
	2 キャラクターデザイン(1) LINEスタンプに活用できるような「感情に訴える」キャラクターを考えます。
	3 キャラクターデザイン (2) 自ら考えたLINEスタンプキャラクターをデザインします。
	4 キャラクターデザイン (3) 考えたLINEキャラクターのを感情ごと 8 つのバリエーションでデザインを完成します。
[	5 Illustrator 基本(1)(実習 イラストレータ修得) 図形作成、配置、色についてを実践します。
	6 Illustrator 基本(2)(実習 イラストレータ修得) 文字の行間、文字詰め、フォントの種類によるイメージ効果を学びます。
	7 Illustrator 基本 (3) (実習 イラストレータ修得) 写真画像の配置、袋文字の活用方法を実践します。
8	8 マスコットキャラクター考案 戸板女子短期大学のマスコットキャラクターを考案します。
	9 マスコットキャラクターデザイン (1) 「国際コミュニケーション学科」「服飾芸術科」「食物栄養科」の3つのテーマで3体のキャラク ターをデザインします。
	10 マスコットキャラクターデザイン (2) 3体のキャラクターが同じ世界観になるように考慮してデザインを進めます。
	11 マスコットキャラクターデザイン(3) イラストレータのパスの仕組みを理解し、それに合わせたデザインに調整します。
	12 マスコットキャラクターデザイン (4) 3体のキャラクターのキャラクターを完成させます。
	13 作品発表、講評 各自デザインした作品を発表し、講評を行います。
	14 アイコン、画像、文字を活用したデザイン (1) (実習 イラストレータ修得) アイコンやイラスト、写真を活用した名刺のデザインを行います。
	15 アイコン、画像、文字を活用したデザイン (2) (実習 イラストレータ修得) 名刺デザインを画像と文字を使い構成します。
到達目標・基準	多様なウェブデザインスキルを求められる近年の状況に応える為の演習です。多くの人々が利用しやすいようにデザイン (ユニバーサルデザイン) するといった「思いやりのあるデザイン」を出来るようにする。情報設計をしながら、より魅力的なものをデザイン出来るようにする。色彩感覚、構図・構成、文字の扱い方等の基礎力を身につける。 LINEスタンプのような感情に訴えるキャラクターデザインが出来るよう学ぶ。
(	○D:見やすいデザインができる。 ◎E:IllustratorとPhotoshopの操作ができる。
	事前学習:普段の生活の中にあるデザインされたものをより意識して見て、本質を見抜き自分の表現の引き出し作りをする。(30分) 事後学習:自分のデザインしたものを客観的にとらえ、マーケット的にどの立ち位置にあるかを意識し、更なるクオリティアップのための考察を行う。(30分)
指導方法	実習形式の授業です。幾つかの制作課題を与えながら指導する。 課題作品の講評や質疑応答によるフィードバックを行う。

アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	授業態度、実習結果、および提出課題で評価する。 授業態度 30%、実習結果・提出課題 70% 〇D:課題で作成したデザインが見やすい、わかりやすいか評価する。 ⑥E:Illustratorで適切な操作をしてデザインされているか評価する。
テキスト	資料を配布します。
参考書	
履修上の注意	「地味な事でもコツコツ積み上げて行くのが好き」「色の組み合わせを考えるのが好き」「人のためになるデザインが好き」「絵を描くのが好き」といった方に向いている実習である。
アクティブ・ラー ニング	実習

講義科目名称: ネットコミュニケーション論

英文科目名称:

添付ファイル				
ナンバリング: E27C53	実務家教員に	よる授業		
岡田五知信				
担当教員				
後期	2	2	国専:選択	
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	

授業コード: 2641

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	本講義では日本のみならず世界中を席巻する「韓流」(ハンリュウ)ブームに着目し、韓国のドラマ、映画、音楽、マンガなどのK-コンテンツに触れながら知識を深め、理解していくことを目的とします。同時にファッションやメイク、K-foodなどについても触れ、比較文化論的な視点からも「韓流」ブームを考察していきます。 (授業目標)
ション能力 C:思考力・判断	◎D:K-コンテンツの概要と成り立ちについて知り、これだけ多くのヒット作を世に送り出すことが可能な仕  組みについて理解することができる。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	○E:K-コンテンツの最新トレンドを理解し、ビジネス的視点で説明することができる。また、一押しするK-コンテンツに対しプレゼンすることができる。
授業計画	1 ガイダンス
(文耒訂四	ガイダンス
	2
	3 コンテンツ大国を目指す韓国 (Google Classroom: ノート作成) ・韓国のコンテンツ産業振興政策の現在 ・ IMF危機からの戦略転換 ・ デジタルメディアシティ (DMC)
	・コンテンツ振興院の設立などについて 4 韓流ドラマ成長期の時代(Google Classroom:ノート作成)(グループワーク) ・韓流は「冬のソナタ」から始まった ・マクチャンドラマの世界などについて
	事流ドラマ安定期の時代 (Google Classroom: ノート作成)・地上波の失速・3大ケーブル局 (tvN、JTBC、OCN) の台頭などについて
	6 韓流ドラマ破壊期の時代 (Google Classroom: ノート作成)
	・イカゲームの世界的成功などについて 7 韓流ドラマの制作手法(Google Classroom:ノート作成)(グループワーク) ・企画と脚本 ・PD主導制作スタイル ・キャスティング
	・スタジオnの登場とウェブトゥーンなどについて 8 日本人が韓流ドラマにハマる理由(Google Classroom:ノート作成) ・韓国文化への関心 ・日本のドラマにはないもの ・エンタメの中の感動
	<ul> <li>・日本にはない多種多様なドラマ・ジャンルなどについて</li> <li>         韓国ドラマのなにが凄いのか① (Google Classroom:ノート作成)</li> <li>・「愛の不時着」「梨泰院クラス」を徹底分析</li> <li>・「イカゲーム」が何故、世界で評価されるのか、などについて</li> </ul>
	10 韓国ドラマのなにが凄いのか② (Google Classroom: ノート作成) (グループワーク)
	11 韓国の映画及びコンテンツ産業の海外戦略(Google Classroom:ノート作成) ・映画『パラサイト 半地下の家族』が果たした奇跡 ・韓国のクリエイター人材育成術などについて
	12       K-POPの隆盛(Google Classroom: ノート作成) (グループワーク)         ・BTSの国家戦略       ・K - POPと韓流ドラマの密接な関係         ・ドラマに先行したK - POPの海外展開などについて
	13       韓流ブームとDX (Google Classroom: ノート作成)         ・K-コンテンツを下支えするSNSや動画共有サイト         ・ノンナレーションまち歩き動画         ・韓国生活動画         ・韓流チャンネル

	・驚異のSNSの利用率
	・東京に比べて卓越したソウルのイメージ形成などについて
	14 ゲスト講義(Google Classroom:ノート作成)(プレゼンテーション)
	<ul><li>詳細は未定。韓流コンテンツ関わっているキーマンに特別講義</li><li>これまでの講義のまとめ</li></ul>
	15 私の一押しK-コンテツ発表(課題発表)(Google Classroom:ノート作成)(プレゼンテーション)
	・発表 一押しのK-コンテンツについてプレゼンする ・いま、日本は韓国に何を学ぶべきなのか。
学習成果・ 到達目標・基準	◎D: K- コンテンツに対し理解を深めヒットの法則が他のビジネスにおいても転用可能であることを理解することができる。
7.211111 1	○E:自分の言葉で韓流文化を語れ、自分の考えを人前で堂々とプレゼンができる。
事前・事後学習	事前学習:次回の講義で扱う課題についてネットで検索しておく(120分程度)。また、可能な限り、指示する ドラマや映画などの映像コンテンツを視聴しておく。 事後学習:講義で扱った映像コンテンツは、次回の講義までに可能な限り視聴する。(120分程度)
指導方法	講義は基本、パワーポイントを使用して進める。適宜、DVDなど視聴覚資料を利用する。 一方通行な講義にならないよう適宜、グループワークや討論などを積極的に取り入れる。 第15回の講義中に各学生が一押しするK-コンテンツをA4判にまとめ、プレゼンを1~2分で行う。 筆記試験の代わりにレポート提出(1200字程度)を課題とする。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎D:授業課題および定期試験を評価する。</li><li>○E:学生が一押しするコンテンツのプレゼンを評価する。</li></ul>
- 五十	レポート課題提出物(時間外)50%、 授業態度・貢献度20%、プレゼン力30%
テキスト	『韓国コンテンツはなぜ世界を席巻するのか~ドラマから映画、K-POPまで知られざる最強戦略~』増淵敏之 (徳間書店)
参考書	『人生を変えた韓国ドラマ』藤脇邦夫(光文社) 『韓国エンタメはなぜ世界で成功したのか』菅野明子(文春新書)
履修上の注意	基本的に講義は、指示した映像や音楽コンテンツを視聴していることを前提に講義を進める。スマートフォンなどでK-コンテンツの視聴環境があることが最低限、望まれる。講義は、理解を深めるためにパソコンを使って課題を実施する。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称: コンテンツビジネス論 授業コード: 2651

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	国専:選択
担当教員	·	·	
岡田五知信			
ナンバリング: E37C54	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

	T	
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムリース	向について知 ニメ・新聞・ 各メディアと	新たな成長産業として期待され、注目を集めているコンテンツビジネスについて学び、今後の動り、最新事情を自分の言葉で説明できるようになることを目標とします。映像・音楽・書籍・アWEBなどのコンテンツを活用した各ビジネスの概要や実例などについて解説していきます。また、コンテンツの関係や歴史、仕組みなど、抱えている問題などについても考察していきます。
B:コミュニケー ション能力		アとコンテンツの関係性を認識し、各コンテンツビジネスの概要と仕組みについて種類と特性を
C:思考力・判断 力		ンツビジネスの最新動向を把握し、説明することができる。興味あるビジネスモデルに対し新企
D:知識・理解 E:技能・表現	画を提案でき	
授業計画	1	ガイダンス
		・授業の目標と進め方 ・最終課題のテーマ発表
	2	コンテンツとメディア① (Google Classroom:ノート作成)
		・コンテンツとは何か ・コンテンツの市場
		・なぜいまコンテンツなのか。 ・コンテンツツーリズムとは
	3	コンテンツメディア② (Google Classroom:ノート作成)
		・コンテンツの歴史 ・クールジャパン政策
		・韓国を事例にしたソフトパワー
	4	放送業界①(Google Classroom:ノート作成)
		・民間放送局のビジネスモデル ・番組の制作方法
	5	放送業界② (Google Classroom:ノート作成)
		・NHKのビジネスモデル ・番組の制作方法
	6	放送業界③ (Google Classroom:ノート作成)
		・テレビ視聴者の変化 ・民間放送局及びNHKの動画配信サービス ・テレビ業界の今後
	7	配信系コンテンツ業界 (Google Classroom:ノート作成)
		・Netflix ・Amazonプライム・ビデオ ・Disney+
		・テレビ局との関係性について
	8	映画業界①(Google Classroom:ノート作成) ・映画業界のビジネスモデル ・映画の興行収入 ・映画製作委員会の一般化
	9	・映画製作委員会の一成化 映画業界②(Google Classroom:ノート作成)
		・映画業界のこれから ・地域映画
		・日本フィルムコミッションの未来
	10	アニメ&マンガ業界(Google Classroom:ノート作成) ・アニメーションのビジネスモデル ・日本アニメの海外市場
		・ ロ
	11	ゲーム業界 (Google Classroom: ノート作成) ・ゲーム業界のビジネスモデル ・ゲームの歴史
		・大手ゲーム会社の動向 ・eスポーツの今後
	12	音楽業界 (Google Classroom:ノート作成) ・音楽業界のビジネスモデル
		・レコート会社の戦略 ・音楽出版社の未来
	13	・今後の展望について ネットコンテンツ (Google Classroom:ノート作成)
	110	Try   / v / (uougte classioom / Ir Fix)

	<ul> <li>・乱立するニュースサイト</li> <li>・新聞業界のデジタル化</li> <li>・大手出版社が取り組むDX</li> <li>14 コンテンツと著作権 (Google Classroom: ノート作成)</li> <li>・著作権について</li> <li>・著作権侵害とは</li> <li>・マンガ村の事例など</li> <li>15 課題発表と講義総括 (Google Classroom: ノート作成) (プレゼンテーション)</li> </ul>
	・自分が興味を持ったコンテンツビジネスに対する新企画提案 (ジャンル・タイトル・コンテンツの内容・ターゲット・制作費などA4判一枚にまとめる)
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:各コンテンツビジネスの仕組みを知り、コンテンツビジネスが何故、成長産業として考えられているのかについて理解することができる。</li><li>○C:興味あるコンテンツを持ち、その分野について企画提案することができる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:コンテンツビジネスに関するニュースを日々調べる。(120分) 事後学習:毎週の講義を振り返り、口頭での質問にも対応できるように自分の言葉で整理し、まとめる。(120分)
指導方法	講義は基本、パワーポイントを使用して進める。適宜、DVDなど視聴覚資料を利用する。 一方通行な講義にならないよう適宜、グループワークや討論などを積極的に取り入れる。 第15回の講義中に、各々が興味を持ったコンテンツビジネスで実施可能な企画をA4判にまとめ1~2分でプレゼ ンする。また、コンテンツビジネスを理解しているかどうか、定期試験またはレポートで評価する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	課題発表と期末試験またはレポートで評価する。 ◎D:提出されたレポートまたは定期試験でコンテンツビジネスの理解度を評価する。 ○C:提案された各コンテンツの企画プレゼン力で判断する。 授業態度・貢献度20%、課題発表30%、定期試験またはレポート50%
テキスト	テキストは使用しない。都度、講義において簡単なレジュメを配布する。
参考書	『メディア論』水越伸・飯田豊(放送大学教育振興会)、『アニメマンガで地域振興』山村高淑(一般社団法 人地域発新力研究支援センター)
履修上の注意	日常的な情報収集が必要な授業である。 特に自分が好きなコンテンツについては自信を持って説明ができるよう常に準備をし、積極的に授業に参加することを期待する。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: 動画演習A 授業コード: 2551

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	1	国専:選択	
担当教員				
松井恵美子(契約講師:伊波サチョ)				
ナンバリング: E16C41	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・ラニケー B:コン能力 ション能力 C: 思考力・判断	スマートフォンで撮影した写真を元に、コマ撮りアニメーションを制作します。1秒間に6コマの写真をつなげて動画編集をし、現実では起こらないような世界を動画で表現することができます。写真や動画ファイルの特性の違いを学んだ後、各自のアニメーション作品のシナリオを考えスマートフォンで撮影をし、BGMを加えながら動画を完成させていきます。みなさんにとって身近であるスマートフォンで撮影した写真データも、撮影方法を工夫し動画編集の専門ソフトAdpbe Premiere Proを使うことで、知識を深めることができるとともに、制作を通じて楽しい体験ができると思います。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	◎D:写真・動画それぞれのデジタルデータの特性を理解し、動画編集ソフトでの効果的な編集方法を身につけ  る。  ○E:シナリオ構想や撮影に工夫をし、見る側を楽しませたり驚かせたりするような表現ができる。
授業計画	1 ガイダンス
	授業紹介、講師紹介,学生の作品紹介 2 デジタルデータの特性の理解
	解像度や、フレームサイズ、フレームレートなど写真データと比較しながら、動画データの特性 の違いを学ぶ。
	3 アニメーション制作プロセスの理解(1) 事前に用意した多数の写真データを、フォトショップのアクション機能を使いサイズを一括で最適化する。
	4 アニメーション制作プロセスの理解 (2) 最適化した写真データを、プレミアに読み込み配置する。
	5 アニメーション制作プロセスの理解 (3) プレミアで編集した動画を、mp4形式で動画ファイルとして書き出す。
	6 シナリオ構想 各自の作品作りに向けて、撮影方法や素材を何にするかを考え、シナリオをまとめる。
	7 作品計画の立案(プレゼンテーション) シナリオに基づき、撮影方法、出演者、サウンドの用意など、具体的な方法を発表
	8 素材の作成・撮影 (1) 切り絵、粘土、人物など、選択した素材からアニメーションの素材を作成・スマートフォンで撮影をする。
	素材の作成と、撮影の続きをする。
	10 アニメーションワークの検証 撮影した写真を実際にプレミアで編集し、出力結果を検証する。
	11 プレミアによる動画編集 (1) フォトショップで最適化した画像の読み込み。編集作業。
	12
	13
	14 プレミアによる動画編集 (4) 最終調整段階、作品の完成度を上げる
	15 発表/講評 (プレゼンテーション)   各自の作品を上映、プレゼンテーションを行う
学習成果・ 到達目標・基準	<ul><li>◎D:アニメーション制作の一連の流れ理解する。</li><li>○E:自分で撮影した写真を使い、アニメーションを完成できる。</li></ul>
事前・事後学習	事前学習:次の授業で行う工程に合わせ、必要な素材を用意する(60分) 事後学習:授業内で出た課題を完了させる。(60分)
指導方法	課題に沿って講義を行い、その後一人1台ずつパソコンを使用して演習を行う。 素材となる写真の撮影は課題として各自が自宅で行い、授業では編集作業を行い各自の作品を完成させる。最 後に鑑賞会・講評会を行う。 フィードバック方法:課題については、授業後個別対応する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎D:毎回の課題提出で基本知識、技法が身についているかで評価する。</li><li>○E:最終自由作品となる自身の作品において、習得した技術を応用し、質の高い表現が実現できているかで評価する。</li></ul>

	授業毎の課題提出物:30%、レポート:20%、最終自由作品:50%
テキスト	授業内で必要な資料を配布するので、テキスト購入の必要はありません。
参考書	
履修上の注意	編集技術など、授業内で説明した内容を聞き逃すと、自由作品制作時など後から支障がでてきます。授業中の 私語は慎み、できるだけ欠席も控えるよう心がけてください。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: 動画演習 B 授業コード: 2561

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分		
後期	1	1	国専:選択		
担当教員					
松井恵美子(契約講師:伊波サチョ)					
ナンバリング: E26C42	実務家教員による	る授業			
添付ファイル					

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	学生自らが作成したシナリオに基づき、撮影、編集、書き出しまでを行い、1本の動画作品として完成させます。ビデオ編集はAdobe Premiere Proを使用して制作を行い、最後には各自の作品の上映会を行います。これまで閲覧する側だった動画も、自分で意図した通りに自由に編集、表現できるようになり、制作の醍醐味を楽しんでもらえる時間となるはずです。		
ション能力 C:思考力・判断	◎D:デジタルデータの特性を理解し、動画編集ソフトのエフェクト効果の適応、合成機能など高度な編集がで  きる。		
力 D:知識・理解 E:技能・表現	〇E:技術を駆使し、見る側の感情に訴えかけるような表現ができる。		
授業計画	1 ガイダンス 授業紹介、講師紹介,昨年の学生の作品紹介		
	2 デジタルビデオの基本知識 作業の流れの把握 解像度、Ra ボナザル (1)		
	3 プレミアの基本操作(1)   チュートリアルレッスン(クリップの編集/各種ツールの使い方)		
	4 プレミアの基本操作(2) チュートリアルレッスン(タイトルの挿入/図形の描画/トランジション/マーカー)		
	5 プレミアの基本操作 (3) チュートリアルレッスン (透明度/キーフレームアニメーション)		
	6 プレミアの基本操作(4) チュートリアルレッスン(エフェクト/合成)		
	7 動画ファイルの取り込み 自分のスマホの動画ファイルをパソコンに取り込み、Premiereで編集をする		
	8 作品計画の立案(プレゼンテーション) シナリオに基づき、撮影方法、出演者、サウンドの用意など、具体的な方法を発表		
	9 自主制作(1) ビデオ撮影/編集		
	10 自主制作(2) タイトル、キャプションの挿入		
	11 自主制作(3) 写真やサウンドの挿入		
	12 自主制作(4) 各自編集作業を続ける		
	13 自主制作(5) 各自編集作業を続ける		
	14ビデオ編集(6)書き出し完成した作品を、書き出す		
	15 作品発表会(プレゼンテーション) 各自の作品を上映、プレゼンテーションを行う		
学習成果・ 到達目標・基準	◎D:一動画編集作業の一連の流れ理解する。 ○E:動画編集ソフトの基本機能を使い、自分で撮影したビデオとBGMを素材に1本のビデオ作品を完成できる。		
事前・事後学習	事前学習:次の授業で行う工程に合わせ、必要な素材を用意する(60分) 事後学習:授業内で出た課題を完了させる。(60分)		
指導方法	課題に沿って講義を行い、その後一人1台ずつパソコンを使用して演習を行う。 毎回の授業で与えられた課題を制作し、完成させビデオデータを提出。後半の6回の授業では、自由作品として自分の立てたシナリオに沿って映像作品を完成させ、最後に鑑賞会・講評会を行う。 フィードバック方法:課題については、授業後個別対応する。		
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	<ul><li>◎D:チュートリアル課題において、基本知識、技法が身についているかで評価する。</li><li>○E:後半6回の授業を通じて制作する自身の作品において、習得した技術を応用し、質の高い表現が実現できているかで評価する 授業毎の課題提出物:30%、レポート:20%、最終自由作品:50%</li></ul>		

テキスト	授業で必要な資料は配布するので、テキストの購入の必要はありません。
参考書	
履修上の注意	編集技術など、授業内で説明した内容を聞き逃すと、自由作品制作時など後から支障がでてきます。授業中の 私語は慎み、できるだけ欠席も控えるよう心がけてください。
アクティブ・ラー ニング	プレゼンテーション

講義科目名称: ビジネス会計A 授業コード: 2621

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	1	国専:選択
担当教員			
宮川昭義			
ナンバリング:E16C48	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	簿記は、企業の経済活動という「取引」に関係する資産や負債の変動を記録し、それらの変動の「原因」と「結果」という二つの側面から貨幣額をもって表現する計算技法である。この授業の目的は、簿記の基本的な 仕組みを理解すること、また、簿記の学習を通して会計学を学ぶ上での基礎知識を修得することである。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	(授業目標) 企業活動の基本的な取引の理解と簡単な財務諸表の読み方から企業分析ができるようになること。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	◎C:情報収集・活用・分析力を身につけ、問題解決のために自ら積極的に行動することができる。 ○D:ビジネスにおける共通言語である会計への知識を深め、企業が抱える問題点を理解することができる。
授業計画	1 簿記の基礎 (1)簿記について (2)財務諸表と簿記の5要素
	2 商品売買 I
	(1) 商品売買取引 (2) 分記法による商品売買取引の記帳 (3) 三分法による商品売買取引の記帳 (4) 掛けによる売買 (5) 手付金や内金の処理 (6) 商品券
	3 現金・預金
	(1) 現金 (2) 当座預金 (3) 当座借越契約 (4) 普通預金と定期預金 (5) 複数の銀行口座を所有する場合
	4
	5 電子記録債権・債務 (1) 電子記録債権・債務
	6 その他の取引 I (貸付金・借入金) (1) 貸付金・借入金 (2) 利息について (3) 役員貸付金・役員借入金 (4) 手形貸付金・手形借入金
	7 その他の取引Ⅲ(仮払金・仮受金,給与,諸会費) (1)仮払金・仮受金 (2)給与 (3)諸会費
	8 試算表 (1) 試算表とは
	9 決算整理 I (現金過不足) (1) 現金過不足の処理(期中取引) (2) 現金過不足の整理(決算整理) (3) 決算日の現金実査にもとづく現金過不足の処理(決算整理)
	10 決算整理Ⅲ (売上原価) (1) 三分法の記帳 (2) 売上原価および売上総利益の計算 (3) 売上原価を算定するための仕訳(決算整理)
	2
	12 決算整理整理後残高試算表 (1) 決算整理後残高試算表
	13 帳簿の締め切り(英米式決算) (1) 帳簿(勘定)の締め切り
	14   株式の発行     (1) 株式会社とは

	(2) 資本(純資産) とは (3) 株式の発行
	15 税金
	<ul><li>(1) 税金の分類</li><li>(2) 法人税等</li><li>(3) 消費税</li></ul>
学習成果・ 到達目標・基準	日本商工会議所主催「日商簿記検定3級」の合格レベルに達すること。
	◎C:企業活動における基本的な取引の記録方法や財務諸表の作成を通じて、客観的な情報分析ができる。 ○D:財務諸表の情報分析から、企業活動における問題点を理解し、状況に適した公正な判断をおこなえること ができる。
事前・事後学習	事前学習:授業計画に沿って対応するテーマについてテキストを通読し、疑問点の整理をおこなう。 (90分) 事後学習:授業内容についての問題演習をおこない、理解できない個所については、次回の授業において質問 ができるように整理をおこなう。 (90分)
指導方法	講義は基本的にテキストによる解説の後、問題演習をおこなうことで内容に関する習熟度を上げる方法による。
	適宜、課題などを用意し、自宅学習ができるように配慮する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	平常点50%、定期試験50%とする。
テキスト	TAC簿記検定講座『合格テキスト 日商簿記3級 Ver. 14.0』TAC出版 TAC簿記検定講座『合格トレーニング 日商簿記3級 Ver. 14.0』TAC出版
参考書	
履修上の注意	この授業は「ビジネス会計B」(同日開講)との同時履修を前提として進行する。そのため、この講義「ビジネス会計A」のみを履修することは、授業内容の理解が難しくなることに留意すること。なお、受講者の理解度によって授業計画が一部変更される場合がある。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: ビジネス会計B 授業コード: 2631

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	1	国専:選択	
担当教員				
宮川昭義				
ナンバリング: E36C46	実務家教員によ	る授業		
添付ファイル				

授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感	簿記は、企業の経済活動という「取引」に関係する資産や負債の変動を記録し、それらの変動の「原因」と「結果」という二つの側面から貨幣額をもって表現する計算技法である。この授業の目的は、簿記の基本的な仕組みを理解すること、また、簿記の学習を通して会計学を学ぶ上での基礎知識を修得することである。
B:コミュニケー ション能力 C:思考力・判断	(授業目標) 企業活動の基本的な取引の理解と簡単な財務諸表の読み方から企業分析ができるようになること。
力 D:知識・理解 E:技能・表現	◎C:情報収集・活用・分析力を身につけ、問題解決のために自ら積極的に行動することができる。  ○D:ビジネスにおける共通言語である会計への知識を深め、企業が抱える問題点を理解することができる。 
授業計画	1 日常の手続き
	(1) 記帳のルール (2) 仕訳と勘定記入 (3) 記帳手続(日常の手続き~帳簿への記録) (4) 合計・残高 (5) 試算表の作成 (6) 日常の手続きのまとめ (7) 簿記一巡の手続き
	2 商品売買Ⅱ
	<ul> <li>(1) 返品</li> <li>(2) 商品の移動にかかる支払い</li> <li>(3) 立替払いの諸掛り</li> <li>(4) 保管費</li> <li>(5) 売掛金・買掛金元帳</li> <li>(6) 商品有高帳</li> </ul>
	3  小口現金
	(1) 小口現金制度
	4   手形取引   (1) 約束手形   (1)
	5 さまざまな帳簿の関係 (1) さまざまな帳簿の関係
	6 その他の取引Ⅱ(有形固定資産,未収入金・未払金) (1) 有形固定資産の取得・売却・賃借 (2) 未収入金・未払金 (3) 修繕と改良
	7 訂正仕訳 (1) 仕訳の誤り (2) 訂正仕訳
	8 決算 (1) 決算とは (2) 未処理事項等 (3) 決算整理 (4) 決算整理(後残高試算表 (5) 精算表 (6) 帳簿(勘定) の締め切り (7) 財務諸表の作成
	9 決算整理Ⅱ(貯蔵品・当座借越) (1) 租税公課(期中取引) (2) 貯蔵品(決算整理・再振替仕訳) (3) 当座借越(決算整理・再振替仕訳)
	10 決算整理IV(貸倒れ) (1)貸倒れとは (2)貸倒れの見積り①(決算整理) (3)売上債権の貸倒れ処理(期中取引) (4)前期以前の貸倒れ処理した債権の回収(期中取引) (5)貸倒れの見積り②~差額補充法(決算整理)
	11 決算整理VI (経過勘定項目) (1) 費用および収益の記録 (2) 費用の前払い (3) 収益の前受け (4) 費用の未払い

	T
	(5) 収益の未収 (6) 決算整理(まとめ) 12 精算表 (1) 精算表
	13 損益計算書と貸借対照表 (1) 財務諸表の作成 (2) 簿記一巡の手続き
	14 剰余金の配当と処分 (1) 利益剰余金の配当と処分とは (2) 会計処理 (3) 当期純損失が計上された場合
	15 証ひょうと伝票 (1) 証ひょうとは (2) 証ひょうの種類 (3) 伝票とは (4) 三伝票制 (5) 一部現金取引
	(6) 総勘定元帳への転記 (7) 売掛金元帳および買掛金元帳への転記
学習成果・ 到達目標・基準	日本商工会議所主催「日商簿記検定3級」の合格レベルに達すること。  ③C:企業活動における基本的な取引の記録方法や財務諸表の作成を通じて、客観的な情報分析ができる。  ○D:財務諸表の情報分析から、企業活動における問題点を理解し、状況に適した公正な判断をおこなえることができる。
事前・事後学習	事前学習:授業計画に沿って対応するテーマについてテキストを通読し、疑問点の整理をおこなう。(90分) 事後学習:授業内容についての問題演習をおこない、理解できない個所については、次回の授業において質問ができるように整理をおこなう。(90分)
指導方法	講義は基本的にテキストによる解説の後、問題演習をおこなうことで内容に関する習熟度を上げる方法による。 適宜、課題などを用意し、自宅学習ができるように配慮する。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	平常点50%、定期試験50%とする。
テキスト	TAC簿記検定講座『合格テキスト 日商簿記3級 Ver. 14. 0』TAC出版 TAC簿記検定講座『合格トレーニング 日商簿記3級 Ver. 14. 0』TAC出版
参考書	
履修上の注意	この授業は「ビジネス会計A」(同日開講)との同時履修を前提として進行する。そのため、この講義「ビジネス会計B」のみを履修することは、授業内容の理解が難しくなることに留意すること。なお、受講者の理解度によって授業計画が一部変更される場合がある。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: 秘書実務論A 授業コード: 2661 2662

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	1	2	国専:選択	
担当教員	•			
有田りな				
ナンバリング: E16C52	実務家教員による	る授業		
添付ファイル				

添付ファイル		
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク。	秘書の役割る組みながら	合格を目指す。 と資質、一般知識と基本的技能について理解し、実社会で必要な知識や能力について主体的に取り 習得していく。 高め、それらを発揮出来る職業選択の幅と可能性を広げていく。
B:コミュニケー ション能力		秘書の役割、資質、一般知識、接遇技能について知識を習得し、実社会で生かせる実践力を養
C: 思考力・判断 力 D: 知識・理解 E: 技能・表現		の資質、技能を理解するとともに、社会人として必要な資質と能力を習得していくことが出来る。 した秘書に必要な知識・能力を、社会での諸活動で臨機応変に発揮出来る。
授業計画	1	オリエンテーション/社会人としての自覚と心構え 授業概要説明(到達目標の確認、授業での心構え、評価方法) 秘書検定3級試験に関する説明(秘書検定審査基準、受験の際の注意点) 社会人・秘書の心構えを習得する。
	2	秘書の資質・役割/秘書の職務知識 秘書に求められる役割・必要な資質について理解する。 秘書に求められる基本能力について理解する。 定型業務と非定型業務における秘書の仕事・効率的な仕事の進め方を学ぶ。
	3	企業の基礎知識 企業の組織と社会での役割について理解する。 経営管理についての基礎知識を学ぶ。 経営管理に関する初歩的な用語を学ぶ。
	4	企業の基礎知識・社会常識について 経済に関する基本用語・社会常識を学ぶ。
	5	マナー・接遇1
		社会での円滑な人間関係についての重要性について理解する。 秘書として接遇の心構え、マナー、敬語、接遇用語を理解し身に付ける。
	6	マナー・接遇2 話し方の応用(対面;ロールプレイングで実践) 指示の受け方、報告・説明をする際の心がけとポイントを理解する。 コミュニケーションを円滑にする聴き方を理解する。
	7	電話応対 電話のマナーと応対の仕方を学ぶ。(全員がロールプレイングを通して、実践力を身に付ける)
	8	マナー・接遇3 来客応対 来客応対の基本マナーを学ぶ。(対面;グループワークを通して、実践力を身に付ける) ICT活用:理解力・実践力を深めるため、6月実施の秘書技能検定試験対策として、授業終了後に Google Classroomで公開する秘書検定試験用練習問題を各自で実践する。 交際の業務について
		慶事・弔事のマナーについて学ぶ。 慶事・弔事での秘書の対応について学ぶ。 贈答のしきたりとマナーを習得する。
	10	会議と秘書の役割について 会議の目的と予備知識を理解する。 秘書が行う会議の主な準備、会議中の主な仕事、事後処理について学ぶ。
	11	ビジネス文書の作成 社内文書、社外文書の種類と形式を理解する。 ビジネス文書の慣用表現と敬語を習得する。 メモの種類と効果的な取り方を学ぶ。 折れ線グラフ、棒グラフの書き方を学ぶ。
	12	文書管理 ビジネス文書の受信・発信方法を理解する。 「秘」扱い文書の取り扱いについて学ぶ。 郵便の基礎知識を知る。
	13	資料管理・スケジュール管理 資料の整理、保管、簡単な社内外の情報収集、整理、保管方法を学ぶ。 上司のスケジュール管理について学ぶ。 快適な職場環境をつくるための基礎知識を習得する。
	14	問題演習と解説 1 これまでに学習した内容についての確認と理解を深める。 実技チェック(対面授業)・秘書検定3級問題演習と解答・解説

	15 問題演習と解説 2   秘書検定3級問題演習と解答・解説
学習成果・ 到達目標・基準	秘書検定3級に合格出来る実力を身に付ける。 ◎ D: 秘書の役割を果たすために必要なことを学び、秘書としての基本的な知識・資質を習得できる。 ○ E: 学習した秘書の資質、知識、技能を日常生活から実践することが出来る。
事前・事後学習	事前学習:次回の講義内容に関するテキストの該当章と事前配布資料を読んでおくこと。(約60分) 事後学習:毎回の授業で学習した内容、理解度チェックを必ず復習すること。(約60分) Google classroomで提示した課題に取り組み、必要事項に解答し、期限内に提出すること。(約60分)
指導方法	講義は基本的にテキスト・配布資料・パワーポイントを使用し進める。 一方的な講義ではなく、思考力を有する演習問題、理解度チェック、内容に応じグループワーク、ロールプレイング等を積極的に取り入れる。 フィードバックの仕方:理解度チェックテスト、実問題演習に関しては、実践後、質疑応答を行い解説する。 課題提出にGoogle classroomを活用する。:①課題を提示、②課題提出(学生)、③採点し返却する。必要に応じ適宜要点をフィードバックし公開する。 学生の学習状況把握のため、Google classroomを活用し課題の取り組み状況・提出状況をチェックする。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	D:最終レポート・授業内課題・授業態度を評価する。 E:授業態度・授業中の発言力・課題を評価する。 授業内課題30%、授業態度・貢献度30%、秘書検定3級取得30%、最終レポート10%、
テキスト	『秘書検定3級クイックマスター』改訂新版 実務技能検定協会 早稲田教育出版 (2022年2月10日 第12刷 発行)
参考書	『秘書検定集中講義3級』実務技能検定協会 早稲田教育出版 『秘書検定3級実問題集』実務技能検定協会
履修上の注意	履修学生は6月の秘書検定を受験すること。 知識を習得するだけではなく、それらを実際に活かせる力にすることが大切である。その為には、自己管理・身だしなみ・言葉遣い・マナー・知識を深めるなどを日頃から実践し日々の生活や授業で習慣化することが、自己能力と社会人としての自覚を高め、就職内定と将来の可能性の向上にも大きく繋がることを自覚してほしい。 学習したことを自分の日常生活や今後のインターンシップなどでの体験で落とし込み自主的に考え行動するなど、学習内容を深く習得していく能動的な態度が必要となる。 毎回の授業の積み重ねが大切であるため、欠席、遅刻をしないこと。 課題提出は必ず提出期限を厳守すること。 尚、受講者の理解度、参加意識などに応じて、授業内容を一部変更する場合がある。
アクティブ・ラー ニング	グループワーク、ロールプレイング

講義科目名称: 秘書実務論B 授業コード: 2671 2672

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	国専:選択
担当教員	·		
松岡友子			
ナンバリング: E26C53	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			
	_		

授	【授業内容】 ・秘書技能検定2級合格に必要な知識と技能を習得する。 ・問題演習を行いながら、テキストを用いて確認し、知識を深める。 【授業目標】 ◎ D: 秘書検定2級に合格する。さらにはビジネス文書検定・サービス接遇検定や上位級にも対応する幅広い知識を理解する。 ○ E: 単なる検定対策として知識を理解するだけでなく、社会人に必要とされる技能として身につけ、実践することができる。
授業計画	1 オリエンテーション/秘書検定とは/秘書の心構え (グループワーク)
汉朱田画	自己紹介・講義の到達目標の確認・授業の共通ルールの徹底 秘書検定の受け方・審査基準説明 秘書に必要とされる資質・心構えを理解する (グループワーク)
	2 秘書に必要な条件/秘書の役割と機能/秘書の職務 秘書に求められる6つの能力について理解する 職務知識として秘書の役割と機能を理解する 定型業務・非定型業務・効率的な仕事の進め方を理解する (グループワーク)
	3 企業と経営・企業の活動 資本と経営について理解する 企業の組織形態について理解する 経営管理について理解する 生産管理、マーケティングについて理解する 会社をめぐる法律について理解する 各種用語について理解を深め、覚える (グループワーク)
	4 グラフの書き方/会議と秘書 グラフの書き方を理解する 会議の知識・会議中の秘書の仕事を理解する (グループワーク)
	5 交際の業務について パーティー・会食の知識を理解する 慶事の応対を理解する 弔事への対応・心得とマナーを理解する 贈答のしきたりとマナーを理解する (グループワーク)
	6 ビジネス文書の作成 ビジネス文書の種類と形式を理解する ビジネス文書の寛容語句を理解する 敬語を理解する (グループワーク)
	7 問題演習(1) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
	8 問題演習(2) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
	9 問題演習(3) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う デキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
	10 問題演習(4) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)

	11 問題演習(5) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う
	テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク) 12 問題演習(6)
	和書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
	13 問題演習 (7) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
	14 問題演習 (8) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
	15 問題演習 (9) 秘書検定2級過去問演習と解答解説 記述問題と実技問題を中心に解答解説を行う テキストを用いて該当箇所を確認する (グループワーク)
到達目標・基準	◎D:2023年度後半に予定されている秘書検定2級の試験内容を理解する。また、CBT受検にも対応できる力を身につける。 ○E:社会人として求められる、一般常識・ビジネスマナー・電話応対・来客応対・ビジネス文書作成などの
	基礎を理解し、身につける。
	事前学習:課題が与えられている場合には取り組む。(80分) 次回講義内容に該当するテキストを読み込む。(60分) 事後学習:テキストの問題、過去問に取り組むなどして、知識の定着をはかる。(60分)
	・講義部分は、テキストと配布プリント、パワーポイントを用いて講義を進める。 ・検定対策はGoogle Formsなどを用いて回答する場合もある。教員からのアドバイスとともに自身の検定への 取り組みに役立てる。 ・各種用語は、課題として覚えてきたものをグループワークで毎回確認する。
	◎D:秘書検定・ビジネス文書検定・サービス接遇検定など、各種ビジネス系検定を受検し、合格を目指して
成績評価の方法・ 基準	努力する姿勢を評価する。 ○E:学んだ知識や技能を理解しようとしているか、内容を身につけようとしているか、身につけて実践しようとしているかを評価する。 うとしているかを評価する。 授業態度・貢献度30% 課題提出20% 定期試験50%
テキスト	秘書検定2級クイックマスター改訂新版 実務技能検定協会編 早稲田教育出版
参考書	『秘書検定実問題集2級』 実務技能検定協会編 早稲田教育出版 『秘書検定集中講義2級』 実務技能検定協会編 早稲田教育出版 『誰とでも仲良くなれる敬語の使い方』松岡 友子 明日香出版社
 	・過去問対策の授業時には、PCを持参すること。 ・秘書検定の出題範囲は、社会人として必要な基礎知識をほぼすべて網羅している。また検定の社会的認知度 も高く、2級取得者は、社会人としての基礎知識の習得ができていると評価される。 勉強内容は多岐にわたり、決してやさしい検定ではないが、2級受検者の多くを学生が占めている。丁寧に学習 を積み重ねれば学生でも合格は十分可能である。 ぜひ、秘書検定以外にも、サービス接遇検定やビジネス文書検定等の取得も目指してほしい。
	なお、検定実施日や資格取得状況、受講者の参加意識などにより、授業計画が一部変更される場合がある。
アクティブ・ラーニング	グループワーク

講義科目名称: メディカルクラークA 授業コード: 2701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	国専:選択
担当教員	·		
矢崎美裕子			
ナンバリング:E17C56	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			

授業内容 授業目標 A:主体性・チー	安定した病院経営のためには日々の医療費の収入が不可欠です。医療機関窓口業務の一つである会計は一部負担金の現金回収です。残りの医療費の診療報酬請求が医療事務のメインの業務であることを理解し正しい請求   方法を身につけましょう。
ムワーク・責任感 B:コミュニケー ション能力	医療秘書検定3級領域Ⅲ(医療事務) に対応する講義です。医療費算定の基本的なルールを学び外来での診療報   酬明細書(レセプト) を作成する技術を身に付けます。
C: 思考力・判断	(授業目標)   1. 医療秘書検定3級の合格
力 D:知識・理解	2. 医療費算定の知識を理解し、医療事務に必要な基礎知識及び技術を身に付ける。 3. 診療報酬明細書の記載方法が理解できる。
E:技能・表現	 ○D:被保険者証及び診療録の見方、算定のルールを学び、基本的な診察料・医学管理料・投薬料・注射料・
	処置料の正確な医療費を計算できる。   ◎ E: 医療費計算方法と共にレセプト記載方法を学び、基本的な診察料・医学管理料・投薬料・注射料・処置   料を正確に診療報酬明細書に記載できる。
授業計画	1 ガイダンス (医療事務とは)
[[天]] [[]	授業内容、授業の進め方、資格試験について、評価方法に関する説明 医療事務の仕事の内容について学ぶ
	2 投薬1 (薬剤料)   薬価表に記載されている金額(円)を点数に換算する方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	3 投薬2 (調剤料、処方料、調剤技術基本料)
	薬剤を処方する際の技術料やレセプト記載方法を学ぶ
	4 注射1 (皮内・皮下及び筋肉内注射、静脈内注射) 注射薬の容器の種類と薬剤料の算定方法、注入方法の種類及びレセプト記載方法を学ぶ
	5 注射2(点滴注射、その他) 薬剤料の算定方法と注入方法の種類及びレセプト記載方法を学ぶ
	6 初診料 初診料の算定方法(年齢、緊急受付時間等の加算等)及びレセプト記載方法を学ぶ
	7 再診料 再診料の算定方法(年齢、緊急受付時間等の加算等)及びレセプト記載方法を学ぶ
	8 医学管理等1 (特定疾患療養管理料、治療管理料) 病気に対する医師の指導管理等及びレセプト記載方法を学ぶ
	9 医学管理等2 (その他医学管理等) 在宅医療①(往診料)
	その他の医学管理を学ぶ 医師が患者の自宅等に赴いて診療を行った場合の費用及びレセプト記載方法を学ぶ
	10 在宅医療(在宅療養指導管理料)   自宅等で患者(家族)が行う注射や酸素療法等の費用及びレセプト記載方法を学ぶ
	11 処置(通則・一般処置・ギプス) 処置料の種類と算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	12 手術(通則・外来で行う手術) 手術料の種類と算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	13 検査(通則・検体検査)   検体検査の種類と算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	14 検査(生理機能検査)   生理機能検査の種類と逓減算定の理解、算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	15 外来カルテ演習 レセプトを作成する。
学習成果・ 到達目標・基準	○D:初・再診、医学管理、投薬、注射、処置の各項目の基本的な計算や加算ができる。 ◎E:基本的な外来診療例(初・再診、医学管理等、投薬、注射、処置)のカルテから、診療報酬明細書を作成することができる。
事前・事後学習	事前学習:次回の授業内容に関する項目についてテキストの該当箇所を読んでおく。(30分程度) 事後学習:授業内容を復習し、カルテ例題の課題に取り組む。レポート課題は期日までに行い理解を深める。 (150分程度)
指導方法	・テキストを中心に、プロジェクター、PowerPoint及び配布資料を用いた授業形式で進める。 ・医療費計算を行うため、電卓の使い方も指導する。 ・授業では、主に医療費算定のルールと計算方法を解説するため、事後学習としてレセプト及び算定について

	の学科問題は課題提出とする。 *課題のフィードバック方法:授業内で質疑応答。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D:定期試験・課題を評価する。 ◎E:定期試験・課題を評価する。 定期試験50%、授業貢献度30%、レポート提出20%
テキスト	『ビジュアル速解 診療報酬・完全攻略マニュアル 23年版』青山美智子 (医学通信社・2023年) 『2023年度版 医療秘書技能検定実問題集3級(2)』(つちや書店・2023年)
参考書	
履修上の注意	「医療秘書技能検定3級」取得を目標に行われるため、「メディカルクラークB(前期)」、「メディカルクラークC、D(後期)」も履修すること。診療点数早見表、電卓(携帯電話、スマートフォンの使用は禁止)、配布資料は必ず持参すること。課題は期日までに必ず提出すること。やむを得ず期日までに提出できない場合は提出できる日を報告すること。毎回の授業が大切なため、遅刻や欠席をせず医療機関に従事することを意識し、資格取得を目標に履修して欲しい。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: メディカルクラークB 授業コード: 2711

英文科目名称:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	国専:選択
担当教員			
矢崎美裕子			
ナンバリング: E17C57	実務家教員に	よる授業	
添付ファイル			

医療を取り巻く現状と最近の動向を広い視野で捉えながら、医療機関の構造や組織管理をはじめ医師や患者の心理・行動の理解、医療サービスや患者接遇の在り方など、医療秘書としての心構えや役割と共に医療を全体的に学びます。この講義は医療秘書検定3級領域 I (法規・病院管理) 領域 II (医学/医療用語) に対応しています。 授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー 「医療秘書技能検定3級」取得を目指します。 D : ロスゴー/ ション能力 C : 思考力・判断 (授業目標) 1. 医療秘書検定3級の合格 2. 医療機関での接遇マナーが理解でき実践できる。 3. 日本の医療制度・医療法規を理解することができて説明できる。 4. 体のつくりや働き、カルテに書いてある医療用語について理解し説明できる。 D:知識・理解 E:技能·表現 □ D · 医療保险制度 各種健康保险法 守秘義務 医療関連用語 医療機関の事業目的が理解できる。

○E:医療機関の受付や電話応対、患者や医療機関で働く人々との接し方、話し方が習得できる。
⑤D.区原体院刑及、行性健康体院伝、「松我仂、区原民連用品、区原域民の事業自由が理解してる。

	○E:医	療機関の受付や電話応対、患者や医療機関で働く人々との接し方、話し方が習得できる。
授業計画	1	ガイダンス(医療事務と法規)/医療秘書の役割
		医療秘書技能検定、授業内容、授業の進め方、評価方法に関する説明 医療秘書の役割と定義
	2	医療秘書の業務
		医療秘書の実務(基本編)
	3	日本の医療1
		医療提供の理念(医療法) 日本の病院の成り立ち
	4	日本の医療2
		病院の組織 病院数の推移 医療施設および病床の種類と数(医療法)
	5	医療界の現状1
		病院医療の国際比較 医療制度の特徴と国民医療費
	6	医療界の現状2
		診療報酬の支払い方式
	7	医療保険のしくみ1 医療保険の種類、給付の範囲と種類(健康保険法)
	8	医療保険のしくみ2 現金給付、高額療養費、保険外併用療養費
	9	診療報酬に関する法規(診療報酬請求) 請求事務、診療報酬請求のしくみについて 査定と返戻
	10	療養担当規則 保険医療機関や保険医が守らなければならない規則について
	11	医療用語1
		人体の名称 整形外科
	12	医療用語2
		各診療科にまたがる用語 血液科
	13	医療用語3
		循環器科/呼吸器科
	14	医療用語3 消化器科/内分泌科
	15	総括
		医療秘書概論のまとめ 医療保険制度の振り返り 医療用語のまとめ
 学習成果・	□ D · E	療保険制度のしくみが理解でき、カルテを読むために必要な医療知識が習得できる。

到達目標・基準

カルテを読むために必要な医療知識が習得できる。

| ◎ D : 医療保険制度のしくみが理解でき、カルテを | ○ E : 電話応対、接遇マナーを理解し説明できる。

事前・事後学習	事前学習:次回の授業内容に関する項目についてテキストの該当箇所を読んでおく。 (60分程度) 事後学習:授業内容を復習、まとめる (120分程度)
指導方法	テキスト、スライドを中心に講義を進めながら、医療秘書技能検定の過去の学科問題を解いていく。 接遇、各種保険制度についての課題(テスト付き)を実施し理解度を確認する。 *課題のフィードバック方法:授業内でフィードバックを行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	◎D:定期試験、課題テストにより評価する。 ○E:定期試験、課題テストにより評価する。 定期試験50%、課題テスト40%、授業貢献度10%
テキスト	『三訂医療秘書』建帛社 三訂版・(2021年) 『三訂医療用語』建帛社 三訂版・(2021年) 『読んでわかる解剖生理学』医学教育出版社・(2014年) 『2023年度版 医療秘書技能検定実問題集3級(1)』 つちや書店・(2023年)
参考書	
履修上の注意	「医療秘書技能検定3級」取得を目標に行われるため、「メディカルクラークA(前期)」、「メディカルクラークC、D(後期)」も履修すること。テキスト、配布資料は必ず持参すること。課題のフィードバックは講義中に質疑応答で対応。毎回の授業が大切なため、遅刻や欠席をせず医療機関に従事することを意識して、資格取得を目標に履修して欲しい。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: メディカルクラーク C 授業コード: 2721

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	1	2	国専:選択	
担当教員				
矢崎美裕子				
ナンバリング: E17C58	実務家教員に	よる授業		
添付ファイル				

が ロン ノ イ / レ	
授業内容 授業目標 A:主体性・チー ムワーク・責任感 B:コミュニケー	この講義は医療秘書検定3級領域Ⅱ (医学) に対応しています。 人体を呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、神経・感覚器系、自律神経・内分泌器系、運動器系、生殖 器系に分け、これらの機能的側面について解説する。人体の構造と機能を学ぶことは、医学や医療の基盤知識 である。基礎医学を学ぶことによって、医療を中心とした幅広い知識と教養の高い学生の育成を目指す。
D: 知識・理解 E: 技能・表現	(授業目標) 1. 人体を構成する各器官系の機能について論理的に説明することができる。 2. 各器官系の相互作用、すなわち個体(ヒト)の生命活動の仕組みについて説明することができる。 3. 生体の恒常性を維持する仕組みについて説明することができる。 4. 医療秘書検定3級の合格
	◎C:基本的な医学用語を学び、専門書、レセプトの記述が理解できる。 ○D:身体構造と機能、疾患の係わりに関心を持つことができる。
授業計画	1 ガイダンス/総論
	授業の目的、授業の進め方、評価方法について 解剖生理学総論 医療用語1
	2 人体の構造・骨格   細胞と組織 骨格筋および平滑筋収縮の機序について理解を深めることができる。   医療用語2
	3 血液 血液 血液の分類、働きについて理解を深めることが出来る。   白血球による免疫機能を中心に、病原性微生物に対する生体の防御機能について理解を深める。   医療用語   2
	4 血液の循環 心臓を中心に心血管機能について理解を深める。循環動態(血圧、血流量、心拍出量、心拍数)とは何か、またその調節機序について理解を深める。   医療用語4
	5 呼吸器 呼吸機能を司る、肺・気道系、胸郭系、呼吸調節系について理解する。また、肺でのガス交換に ついて説明できる。 医療用語 5
	6 消化器1 口腔内および胃内消化機能、小腸における消化吸収機能、そして排便の仕組みについて理解することができる。 医療用語 6
	7消化器2膵臓や肝臓などの役割について理解を深めることができる。医療用語 7
	8 泌尿器 腎臓の解剖と生理について理解し、説明できる。 医療用語 8
	9 脳・脊髄 大脳の構造や働きなどについて理解を深めることが出来る。 医療用語 9
	10   脳神経   脊髄の機能(脊髄反射)、脳幹および間脳による自律機能などについて理解を深める。自律神経系の理解する。   医療用語10
	11 感覚器   感覚の種類や質について理解する。体性感覚(皮膚感覚など)、内臓感覚、および特殊感覚(視覚など)について情報受容の仕組みの理解を深めることができる。   医療用語11
	12 内分泌   内分泌   内分泌系機能について理解することができる。   各種ホルモンの生理作用について理解を深めることができる。   医療用語12
	13 免疫機構 / 感染症   内分泌系機能について理解することができる。

	各種感染症の理解を深めることができる。 医療用語 1 3 14 生活習慣病 糖尿病/脂質異常症/高血圧症
	15 総括
	レポート作成
学習成果・ 到達目標・基準	◎C:カルテに記載されている医療用語が理解でき、医療秘書検定で出題される医療用語の問題を解くことがで   きる。
	OD: 人体の生理を学び、疾患とはなにか説明することができる。
事前・事後学習	事前学習:小テストに備え医療用語の暗記(10問程度)テキストのを熟読と要点整理をしておく。(90分) 事後学習:授業内容の整理(90分)
指導方法	医療用語は毎回小テストを実施(10間程度) パワーポイントでの講義形式、授業ノート(穴埋め)講義内容の書き込みを行う。 フィードバックは講義内で行う。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	定期試験 50% 授業内小テスト 10% 授業態度、貢献度 40%
テキスト	『読んでわかる解剖学』竹内修二 医学教育出版社 (2014年出版) 『三訂 医療用語』建帛社 (2021年出版) 『2023年度版 医療秘書技能検定実問題集3級(1)』 医療秘書教育全国協議会試験委員会 つちや書店 (2023年 出版)
参考書	
履修上の注意	自主的に授業に参加、復習をするという学習意欲が必要。人体に関わる事は身近な事であり、興味を持つ事が必要。 必要。
	医療秘書検定合格を目指すため「メディカルクラークA」「メディカルクラークB」「メディカルクラークD」も 履修する必要がある。
アクティブ・ラー ニング	

講義科目名称: メディカルクラークD 授業コード: 2731

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	国専:選択
担当教員		·	
矢崎美裕子			
ナンバリング: E17C59	実務家教員に	こよる授業	
添付ファイル			
	_		

授業 特 要 要 要 要 要 要 を を を も も も も も も も も も も も も も	前期「メディカルクラークA」の授業に引き続き、演習問題やカルテ例題で医療費算定のルールを学び、正しい診療報酬明細書(レセプト)を作成する技術を身に付け、「医療秘書技能検定3級」取得を目指します。 (授業目標) 1. 医療秘書検定3級の合格 2. 医療費算定の知識を理解し、医療事務に必要な基礎知識及び技術を身に付ける。 3. カルテから外来レセプトの作成ができる。
カ カ D:知識・理解 E:技能・表現	○D:被保険者証及び診療録の見方、算定のルールを学び、メディカルクラークAで学んだ内容を基に、基本的な手術料・麻酔料・検査料・画像診断の正確な医療費が計算できる。 ◎E:医療費計算方法と共にレセプト記載方法を学び、メディカルクラークAで学んだ内容を基に、基本的な手術料・麻酔料・検査料・画像診断を正確に診療報酬明細書に記載できる。
授業計画	1 前期の振り返り
	メディカルクラークAでの復習。 手術料の種類と算定方法及びレセプト記載方法を復習する。 2 手術
	手術料の算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	3 麻酔/輸血 麻酔/物血 麻酔料の種類と輸血の算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	4 病理診断   病理診断の種類と実施料、判断料、採取料の算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	5 画像診断1 (エックス線診断料) エックス線撮影料と診断料、フィルム料の算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	6 画像診断2(エックス線診断料) エックス線撮影料と診断料、フィルム料の算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	7 画像診断3 (コンピューター断層撮影診断料) コンピューター断層撮影料と診断料、フィルム料の算定方法及びレセプト記載方法を学ぶ
	8 リハビリテーション・精神科専門療法・放射線治療 リハビリテーション、精神科専門療法、放射線治療の種類と算定方法及びレセプト記載方法を学 ぶ
	9 外来カルテ演習1 医療秘書検定過去問題からレセプトを作成する。
	10
	11 外来カルテ演習3 医療秘書検定過去問題からレセプトを作成する。
	12 外来カルテ演習4 医療秘書検定過去問題からレセプトを作成する。
	13
	14 学科演習1   メディカルクラーク総括(初診料~手術)   診療点数早見表を索引しながら過去問題の学科を2回分解く。   復習:授業内で解いた問題をもう一度解く
	15 学科演習2 メディカルクラーク総括(検査〜リハビリテーション) 診療点数早見表を索引しながら過去問題の学科を2回分解く。 復習:授業内で解いた問題をもう一度解く
学習成果・ 到達目標・基準	○D:手術、麻酔、検査、画像診断の各項目の基本的な計算や加算ができる。 ◎E:基本的な外来診療例(初・再診、医学管理等、投薬、注射、処置、手術、麻酔、検査、画像診断)のカルテから、診療報酬明細書を作成することができる。
事前・事後学習	事前学習:次回の授業内容に関する項目についてテキストの該当箇所を読んでおく。(30分程度) 事後学習:授業内容を復習し、カルテ例題の課題に取り組む(150分程度)
指導方法	・テキストを中心に、プロジェクター、パワーポイント及び配布資料を用いた授業形式で進める。 ・授業では、主に医療費算定のルールと計算方法を解説するため、事後学習としてレセプト及び算定について の学科問題は課題提出とする。

	*課題のフィードバック方法:授業内で質疑応答。
アセスメント・ 成績評価の方法・ 基準	○D:定期試験・課題を評価する。 ◎E:定期試験・課題を評価する。 定期試験50%、課題40%、授業態度・貢献度10%
テキスト	『ビジュアル速解 診療報酬・完全攻略マニュアル 23年版』青山美智子 (医学通信社・2023年) 『2023年度版 医療秘書技能検定実問題集3級(2) (つちや書店)』 (2023年)
参考書	
履修上の注意	「医療秘書技能検定3級」取得を目標に行われるため、「メディカルクラークA(前期)」「メディカルクラークB(前期)」、「メディカルクラークC(後期)」も履修すること。診療点数早見表電卓(携帯電話、スマートフォンの使用は禁止)、配布資料は必ず持参すること。課題は期日までに必ず提出すること。やむを得ず期日までに提出できない場合は提出できる日を報告すること。毎回の授業が大切なため、遅刻や欠席をせず医療機関に従事することを意識し、資格取得を目標に履修して欲しい。
アクティブ・ラー ニング	